中山公園野球場整備工事（建築）

図　面　目　録

図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称
（建築）		A-046	建具表－１	A-101	スコアボード　特記仕様書－１	（構造）		SH-01	構造特記仕様書－１
A-001	特記仕様書－１	A-047	建具表－２	A-102	スコアボード　特記仕様書－２	S-001	特記事項	SH-02	構造特記仕様書－２
A-002	特記仕様書－２	A-048	展開図－１	A-103	スコアボード　表示パターン	S-101	一塁側棟　基礎伏図	SH-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図－１
A-003	特記仕様書－３	A-049	展開図－２	A-104	スコアボード　システム系統図	S-102	一塁側棟　Ｍ２階・２階梁伏図	SH-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図－２
A-004	特記仕様書－４	A-050	展開図－３	A-105	スコアボード　機器姿図－１	S-103	一塁側棟　軸組図－１	SH-05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図－３
A-005	特記仕様書－５	A-051	雑詳細平面図	A-106	スコアボード　機器姿図－２	S-104	一塁側棟　軸組図－２	SH-06	鉄骨構造標準図－１
A-006	特記仕様書－６	A-052	雑詳細図－１	A-107	スコアボード　機器姿図－３	S-105	一塁側棟　基礎・擁壁詳細図	SH-07	鉄骨構造標準図－２
A-007	特記仕様書－７	A-053	雑詳細図－２	A-108	スコアボード　立面図・放送室レイアウト図	S-106	一塁側棟　地中梁リスト・大梁リスト	SH-08	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図－１
A-008	特記仕様書－８	A-054	雑詳細図－３	A-109	スコアボード　表示外観図	S-107	一塁側棟　スタンド　柱リスト	SH-09	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図－２
A-009	特記仕様書－９・工事区分表	A-055	サイン配置図	A-110	バックネット　詳細図－１	S-108	一塁側棟　部材リスト・スリット詳細図	SH-10	鉄筋コンクリート貫通孔補強標準図（参考図）
A-010	案内図	A-056	サイン平面図	A-111	バックネット　詳細図－２	S-109	一塁側棟　X22通り ラーメン配筋図･鉄骨詳細図	SH-11	鉄骨貫通孔補強標準図（参考図）
A-011	敷地求積図	A-057	サイン姿図－１	A-112	防球ネット　平面図	S-110	一塁側棟　トラクター置場伏図・軸組図	SH-12	鉄骨梁継手リスト
A-012	求積図・面積表－１	A-058	サイン姿図－２	A-113	防球ネット　展開図	S-111	一塁側棟　トラクター置場部材リスト	SH-13	柱脚既製品標準図（参考図）
A-013	求積図・面積表－２	A-059	サイン姿図－３	A-114	防球ネット　支柱詳細図－１	S-201	本部棟　基礎伏図	SH-14	ボーリングデーター１
A-014	各室求積図・面積表	A-060	サイン姿図－４	A-115	防球ネット　支柱詳細図－２	S-202	本部棟　Ｍ２階梁伏図	SH-15	ボーリングデーター２
A-015	平均地盤高算定図	A-061	スコアボード　平面図・断面図	A-116	防球ネット　部分詳細図	S-203	本部棟　２階梁伏図	SH-16	ボーリングデーター３
A-016	建物位置図（座標）	A-062	スコアボード　立面図	A-117	擁壁・フェンス　配置図	S-204	本部棟　屋根鉄骨部伏図	SH-17	スコア―ボード　ブレース標準図
A-017	１階平面芯出し図	A-063	スコアボード　雑詳細図	A-118	メッシュフェンス　詳細図－１	S-205	本部棟　軸組図　No1		構造　63枚
A-018	設計概要書・外部仕上げ表	A-064	外構配置図	A-119	メッシュフェンス　詳細図－２	S-206	本部棟　軸組図　No2		
A-019	内部仕上げ表	A-065	舗装範囲図	A-120	緩衝マット　立面展開図－１	S-207	本部棟　軸組図　No3	（解体）	
A-020	法チェック図	A-066	駐車区画図	A-121	緩衝マット　立面展開図－２	S-208	本部棟　基礎・擁壁詳細図	D-001	舗装撤去図
A-021	（現況）配置図	A-067	外構詳細図－１	A-122	緩衝マット　詳細図－１	S-209	本部棟　地中梁リスト	D-002	排水側溝・縁石撤去図
A-022	【計画】配置図	A-068	外構詳細図－２	A-123	緩衝マット　詳細図－２	S-210	本部棟　柱リスト	D-003	擁壁構造物撤去図
A-023	１階平面図	A-069	外構詳細図－３	A-124	緩衝マット　詳細図－３	S-211	本部棟　大梁リスト	D-004	コンクリート構造物・スラブ撤去図
A-024	２階平面図・屋根伏図	A-070	外構詳細図－４	A-125	緩衝マット　詳細図－４	S-212	本部棟　部材リスト・スリット詳細図	D-005	フェンス・手摺撤去図
A-025	本部棟　１階平面図	A-071	植栽撤去図	A-126	観客席ベンチ　詳細図－１	S-213	本部棟　X15通り ラーメン配筋図･鉄骨詳細図	D-006	既存建物撤去図
A-026	本部棟　Ｍ２階平面図	A-072	植栽平面図	A-127	観客席ベンチ　詳細図－２	S-301	三塁側棟　基礎伏図	D-007	既存構造物撤去図
A-027	本部棟　２階平面図	A-073	植栽図	A-128	観客席ベンチ　詳細図－３	S-302	三塁側棟　Ｍ２階・２階　梁伏図		解体　7枚
A-028	本部棟　屋根伏図	A-074	工事計画図	A-129	造成計画平面図	S-303	三塁側棟　軸組図－１		
A-029	一塁側棟　１階・Ｍ２階・２階平面図	A-075	工事計画工程表	A-130	造成計画断面図－１	S-304	三塁側棟　軸組図－２	B-001	全景パース -１
A-030	三塁側棟　１階・Ｍ２階・２階平面図	A-076	時刻日影図	A-131	造成計画断面図－２	S-305	三塁側棟　軸組図－３	B-002	全景パース -２
A-031	ブルペン　平面図・屋根伏図	A-077	等時間日影図	A-132	排水施設計画平面図	S-306	三塁側棟　基礎・擁壁詳細図	B-003	スタンド全景パース -１
A-032	立面展開図－１（グラウンド側）	A-078	日影図　平均地盤高算定図	A-133	ＰＵ側溝工標準図	S-307	三塁側棟　地中梁・大梁リスト	B-004	スタンド全景パース -２
A-033	立面展開図－２（外周部）			A-134	桝工標準図	S-308	三塁側棟　スタンド柱リスト	B-005	スタンド外観パース
A-034	立面展開図－３（バックスタンド側）			A-135	排水施設構造図	S-309	三塁側棟　部材リスト・スリット詳細図	B-006	ロッカールーム内観パース
A-035	断面図－１			A-136	現場打土留め壁工構造図	S-310	三塁側棟　X5通り ラーメン配筋図･鉄骨詳細図		
A-036	断面図－２			A-137	間知石等練積擁壁標準図	S-401	ＰＣ段床版　ＰＣ･Ｐｃａ部材･工事特記仕様書		
A-037	断面図－３			A-138	間知石等練積擁壁展開図	S-402	ＰＣ段床版　平面・断面割付図		
A-038	天井伏図			A-139	コンクリート擁壁詳細図	S-403	ＰＣ段床版　ＲＣ階段版リスト・詳細図		
A-039	矩計図－１			A-140	道路縦断面図	S-404	ＰＣ段床版　納まり詳細図		
A-040	矩計図－２			A-141	道路横断面図－１	S-405	ＰＣ段床版　配筋図		
A-041	矩計図－３			A-142	道路横断面図－２	S-501	バックスタンド　基礎伏図		
A-042	階段詳細図－１			A-143	仮設計画平面図（参考図）	S-502	バックスタンド　基礎・擁壁詳細図		
A-043	階段詳細図－２				建築　121枚	S-601	スコアボード　梁伏図		
A-044	階段詳細図－３					S-602	スコアボード　軸組図－１		
A-045	建具配置図					S-603	スコアボード　軸組図－２		
						S-604	スコアボード　部材リスト・鉄骨詳細図		

全 191 枚

建築工事特記仕様書 No.1/8

Ⅰ 工 事 概 要

1．工事名称　中山公園野球場整備工事（建築）
2．工事場所　岐阜県高山市山田町　地内
3．用途地域　ー
4．防火地域　・防火地域　・準防火地域　⊙指定なし　・
5．工事種別　⊙新　築　・増　築　・改　修　・耐震改修　・
6．敷地面積　32,422.23 ㎡
7．建物概要
　1）構　造　鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　一部　鉄骨造
　2）面　積　建築面積 ：1,042.65 ㎡　延べ面積 ：1,783.79 ㎡

床面積			
	1F	： 1,020.29 ㎡	：
	2F	： 763.50 ㎡	：
		：	：
		：	：

　3）工事内容　本体工事、造成工事、外構工事、植栽工事、解体工事

8．別途工事　⊙電気設備工事　⊙機械設備工事　⊙人工芝工事

※本工事の工期は設備工事の工期と工事検査期間としての14日を含んでいる。
※契約締結後 14 日以内に実施工程表を提出する。
9．消防法に基づく防火対象物　消防法施行令別表一　（　7　）項

Ⅱ 建 築 工 事 仕 様

1. 共通仕様
（1）この特記仕様書、図面及び現場説明書（質疑応答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（最新版）{以下「標仕」という}、公共建築改修工事標準仕様書（最新版）{以下「改標仕」という}、公共建築木造工事標準仕様書（最新版）による。
電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
（2）設計図書間に相違がある場合の優先順位は次による。
　1）質疑回答書
　2）現場説明書
　3）特記仕様書
　4）標準特記仕様書（添付された場合に限る）
　5）図面
　6）標仕
　7）改標仕
2. 特記仕様
（1）項目は、番号に◯ 印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
　⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　⊙ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）特記事項に記載の（別　　）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。
（5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。
（6）Ⓖ 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章	項		特　記　事　項
① 一般共通事項	①	適用基準等	⊙建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修　最新版） ⊙工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ⊙建築物解体工事共通仕様書、同解説（最新版）
	②	工事実績データ作成	工事実績データの作成、登録　（請負金額500万円以上の場合をいう）受注時又は変更時において、工事実績情報サービス(CORINS)入力システム（(財)日本建設情報総合センター）に基づき、受注、変更、完成後１０日以内に、訂正時は適宜、登録機関に登録申請しなければならない。（ただし、工事請負金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注・訂正時のみ登録するものとする。また、（財）日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が１０日に満たない場合は変更時の提出を省略できる。
	③	概成工事	総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。　(1.2.1)
	④	適用区分	⊙建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 ※風速（Vo＝　30　） ※地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ） ⊙積雪区分　建告示第1455号　別表（　）1.2m
	⑤	施工計画書 施工図等	※次に該当する工事の施工計画書、施工図等を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。 ⊙仮設工事　・鉄骨ﾌﾞﾚｰｽ工事　・増設RC壁設置工事　・柱打増し工事　・ｽﾘｯﾄ設置工事　⊙撤去工事 ⊙土工事　⊙地業工事(地盤改良含む)　⊙鉄筋工事　⊙ｺﾝｸﾘｰﾄ工事　⊙鉄骨工事　・ALCﾊﾟﾈﾙ工事 ⊙防水工事　⊙石､ﾀｲﾙ､左官工事　⊙木工事　⊙屋根及びとい工事　⊙金属工事　⊙建具工事　⊙塗装工事 ⊙内外装工事　⊙ﾕﾆｯﾄ工事　⊙外構工事　⊙解体工事　・耐震工事　・ｱｽﾍﾞｽﾄ処理　⊙造成工事 ⊙その他監督員の指示するもの
	⑥	施工管理技術者	※　適用する　・　適用しない　(1.3.2)
	⑦	電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　(1.3.3)
	8	条件明示項目	⊙要　・不要　(1.3.5)

章	項		特　記　事　項
① 一般共通事項	⑨	施工中の安全確保及び環境保全	※次の工種の工事を施工する場合は、工事車両の通行する各所に保安員を配置して通行者の安全確保を図る。　(1.3.7) ⊙仮設工事　⊙ｺﾝｸﾘｰﾄ工事　⊙鉄骨工事 ⊙主要資材の搬入搬出が頻繁に行われる時　⊙その他必要と認められる時
	⑩	発生材の処理等	産業廃棄物の適正処理について 受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現場確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分場に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。 ※引き渡しを要するもの　（・金属類　・ＰＣＢ含有物　） ⊙特別管理産業廃棄物　（※廃石綿　） ・現場にて再利用を図るもの（　） ・再生資材の活用を図るもの　（　） ⊙アスベスト成型板としての処理を要するもの　⊙アスベスト含有分析調査を要する建材 ※解体特記による　※解体特記による ・ＰＣＢ含有シーリング材の分析調査 ⊙ＰＣＢ事前調査報告書（結果：含有なし）は着工前に発注者より提供する ・第一次調査 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否の判定を行う 採取箇所数（計　箇所） 採取場所　（※図示　） ・第二次調査 専門分析機関にてＰＣＢ含有の分析を行う 分析個数　（計　個） ・除去処理工事 撤去工法　「標準施工要領書(日本シーリング工業共同組合連合会/日本日本シーリング材工業会）」による。 除去範囲　（※図示　・　） ※建設副産物情報交換システム 本工事は、建設副産物情報交換システム（以下「システム」という。）の登録対象工事であり、請負者は、施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行うものとする。監督職員への報告（提出）はシステムにより作成した［再資源利用計画書（実施書）］及び［再資源利用促進計画書（実施書）］により行うものとする。 本工事の施工にあたっては「建築工事における建設副産物管理マニュアル」を参考に適切な処理に努めるものとする。 ※特定建設資材の再資源化等 本工事が、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法第104条　以下「建設リサイクル法」という。）施行令又は、都道府県が条例で定める建設工事等であって、その規模に関する基準以上の工事（以下「対象工事」という。）である場合は、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずるものとする。 また、分別解体・再資源化の完了時に、再資源化等完了した年月日、再資源化をしたしせつの名称及び所在地、再資源化に要した費用を書面にて監督職員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン(平成14年5月)」に定めた様式１［再生資源利用計画書（実施書）］及び様式２［再生資源利用促進計画書（実施書）］を兼ねるものとする。 本工事が、「建設リサイクル法」の対象工事外である場合においても前記に準じ適切な措置を講ずるものとする。
	⑪	既存部分への措置	工事の施工に伴い、既存築造物部分、工事目的物の施工済み部分等に汚染又は損傷を与えた場合は、請負者の責任において構造及び仕上げを原型に復旧する。
	⑫	材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、ＪＩＳ及びＪＡＳマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（１）～（６）の事項を満たすものとする。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 仕様資材（木材）について 本工事において使用する木材は、岐阜証明材推進制度実施要領（平成19年1月24日付県流第463号林政部長通知。以下「要領」という。）第12条により証明された木材を使用すること。 ただし、岐阜証明材推進制度による証明運用開始（平成19年4月1日）前に出荷等されている木材で、岐阜県産材認証制度要綱（平成13年8月1日森第351号農山村整備局長通知。平成19年3月31日付で廃止。）第８条による認証を受けたものについては、要領第１２条により証明されたものとみなす。 使用木材は県産材とし、可能な限り高山市産材を使用すること。 本工事において、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は、高山市内に本店を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料は高山市内での生産品（高山市内での生産のないものにあっては、岐阜県産）を選定するよう努めること。 室内に使用する合板、接着剤等は揮発性有機化合物（ＶＯＣ）の放出量の少ない材料とし、監督員の承諾を受けること。
	⑬	環境への配慮	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の１）から５）を満たすものとする。 １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ３）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

章	項		特　記　事　項
① 一般共通事項			５）１）、３）及び４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｂ．接着剤等不使用 ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ｄ．ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ｆ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧ＪＩＳのＥｏ規格品 ④旧ＪＡＳのＦｃｏ規格品
	⑭	特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑮	技能士	適用工事種別 ／ 技能検定の職種　(1.5.2) 仮設工事：⊙とび作業 鉄筋工事：⊙鉄筋施工（鉄筋組立て作業） コンクリート工事：⊙型枠施工 鉄骨工事：⊙とび　⊙ガス溶接作業　⊙組立 ブロック・ALCパネル工事：・ブロック建築　・ALCパネル施工 防水工事：・アスファルト防水工事作業　⊙合成ゴム系シート防水工事作業 ⊙塗膜防水工事作業　⊙シーリング防水工事作業 石工事：・石材施工（石張り施工） タイル工事：⊙タイル張り 木工事：⊙建築大工 屋根及びとい工事：⊙建築板金（内外装板金作業） 金属工事：⊙内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） 左官工事：⊙左官 建具工事：⊙サッシ施工　⊙ガラス施工　・自動ドア施工 カーテンウォール工事：・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工 塗装工事：⊙塗装（建築塗装作業） 内装工事：⊙プラスチック系床仕上げ工事作業 ⊙ボード仕上げ工事作業　・表装（壁装作業） 植栽工事：⊙造園
	⑯	施工の検査等	監督員の指示による　(1.5.5)
	⑰	施工の立会等	監督員の指示による　(1.5.7)
	⑱	施工調査	⊗施工計画調査 本工事当該部位及び関連部位について既存施設(埋設配管等を含む)について事前調査、情報収集を行う。 ⊙埋設配管の試掘　※行わない　⊙行う（範囲、復旧方法　・図示　・　） ・外壁改修施工数量調査　※既存支所南側に埋設されている高圧幹線の位置をあらかじめ確認すること 調査範囲　・全面　・図示 調査項目　・ひび割れ部 （幅0.2mm未満、0.2～0.3mm未満、0.3～0.5mm未満、0.5～1.0mm未満、1.0mm以上） ・はがれ及び剥落部、浮き部 ・シーリング剥離等 ・ 調査方法　目視及びミリスケール等 足場　※「２章仮設工事１足場」による ・防水改修施工数量調査 調査範囲　・全面　・図示 調査項目　・図示 調査方法　・図示 報告書　監督職員に３部提出する（立面図等に記載、必要に応じ写真を添付） 調査業者　外壁、防水については、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	特記仕様書-1		
縮　尺	―	番　号	121 枚の内 A001号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

高　山　市

建築工事特記仕様書 No.2/8

章	項	特記事項

① 一般共通事項

⑲ 化学物質の濃度測定

下記化学物質について厚生労働省の指針値以下であることを指定検査センターにて検査確認し、工期内に報告すること。
又、濃度が基準値以上だった場合は、請負業者が直ちに原因を特定し汚染源の除去を行い再度検査確認をする。除去及び再検査に要した費用は全て請負者の負担とする。

測定対象化学物質	厚労省の指針値(25℃の場合)
ホルムアルデヒド	100μg/m3 (0.08ppm) 以下
トルエン	260μg/m3 (0.07ppm) 以下
キシレン	200μg/m3 (0.05ppm) 以下
スチレン	220μg/m3 (0.05ppm) 以下
エチルベンゼン	3800μg/m3 (0.88ppm) 以下

検査確認場所
測定箇所数　・図示　⊙計３ヶ所（計４点）
⊙本部１点、医務室１点、ﾛｯｶｰ室（1室）２点

測定回数　・着工前　※着工後　１回以上
測定方法　※パッシブ採取による蒸気拡散式分析法　・厚生労働省の標準法
換気　測定対象室を３０分間換気した後、すべて窓及び扉を５時間閉鎖する。
ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は開放したままとする。
測定　測定は、次のイからロによる。
イ）測定は、「閉鎖」の状態のままで行う。
ロ）測定時間は、原則として２４時間とする。但し２４時間測定が行えない場合は、８時間測定（１０時３０分～１８時３０分）とする。
測定位置は、室中央付近の床から１．２ｍ～１．５ｍの高さとする。

㉖ 完成時の提出書類

⊙高山市ホームページに指定する。
⊙完成図（施工図、施工計画書を除く）　※新規に作成　・既存完成図を修正
記載内容について、監督職員と協議する。
完成図ＣＡＤデータ（ＣＤ－Ｒ）
⊙保全に関する資料（提出部数　※２部　・各　部）
⊙施工図
本工事に係る施工図の著作者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。
提出部数は、施工図の原図及びその陽画複写図（１部）とする。ただし、製作図で原図として提出ができないものは、原図にかわるものとしてよい。

㉑ 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ（mm）
⊙カラー　※キャビネ版 ※べた焼	外部（　）内部（　）	※2　・6	※100×125以上 ・
（他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）			
※カラー半切木製パネル 324×400（mm）	外部（　）内部（各室② その他監督職員の指示による	※ 2	
⊙電子データ	外部（　）内部（　）	※ 2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者（ただし､建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

㉒ 設備工事との取合い

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。

㉓ 設計ＧＬ

※図示　・設計ＧＬ＝現状ＧＬ

㉔ 工事写真

・「営繕工事電子納品要領（令和３年改訂版）」による。

② 仮設工事

① 工事現場仮囲い

現場仮囲い　・ナイロンロープ張り　・木製仮囲い　⊙鋼製仮囲い　・しない

② 監督員事務所 (2.3.1)

監督員事務所の概要
・設ける（　㎡程度）　⊙設けない
・備品等（・冷房　・暖房　・冷暖房　・机、椅子　・WiFi通信　・　）

③ 受注者事務所等

受注者事務所等　⊙敷地内へ建てることができる。　・できない

④ 工事用水 (2.3.1)

構内既存の施設　・有償で利用できる（副メーター設置等）　・無償で利用できる　⊙利用できない

⑤ 工事用電力

構内既存の施設　・有償で利用できる　・無償で利用できる　⊙利用できない

⑥ 引渡しまでの光熱水費

光熱水費　⊙本引込みより引渡しまでの基本料金　※受注者負担　・別途
⊙本引込みより引渡しまでの使用料金　※受注者負担　・別途

⑦ 安全対策

工事中は施設利用者の安全確保に努め，仮囲い等の適切な措置を図る。
敷地内の工作物は必要に応じて養生を行い，被害を及ぼした場合は受注者の責任にて復旧する。

⑧ 足場その他 (2.2.4)

※組足場を設ける場合は，「「手すり先行工法に関するガイドライン」について　」（厚生労働省平成21年 4月）の手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし，足場の組立，解体，変更の作業は，「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(２)手すり据置方式又は(３)手すり先行専用足場方式により行う。

⑨ 現況確認

工事の着手に先立ち，関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

⑩ 工事現場の表示 (2.3.1)

現場の見えやすい位置に，監督員が指示する次の表示板（1200mm×900mm以上）を設置する。
※工事名称，発注者等を示す表示板　⊙工事概要等の説明看板
⊙発注者が提供する完成予想パース

③ 土工事

① 埋戻し及び盛土 (3.2.3)(表 3.2.1)

種　別　・Ａ　種　※Ｂ　種　・Ｃ　種　・Ｄ　種
・リサイクルプラントが販売する処理土
Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う。
※ 場内発生良質土1,500m3程度を仮置きし、埋戻し土に転用する

② 建設発生土の処理 (3.2.5)

※構外搬出適切処理 ~~(再資源化処理施設～搬入する)~~　・構内指示の場所に敷きならし
・構内指示の場所に堆積　・構外指示の場所に処分

③ 建設発生土処分先 (3.2.5)

※当該工事により発生する建設発生土は，次の公の関与する埋立地に搬出するものとする。
搬出場所　関係法令等に従い，適切に処理する公の関与する埋立地に搬出するものとする。
搬出先は，処分状況が確認できるよう，写真撮影を行うとともに，計量伝票等を報告書にまとめ監督員に提出する。
⊙残土処分地：高山市前原町363番地 大山土木(株)所有地

④ 地業工事

① ※構造図優先
基礎

基礎の種類　・ベタ基礎　⊙布基礎　⊙独立基礎　・構造設計標準仕様書 4章 (1)直接基礎による
※直接基礎（　⊙地盤改良（　⊙表層改良　・鋼管改良　⊙柱状改良　・　））
支持地盤の位置及び種類（ラップルコンクリートの底面位置含む）
※構造図による
支持地盤の設計地耐力　300 KN／㎡
・杭基礎　・構造設計標準仕様書 4章 (2)杭基礎による
支持地盤の位置及び種類（基礎ぐいの先端位置含む）
※構造図による（試験杭位置含む）

② 試験及び報告書 (4.2.2～4.2.4)

試験杭　位置，本数及び寸法　⊙最初の１本　・図示による
杭の載荷試験　※行わない　・図示による
地盤の載荷試験　※行わない　・図示による

3 既製コンクリート (4.3.2)(4.3.6)

設計支持力　KN／本（φ　）
杭地業
支持力の算定方法　※平成１３年国土交通省告示第１１１３号による。
支持地盤の位置及び種類　※図示による　・
杭の水平方向への位置ずれの精度　※図示による　・

杭の種類の記号	・ＰＨＣ杭		
杭の種類	遠心力高強度プレストレストコンクリート杭		
規格・材質など	・JIS規格品　・評価品 ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種		
長さ (m)			
断面寸法 (mm)			
長期設計支持力(KN／本)			
継手工法	・なし　・あり（　箇所） ・アーク溶接　・無溶接継手（　）		
先端部形式及び形状	・開放形　・閉そく平たん形		

(4.3.7) 杭頭の処理　※行わない　・行う
工法
(4.3.4)
・セメントミルク工法
支持地盤への掘削深さ　m　根入れ深さ　m
(4.3.5)
・特定埋込杭工法　定められた条件に基づく責任施工とする。
・プレボーリング拡大根固め工法
・中堀り拡大根固め工法
・回転根固め工法

4 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.1)(4.5.2)(4.5.4)

施工管理技術者　※適用する　・
工法　・アースドリル工法　・リバース工法
・オールケーシング工法　・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
・拡底杭工法　・
鉄筋 (4.5.3)
鉄筋の種別　※５章「鉄筋工事」による。
帯筋　※図示による　・
最小かぶり厚さ　・100 mm　・125 mm　・　mm
コンクリート (表4.5.1)
設計基準強度　N／mm²
コンクリートの種別　・Ａ　種　・Ｂ　種
構造体強度補正値(S)　※図示による　・３N／mm²
孔壁の測定
孔壁の超音波測定　・適用する　・適用しない

⑤ 砂利及び砂地業 (4.6.3)(4.6.2)

厚さ（mm）　※60　⊙100　・50　・構造設計標準仕様書 4章 (4)各部の地業による
材料　・直接基礎　※切込砂利又は切込砕石
・その他　※再生クラッシャラン
・構造設計標準仕様書 4章 (4)各部の地業による

⑥ 捨コンクリート地業 (4.6.4)

厚さ（mm）　※50　・30　・　・構造設計標準仕様書 4章 (4)各部の地業による

⑦ 床下防湿層 (4.6.5)

材料
⊙ポリエチレンフィルム　厚さ（mm）　※0.15 mm　・

⑧ 断熱材

断熱材　押出法ポリスチレンフォーム3種b t50
※ 19章「内装工事」９項「断熱材」による。

9 試掘

⑤ 鉄筋工事

① ※構造図優先
鉄筋の種別 (表5.2.1)

※JIS G 3112 のJIS表示認証製品
鉄筋の種別　⊙下記表による　・構造設計標準仕様書 2章 (3)鉄筋の表による

類別	種別	径 (mm)
異形鉄筋	⊙ SD295	Ｄ16以下
	⊙ SD345	Ｄ19以上
丸鋼	・ SR235	

② 溶接金網 (5.2.2)

※JIS G 3551 のJIS表示認証製品
溶接金網　⊙下記による　・構造設計標準仕様書 2章 (3)鉄筋の表による
網目の形状，寸法及び径（mm）　⊙ 100x100x6

⑤ 鉄筋工事

施工場所（　）

③ 柱・梁の鉄筋の継手 (5.3.4)

鉄筋の継手　・構造設計標準仕様書 2章 (3)鉄筋の表による
⊙ガス圧接（SD295は不可）　⊙重ね継手　・機械式継手　・溶接継手
継手位置　※鉄筋工事仕様書による。　・各部配筋参考図　・

④ 梁貫通孔補強

貫通孔補強　※鉄筋工事仕様書による。　・各部配筋参考図　・

⑤ 圧接完了後の検査 (5.4.9)

検査方法　※超音波深傷試験　・引張試験

⑥ 柱の帯筋

柱の帯筋　・構造設計標準仕様書 5章 (2)柱の帯筋(HOOP)の加工方法による
・組み立ての形はＳＰ形とする。（鉄筋工事仕様書による）
・Ｈ型（タガ型）　・W型（溶接型　・Ｉ形　・Ⅱ形　・Ⅲ形）　・丸形
⊙構造図による

⑥ コンクリート工事

① ※構造図優先
コンクリートの強度 (6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)

コンクリート　⊙構造図による　・構造設計標準仕様書 2章 (1)コンクリートの表による
※普通コンクリート

設計基準強度 Fc（N／mm²）	スランプ (cm)	適用箇所
※ 21	18	
・ 21	15	

(6.10.1～6.10.4)
※軽量コンクリート

設計基準強度 Fc（N／mm²）	種類	スランプ (cm)	適用箇所
	・１種　・２種		

※構造体コンクリートの強度は，材令91日において設計基準強度以上とする。
※屋根床版のスランプは 15 cmとする。

② コンクリートの類別 (6.2.1)(表6.2.1)

※ Ⅰ 類　・ Ⅱ 類

③ 水セメント比 (6.3.2)

※最大値は65%とする（低熱ポルトランドセメント及び混合セメントＢ種の場合は60%）

④ コンクリート中の塩化物量 (6.3.2)

※0.30kg／m³以下

⑤ コンクリートのアルカリ総量 (6.5.4)

・アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し，
コンクリート中の総アルカリ量を 3.0 kg／m³ 以下とする。

⑥ コンクリートの仕上り (6.2.5)(表6.2.3)(6.9.6)

打放し仕上げの種別
※合板せき板を使用する場合

種別	せき板の種類	表面・せき板の程度	適用箇所
・ Ａ種	ＪＡＳ（表面加工品）	表6.2.4	※ 図示　・
※ Ｂ種	ＪＡＳ　Ｂ－Ｃ	表6.2.4	・
・ Ｃ種	ＪＡＳ　Ｂ－Ｃ	表6.2.4	・

⑦ コンクリートの材料 (6.3.1)

セメント　※普通ポルトランドセメント　・混合セメントA種
混和材料　※ＡＥ剤，ＡＥ減水剤又は高性能ＡＥ減水剤（ＪＩＳ Ａ6204）
※フライアッシュ（ＪＩＳ Ａ6201）Ⅰ種，Ⅱ種若しくはⅣ種
※高炉スラグ微粉末（ＪＩＳ　A6206）
※シリカフューム（ＪＩＳ　A6207）又は膨張材（ＪＩＳ　A6202）

⑧ コンクリート製造工場の選定 (6.4.1)

※コンクリート製造工場の選定は，監督員の承諾を受ける。

⑨ 強度 (6.3.2)(表6.3.2)

構造体強度補正値　S（N／mm²）

セメント	地域	4～10月 全て	11月 上旬	11月 中旬	11月 下旬	12月 上旬	12月 中旬	12月 下旬	1月 上旬	1月 中旬	1月 下旬	2月 上旬	2月 中旬	2月 下旬	3月 上旬	3月 中旬	3月 下旬
普通ポルトランドセメント	一般地域	3.0				6.0											3.0
早強ポルトランドセメント	北部地域	3.0					6.0						3.0				
	その他	3.0							6.0				3.0				

・一般地域：
・北部地域：
・その他　：
⊙飛騨地域基準による
※日平均気温の平年値が25度を超える期間にコンクリートを打ち込む場合
構造体強度補正値　S（N／mm²）　6.0　N／mm²

10 暑中コンクリート (6.12.1～6.12.4)

11 寒中コンクリート (6.11.1～6.11.6)

適用期間（　）

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図名	特記仕様書-2		
縮尺	―	番号	121 枚の内 A002号
設計年月日	令和７年３月		
設計	(有)斐太プランニングー級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

高　山　市

建築工事特記仕様書 No.3/8

章	項	特記事項

⑥ コンクリート工事

※構造図優先

⑫ コンクリートの強度試験 (6.9.1～6.9.5)
※「建築標準仕様書」表 6.9.2 による。

⑬ 外部に面するコンクリート打放し仕上
※打増厚さ（mm）　※20　⊙図示による

⑭ 型枠のせき板 (6.8.3)
せき板の材料　※合板（12mm）　・合板（15mm）　・
・床型枠用鋼製デッキプレート　（ 実績等の資料を提出 ）
・メッシュ型枠　（ 25mm以下かつ熱抵抗値 1mh℃／Kcal以上 ）
・断熱材兼用型枠　（ ）
・ＭＣＲ工法用シート（ 気泡発泡ポリエチレンシート ）

15 マスコンクリート (6.13.2)
セメントの種類　（ ）
適用箇所　（ ）

16 水密コンクリート

水セメント比（ ／wt）	スランプ（cm）	適用箇所
※ 50 ・	※ 15 ・	

17 打継部
止水板　止水ゴムの製造所　（ ）
適用箇所　（ ）
打継ぎ目地　※図示　・幅２０mm以上　深さ１０mm以上　・

18 無筋コンクリート (6.14.1～6.14.3)
適用箇所　・図示　※「建築標準仕様書」 6.14.1 による
粗骨材の最大寸法（捨コンクリート及び防水保護コンクリートの場合）　※25mm　・
コンクリートの品質

種類	設計基準強度 Fc（N／mm²）	スランプ（cm）	適用箇所
普通コンクリート	18	・ 15 ・ 18	・捨コン　・配管埋設用コンクリート
		・ ・	

19 流動化コンクリート (6.15.1～6.15.3)
・適用　（ ）

⑦ 鉄骨工事

※構造図優先

① 鉄骨製作工場及び施工管理技術者 (7.1.3～7.1.4)
鉄骨製作工場
・構造設計標準仕様書 6章 (2)製作工場による
⊙次表による加工能力のある工場　・監督員の承諾する工場

製作工場の加工能力	建築基準法第７７条の４５第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター　又は（社）全国鐵鋼工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「Ｒグレード」以上として国土交通大臣から認定を受けた工場又工事現場対象地域の都道府県の鉄構工業会会員企業の工場

施工管理技術者　※適用する　・適用しない

② 鋼材 (7.2.1)(表7.2.1)
鋼材の種類
⊙次表による鋼材　・構造設計標準仕様書 2章 (4)鉄骨鋼材表による

材質	規格		使用箇所
⊙SS 400 ・SM 400	※ＪＩＳ規格品	・ＪＩＳ規格品以外	⊙図示 ・
⊙SSC 400 ・	※ＪＩＳ規格品	・ＪＩＳ規格品以外	⊙図示 ・
⊙STK 400 ⊙STKR 400	※ＪＩＳ規格品	・ＪＩＳ規格品以外	⊙図示 ・
⊙BCR 295 ・BCP 325	・ＪＩＳ規格品	※ＪＩＳ規格品以外	⊙図示 ・
⊙SN490C	・ＪＩＳ規格品	・ＪＩＳ規格品以外	⊙図示 ・
・SN490B	・ＪＩＳ規格品	・ＪＩＳ規格品以外	・図示 ・
	・ＪＩＳ規格品	・ＪＩＳ規格品以外	・図示 ・
	・ＪＩＳ規格品	・ＪＩＳ規格品以外	・図示 ・
	・ＪＩＳ規格品	・ＪＩＳ規格品以外	・図示 ・

ＪＩＳ規格品以外の場合　※試験を行う　・試験を行わない
※BCR 295 及び BCP 325 は 一般社団法人日本鉄鋼連盟の製品規定で大臣認定品とする
BCR295：「建築構造用冷間ロール成形角形鋼管」BCRは、200mm×6mm～550mm×25mm
BCP235, 325：「建築構造用冷間プレス成形角形鋼管」BCPは、350mm×12mm～1000mm×40mm
※BCR 295 及び BCP 325 は 監督員の承諾のもと大臣認定品の証明書類一式とメーカーのミルシートにより上記の試験を省略することができる。

③ 高力ボルト (7.2.2)
高力ボルトの種類
・下記による高力ボルト　・構造設計標準仕様書 2章 (5)ボルトによる
⊙トルシア形高力ボルト　（セットの種類　※ ２種（Ｓ10Ｔ）　・ ）
・ＪＩＳの高力ボルト　（セットの種類　※ ２種（Ｆ10Ｔ）　・ ）
・溶融亜鉛めっき高力ボルト（セットの種類　※ １種（Ｐ8Ｔ相当）　・ ）
ボルト径　※図示による。　・

④ 普通ボルト (7.2.3)
普通ボルトの種類
⊙下記による普通ボルト　・構造設計標準仕様書 2章 (5)ボルトによる
ボルト及びナットの材料等　※「建築標準仕様書」表7.2.3 による
・　・
ボルト径　※図示による。　・

⑦ 鉄骨工事

5 アンカーボルトの材質及び設置 (7.2.4)(7.10.3)
アンカーボルトの種類
・下記によるアンカーボルト　・構造設計標準仕様書 2章 (5)ボルトによる
アンカーボルトの材質
構造用アンカーボルト　・ＳＮＲ400　・
建方用アンカーボルト　・ＳＳ400　・
(表7.10.1)
構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法
※図示による。　・
建方用保持及び埋込み方法
・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・その他

⑥ ターンバックル (7.2.6)
胴の種類　※割枠式　・
ボルトの種類　※羽子板ボルト　・

⑦ デッキプレート (7.2.7)
デッキプレートの種類
⊙次表による鋼材　・構造設計標準仕様書 2章 (6)デッキプレートによる

形式	材質・形状・寸法	備考
・構造床		
⊙合成スラブ		
・		
・		

⑧ 柱底均しモルタル (表7.2.6)(7.2.9) (表7.10.2)
柱底均しモルタル
材料　・モルタル　⊙無収縮モルタル
工法　※Ａ種　・Ｂ種
Jロート試験　⊙実施する

⑨ 溶接部の試験 (7.6.11) (表7.6.2～7.6.4)
溶接部の試験及び検査概要
⊙次表による試験　・構造設計標準仕様書 6章 (5)接合部の検査による

試験の種別	適用	備考
※ 超音波深傷試験	・	
・ 浸透探傷試験	・	
・	・	

⑩ 錆止め塗装 (7.8.1～7.8.4)
鉄面　※ＪＩＳ　Ｋ5674　工場　回塗り　現場　回塗り
・構造設計標準仕様書 6章 (6)防錆塗装による
・その他　「建築標準仕様書」表18.7.1鉄鋼面耐候性塗料塗りによる

亜鉛めっき面　※「建築標準仕様書」18.3.2表による。

耐火被覆材の接着面　・行う　・行わない

⑪ 耐火被覆 (7.9.1～7.9.9)
耐火被覆の種類
・構造設計標準仕様書 6章 (7)耐火被覆の材料による
・耐火材吹付け　・耐火板張り　・耐火材巻付け　・ラス張りモルタル塗り
⊙耐火塗料　屋根鉄骨柱　SKﾀｲｶｺｰﾄ　柱1時間耐火

12 亜鉛めっき (7.12.3)
種別
※「建築標準仕様書」表14.2.2のＡ種（軽量形鋼は板厚によりＢ種･Ｃ種とする。）

13 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (7.12.4)
摩擦面の処理　・リン酸塩処理　・ブラスト処理

8 ＣＢ・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1 コンクリートブロック (8.2.2)(8.3.3)
ブロックの種類及び厚さ
・次記の種類及び厚さによる　・構造設計標準仕様書 2章 (2)コンクリートブロック（CB）による
※空胴ブロック16　・　・空胴ブロック16-W　・空洞ブロック08

種類・厚さ	適用箇所	備考

各部の配筋　※図示による。　・

2 ＡＬＣパネル (8.4.2～7) (表8.4.2～4)
ＡＬＣパネルの種類等
・次表の種類及び厚さ等による　・構造設計標準仕様書 2章 (6)屋根、床材、壁による

種類	厚さ(mm)	単位荷重(N／m²)	耐火性能	工法種別
・外壁用				・Ａ種　・Ｂ種
・間仕切用				・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種
・屋根用			30分	「建築標準仕様書」表8.4.4
・床用				「建築標準仕様書」表8.4.4

外壁用，屋根用の建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法　※図示による。
製造所

3 押出成形セメント板(ＥＣＰ) (8.5.2～5) (表8.5.1～2)
押出成形セメント板の種類等

種類	表面形状	厚さ(mm)	耐火性能	取付工法の種別
・外壁	※フラットパネル			・Ａ種　・Ｂ種
	・デザインパネル(図示)			
・間仕切壁	※フラットパネル			・Ｂ種　・Ｃ種
	・デザインパネル(図示)			

外壁用の建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法　※図示による。
製造所

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水 (9.2.2) (表9.2.1～表9.2.10)
防水層の種別及び工程

種別	施工場所	備考

・屋根保護防水層（断熱工法）の断熱材（オゾン層を破壊する物質を使用しないもの）
・材質　※ A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材保温板2種1号（JIS A9511）
・ A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材保温板2種2号（JIS A9511）
・厚さ　・　mm
防水立上り部の保護　・
※乾式保護材　製造所
屋根露出防水絶縁工法の脱気装置
・設けない　※設ける　種類　・平場部脱気型　・立上り部脱気型
・設置数　箇所

2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2～3) (表9.3.1～3)
防水層の種別及び工程

種別	施工場所
AS-2	図示

③ 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9,4.2～4) (表9.4.1)
合成高分子系ルーフィングシート防水の工法，種別及び工程

種別	厚さ	仕上げ塗料	施工場所
S-M1	1.5		屋上平場
S-F1	1.2		屋上立上り

S-F1・S-M1の仕上げ塗料　・カラー　⊙シルバー

(9,4.2～4) (表9.4.2)
合成高分子系ルーフィングシート防水（断熱工法）の工法，種別及び工程

種別	厚さ	仕上げ塗料	施工場所

SI-F1・SI-M1の仕上げ塗料　・カラー　・シルバー

④ 塗膜防水 (9.5.2～4) (表9.5.1)
ウレタンゴム系塗膜防水の種別及び工程

種別	仕上げ塗料	施工場所
超速硬化ｳﾚﾀﾝ		図示

脱気装置（種別Ｘ－１）　・設ける　・設けない
種類　主要材料　製造所の仕様による。
・設置数量　箇所　・

5 ケイ酸質系塗膜防水 (9.6.2～4) (表9.6.2)
ケイ酸質系塗布防水層の種別及び工程

種別	仕上げ塗料	施工場所

工法　※C-UI　・C-UP

6 漏水試験
※屋内については水張り試験を行う。

⑦ シーリング用材料 (表9.7.1)
被着体の組合せとシーリング材の種類

被着体の組合せ			シーリング材の種類（注）1 記号	主成分による区分
⊙金属	⊙金属	方立目地	ＳＲ－２	シリコーン系
		上記以外の目地	ＭＳ－２	変成シリコーン系
	⊙コンクリート			
	・ガラス		ＳＲ－１	シリコーン系
	・石，タイル		ＭＳ－２	変成シリコーン系
	・ＡＬＣ	・仕上げなし	ＭＳ－２	変成シリコーン系
		（注）２	ＰＵ－２	ポリウレタン系
	・押出し成形セメント板		ＭＳ－２	変成シリコーン系
・ポリ塩化ビニル樹脂形材（樹脂製建具）（注）６	・ポリ塩化ビニル樹脂形材（樹脂製建具）（注）６		ＭＳ－２	変成シリコーン系
	・コンクリート			
	・ガラス		ＳＲ－１	シリコーン系
	・石，タイル		ＭＳ－２	変成シリコーン系
	・ＡＬＣ	・仕上げなし	ＭＳ－２	変成シリコーン系
		・仕上げあり（注）２	ＰＵ－２	ポリウレタン系
	・押出成形セメント板		ＭＳ－２	変成シリコーン系
⊙ガラス	⊙ガラス		ＳＲ－１	シリコーン系
・石	・石		ＰＳ－２	ポリサルファイド系
⊙コンクリート	・プレキャストコンクリート		ＭＳ－２	変成シリコーン系
	⊙打継目地 ひび割れ 誘発目地	・仕上げなし	ＰＳ－２	ポリサルファイド系
		・仕上げあり（注）２	ＰＵ－２	ポリウレタン系
	・石，タイル		ＰＳ－２	ポリサルファイド系
	・ＡＬＣ	・仕上げなし	ＭＳ－２	変成シリコーン系
		・仕上げあり（注）２	ＰＵ－２	ポリウレタン系
	・押出し成形セメント板	・仕上げなし	ＭＳ－２	変成シリコーン系
		・仕上げあり（注）２	ＰＵ－２	ポリウレタン系
・ＡＬＣ	・ＡＬＣ	・仕上げなし	ＭＳ－２	変成シリコーン系
		・仕上げあり（注）２	ＰＵ－２	ポリウレタン系

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）
図名	特記仕様書-3
縮尺	― 　番号 121 枚の内 A003号
設計年月日	令和７年３月
設計	(有)愛太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹

高　山　市

建築工事特記仕様書 No.4/8

章	項	特記事項

⑨ 防水工事

・押出し成形セメント板	・押出し成形セメント板	・仕上げなし	ＭＳ－２	変成シリコーン系
		・仕上げあり（注）２	ＰＵ－２	ポリウレタン系
⊙水回り	・浴室，浴槽 ⊙キッチン，キャビネット回り ⊙洗面，化粧台回り		ＳＲ－１	シリコーン系（注）３
・タイル	・タイル	（注）３	ＰＳ－２	ポリサルファイド系
・アルミニウム製建具等の工場シール		（注）４		

（注）1.シーリング材の種類は，JIS A5758（建築用シーリング材）による。
2.「仕上げあり」とは，シーリング材表面に仕上塗材，吹付け又は塗装等を行う場合を示す。
3.防かびタイプの１成分形シリコーン系とする。
4.現場施工のシーリング材と打継が発生する場合の工場シーリング材を示す。
5.材料引張強度の低いものは，50 %モジュラスが材料引張強度の 1/2以下のものを使用する。
なお，被着体がＡＬＣパネルの場合は，50 %モジュラスが0.2N／mm²以下とする。
6.ポリ塩化ビニル樹脂形材は，JIS A5558（無可塑ポリ塩化ビニル製建具用形材）による。
7.異種シーリング材が接する場合は，監督員と協議する。

⑧ シーリング材の試験 (9.7.5)
接着性試験
※簡易接着性試験　・引張接着性試験

⑨ 保証年限
・アスファルト防水　10年
⊙合成高分子系ルーフィングシート防水　10年
⊙塗膜防水　10年
・　年
・　年

10 石工事

1 天然石 (10.2.1)
・石材の品質　床　※２等品　・
その他　※１等品　・
(10.2.1)(10.2.2)
・石材の種類及び表面仕上げ

施工箇所	種類・産地・名称	厚さ	仕上げの種類	工法
・				
・				
・				
・				

建築基準法に基づき定められた風速（V0）及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分
※図示による　・適用しない

2 取付け金物 (10.2.2)(表10.2.4)
乾式工法用金物式
・スライド方式　・ロッキング方式

3 その他の材料 (10.2.3)
・石裏面処理材　（　）
・裏打ち処理材　（　）
・ドレンパイプの材質　（　）
・金物固定充填材料　（　）
・　（　）
・　（　）

⑪ タイル工事

1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)
・外壁の伸縮目地
・図示による　※「建築標準仕様書」表11.1.1 による。
※下地ひび割れ誘発目地，打継ぎ目地，構造スリットの位置及び他部材との取合い部には，誘発目地を設ける。

2 施工後の確認及び試験 (11.1.5)
※打診による確認
※屋外のタイル張り及び吹抜け部分　・
・接着力試験　試験体の位置（　）

③ 陶磁器質タイル張り (11.2.2～11.4.2)
タイルの種類　※標準色　・特注色
役物使用箇所　※各部の形状は図示による

内　装	出隅　天端　（標準一体成型品以外は接着成型品とする）
外　装	出隅，窓台，マグサ

タイルの試験張り　※行わない　・行う（　）
タイルの見本焼き　※行わない　・行う（　）
(11.2.2～11.3.7)
・下地コンクリート素地面

適用タイル	躯体表面	下地モルタル塗り	工法
・小口タイル ・二丁掛タイル	・ＭＣＲ工法 ・目荒し工法（高圧水洗）	※ポリマーセメント ・モルタル下塗り ・行わない	※密着工法 ・改良圧着張り ・接着剤張り

ＭＣＲ工法
ＭＣＲ工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による。
施工箇所の躯体の増打ちは，図示による。
目荒し工法
高圧水洗による目荒しは，５０Ｎ／mm²の水圧で２．５分／m²とし，仕上り面の程度は監督員の承諾を受ける。
施工箇所の躯体の増打ちは，図示による。
ポリマーセメントモルタルの調合は，「建築標準仕様書」15.2.3(b)による。

11 タイル工事

4 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り (表11.2.2)
・タイル張りの種類及び工法

施工箇所		形状（mm）	きじ	うわぐすり	工法
壁					※密着張り
壁					・改良積上げ張り
壁					・改良圧着張り
壁					・ユニットタイル
床					・ユニットタイル
床					・その他のタイル

5 接着材による陶磁器質タイル張り (11.3.1)(11.3.2)
・タイル張りの種類及び工法

施工箇所	形状（mm）	きじ	うわぐすり	その他

(11.3.3)
・有機質接着剤の種類　・タイプⅠ　・タイプⅡ　・その他（　）

⑥ 目地
⊙抗菌目地

⑫ 木工事

① 適用基準等
・構造設計標準仕様書（令和元年版）7章 木造工事による
・「建築標準仕様書」12.1.1 ：内装の木下地，木造作及び木仕上げの工事
・木造建築工事標準仕様書（官庁営繕関係統一基準）：軸組工法等の木造建築工事に適用
・住宅金融支援機構【フラット３５】対応　木造住宅工事仕様書（最新版）の木造躯体工事
・２０１７年　木造軸組工法住宅の許容応力度設計：（財）日本住宅・木材技術センター
・木造建築工事標準仕様書（官庁営繕関係統一基準）：枠組壁工法の木造建築工事に適用
・住宅金融支援機構【フラット３５】対応　枠組壁工法住宅工事仕様書（最新版）の木造躯体工事
・２０１８年　枠組壁工法建築物設計の手引き：（社）日本ツーバイフォー建築協会
・木造建築工事標準仕様書（官庁営繕関係統一基準）：丸太組構法工事の木造建築工事に適用
・図示（関連図名：　）
・枠組壁工法の構造耐力上主要な特記仕様書（平成29年版）
・枠組壁工法１階床枠組特例標準図（平成29年版）
・枠組壁工法構造詳細標準図（平成29年版）
・枠組壁工法技術基準図（平成29年版）
⊙ 使用木材は県産材とし、可能な限り高山市産材を使用すること。

② 寸法
図面上の寸法は構造材はひき立て寸法，造作材は仕上り寸法とする。

③ 表面仕上げ (12.1.4)(表12.1.1)
見え掛り面の表面仕上げ　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種

④ 木材の含水率 (12.2.1.i)(表12.2.1)
木材の含水率の概要
下地材　※Ａ種　・Ｂ種
造作材　※Ａ種　・Ｂ種

⑤ 製材
「製材の日本農林規格」による製材
・下地用針葉樹製材　樹種,寸法,等級,形状(板類耳付･押角)

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状(板類耳付･押角等)
			・１級　※２級	
			・１級　・２級	
			・１級　・２級	
			・１級　・２級	

⊙造作用針葉樹製材　樹種,寸法,等級,形状(板類･角類)

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状(板類･押角等)
天井	スギ	t20x100	・無節　※上小節　⊙小節	板類
天井	スギ	t9x100	・無節　・上小節　⊙小節	板類
格子	ヒノキ	図示	・無節　⊙上小節　・小節	押角
			・無節　・上小節　・小節	

・広葉樹製材　樹種,寸法,等級,形状(耳付材の有無)

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状(耳付材の有無)
			・特等　※１等　・２等	
			・特等　・１等　・２等	
			・特等　・１等　・２等	
			・特等　・１等　・２等	

「製材の日本農林規格」以外による製材
・下地,造作及び仕上げに用いる製材　樹種,寸法,材面の品質,防虫処理,難燃処理

施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	難燃処理

(表12.2.2)
・造作材の材面の品質　※Ａ種　・Ｂ種

12 木工事

6 造作用集成材 (12.2.1.C)
ホルムアルデヒドの放散量　※Ｆ☆☆☆☆（※１）　・Ｆ☆☆☆
※１：Ｆ☆☆☆☆又はホルムアルデヒド放散量表示がない場合は，塗装していないものにあっては「非ホルムアルデヒド系接着剤使用」塗装したものにあっては「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用」

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材　単材の樹種及び厚さ

施工箇所	樹種	単材の厚さ（mm）	施工箇所	樹種	単材の厚さ（mm）

・化粧ばり造作用集成材

施工箇所	見付け材面の品質	心材の樹種	化粧薄板の樹種	化粧薄板の厚さ(mm)
柱	ＪＡＳ１等		杉	※１．０以上
かも居，なげし，廻縁	ＪＡＳ１等		杉	※０．６以上
天井板	ＪＡＳ１等		杉	※０．２以上
敷居	ＪＡＳ１等		サクラ	※１．５以上
カウンター	－		メラミン樹脂化粧板	※１．０以上

・化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	見付け材面の品質	心材の樹種	化粧薄板の樹種	化粧薄板の厚さ(mm)

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
・造作用集成材　単材の樹種及び厚さ

施工箇所	樹種	単材の厚さ（mm）	施工箇所	樹種	単材の厚さ（mm）

・化粧ばり造作用集成材

施工箇所	見付け材面の品質	心材の樹種	化粧薄板の樹種	化粧薄板の厚さ(mm)

・化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	見付け材面の品質	心材の樹種	化粧薄板の樹種	化粧薄板の厚さ(mm)

⑦ 造作用単板積層材 (12.2.1.d)
ホルムアルデヒドの放散量　※Ｆ☆☆☆☆（※１）　・Ｆ☆☆☆
※１：Ｆ☆☆☆☆又はホルムアルデヒド放散量表示がない場合は，塗装していないものにあっては「非ホルムアルデヒド系接着剤使用」塗装したものにあっては「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用」

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
・単板積層材

施工箇所	表面の品質	防虫処理

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
・単板積層材

施工箇所	表面の品質	防虫処理

8 床張り用合板等
ホルムアルデヒドの放散量　※Ｆ☆☆☆☆（※１）　・Ｆ☆☆☆
※１：Ｆ☆☆☆☆又はホルムアルデヒド放散量表示がない場合は，塗装していないものにあっては「非ホルムアルデヒド系接着剤使用」塗装したものにあっては「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用」

・普通合板

厚さ（mm）	接着の程度	表面の品質
※５．５	※１類　・２類	・１等　※２等
・		

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図名	特記仕様書-4		
縮尺	—	番号	121 枚の内 A004号
設計年月日	令和７年３月		
設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

高　山　市

建築工事特記仕様書 No.5/8

章	項	特記事項
12 木工事		・構造用合板

厚さ（mm）	接着の程度	表面の品質又は等級
※１２	・特類　※１類	・１等　※２等　・１級　※２級
・		
・		

・パーティクルボード

厚さ（mm）	接着の程度	曲げ強さ
※１２	・Ｍタイプ　・Ｐタイプ	・18タイプ　※13タイプ　・8タイプ
・		

・構造用パネル

厚さ（mm）	等級	備考
・　・		・
・		

章	項	特記事項
9	接合具等 (12.2.2.a)	接合具等 釘　・表面処理された鉄　・ステンレス鋼　・ 木ねじ　※ステンレス　・
	(12.2.2.b)	諸金物　※亜鉛めっき品　・
	(12.2.2.C)	接着剤　ユリア樹脂，メラミン樹脂，フェノール樹脂，レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※Ｆ☆☆☆☆　・Ｆ☆☆☆
10	防腐処理	・行う（　）　・行わない
11	防蟻処理 (12.3.1)	・行う（　）　・行わない
12	防虫処理 (12.3.2)	・行う（　）　・行わない
13	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造等の内部間仕切軸組及び床組 (12.4.1)	内部間仕切軸組及び床組に用いる木材 ・特記がなければ，杉又は松とする。ただし，土間スラブの類の場合の土台，転ばし大引及び転ばし根太は，ひのき又は保存処理木材とする。 ・間仕切軸組に用いる木材（　） ・床組に用いる木材（　）
14	窓，出入口その他 (12.5.1)	窓，出入口その他に用いる木材 ・特記がなければ，吊元枠，水掛りの下枠及び敷居はひのき，その他は松又は杉とする。 ・窓，出入口その他に用いる木材（　）
15	床板張り (12.6.1)	床板張りに用いる木材 ・特記がなければ，ひのきとする。なお，フローリングは，19章５節［フローリング張り］による。 ・縁甲板及び上がりがまちに用いる木材（　）
16	壁及び天井下地 (12.7.1)	壁及び天井下地に用いる木材 ・特記がなければ，杉又は松とする。 ・壁下地に用いる木材（　） ・天井下地に用いる木材（　）
13 屋根及びとい工事	① 長尺金属板葺 (13.2.2～3) (表13.2.1)	長尺金属板の種類 形式　・横葺　・瓦棒葺　・平葺　⊙ 立ハゼ葺（防水工法） 種類　・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CGCCR-20-Z25） ・ポリ塩化ビニル被覆金属板　（Ａ種，ＳＧ） ・塗装溶融亜鉛－５%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CZACCR-20） ※溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CGLCCR-20-AZ）JIS G 3322 ⊙ カラーガルバリウム遮熱鋼板 鋼板の厚さ（mm） 一般部　※0.4　・　・　谷部　※0.4　・　・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※図示による　・ 下葺材料　・アスファルトルーフィング９４０　⊙改質アスファルトルーフィング下葺材 耐風圧検査　⊙行う　・行わない
	2 折板葺 (表13.2.1)	長尺金属板の種類 材種　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CGCCR-20-Z25） ・ポリ塩化ビニル被覆金属板　（Ａ種，ＳＧ） ・塗装溶融亜鉛－５%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CZACCR-20） ・
	(13.3.2)	種類　山高　mm　山のピッチ　mm　厚さ　mm 形による区分　※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
	(13.3.3)	タイトフレーム，けらば納めは屋根ふき工法に応じた専門業者の仕様による。 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※図示による　・

章	項	特記事項
13 屋根及びとい工事	③ とい (13.5.2)	とい材種等 軒どい　⊙図示 たてどい　・VPカラー75φ　⊙ ｱﾙﾐ既製品 とい受け金物　※亜鉛めっき　・ステンレス（ＳＵＳ304） 足金物　※溶融亜鉛めっき　・ステンレス（ＳＵＳ304）
	④ ルーフドレン (13.5.3)	ルーフドレンの種類 型式（　） ⊗打込み　・後付け ステンレス鋼板（SUS３０４，厚さ0.2mm）で被覆する。
	5 鋼管製といの防露巻工法部等の処理 (13.5.2.C) (表13.5.4)	防露部　高さ（mm）　床　※１５０　・ 天井　※　３０　・ 防露材　防露材のホルムアルデヒドの放散量 ※Ｆ☆☆☆☆　・Ｆ☆☆☆ 防露を行わない場合 ※ステンレス製シーリングプレートを取り付ける（床，天井共） ・ステンレス鋼板巾木（厚0.2mm），天井取合い部廻り縁
	6 保証 (13.5.3)	⊙ 製品及び施工の保証期間は10年間とし、竣工時に保証書を発行する事
14 金属工事	1 あと施工アンカー (14.1.3)	引抜き耐力の確認試験　※引張試験機による試験　・ 設計用引強度　kgf／本
	② ステンレス (14.2.1)	ステンレスの表面仕上げ

種類	表面仕上げの種類	施工箇所
⊙ＳＵＳ304	ＨＬ（ＪＩＳ）	手摺、見切り
・ＳＵＳ304	鏡面仕上げ	
・		

③ アルミニウム及びアルミニウム合金 (14.2.2)
(表14.2.1)

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

表面処理の種別	施工箇所
・	
・	
・	

皮膜の品質試験　・行う　※行わない（試験成績書の提出）

4 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)
(表14.2.2)

鉄鋼の亜鉛めっきの種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・		・	
・		・	

⑤ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2)
(表14.4.1)
(14.4.4.h)

野縁などの種類（JIS A 6517）建築用鋼製下地材（天井）
屋外　・19形　※25形　屋内　※19形　・25形
※木下地用吊りボルト支持具について、木材種毎に引張強度試験を行うこと
・天井のふところが1.5m以上の補強

適用箇所	仕様	適用箇所	仕様
・		・	
・		・	

・耐震性を考慮した補強（特定天井）

適用箇所	仕様	適用箇所	仕様
・		・	
・		・	

・屋外における耐風圧を考慮した補強

適用箇所	仕様	適用箇所	仕様
・		・	
・		・	

⑥ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)
(表14.5.1)

スタッド，ランナーの種類（JIS A 6517）建築用鋼製下地材（壁）
・50形（H=2.7m以下）　・65形（H=4.0m以下）　・90形（H=4.5m以下）　・100形（H=5.0m以下）
※スタッド 50 形は，ボード片面張りの場合に適用する。
※ランナー、振れ止め等の種類は、「建築標準仕様書」表 14.5.1 によるスタッドの種類に準じる。
※出入口及びこれに準ずる開口部の補強材の種類は、「建築標準仕様書」表 14.5.1 によるスタッドの種類に準じる。
※補強材取付け用金物の種類は、「建築標準仕様書」表 14.5.1 によるスタッドの種類に準じる。

⑦ 金属成形板張り (14.6.2～3)

金属成形板張りの種別　⊙カラーガルバリウム鋼板（金属サイディング）

種別	アルミスパンドレル（既製品）	施工箇所
製法	・押出し形材　・板曲げ	
寸法（mm）	板幅 板厚	
形状		
表面処理		
伸縮継手	※設けない　・設ける（場所は図示）	

⑧ アルミニウム製笠木 (14.7.2～3)
(表14.7.1)

アルミニウム製笠木の種類
※押出形材　・曲げ材
部材の種類　⊙250 形　（呼称肉厚は 1.6以上）

章	項	特記事項
14 金属工事		・300 形　（呼称肉厚は 1.8以上） ・350 形　（呼称肉厚は 2.0以上） ・　（呼称肉厚は　以上）「建築標準仕様書」表 14.7.1以外の既製品 ・　（呼称肉厚は　以上）「建築標準仕様書」表 14.7.1以外の既製品 表面処理　※Ａ－１種又はＢ－１種　・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔，固定方法等 ※図示による　・
15 左官工事	① モルタル塗り (15.3.2)	材料 吸水調整材の品質　※「建築標準仕様書」表15.3.2による 既製目地材　⊙使用しない　・使用する 形状，寸法（　）
	2 防水モルタル塗り	防水剤　※実績等の資料を監督員に提出する
	3 セルフレベリング材塗り (15.4.2)(表15.4.1)	セルフレベリング材の種類

種類	厚さ（mm）	施工箇所
・セメント系	※　10　・	
・石こう系	※　10　・	

④ 仕上塗材仕上げ (15.6.2.a)

仕上塗材材料
内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・
防火材料：屋内の壁及び天井の仕上げ材は，防火材料又は建築基準法に基づく，基材同等の認定表示のあるものとする。

(15.6.2)(表15.6.1)

・薄付け仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法
・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状 ・	・吹付け
・内装薄塗材Ｅ	・砂壁状じゅらく	・吹付け
・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状	・吹付け
・	・	・

(15.6.2)(表15.6.1)

・厚付け仕上塗材　・内装珪藻土ｺﾃ仕上

種類	仕上げの形状	工法	上塗材
・外装薄塗材Ｅ	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・行う ・行わない

(15.6.2)(表15.6.1)

・複層仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法	上塗材		
※複層塗材Ｅ ・複層塗材ＣＥ ・可とう形複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｓｉ ⊙複層塗材ＲＥ ・ ・ ・	※凹凸模様 ・凸部処理 ・凹凸模様 ・ゆず肌状 ・ ・ ・ ・	※吹付け ・吹付け ・ローラー	※水系 ・水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系	※アクリル系 ・アクリル系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系 ・シリカ系	※つやあり ・つやあり ・つやなし ・メタリック

(15.6.2)(表15.6.1)

・軽量骨材仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法
・吹付用軽量塗材	・砂壁状	・吹付け
・こて塗用軽量塗材　装飾仕上塗材ｺﾃ仕上	・平たん状　骨材混入	・こて塗り

下地処理
ＡＬＣパネル内壁目　地部の形状　※Ｖ型目地付き　・
(15.5.4)
(15.5.7)(表15.5.4)　所要量等の確認　※「建築標準仕様書」表15.5.4による　・

章	項	特記事項
16 建具工事	1 防火戸の指定 (16.1.3)	※図示による ※防火戸は，建築基準法第２条第九号の二ロの規定に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする。
	2 見本の製作等 (16.1.4)	建具見本の製作　・製作する（図示）　※製作しない 特殊な建具の仮組　・行う（図示）　※行わない 建具の製作所　※監督員の承諾する製作所
	③ アルミニウム製建具 (16.2.2～16.2.4) (表16.2.1)	性能及び構造　外部に面するアルミニウム製建具の性能等級

種別＼性能項目	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法
・Ａ種	※Ｓ－４	※Ａ－３	※Ｗ－４	70mm（注）
⊙Ｂ種	※Ｓ－５			
・Ｃ種	※Ｓ－６	※Ａ－４	※Ｗ－５	100mm

（注）引違い・片引き・上げ下げ窓で，複層ガラスを使用する場合は，100mmとする
耐風圧性は取付高さに適応したものとする。

表面処理		
	⊙外部	⊙Ｂ－１種　・
	⊙内部	⊙Ｃ－１種　・

4 アルミ樹脂複合サッシ

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）
図名	特記仕様書-5
縮尺	―
番号	121 枚の内 A005号
設計年月日	令和７年３月
設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹

高　山　市

建築工事特記仕様書 No.6/8

章	項	特記事項

⑯ 建具工事

④ 網戸 (16.2.3)

着色の色合　・アンバー　・ブロンズ　・ブラック系　・ステンカラー　⊙監督員の指示による
・防音ドアセット，防音サッシの遮音性の等級　⊗図示による　・
・断熱ドアセット，断熱サッシの断熱性の等級　⊗図示による　・
・耐震ドアセット，面内変形追従性の等級　⊗図示による　・
（メーカー仕様）

防虫網及び防鳥網
防虫網　・ガラス繊維入り合成樹脂　⊙合成樹脂　・ステンレス製
防鳥網　・ステンレス製　径1.5mm　ピッチ15mm

5 樹脂製建具 (16.2.2～16.2.4)(表16.2.1)

性能及び構造　外部に面する樹脂製建具の性能等級

種別＼性能項目	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法
・A種	S－4	A－4	W－4	
・B種	S－5		W－5	
・C種	S－6			

着色の色合　・アンバー系　・ブロンズ系　・ブラック系　・シルバー系
・防音ドアセット，防音サッシの遮音性の等級　※図示による　・
・断熱ドアセット，断熱サッシの断熱性の等級　※図示による　・

⑥ 鋼製建具 (16.2.4)

鋼製建具の性能値
・簡易気密型ドアセット　気密性，水密性の等級　・適用する　（「建築標準仕様書」表16.4.1）
⊙適用しない（「建築標準仕様書」表16.2.1）
外部に面する建具の耐風圧性　⊗S－4　・S－5　・S－6
・防音ドアセット，防音サッシの遮音性の等級　※図示による　・
・断熱ドアセット，断熱サッシの断熱性の等級　※図示による　・
・耐震ドアセット，面内変形追従性の等級　※図示による　・
(16.4.4) 鋼板類の厚さ（W）以下の場合　⊗「建築標準仕様書」表16.4.2による　・
（W）を超える場合　※図示による　・
（W）は，片開き，親子開き及び両開き戸の１枚の戸の有効開口幅が 950 mm 又は有効高さが 2,400mm

⑦ 鋼製軽量建具

鋼製軽量建具の性能値
(16.5.2) ⊙簡易気密型ドアセット　気密性の等級　⊙適用する（気密性　A－3）
・適用しない
・防音ドアセット，防音サッシの遮音性の等級　⊗図示による　・
・断熱ドアセット，断熱サッシの断熱性の等級　⊗図示による　・
(16.5.3) 戸の鋼板　・鋼板（「建築標準仕様書」16.5.3(a)(1)）　・ビニル皮膜鋼板　・カラー鋼板
召合せ，縦小口包み板，押縁
・鋼板（「建築標準仕様書」16.5.3(a)(1)）　⊙ステンレス鋼板　・アルミニウム押出形材
(16.5.4) 鋼板類の厚さ（W）以下の場合　⊗「建築標準仕様書」表16.5.1による　・
（W）を超える場合　※図示による　・
（W）は，片開き，親子開き及び両開き戸の１枚の戸の有効開口幅が 950 mm 又は有効高さが 2,400mm

8 ステンレス製建具 (16.6.2)

ステンレス製建具の性能値
・簡易気密型ドアセット　気密性，水密性の等級　・適用する（「建築標準仕様書」表16.4.1）
・適用しない
(16.6.2) 外部に面する建具の耐風圧性　※S－4　・S－5　・S－6
・防音ドアセット，防音サッシの遮音性の等級　※図示による　・
・断熱ドアセット，断熱サッシの断熱性の等級　※図示による　・
・耐震ドアセット，面内変形追従性の等級　※図示による　・
(16.6.3) ステンレス鋼板　・SUS304　・
(16.6.4) 表面の仕上げ　※HL仕上げ　・

⑨ 木製建具 (16.7.2)

木製建具材の加工材料及び組立時の含水率
(表16.7.1) 建具材の含水率　⊙A種　※B種　・C種
(表16.7.2) フラッシュ戸の心材　⊙中骨式　・ペーパーコア式　・
(表16.7.3) ふすまの材料種別　・Ⅰ型　・Ⅱ型
上張り紙　・ビニル紙　・新鳥の子
縁　押入れ等の裏紙　・雲花紙
・図示による　・
⊙本工事木製建具工事については、高山市内の製作所で製作された木製建具とすること。

⑩ 建具金物 (16.8.1～4)(表16.8.1～4)

建具金物の材質，形 状及び寸法
建具表による
見本提出のうえ監督員の承諾を受ける。
鍵箱　⊙設ける（　個用）　・設けない　・鍵札
マスターキー　⊙製作する（　組）　・製作しない　・既存マスター合わせ

煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は別途とする。
※扉にラッチ受座用切込開口補強　・枠に解錠機構用切込開口補強

11 自動ドア開閉装置 (表16.9.1)(表16.9.2)(表16.9.3)

製作所　※監督員の承諾する製作所
スライディングドア用の性能値　片引き　・SSLD－1　・SSLD－2
・図示による　引分け　・DSLD－1　・DSLD－2
スイングドア用の性能値　・図示による　片引き　・SWD－1　・SWD－2
センサーの種類
・マットスイッチ　・光線スイッチ　・熱線スイッチ　・音波スイッチ
・光電スイッチ　・電波スイッチ　・タッチスイッチ　・押しボタンスイッチ
・ペダルスイッチ　・多機能便所スイッチ　・　・
※多機能便所スイッチには大型（開・閉）押しボタンスイッチ又は非接触スイッチ，使用中表示灯，外部側キースイッチ（緊急時対応）を含む。

⑫ 自閉式上吊り引戸装置

開閉方式　※手動開き式

⑬ その他

指詰め防止措置をおこなう。

⑯ 建具工事

13 重量シャッター (16.11.2)(表16.11.1)

シャッターの種類　・一般重量シャッター　・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター　・防煙シャッター
耐風圧強度　・ 500Pa　・ 750Pa　・1000Pa　・1250Pa
開閉機能による種別　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式
シャッターケース（防火，防煙以外の場合）　・設ける　・設けない

⑭ 軽量シャッター (16.12.1)(表16.12.1)(16.12.4)

開閉装置による種別　⊙上部電動式（手動併用）　※上部手動式
耐風圧強度　・ 500Pa　・
シャッターケース　※設ける　・設けない
スラットの形状　⊙インターロッキング形　・オーバーラッピング形

15 施工区分

※電動シャッター　自動扉の施工範囲は，電源端子台一次側配線までを電気設備工事とし，以降を本工事とする。

⑯ ガラス (16.14.2)(表16.14.1)(表9.7.1)

板ガラスの品質及び厚さ等　※図示による　・
ガラス留め材

建具の種類	材種
鋼製	※シーリング材　・
アルミニウム製	・ガスケット（注）　⊙シーリング材　・
ステンレス製	※シーリング材　・
木製	※シーリング材　・

防火戸のガラス留め材は認定を受けた条件による。
（注）外部に面する複層ガラス，合わせガラス，網入り板ガラス，線入り板ガラスを除く
ガラス溝の大きさ
※強化ガラス，倍強度ガラス，熱線反射ガラス（映像調整を行う場合）は(a)に２mmを加算する。

17 カーテンウォール工事

1 カーテンウォール (17.1.3)(17.2.2～6)(17.3.2～6)

カーテンウォールの性能

耐風圧性		※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全を確認したもの ・正圧　N/㎡以上，負圧　N/㎡以上に対して安全なもの
耐震性	水平方向に対する地震力係数	※1.0
	鉛直方向に対する地震力係数	※0.5
	層間変位追従性 S造	※1/200 以上
	層間変位追従性 RC，SRC造	※1/300 以上
・水密性	・W－4　・W－5　・	
・気密性	・A－3　・A－4　・	
・耐火性		
・耐温度差性	・T－1　・T－2　・T－3　・T－4　・	
・遮音性		
・断熱性		

その他の性能　・図示による
種類　・メタルカーテンウォール
金属材料その他の材料　※図示による
・PCカーテンウォール
製作所

⑱ 塗装工事

① 材料 (18.1.3)

防火材料
屋内の壁及び天井の塗装仕上げは建築基準法に基づき，指定又は認定を受けたものとする
材料
塗料のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

② 塗装面の確認等

工事現場塗装　※使用量から単位面積当たり塗付け量を推定
工場塗装　※適切な測定器具により膜厚を確認

③ 素地ごしらえ (18.2.2)(18.2.3)(18.2.4)

素地ごしらえ

木部	不透明塗料塗り	※A種　・B種
	透明塗料塗り	・A種　※B種
鉄鋼面		・A種（注）　・B種（注）　※C種
亜鉛めっき面	鋼製建具	※A種（注）　・B種　・C種
	鋼製建具以外	・A種（注）　※B種　・C種

④ 錆止め塗料塗り (18.3.2～3)

鉄鋼面　（注）：製作工場で行う。

	塗料の種別	適用	塗料塗りの種別
（注1）以外	※A種　JIS K5674　1種 ・表18.7.1鉄鋼面耐候性塗料塗りによる	屋内,屋外	見え掛り　※A種 ・B種
（注1）	※B種　JASS 18 M-111 JIS K5674　2種	屋内	見え掛り　・A種 ※B種

（注）：つや有合成樹エマルションペイント塗り（EP－G）

亜鉛めっき鋼面

	塗料の種別	適用	塗料塗りの種別
（注1）以外	※A種　JIS K5629	屋内,屋外	鋼製建具　※A種
	・B種　JASS 18 M-109	屋内,屋外	その他　※C種
（注1）	※C種　JASS 18 M-111	屋内	

（注）：つや有合成樹エマルションペイント塗り（EP－G）

⑤ 塗料の種類 (18.4.2)

合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類　※１種　・２種
塗料の種類　（「建築標準仕様書」18章４節～13節）

	SOP	EP－G	EP	WP	DP
木部	※B種（注1）	「建築標準仕様書」（表18.8.2）	－	※B種	－
鉄鋼面	※B種	※B種	－	－	－
亜鉛めっき面	「建築標準仕様書」（表18.4.3）	「建築標準仕様書」（表18.8.4）	－	－	⊙A種(1級)
ボード等（注2）		※B種	※B種	－	－

（注1）：屋外はA種とする（多孔質広葉樹を除く）
（注2）：コンクリート，モルタル，プラスター，せっこうボード，その他ボード面等
（「建築標準仕様書」18章８節）

⑲ 内装工事

① 接着剤 (19.2.2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

② ビニル床シート　ビニル床タイル

⊙ビニル床シート

種類	記号	色柄	厚さ（mm）	特殊機能	工法
※発泡層のないもの ・	※FS ・	⊗プレーン ⊙マーブル ⊙特殊柄	⊗2.0 ・2.5	・帯電防止 ・耐動荷重 ⊙防滑性	・突付け ⊙熱溶接

⊙ビニル床タイル　⊙ｸﾞｸﾞｱｳﾄ床：ｺﾞﾑﾗﾊﾞｰﾀｲﾙｔ９（ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様）

記号	色柄	厚さ（mm）	特殊機能	備考
・HT	※標準柄 ・特殊柄	※2.0　・3.0	・帯電防止 ・耐動荷重	
・CT ・CTS	※標準柄 ・特殊柄	※2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重	

⊙特殊機能床材

種類	厚さ（mm）	形状，寸法，性能等
・視覚障害者用床タイル		

⊙ビニル幅木

厚さ（mm）	高さ（mm）			色柄
※1.5 以上　・	・60　・75	⊙100	⊙300	※標準柄

3 カーペット敷き (19.3.2～4)(表19.3.2)

・タイルカーペット

種別	パイル形状	寸法（mm）	総厚さ（mm）	色柄	敷き込み
※一種 ・	※ループパイル ・カットパイル	※500×500 ・	※ 6.5 ・	・無地 ・柄物	※全面接着工法 ・

製造所及び製品名
・厚膜型塗床材

塗床の種類	仕上げの種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床	・薄膜流し展べ仕上げ　・厚膜流し展べ仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ　・防滑仕上げ

4 合成樹脂塗床 (19.4.2～3)

・薄膜型塗床材

塗床の種類	仕上げの種類
※エポキシ樹脂系塗床	※平滑仕上げ

※塗床に使用する塗料のホルムアルデヒド発散量　※F☆☆☆☆　・

5 フローリング張り (19.5.2～7)

・単層フローリング

品名	樹種	厚（mm）	形状・寸法（mm）
・フローリングボード ・フローリングブロック ・モザイクパーケット	・ ・ ・	・ ・ ・	
・圧縮杉無垢フローリング（UV塗装品）　クッション材（カルプ）付き　50%圧縮 厚さ15mm			

・複合フローリング

品名	樹種	表層厚（mm）	厚（mm）	形状・寸法（mm）
※複合１種 ・複合２種 ・複合３種	※なら ・ ・	※ 2.0 ・ ・	・15 ・12 ・	

フローリングのホルムアルデヒド放散量等
※F☆☆☆☆，接着剤等不使用（単層フローリングに限る），ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用（単層フローリングに限る），非ホルムアルデヒド系接着剤使用並びに非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用とする。
製造所及び製品名
・工法

工法形式	取付け及び下地の工法		
・乾式工法	・釘留め工法	・根太張り工法	・直張り工法
	・接着工法		
・湿式工法	・モルタル埋込み工法		

・現場塗装仕上げ　※ウレタン樹脂ワニス塗り　・オイルステイン塗り
・生地のままワックス塗り　・

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図名	特記仕様書-6		
縮尺	—	番号	121 枚の内 A006号
設計年月日	令和７年３月		
設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

高　山　市

建築工事特記仕様書 No.7/8

章	項	特記事項

⑲ 内装工事

6 畳敷き (19.6.2)

畳の種別
種別　・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種　・Ｄ種
防虫処理　防虫加工紙を使用する場合は，薬事法の承認を受けたものとする（Ａ，Ｂ，Ｃ種）

⑦ せっこうボード その他ボード 及び合板張り (19.7.2) (表19.7.1～表19.7.5)

※天井及び壁に使用する材料は，建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。
⊙せっこうボード製品

材種・規格	施工箇所	張り方		厚さ（mm）等
⊙せっこうボード (JIS A6901)	⊙壁	⊙下張り ⊙上張り ・直張り	・目透し ・突付け ⊙継目処理	・ 9.5（準不燃） ⊙12.5（不燃） ・
	⊙天井	⊙下張り ⊙上張り ⊙直張り	・目透し ・突付け ⊙継目処理	⊙ 9.5（準不燃） ・12.5（不燃） ・
⊙化粧せっこうボード (トラバーチン模様) (JIS A6901)	⊙天井	⊙直張り	⊙突付け	※ 9.5（準不燃）
・化粧せっこうボード (プリント)(JIS A6901)	・天井	・直張り	・突付け	・ 9.5（準不燃）
・吸音用穴あきせっこうボード(JIS A6301)	・天井	・直張り	・目透し ・突付け	・ 9.5（準不燃） ・不燃性原紙裏張り
・ロックウール化粧吸音板 (JIS A6301)	・天井	・上張り ・直張り	・突付け	・ 9.0（不燃） ・12.0（不燃） ・15.0（不燃）
・強化石膏ボード	・壁	・下張り	・継目処理	・12.5

⊙繊維強化セメント板

種類		施工箇所	張り方	規格・厚さ（mm）	
⊙けい酸カルシウム板 タイプ2	⊙普通板 (JIS A5430)	・壁 ⊙天井	⊙目透し ・突付け ・突付けＶ目地	※0.8ＦＫ ・1.0ＦＫ	⊙ 6.0（不燃） ・ 8.0（不燃） ・10.0（不燃） ・12.0（不燃）
	・化粧ボード (JIS A5430)	・壁 ・天井	・目透し (シーリング) ・突付け ・ジョイナ		

⊙その他ボード

種類	規格等
・木毛セメント板 (JIS A5404)	
⊙軒天用ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ	軒天、木調塗装品
・	

(19.7.2～3) ・合板

材料	樹種名	処理	耐水性，厚さ（mm）等
・普通合板	ラワン	・防虫　・難燃	類 ・ 5.5　・12.0　・15.0
	シナ	・防虫　・難燃	類 ・ 4.0　・　・
・天然木化粧合板			
・			

合板のホルムアルデヒド放散量等
※Ｆ☆☆☆☆，非ホルムアルデヒド系接着剤使用（普通合板及び天然木化粧合板に限る），非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用（天然木化粧合板に限る）並びに非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用（特殊加工化粧合板に限る）とする。
・

(19.7.3) 下地の工法　※図示による　・

8 壁紙張り (19.8.2)

建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの

施工箇所	品質（製造所）	防火性能の種別
		・
		・
		・
		・

壁紙のホルムアルデヒドの発散量　※Ｆ☆☆☆☆　・

⑨ 断熱材 (19.9.2)

断熱材打込み工法

材種	種別	厚（mm）	施工箇所
・ビーズ法 ポリスチレンフォーム保温材			
※押出法 ポリスチレンフォーム保温材	・２種ｂ ⊙３種ｂ	※25 ⊙ 50 ・20	
・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材			
・フェノールフォーム保温材			

(19.9.3)
※保温材は全てＡ種（ノンフロン類）とする
※フェノールフォーム保温材のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆
断熱材補修材　・断熱材と同材　・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材
断熱材現場発泡工法

材種	種別	厚（mm）	施工箇所
⊙吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材	※Ａ種１ 難燃性	⊙50 ⊙100	外壁面、熱橋部（外壁より1m範囲） スラブ下（屋根面）

※難燃性　・２級　※３級

断熱材充填工法

材種	種別	厚（mm）	施工箇所
⊙グラスウール断熱材 気密ｼｰﾄ付き	・16kg品	⊙50	図示
	⊙24kg品	・ 90	
		・155	

㉖ ユニット及びその他工事

1 フリーアクセスフロア(20.2.2)

フリーアクセスフロアユニット製品類

施工箇所	材質	寸法・高さ	耐荷重性能	耐震性能

※表面仕上材　※図示による　・
・帯電防止性能　・漏えい抵抗

2 可動間仕切(20.2.3)

・パーティション

構造形式種別	構成基材の種類	パネル表面材・仕上	遮音性能	防火性能
・スタッド式	※アルミ ・スチール			・不燃 ・

3 移動間仕切(20.2.4)

・スライディングドア

操作方法種別	パネル表面材・仕上	圧接装置操作方法	遮音性能	防火性能
・手動式 ・		・ハンドル回転式 ・プッシュ式		・不燃 ・

・アコーディオンドア
製造所

④ トイレブース (20.2.5)

・トイレブースの仕様

表面材の材質（下小口共）	脚部		ドアエッジ	
※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木 ・支柱	※ＳＵＳ ・	・標準 ※Ｒ付	⊙アルミ ・ＳＵＳ

金物　※図示による（見本提出のうえ監督員の承諾を受ける。）

⑤ 階段滑り止め (20.2.6)

・階段滑り止めの仕様

材種	形状・寸法		工法	フラットエンド
⊙ステンレス製 ・アルミ製	※タイヤ入 ・タイヤなし	※35mm ・	※接着工法 ・埋込工法	・有（　　） ・なし

6 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

・黒板及びホワイトボードの仕様

種類		色	暗線	施工箇所
・黒板	※焼付	※緑 ・黒	・有 ・なし	
・ホワイトボード	※ほうろう	・白	・有 ・なし	

枠　・木製（図示による）　・アルミ製
形状　・平面　箇所
・平面（行事）　箇所
・　箇所
チョークボックス　・アルミ製　・
ピクチャーレール　・有（図示による）　・
・　・

⑦ 表示 (20.2.10)

⊙図示による

※法令に基づく表示　（非常用進入口等の表示は，消防法に適合する市販品を使用　）
・衝突防止表示　（　）
・室名札　（　）
・ピクトグラフ　（　）
・案内板　（　）
・視覚障害者案内板　（　）
・シンボルマーク　（　）
・車イスマーク　（　）
・施設名文字　・切抜文字　・ステンレス　字数（　）
・箱文字　・ステンレス　文字の大きさ（　×　）

⑧ ブラインド及びロールスクリーン (20.2.12)(20.2.13)

⊙図示による

・ブラインドの仕様　スラットは消防法で定める防炎性能の表示があるものとする

形式	※横形(JIS A4801)	・縦形
種類	※ギア式　・コード式	※コード方式
スラットの幅	※25mm　・35mm　・　mm	・100　・　75
スラットの材種	※アルミニウム合金　・	※アルミニウム合金　・クロス
ボックス等の材種	※鋼製　・	※アルミ（ヘッドレール）

・ロールスクリーンの仕様　スクリーンは消防法で定める防炎性能の表示があるものとする
※ロールスクリーンの操作方式，幅及び高さは，図示による
※ロールスクリーンの材種，品質等は，図示による
※ロールスクリーンの色見本を監督職員に提出する
※ロールスクリーンの巻取りパイプ，ウェイトバー，操作コード又は操作チェーンその他の材料は
※ロールスクリーンの巻取りパイプ，ウェイトバー，操作コード又は操作チェーンその他の材料は
，製造所の仕様による
製造所

㉖ ユニット及びその他工事

⑨ カーテン及びカーテンレール (20.2.14)

⊙図示による

カーテン及びカーテンレールの仕様　きれ地は消防法で定める防炎性能の表示があるものとする

きれ地の品質等（製造所）	ひだの種類	防炎性能の表示

暗幕用カーテンの両端，上部及び召合せの重なり　※300 以上
カーテンレール　材種　・ステンレス製　※アルミニウム製

10 スクリーン

種別　※ホワイトスクリーン
形式　※スプリング巻上（ノーショック）式　・
寸法（mm）　※幅（　）　・高さ（　）

⑪ くつふきマット

枠　※ステンレス製　・黄銅製　⊙ 図示
マット　※塩化ビニル製　・ゴム製　・アルミ合金製　・鉄製
排水　※設ける（排水目皿ＶＰ50φ）　・設けない

12 厨房器具

・厨房器具　・下記表による　・図示による

器具名		規格・施工箇所等
・		
・		
・		
・		
・		
・		
・		
・		
・		
・		
・		
・		
・		
・		
・		

13 ピクチャーレール

タイプ　・天井面付け　・壁面付け　フック　ケ／m
安全荷重　※15kg以上

14 ブラインドボックス カーテンボックス

材質　※アルミニウム製　・木製
表面処理　※Ｃ－１　・Ｃ－２（色調：　）
溝幅×深さ（mm）　※図示による　・１２０×８０　⊙150ｘ100

⑮ 消火器ボックス

既製品　⊙図示による

⑯ 視覚障害者用誘導ブロック

材種　⊙塩化ビニル製　厚さ　※７mm（２±５）　ｻｲｽﾞ　※300×300 ※外部鉄骨階段
⊙コンクリート製（厚さ30mm）※外構廻り
・磁器質タイル製
⊙ ＳＵＳ注意喚起点字鋲　ｶﾗｰｺﾞﾑ入　※本体

⑰ 家具類

合板類，ＭＤＦ及びパーティクルボード，接着剤及び塗料のホルムアルデヒドの放散量
※Ｆ☆☆☆☆　・Ｆ☆☆☆
⊙ 図示による
⊙ 図面に指定のある木製家具については、市内に本店があり飛騨木工連の加盟店が製作したものとする。また、当該家具製作過程で一部を下請させる場合においても、高山市内の製作所に下請を行うこととする。また、その他の家具についても市内の製作所への発注に努めること。

⑱ EXP.Jカバー

⊙アルミ製（図示による）　⊙ステンレス製（図示による）床部
・　・

⑲ ｷｰﾎﾞｯｸｽ

⊙ﾘﾓｰﾄﾛｯｸ51特性ｷｰﾎﾞｯｸｽ　W173xH250xD112　共立ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰｻｰﾋﾞｽ

⑳ 化粧鏡

⊙厚5mm 取付位置は図示による

㉑ 既存木材再利用

⊙ヒマラヤ杉の一部は伐採後、指定場所へ搬入とし施設内の家具等に再利用とする

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図名	特記仕様書-7		
縮尺	―	番号	121 枚の内 A007号
設計年月日	令和７年３月		
設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

高　山　市

建築工事特記仕様書 No.8/8

章	項	特記事項

㉑ 排水工事

① 排水管 (21.2.1)

・硬質ポリ塩化ビニル管　（ ※ＶＵ　・ＶＰ ）　⊙ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ排水図示
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（ＲＳ－ＶＵ）
・遠心力鉄筋コンクリート管（※外圧管Ｂ形）　１種

② 排水桝 (21.2.2)

排水桝の種類
・コンクリート現場打ち桝　⊙コンクリート既製桝　・樹脂製溜め桝

3 埋戻しに用いる材料 (表3.2.1)(21.2.3)

埋戻しに用いる材料の材種
・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種

④ 桝蓋

桝蓋の仕様
⊙グレーチング　材質（ ・スチール　⊙ステンレス ）　耐荷重： 25　t
・マンホール　（ ・ＭＨＡ　・ＭＨＢ ）
・鉄板　（ ｔ＝　mm ）
・既製コンクリート板　（ ｔ＝　mm ）
・樹脂製　（　）

⑤ 溝蓋

⊙グレーチング　材質（ ・スチール　⊙ステンレス ）　耐荷重： 25　t
・鉄板　（ ｔ＝　mm ）
・既製コンクリート板　（ ｔ＝　mm ）
・
・

㉒ 舗装工事

① 路床 (22.2.2)

遮断層　※適用しない　・適用する（ 厚　mm ）
フィルター層　※適用しない　・適用する（ 厚　mm ）
(表3.2.1)(22.2.3) 路床安定処理　※適用しない　・
路床の盛土材料　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種
(22.2.5) 路床の試験　ＣＢＲ試験　・行わない　※行う
路床締固め度の試験　・行わない　※行う
砂の粒度試験　※行わない　・行う

② 路盤 (22.3.2)(22.3.3)(22.3.5)

路盤の構成　・車道部：100，歩道部：100　⊙図示による
材料　・砕石クラッシャラン　※再生材クラッシャラン
・クラッシャラン鉄鋼スラグ　・
締固め度の試験　・行わない　※行う

③ アスファルト舗装 (22.4.2)(22.4.3)

舗装厚　車道部　⊙50（基層なし）　・40
歩道部　・30　・
アスファルト　・再生アスファルト　・ストレートアスファルト

加熱アスファルト混合物等の種類
表層　※密粒度アスファルト混合物(13)　・
基層　※粗粒度アスファルト混合物(20)　・
シールコート　・行う　※行わない
(22.4.6) 切り取り検査　※行う（　箇所）　・行わない
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

4 コンクリート舗装 (22.5.2)(22.5.3)(22.5.6)

コンクリート舗装の仕様
舗装厚　・ 150
コンクリート　・
目地材　・
溶接金網　・使用する(150□×6φ)　・使用しない
(22.5.6) コンクリート版の厚さの試験　・行う　・行わない

5 カラー舗装(22.6.2)

舗装厚及び種類
※アスファルト混合物　車道部　・50（基層なし）　・
歩道部　・30　・
切り取り検査　※行う（　箇所）　・行わない

6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2)

舗装の構成及び厚　車道部（ポリマー改質アスファルトⅠ型）　・50
歩道部（ストレートアスファルト）　・30

7 ブロック系舗装 (22.9.2～5)

・インターロッキングブロック舗装
基層　・コンクリート舗装
クッション材　※砂　・から練りモルタル
種類，形状　・
製造所

⑧ 区画線

路面標示用塗料　・１種　・２種　※３種１号
色　※白　塗布幅　※図示　塗布厚さ　※１．０

㉓ 植栽工事

① 植栽地の確認 (23.1.3)

土壌の水素イオン濃度，水溶性塩類等の試験　・行う　※行わない

② 植栽基盤 (23.2.2)(表23.2.1)

植栽基盤　⊙適用する　・適用しない（ただし，芝及び地被類の植栽の場合は整備する）
有効土層の厚さ（cm）

	樹木				芝，地被類
	高木			低木	
樹高	12m以上	7～12m	3～7m	3m未満	
有効土層	※100 ・	※80 ・	※60 ・	※50 ・	※20 ・

工法　樹木　※Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種
地被類　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種
土壌改良材　※バーク堆肥　・汚泥発酵肥料（下水コンポスト）

③ 支柱材

支柱材　※杉の焼丸太　・竹

④ 芝

種類　※コウライシバ　・ノシバ

⑤ 新樹木，芝 地被類の枯補償

新樹木の枯補償期間　（ ※１年　・　年 ）
芝，地被類の枯補償期間　（ ※１年　・　年 ）

6 移植樹木の枯損処理

移植樹木の枯損処理を行う期間　（ ※１年　・　年 ）

⑦ 既存樹木の伐採

⊙敷地内の樹木の伐採は伐根も含むものとする

⑧ 既存樹木の再利用

⊙ヒマラヤスギの一部は指定場所への搬入とし、施設内の家具等へ再利用とする
⊙伐採木はチップ材として再利用とする

㉔ 追記事項

① 建設機械

１）本工事においては、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正　平成16年9月24日国土交通省告示第1151号）に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。
２）本工事においては、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日建設省経機発第249号、最終改正　平成14年4月1日国総施第225号）に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」又はこれと同等の開発目的で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。
排出ガス対策建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。

② 軽微な変更等

現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状、寸法等の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合の請負金額の変更は行わない

③ 下請契約

本工事において、下請契約を締結する場合には、「高山市公契約条例」（平成30年4月1日施行）に基づき、当該契約の相手方を高山市内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。
下請け業者の選定に当たっては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。

④ 事故報告

工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に提出する。

⑤ 重点監督対象工事

当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取扱いによるものとする。

⑥ 経年検査

建築竣工引渡後１年が経過した時点において係員立合のもとで１年検査を行い、工事不良の為生じたと認められる損害等についても、係員の指示に従い改修しなければならない。
なお、その費用については請負者の負担とする。

⑦ 損害保険

工事中出来高部分と工事現場に搬入した工事材料・建築設備の機器などに火災保険または建設工事保険を付し、その証券の写しを監督職員に提出する。
１）損害の補填条件
a.火災、落雷、爆発又は破裂
b.台風、旋風、暴風、暴風雨の風災
２）保険金
原則として請負金額とする。
３）保険の期間
保険の加入の時期は、原則として工事着工のときとし、終期は工事完成後１４日までとする。
４）協議
この取扱いにより難い事項については、必要に応じて請負者は、監督職員と協議するものとする。

⑧ 実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、事前に計画書を提出し監督職員の確認を得た上で実施し、実施後に実施報告を提出することができる。

⑨ 工事着手前協議について

１）本工事の受注者は、契約後１～２週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議を行うこと。
２）協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。
３）協議に当たって、発注者側は監督員及び担当係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。
４）協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答（その他）欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・担当係長又は課長の確認印を押印し、写しを現場代理人（主任技術者）が受け取ること。

⑩ 電子メールの利用

本工事の施工中における受発注者間の情報共有は、電子メールを利用すること。運用にあたっては、「電子メールを活用した情報共有における運用指針」による他、工事着手前協議時に監督員と協議の上、決定するものとする。

⑪ ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ車両の適正燃料の使用について

１）ディーゼルエンジンを動力とする車両にはＪＩＳ規格の軽油を使用すること。
２）ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。

⑫ 工事書類の簡素化

１）実施にあたっては「工事書類簡素化要領」（技191号平成22年6月30日改正）に基づいて実施すること。

⑬ 提出書類等

高山市ホームページ上に示された書類とし、監督員協議によりその一部を省略することができる。

⑭ 施工中の安全確保

１）「建築基準法」「労働安全衛生法」その他関係法令等に定めるところによるほか、「建設工事公衆災害防止対策要綱建築工事編」に従うとともに「建築工事安全施工技術基準指針」を参考に施工に伴う災害及び事故の防止に努める。
２）安全委員会の組織を構成するとともに、「日常活動（安全朝礼・ミーティング・ＫＹ活動工事打合せ等）」及び「月例行事（安全パトロール・安全協議会・安全大会等）」の実施と記録を行う。

⑮ 別途工事

工事期間中に電気設備工事、機械設備工事、人工芝工事等の別途工事を伴うため、各施工業者と綿密に調整を行うこと。

⑯ 週休２日制の導入

本工事は、完全週休2日制を原則とした、週休2日制工事（現場閉所）とする。
詳細は、「高山市発注の建設工事に係る週休2日制工事実施要領」に従う。

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図名	特記仕様書-8		
縮尺	—	番号	121 枚の内 A008 号
設計年月日	令和７年３月		
設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高山市			

解体工事特記仕様書

A 共通事項

01 適用基準

- この特記事項以外は下記に準拠する。
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 同解説 最新版（以下「解体共通仕様書」という。）

B 留意事項

01 発生材処理

- ＰＣＢの混入が疑われる機器．材料については監督員と協議の上、適正に処理する。
- 引渡しを要するものは監督員の指定する場所に整理しリストを作成の上施設管理者へ引渡す。又引渡しを要しないものは全て場外に搬出し下記の建設廃棄物の項及び関係法令等に従い適正に処理する。

02 建設廃棄物

- 労働安全衛生法　大気汚染防止法　廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ダイオキシン類対策特別処置法　建築リサイクル法
- 「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」　「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を尊守し適切に処理する。
- 解体及び廃棄物の処理については管理型最終処分場に持ち込むものとする。
- 混合物の処理については管理型最終処分場に持ち込むものとする。
- 工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出する。

03 再資源化施設への搬出

- コンクリート塊　・　アスファルトコンクリート塊　・　木屑　・　石膏ボード屑
- 鉄・アルミ・ステンレス屑　・　ガラス・陶磁器屑　・　繊維屑　・　プラスチック類

C 一般事項

01 立合検査

- 下記の項目については、監督員の立合検査を受け、検査立合記録書に監督員の記名捺印を受けなくてはならない。
  - ・各種製品検査　・各種仕上検査　・工事中間検査及び竣工検査　・アスベスト撤去前

02 下請業者の承認

- 請負者は工事に先立ち、各下請業者、各職種別下請人名簿、使用材料の一覧表を監督員に提出し承認を得てから施工及び製作に着手すること。
- 本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を高山市内に本店(建設業法(昭和24年法律第100号)に規定する主たる営業所含む)を有する者の中から選定するよう努めること。
- 下請け業者の選定に当っては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。

03 設計図書との差異

- 本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図書に基づいて作成されている。従って新築時の納り、取合いによる変更等により既存建物の状態と本設計図書との間に差異が生じ、本設計図書による施工が困難な場合は、監督員と協議の上その指示に従う。

D 仮設工事

01 仮設計画

- 設計図書中の配置図を元に施工し、事故防止・安全管理に努めること。
- 建物位置と敷地との相対関係、資材搬出入方法と敷地内外の条件、足場の危険防止、衛生、安全計画書等を作成し、監督員の承認を受けること。
- 工事車両の現場進入経路は、近隣の状況を把握し、迷惑を掛けないよう配慮すること。
- 進入経路に安全係員(1週間/1人程度)を配備すること。
- 仮囲いは第三者の侵入がないように、足元の隙間なきように設置する。
- 手すり先行足場工法による足場を採用すること
- 隣接建物の利用に配慮し、防塵・防音に最大限の努力をすること。

02 解体・撤去・移設

- 解体作業時には散水養生を充分に行い、粉塵の飛散を極力少なくする対策をとること。解体作業において飛散防止に解体養生が必要な箇所ができたときは、請負者の責任において速やかに対処すること。
- 工事の着工に先立ち、一時撤去品・移設品の有無について他の関連工事を充分に確認し監督員の指示に従い移設時期を協議調整の上、工事に取り掛かること。
- アスベスト含有建材の使用部分を事前に調査確認しその撤去処分について施工計画書に明記する。（別図仕上表の記載に留意のこと）
- 施工中にアスベスト含有が確認された場合は監督員と協議の上適正に処理する。
- ・鋼製焼却炉については　事前にダイオキシン類に関する空気中濃度測定及び汚染物のサンプリング調査を実施し　ダイオキシン類のばく露防止処置を適正に行って解体処分する。

03 保護設備

- 本工事の施工に当り、既設諸施設、隣地建物、工作物及び通行人に対して損害等を与えないように必要な保護設備を計画し、監督員及び関係者の承認を受けて完全な実施を期さなくてはならない。万一損害を与えた時は、すみやかに応急手当及び復旧工事をするものとし、これに要した費用は請負者の負担とする。

04 保護設備

- 本工事の施工に当り、既設諸施設、隣地建物、工作物及び通行人に対して損害等を与えないように必要な保護設備を計画し、監督員及び関係者の承認を受けて完全な実施を期さなくてはならない。万一損害を与えた時は、すみやかに応急手当及び復旧工事をするものとし、これに要した費用は請負者の負担とする。

05 現地調査

- 既存設備の詳細について現地調査を行い、現状図にて施工上の留意点を明確にすること。アスベスト成形板の事前調査は、E撤去工事 08アスベスト成形板の定義による。

06 掃除復旧

- 工事完了後に全体の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。
- 本工事により公道等の工事による損傷部分は完全に復旧すること。又、現場侵入経路となる公道及び構内の舗装が破損した場合は原形復旧し、維持管理等の費用は請負者の負担とする。尚、公道復旧の要領は管理官庁の指導を受けること。
- 工事過程において、既設諸施設に損傷を与えた場合は請負者の負担において原形復旧を行う。

07 安全点検

- 作業開始前、終了後の現場内外の点検を必ず毎日行うこと。

08 その他

- 本工事は隣接の公園施設を使用しながらの工事であるため、運営に支障をきたさぬように万全をきすこと。又、工事日時、停電、断水等は事前に監督員・関係者と協議し、業務に支障のないようにすること。
- 工事施工にあたっては「騒音規制法」「振動規制法」「岐阜県公害防止条例」等の規定に遵守し、低騒音・低振動型の重機を使用し、騒音・埃・運搬等により付近の住民に迷惑を及ぼさないよう対策を充分に講ずること。
- 関係法　ＰＣＢ廃棄物特別処理法　フロン回収破壊法　家電リサイクル法　石綿障害予防規則　廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要領
- 蛍光灯ランプについては、産業廃棄物として適切に処分する。
- 設計図書に記載がなくても工事上の措置の必要性が発生した場合は監督員と協議し速やかに対処すること。その費用については請負の負担とする。
- 構造物撤去後は整地する

E 撤去工事

01 一般事項

本工事は、既設建物の改修について記するものであり、本章に記載なき事項は設計図書により全章各工事に準拠し入念に施工する。

02 施工範囲

特記、設計図書及び指示する範囲とする。改修しない部分との取り合い部分、その他ではつり及び工事の都合により破損させた箇所は、請負者の負担で完全に補修する。

03 既設外壁撤去等

騒音及びほこりの発生に十分配慮し養生を行うと共に、監督職員の承諾を受けて作業を進める。
既存モルタル等のはつり工事に使用する機種は、ビッグブレーカー手はつりを原則とし、その他の機種の使用は監督職員との協議の上、決定する。
はつり工事において躯体に損傷を与えぬよう養生し、十分注意する。高所におけるはつり工事は、養生シート等により発生材の飛散を防止する。

04 防音・防塵対策

既設　床・壁・天井等のはつり、撤去及び搬出による騒音・ほこり等については周辺の状況等を調査、打合せの上、防音・防塵対策に努めること。

05 その他

解体については、上記指示の他必要に応じて調査報告書、解体施工計画書を作成し監督職員の承諾を受ける。
※検査
当該撤去建物の廃棄物の内、石膏ボード、ケイカル板等の建材、外壁塗膜について、アスベスト含有の成形板の可能性がある材料を撤去する際は、工事前に対象物毎に含有測定を行い確認をし監督員に報告を行うこと。
アスベスト含有物については、解体共通仕様書に基づき適切に撤去・処分を行うこと。
事前調査結果については、大気汚染法及び労働安全衛生法に基づき所管機関に適切に報告を行うこと。

06 アスベスト成形板の定義

アスベスト成形板
セメント、けい酸カルシウム等の原料に、アスベストを補強繊維として混合し、成形されたもののうち、アスベスト含有率が０．１重量%を超えるものをいう。
非飛散性アスベスト廃棄物
アスベスト成形板が解体工事等により撤去され廃棄物となったものをいう。
非飛散性アスベスト廃棄物の区分
アスベスト成形板は、廃棄物になった際には、容易に大気中に飛散しない非飛散性アスベスト廃棄物となり、主に産業廃棄物の「工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する不要物」（がれき類）（令第2 条9 号）又は「ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず」（令第2 条7 号）に該当する。

本工事で該当するアスベスト建材 （事前調査報告書有り:着工前に発注者より提供する）

位置	品目	使用室
公衆便所	ケイ酸カルシウム板第1種	軒天
スコアボード	サイディング	外壁

本工事にてアスベスト含有分析調査を要する建材

位置	品目	使用室
管理事務所	有孔石綿ケイ酸カルシウム板	軒天
管理事務所	塩ビシート	室内床
管理事務所	石膏ボード	室内壁
管理事務所	岩綿吸音板	室内天井

解体作業レベル１～３の区分　　レベル３
廃棄物としての飛散性・非飛散性の区分　　解体状況により飛散性に準じた取り扱いとする。
※改修範囲外に使用されているアスベスト含有建材については、飛散しないと見なす。ただし、施工上撤去等発生する場合については、監督員と協議の上必要な措置を講ずる事。

07 処理計画

排出事業者は、非飛散性アスベスト廃棄物を適正に処理するため、施工計画時に処理方法について具体的な処理計画を立てる。
処理計画書の作成に当たっては、次の点に留意する。
① 非飛散性アスベスト廃棄物の発生量
② 非飛散性アスベスト廃棄物からアスベストの飛散を防止する撤去方法
③ 現場内における分別方法
④ 収集運搬及び処分方法
施工中に処理計画書に基づいた処理が実施されるように、管理体制を整えて現場の運営に当たるとともに、関係者に周知を行う。

処理計画書の記載内容
処理計画は文書化し、関係者に周知徹底すること。処理計画書には、次のような項目を記載する。
1）工事概要
① 工事名称、工事場所、工期
② 発注者名、設計者名、作業所長名、廃棄物管理責任者名
③ 工事数量
④ 解体工事の請負業者名
2）非飛散性アスベスト廃棄物
① 発生量
② 撤去、分別、保管、収集運搬、中間処理、最終処分の方法
3）委託処理
① 産業廃棄物処理業者（収集運搬業者、中間処理業者及び最終処分業者）の許可番号、事業の範囲、許可期限等
② 処理施設の確認方法
③ 添付書類として、産業廃棄物処理委託契約書及び産業廃棄物処理業の許可証の写し
なお、飛散性アスベストがあった場合は、非飛散性アスベストとは区分して、特別管理産業廃棄物として取り扱うこと。

08 アスベスト成形板の解体

アスベスト成形板の撤去作業は、アスベスト成形板の破断面からのアスベストの飛散を極力抑えるよう次の作業手順で実施する。
撤去フロー
飛散防止養生、仮設足場　設置 ― 解体撤去、集積、搬出 ― 足場解体、清掃、養生撤去

現場の養生
撤去作業に先立って解体等現場の周辺には粉じん等の飛散防止幕を設置し、散水装置等を設置する。

アスベスト成形板等の撤去
撤去時は湿潤する等の飛散防止措置を講じ、除去物を強度のある袋に袋詰め等する。
アスベスト成形板の撤去後の措置
現場において、撤去後のアスベスト成形板の切断等は最小限とし、解体物の破砕に当たるような作業を実施しない。
保管
排出事業者は、非飛散性アスベスト廃棄物が運搬されるまでの間、当該廃棄物からアスベストが飛散しないように保管する。
収集運搬、中間処理の留意事項
(1) 収集運搬に当たっては、非飛散性アスベスト廃棄物からアスベストの飛散するおそれのないように行う。
(2) 他の廃棄物と混合することのないよう区分して収集運搬する。
(3) 運搬車両は、アスベストの飛散及び非飛散性アスベスト廃棄物の落下を防止する構造を有するものとする。
(4) 中間処理業者は、受入れの際に検査を実施し、非飛散性アスベスト廃棄物が分別されていることを確認する。
(5) 中間処理の作業の前後で保管する場合は、他の廃棄物と分けて保管し、飛散するおそれの無いようにする。
(6) 他の廃棄物と分別して、非飛散性アスベスト廃棄物のみを破砕等を実施する。
(7) 破砕の際は、破断面からアスベストが飛散しないよう適切な方法で実施し、併せて、飛散防止措置を講じる。

最終処分場の管理
非飛散性アスベスト廃棄物を受け入れる最終処分場においては、廃棄物の種類に応じて処分場の適正な管理を行うため次のような措置を講じる。
(1) 受入要領をあらかじめ定め、非飛散性アスベスト廃棄物の処理受託契約に際し排出事業者に提示する。
(2) 受入れに際し非飛散性アスベスト廃棄物の量、積載状況等を確認する。
(3) 非飛散性アスベスト廃棄物は、最終処分場内に場所を定めて埋め立てる。
(4) 最終処分場管理者は、非飛散性アスベスト廃棄物の埋立場所、埋立量を記録し、保存する。

工事区分表

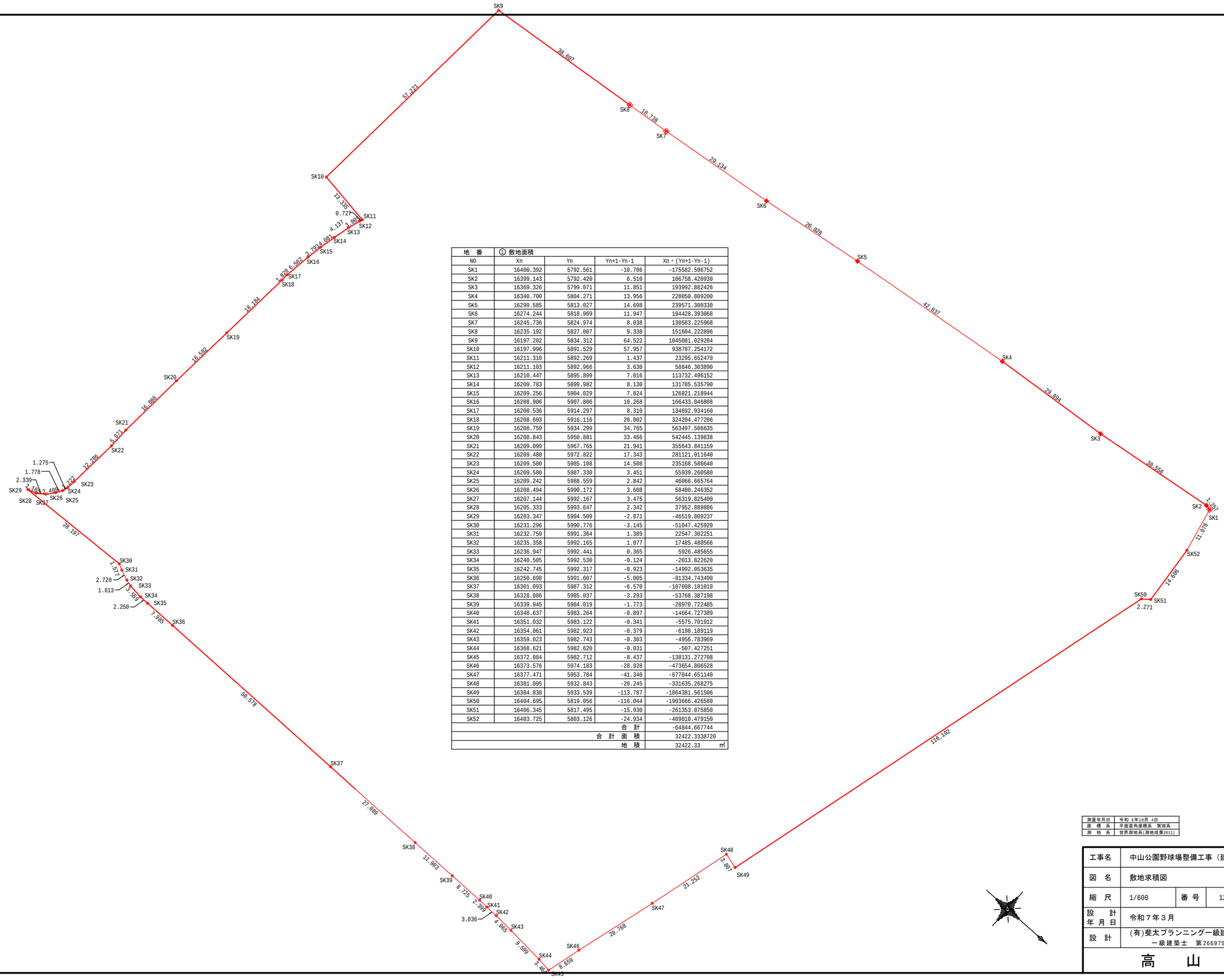
発注別による各工事は、着工に先立ち、構造・仕上・工程等を十分に検討調整した後に、それぞれの工事内容を把握し下記に○印を付したものを適用して施工する。

番号	項目	本工事 建築	本工事 外構	電気	機械	人工芝	別途	備考
1	ﾀﾞｸﾄ・配管・配線等の躯体貫通ｽﾘｰﾌﾞ工事			○	○			
2	同上開口補強工事	○						
3	同上穴補修工事			○	○			
4	設備機器取付け箇所の壁穴あけ			○	○			
5	設備機器取付け箇所の天井穴あけ			○	○			
6	同上の補強	○						
7	一般天井、壁の開口及び補強工事	○						
8	天井、床、ＰＳの点検口	○						補強共（使用目的標示ラベル貼付）
9	設備機械用コンクリート基礎	○						取付金具は、各機器設置工事
10	煙感知器連動防火扉							
11	同上のレリーズ以外の設備機器類のすべて							
12	同上の電源供給配線配管							
13	防火区画貫通の防火処理			○	○			
14	ルーフドレン	○						
15	縦樋	○						排水管継手は専門職施工
16	同上の排水工事				○			
17	軒どい	○						
18	構内雨水側溝までの雨水排水管				○			
19	陶器製掃除流し				○			附属品一式
20	キッチンユニット・ミニキッチン				○			図面に示す一式
21	同上の設備配管配線工事			○	○			
22	汚物・掃除用流し				○			
23	深型及び浅型ステンレス製流し	○						配管との接続は機械工事
24	シャワーユニット				○			
25	同上の設備配管配線工事				○			
26	階段及び外部手摺	○						
27	洗濯機パン							
28	製氷機、洗濯機、乾燥機、冷蔵庫等家電製品							
29	大型・特殊鏡	○						
30	鏡				○			一般品
31	小屋裏等の換気ｶﾞﾗﾘ	○						
32	ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ・ｷｯﾁﾝを除く天井換気扇及びパイプフード				○			
33	冷暖房用電気エアコン				○			
34	ガス漏れ感知器本体及び遮断弁							認定品
35	同上のコンセント及び配管配線							
36	屋内消火栓ボックス（消火器スペース共）							認定品
37	同上設置の表示灯、発信機							
38	消火器ボックス・置台	○						
39	消火器本体				○			
40	洗面器本体、洗面化粧台				○			
41	洗面器用カウンター				○			建築図の範囲
42	小便器、洗面器の電源送り			○				
43	小便器、大便器、手洗い器用手摺				○			
44	外構工事一式及び舗装工事		○					建築図の範囲
45	同上以外の設備配管埋設に伴う舗装改修工事				○			
46	雨水コンクリート水槽、雑排水ポンプ水槽工事							
47	雨水利用給排水機械（滅菌装置・ポンプ）設備工事							
48	同上への電源供給							
49	エレベータ・ダムウェーター工事							
50	同上への電源供給							
51	木製建具・家具※塗装、付随するｶﾞﾗｽ、金物を含む	○						木製建具・家具図に記載の範囲
52	グランドマスターキー作成	○						
53	造作家具以外の、机、椅子等什器						○	
54	カーテン、ブラインド	○						
55	付帯備品等の移設・設置、ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ接続工事	○						
56	同上の給排水配管工事				○			
57	雨樋の凍結防止ヒーター			○				
58	配管の凍結防止ヒーター				○			
59	ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽﾎﾞﾝﾍﾞ格納庫							ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽﾎﾞﾝﾍﾞ置場は建築工事
60	同上　基礎							
61	室外機基礎							M2F躯体上に架台設置
62	電話用配管及び配線工事			○				
63	電話機・ＦＡＸ等の機器工事						○	建物までの空配管は電気工事
64	ＬＡＮ用配管工事及びＬＡＮ配線			○				
65	ＨＵＢ・サーバー等ＬＡＮ機器工事						○	建物までの空配管は電気工事
66	電話引込工事						○	建物までの空配管は電気工事
67	ＣＡＴＶ引込工事						○	
68	ＣＡＴＶ加入金						○	
69	警備保障用配管、配線及び機器工事						○	
70	太陽光発電設備							
71	インターホン設備			○				
72	同上配線工事			○				
73	消防機関へ通報する火災放置設備			○				回線契約は発注者
74	人工芝工事					○		

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図名	特記仕様書-9・工事区分表		
縮尺	―	番号	121 枚の内 A009号
設計年月日	令和７年３月		
設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

高　山　市

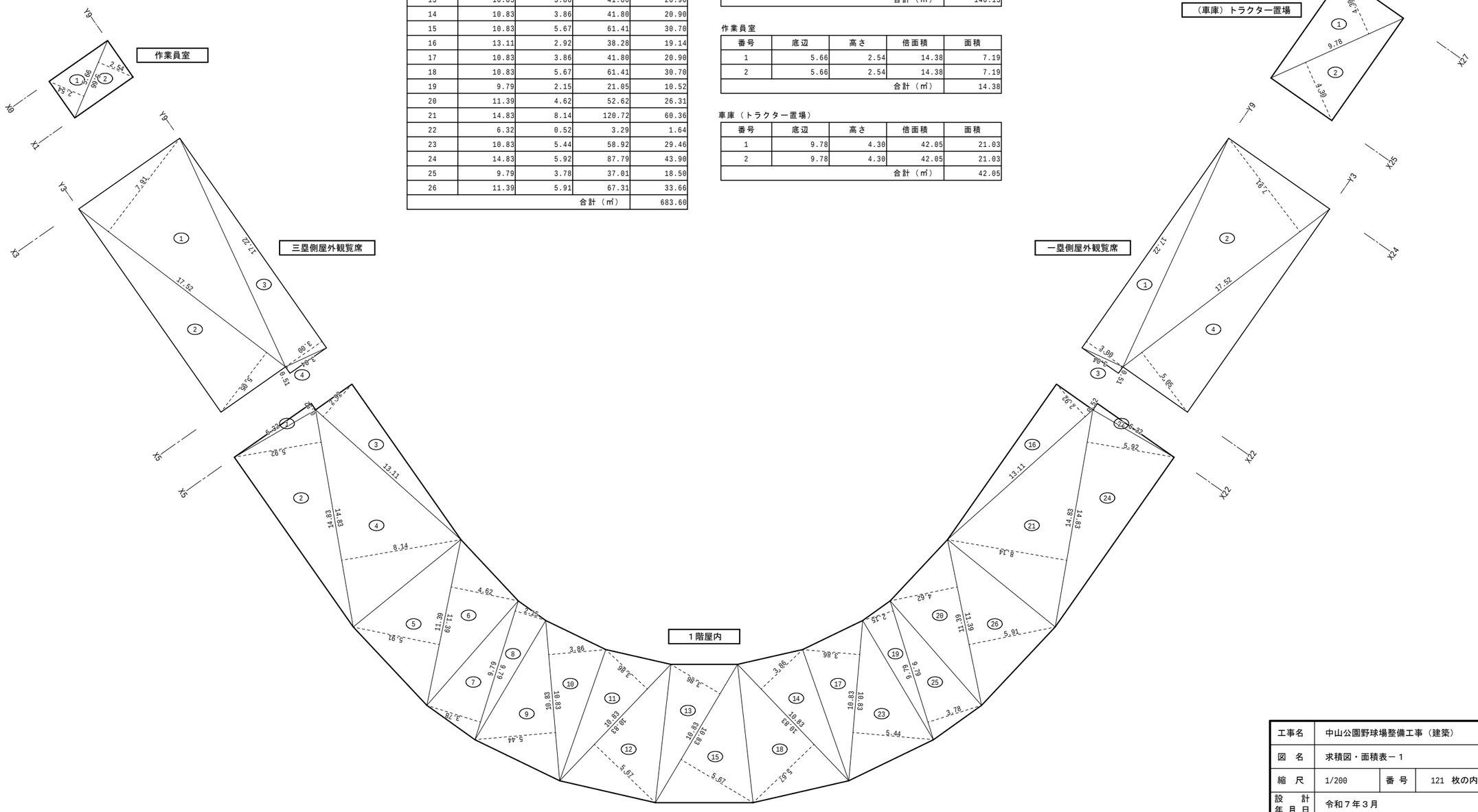
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	案内図		
縮　尺	1/10,000	番　号	121 枚の内 A010 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



地　番	① 敷地面積			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn・(Yn+1-Yn-1)
SK1	16400.392	5792.561	-10.706	-175582.596752
SK2	16399.143	5792.420	6.510	106758.420930
SK3	16369.326	5799.071	11.851	193992.882426
SK4	16340.700	5804.271	13.956	228050.809200
SK5	16299.585	5813.027	14.698	239571.300330
SK6	16274.244	5818.969	11.947	194428.393068
SK7	16245.736	5824.974	8.038	130583.225968
SK8	16235.192	5827.007	9.338	151604.222896
SK9	16197.282	5834.312	64.522	1045081.029204
SK10	16197.996	5891.529	57.957	938787.254172
SK11	16211.310	5892.269	1.437	23295.652470
SK12	16211.103	5892.966	3.630	58846.303890
SK13	16210.447	5895.899	7.016	113732.496152
SK14	16209.783	5899.982	8.130	131785.535790
SK15	16209.256	5904.029	7.824	126821.218944
SK16	16208.906	5907.806	10.268	166433.046888
SK17	16208.536	5914.297	8.310	134692.934160
SK18	16208.603	5916.116	20.002	324204.477206
SK19	16208.759	5934.299	34.765	563497.506635
SK20	16208.843	5950.881	33.466	542445.139838
SK21	16209.099	5967.765	21.941	355643.841159
SK22	16209.480	5972.822	17.343	281121.011640
SK23	16209.580	5985.108	14.508	235168.586640
SK24	16209.580	5987.330	3.451	55939.260580
SK25	16209.242	5988.559	2.842	46066.665764
SK26	16208.494	5990.172	3.608	58480.246352
SK27	16207.144	5992.167	3.475	56319.825400
SK28	16205.333	5993.647	2.342	37952.889886
SK29	16203.347	5994.509	-2.871	-46519.809237
SK30	16231.296	5990.776	-3.145	-51047.425920
SK31	16232.759	5991.364	1.389	22547.302251
SK32	16235.358	5992.165	1.077	17485.480566
SK33	16236.947	5992.441	0.365	5926.485655
SK34	16240.505	5992.530	-0.124	-2013.822620
SK35	16242.745	5992.317	-0.923	-14992.053635
SK36	16250.698	5991.607	-5.005	-81334.743490
SK37	16301.093	5987.312	-6.570	-107098.181010
SK38	16328.086	5985.037	-3.293	-53768.387198
SK39	16339.945	5984.019	-1.773	-28970.722485
SK40	16348.637	5983.264	-0.897	-14664.727389
SK41	16351.032	5983.122	-0.341	-5575.701912
SK42	16354.061	5982.923	-0.379	-6198.189119
SK43	16359.023	5982.743	-0.303	-4956.783969
SK44	16368.621	5982.620	-0.031	-507.427251
SK45	16372.084	5982.712	-8.437	-138131.272708
SK46	16373.576	5974.183	-28.928	-473654.806528
SK47	16377.471	5953.784	-41.340	-677044.651140
SK48	16381.095	5932.843	-20.245	-331635.268275
SK49	16384.838	5933.539	-113.787	-1864381.561506
SK50	16404.695	5819.056	-116.044	-1903666.426580
SK51	16406.345	5817.495	-15.930	-261353.075850
SK52	16403.725	5803.126	-24.934	-409010.479150
			合　計	-64844.667744
			合 計 面 積	32422.3338720
			地　積	32422.33　㎡

測量年月日	令和 6年10月 4日
座　標　系	平面直角座標系　第9系
測　地　系	世界測地系(測地成果2011)

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	敷地求積図		
縮　尺	1/600	番 号	121 枚の内 A011 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)愛太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



１階屋内

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	6.32	0.52	3.29	1.64
2	14.83	5.92	87.79	43.90
3	13.11	2.92	38.28	19.14
4	14.83	8.14	120.72	60.36
5	11.39	5.91	67.31	33.66
6	11.39	4.62	52.62	26.31
7	9.79	3.78	37.01	18.50
8	9.79	2.15	21.05	10.52
9	10.83	5.44	58.92	29.46
10	10.83	3.86	41.80	20.90
11	10.83	3.86	41.80	20.90
12	10.83	5.67	61.41	30.70
13	10.83	3.86	41.80	20.90
14	10.83	3.86	41.80	20.90
15	10.83	5.67	61.41	30.70
16	13.11	2.92	38.28	19.14
17	10.83	3.86	41.80	20.90
18	10.83	5.67	61.41	30.70
19	9.79	2.15	21.05	10.52
20	11.39	4.62	52.62	26.31
21	14.83	8.14	120.72	60.36
22	6.32	0.52	3.29	1.64
23	10.83	5.44	58.92	29.46
24	14.83	5.92	87.79	43.90
25	9.79	3.78	37.01	18.50
26	11.39	5.91	67.31	33.66
			合計（㎡）	683.60

三塁側屋外観覧席

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	17.52	7.91	138.58	69.29
2	17.52	5.05	88.48	44.24
3	17.22	3.00	51.66	25.83
4	3.04	0.51	1.55	0.78
			合計（㎡）	140.13

一塁側屋外観覧席

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	17.22	3.00	51.66	25.83
2	17.52	7.91	138.58	69.29
3	3.04	0.51	1.55	0.78
4	17.52	5.05	88.48	44.24
			合計（㎡）	140.13

作業員室

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	5.66	2.54	14.38	7.19
2	5.66	2.54	14.38	7.19
			合計（㎡）	14.38

車庫（トラクター置場）

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	9.78	4.30	42.05	21.03
2	9.78	4.30	42.05	21.03
			合計（㎡）	42.05

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	求積図・面積表－１		
縮　尺	1/200	番　号	121 枚の内 A012 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

高　山　市

屋根付き観覧席面積

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	7.08	1.39	9.84	4.92
2	7.56	3.65	27.59	13.80
3	7.56	3.20	24.19	12.10
4	9.18	4.08	37.45	18.73
5	9.18	5.13	47.09	23.55
6	9.20	3.94	36.25	18.12
7	9.20	5.14	47.29	23.64
8	9.20	3.94	36.25	18.12
9	9.20	5.14	47.29	23.64
10	9.20	3.94	36.25	18.12
11	9.31	4.02	37.43	18.71
12	9.20	5.14	47.29	23.64
13	8.34	3.31	27.61	13.80
14	9.31	5.06	47.11	23.55
15	8.34	2.88	24.02	12.01
16	7.09	1.42	10.07	5.03
			合計（㎡）	271.51

建築面積算定用　庇部分面積

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	1.58	0.74	1.17	0.58
2	5.00	0.50	2.50	1.25
3	3.54	0.49	1.73	0.87
4	6.80	0.50	3.40	1.70
5	6.83	0.50	3.42	1.71
6	6.83	0.49	3.35	1.67
7	6.87	0.50	3.44	1.72
8	6.83	0.49	3.35	1.67
9	6.87	0.50	3.44	1.72
10	6.83	0.49	3.35	1.67
11	6.87	0.50	3.44	1.72
12	6.81	0.49	3.34	1.67
13	6.83	0.50	3.42	1.71
14	3.51	0.49	1.72	0.86
15	5.00	0.50	2.50	1.25
16	1.61	0.74	1.19	0.60
			合計（㎡）	22.36

２階観覧席

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	5.46	1.70	9.28	4.64
2	5.46	1.70	9.28	4.64
3	14.58	4.57	66.63	33.32
4	14.24	4.80	68.35	34.18
5	14.58	9.28	135.30	67.65
6	11.96	4.71	56.33	28.17
7	11.96	6.69	80.01	40.01
8	10.44	2.18	22.76	11.38
9	10.44	3.28	34.24	17.12
10	11.47	3.92	44.96	22.48
11	11.47	5.89	67.56	33.78
12	11.47	3.92	44.96	22.48
13	11.47	5.89	67.56	33.78
14	11.47	3.92	44.96	22.48
15	11.47	3.92	44.96	22.48
16	11.47	5.89	67.56	33.78
17	5.46	1.70	9.28	4.64
18	14.24	4.80	68.35	34.18
19	11.47	3.92	44.96	22.48
20	10.44	2.18	22.76	11.38
21	5.46	1.70	9.28	4.64
22	12.22	4.61	56.33	28.17
23	11.47	5.89	67.56	33.78
24	14.58	9.28	135.30	67.65
25	11.47	5.87	67.33	33.66
26	10.44	3.30	34.45	17.23
27	12.22	6.55	80.04	40.02
28	14.58	4.57	66.63	33.32
			合計（㎡）	763.50

■面積計算

	名称		合計
1	１階屋内	＝	683.60
2	三塁側屋外観覧席	＝	140.13
3	一塁側屋外観覧席	＝	140.13
4	作業員室	＝	14.38
5	車庫（トラクター置場）	＝	42.05
6	２階観覧席	＝	763.50
7	屋根付き観覧席	＝	271.51

A	建築面積算定用　庇部分	＝	22.36

■敷地面積　＝　32,422.33 ㎡

■建築面積

本体	1～5+A		1,042.65 ㎡	315.40 坪

■延べ面積

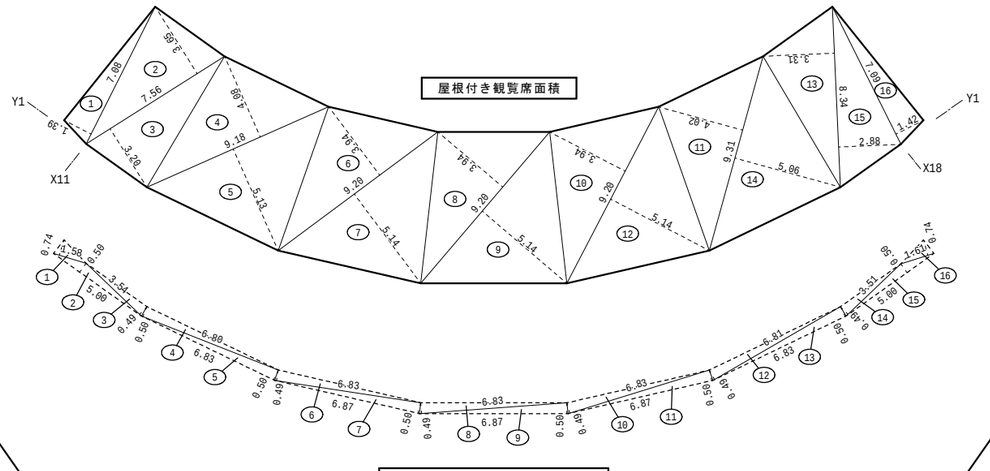
1階　屋内	1+4+5	＝	740.03 ㎡	223.86 坪
1階　屋外観覧席	2～3	＝	280.26 ㎡	84.78 坪
	小計	＝	1,020.29 ㎡	308.64 坪
2階　屋外観覧席	6-7	＝	491.99 ㎡	148.83 坪
2階　屋根下部分	7	＝	271.51 ㎡	82.13 坪
	小計	＝	763.50 ㎡	230.96 坪
延べ面積合計		＝	1,783.79 ㎡	539.60 坪
車庫（トラクター置場）	5	＝	42.05 ㎡	12.72 坪

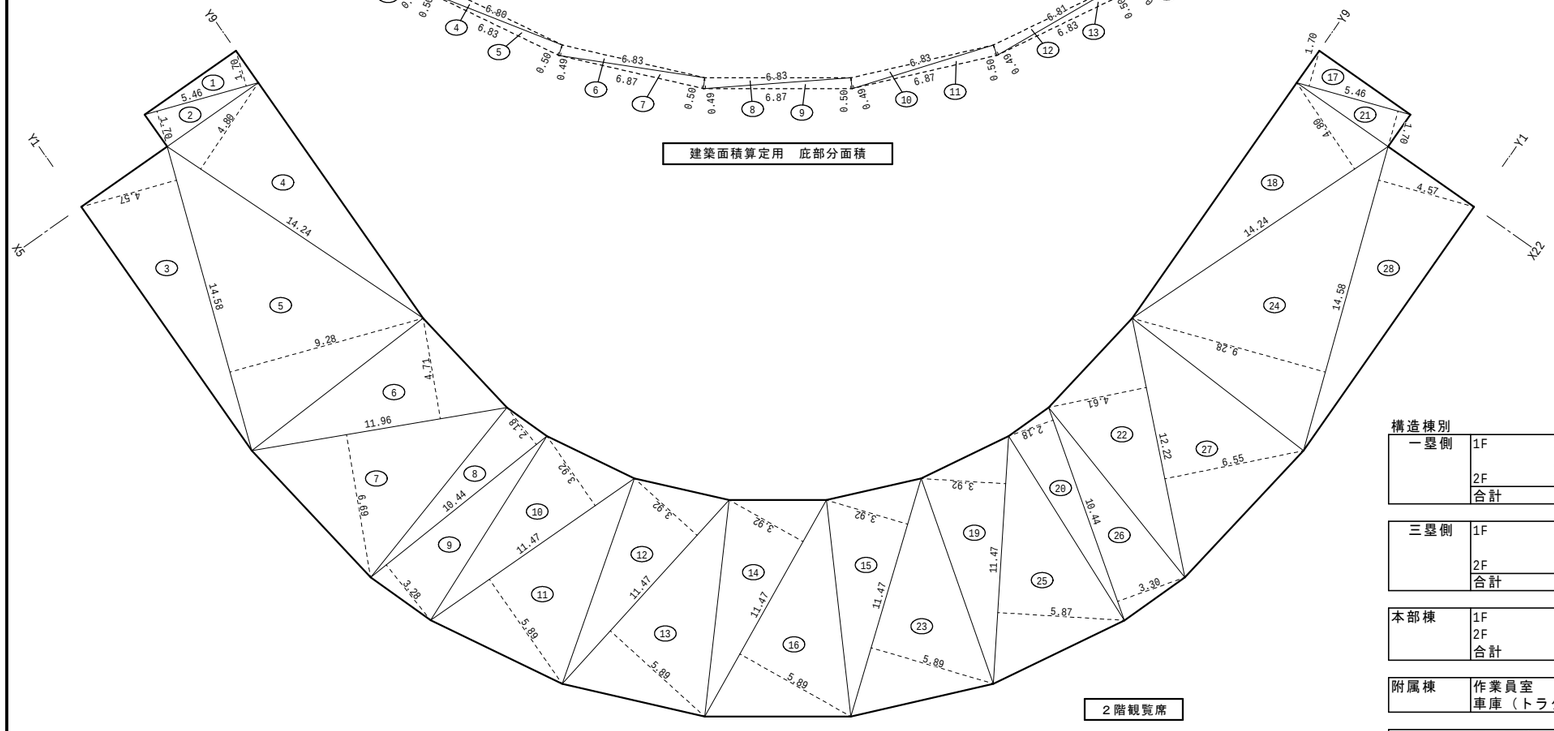
■建ぺい率　1,042.65 ÷ 32,422.33 ＝ 3.22%
＜ 70.00%ＯＫ

■容積率　1,741.74 ÷ 32,422.33 ＝ 5.37%
＜ 400.00%ＯＫ

■消防用算定面積

1階　屋内	1	＝	683.60 ㎡	206.79 坪
2階　屋外観覧席	6-7	＝	491.99 ㎡	148.83 坪
2階　屋根下部分	7	＝	271.51 ㎡	82.13 坪
	合計	＝	1,447.10 ㎡	437.75 坪





構造棟別

一塁側	1F	16+21+22+24	＝	125.04
		屋外観覧席	＝	140.13
	2F	17+18+21+24+28	＝	144.43
	合計		＝	409.60
三塁側	1F	1～4	＝	125.04
		屋外観覧席	＝	140.13
	2F	1～5	＝	144.43
	合計			409.60
本部棟	1F	全体-一塁-三塁	＝	433.52
	2F	全体-一塁-三塁	＝	474.64
	合計			908.16
附属棟	作業員室		＝	14.38
	車庫（トラクター置場）		＝	42.05
延べ面積				1,783.79

中山公園建築面積及び施設面積

平成11年6月3日付　本部席増築の確認申請資料からの更新

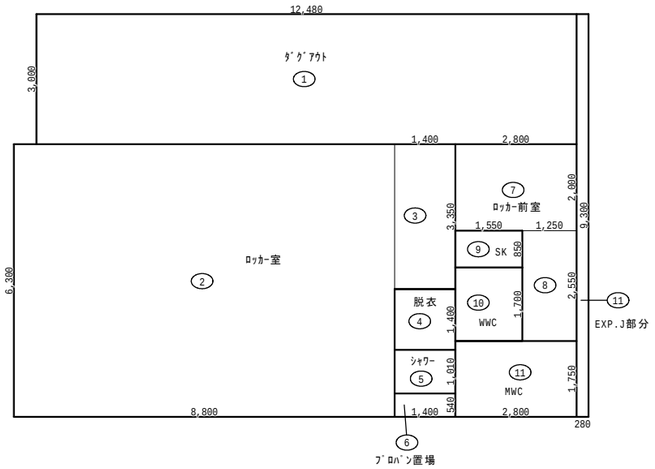
①中山公園現況の建築面積　（中山公園全体面積　129,113.26 ㎡）

ゾーン	番号	施設の名称	建築物（㎡）	その他（㎡）	増築後（㎡）	整備後(㎡)
管理棟	1	管理棟	53.78		53.78	0.00
陸上競技場	1	本部席（更衣室を含む）	150.00		150.00	150.00
	2	器具庫	50.00		50.00	50.00
	3	器具庫	7.36		7.36	7.36
	4	器具庫	15.30		15.30	15.30
	5	器具庫	17.42		17.42	17.42
	6	便　所	21.44		21.44	21.44
	7	スタンド（観覧席）	560.00		560.00	560.00
野球場	1	本部席（バックネット裏）	38.90		59.87	↓
	2	ベンチ（1塁側）	24.31		24.31	↓
	3	ベンチ（3塁側）	24.31		24.31	↓
	4	倉　庫	13.00		13.00	↓
	5	器具庫	8.10		8.10	↓
	6	便　所	19.87		19.87	↓
	7	便　所	19.92		19.92	↓
	8	スタンド（観覧席）	1,120.00		1,120.00	1,783.79
テニスコート	1	管理棟	40.33		40.33	40.33
	2	倉　庫	20.35		20.35	20.35
	3	器具庫	7.29		7.29	7.29
	4	便　所	12.46		12.46	12.46
相撲場	1	相撲場	193.06		193.06	193.06
アスレチック場	1	便　所	19.92		19.92	19.92
ビックアリーナ	1	体育館	7,230.00		7,230.00	8,372.43
面積合計			9,667.12		9,688.09	11,271.15
全体面積に占める割合			7.49%		7.50%	8.73%

都市公園法第4条、同施行令6条2項により　建ぺい率　10%以下　OK

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	求積図・面積表－２		
縮　尺	1/200	番　号	121 枚の内 A013 号
設計年月日	令和７年３月		
設　計	(有)愛太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門　秀樹		

高　山　市



一塁側、三塁側　共通

室名	番号	底辺	高さ	面積	合計
ﾀﾞｸﾞｱｳﾄ	1	3.00	12.48	37.44	37.44
ﾛｯｶｰ室	2	6.30	8.80	55.44	
	3	1.40	3.35	4.69	60.13
脱衣	4	1.40	1.40	1.96	1.96
ｼｬﾜｰ	5	1.40	1.01	1.41	1.41
ﾌﾞﾛﾊﾟﾝ置場	6	1.40	0.54	0.76	0.76
ﾛｯｶｰ前室	7	2.80	2.00	5.60	
	8	1.25	2.55	3.19	8.79
SK	9	1.55	0.85	1.32	1.32
WWC	10	1.55	1.70	2.64	2.64
MWC	11	2.80	1.75	4.90	4.90
EXP.J部分	12	0.28	9.30	2.60	2.60

審判員

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	2.95	0.27	0.80	0.40
2	2.95	0.15	0.44	0.22
3	3.87	1.70	6.58	3.29
4	3.87	2.10	8.13	4.07
5	4.33	1.99	8.62	4.31
6	4.33	2.15	9.31	4.66
合計（㎡）				16.95

放送室

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	3.44	1.56	5.37	2.69
2	3.44	1.28	4.40	2.20
3	3.78	2.11	7.98	3.99
4	3.78	1.86	7.03	3.52
合計（㎡）				12.40

本部・来賓

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	3.76	1.85	6.96	3.48
2	3.76	1.60	6.02	3.01
3	5.63	2.65	14.92	7.46
4	5.63	2.32	13.06	6.53
5	5.63	2.65	14.92	7.46
6	5.63	2.32	13.06	6.53
合計（㎡）				34.47

医務室

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	4.60	0.30	1.38	0.69
2	4.60	0.50	2.30	1.15
3	5.84	3.09	18.05	9.03
4	5.84	2.85	16.64	8.32
合計（㎡）				19.19

会議室

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	4.91	1.72	8.45	4.23
2	4.91	2.20	10.80	5.40
3	7.60	3.95	30.02	15.01
4	7.60	3.34	25.38	12.69
合計（㎡）				37.33

廊下

1階屋内	各室合計	一塁側	三塁側	差引
683.60	389.40	121.95	121.95	50.30

内部WWC

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	2.63	1.02	2.68	1.34
2	4.58	2.48	11.36	5.68
3	3.44	0.41	1.41	0.71
4	4.47	2.52	11.26	5.63
合計（㎡）				13.36

内部MWC

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	2.39	1.00	2.39	1.20
2	3.48	0.67	2.33	1.17
3	4.58	2.21	10.12	5.06
4	4.30	2.62	11.27	5.64
合計（㎡）				13.07

外部WWC

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	5.23	2.25	11.77	5.89
2	5.23	2.70	14.12	7.06
合計（㎡）				12.95

外部MWC

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	3.45	2.44	8.42	4.21
2	4.58	2.29	10.49	5.25
3	2.99	0.94	2.81	1.41
4	3.04	1.42	4.32	2.16
合計（㎡）				13.03

外部車椅子WC

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	4.19	1.78	7.46	3.73
2	4.19	1.92	8.04	4.02
合計（㎡）				7.75

内部車椅子WC

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	3.94	1.70	6.70	3.35
2	3.94	1.85	7.29	3.65
合計（㎡）				7.00

SK①

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	1.58	0.79	1.25	0.63
2	1.58	0.79	1.25	0.63
合計（㎡）				1.26

SK②

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	2.00	0.87	1.74	0.87
2	2.00	0.87	1.74	0.87
合計（㎡）				1.74

器具庫

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	5.56	2.35	13.07	6.54
2	5.56	2.64	14.68	7.34
3	3.87	1.70	6.58	3.29
4	2.93	0.28	0.82	0.41
5	3.87	2.10	8.13	4.07
6	2.91	0.15	0.44	0.22
合計（㎡）				21.87

倉庫①

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	4.69	1.98	9.29	4.65
2	4.69	2.35	11.02	5.51
合計（㎡）				10.16

倉庫②

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	4.69	1.98	9.29	4.65
2	4.69	2.35	11.02	5.51
合計（㎡）				10.16

倉庫③

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	3.39	1.68	5.70	2.85
2	2.32	0.30	0.70	0.35
3	3.39	2.06	6.98	3.49
合計（㎡）				6.69

倉庫④

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	3.65	1.95	7.12	3.56
2	3.65	1.79	6.53	3.27
3	2.31	0.49	1.13	0.57
合計（㎡）				7.40

エントランス①

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	3.36	1.56	5.24	2.62
2	3.36	1.77	5.95	2.98
合計（㎡）				5.60

エントランス②

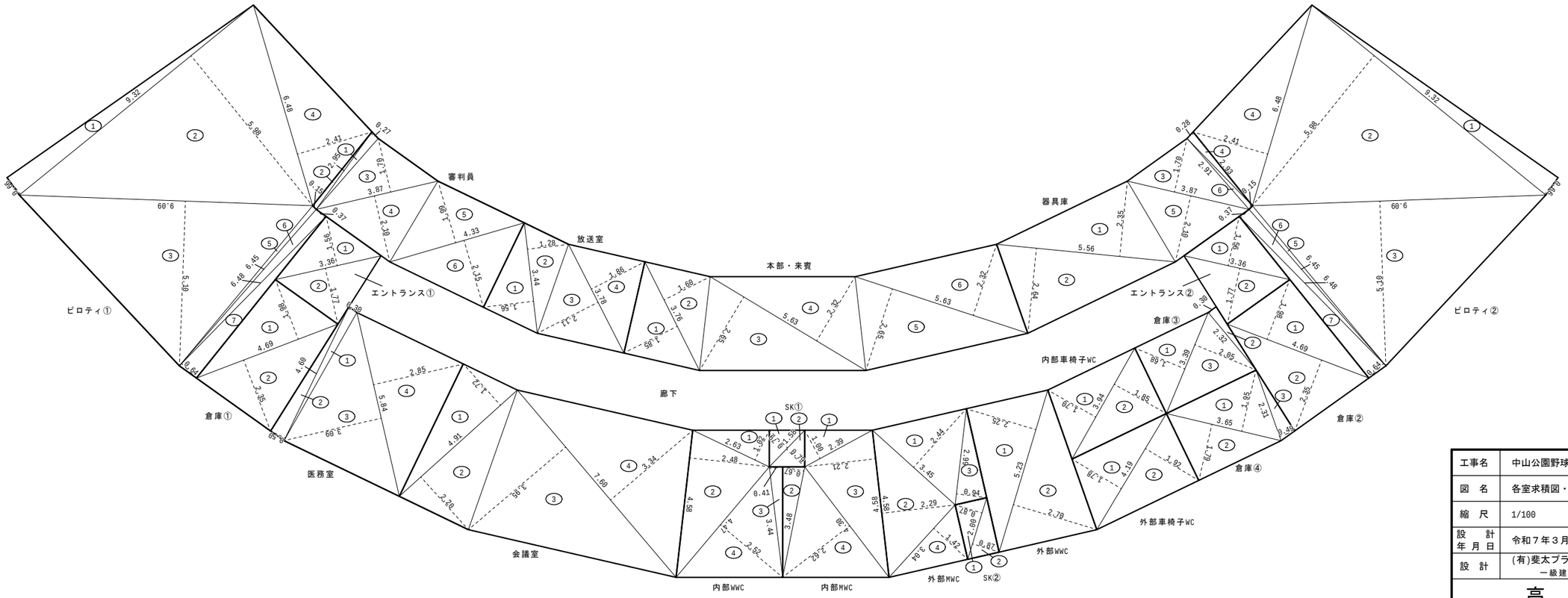
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	3.36	1.56	5.24	2.62
2	3.36	1.77	5.95	2.98
合計（㎡）				5.60

ピロティ①

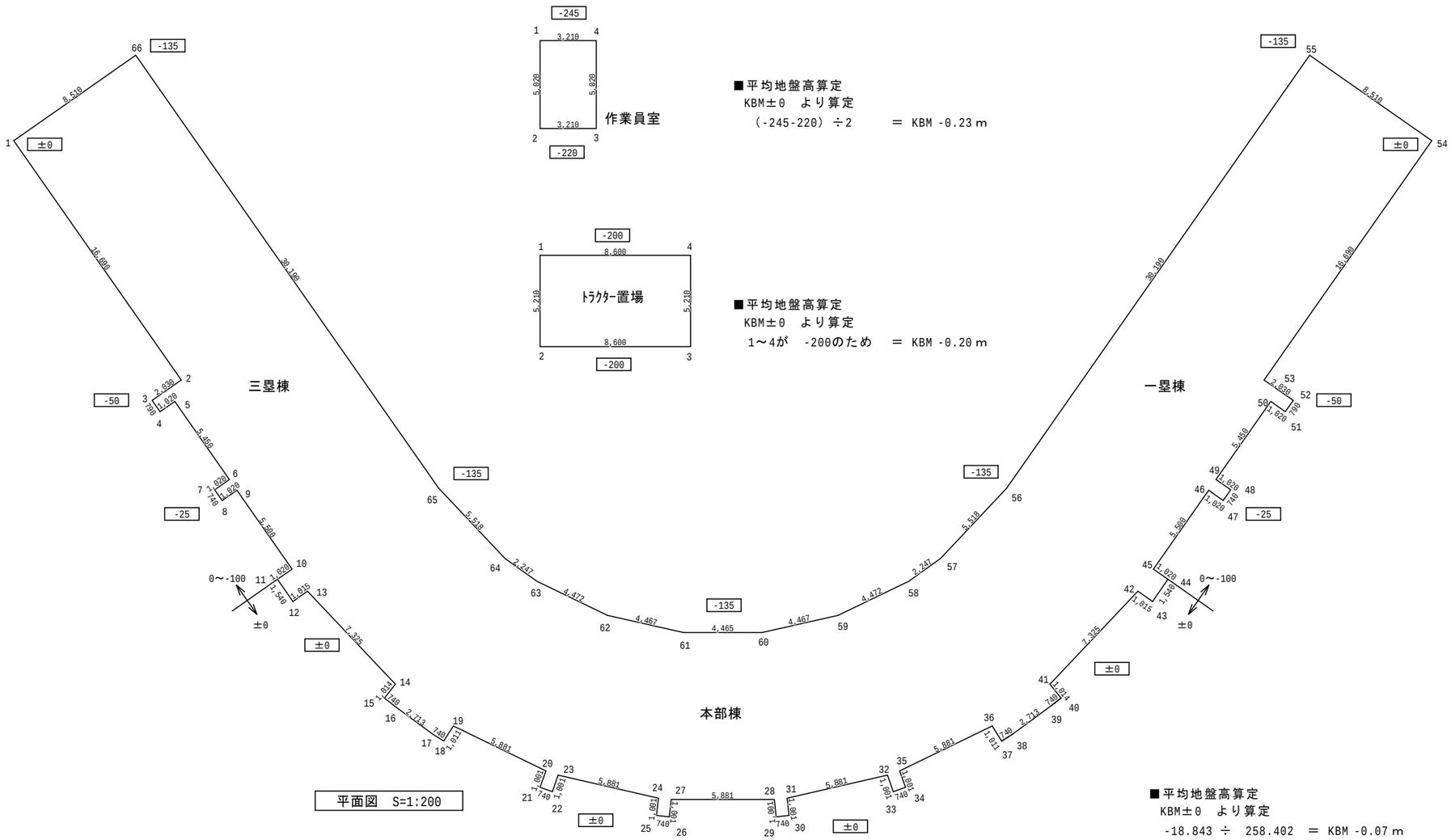
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	9.32	0.66	6.15	3.08
2	9.32	5.98	55.73	27.87
3	9.09	5.10	46.36	23.18
4	6.48	2.41	15.62	7.81
5	6.45	0.15	0.97	0.49
6	6.48	0.37	2.40	1.20
7	6.48	0.64	4.15	2.08
合計（㎡）				65.71

ピロティ②

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	9.32	0.66	6.15	3.08
2	9.32	5.98	55.73	27.87
3	9.09	5.10	46.36	23.18
4	6.48	2.41	15.62	7.81
5	6.45	0.15	0.97	0.49
6	6.48	0.37	2.40	1.20
7	6.48	0.64	4.15	2.08
合計（㎡）				65.71



工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	各室求積図・面積表		
縮　尺	1/100	番　号	121 枚の内 A014 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



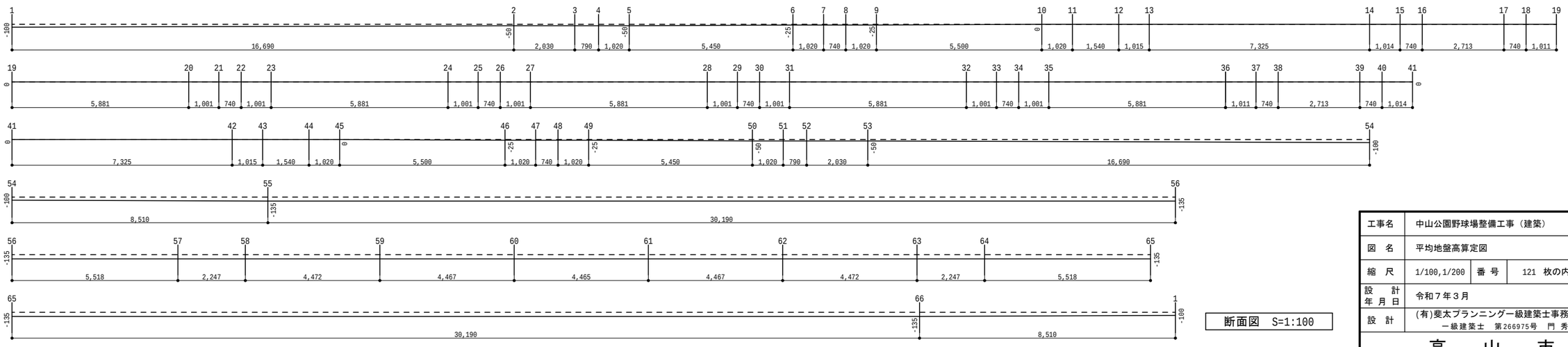
平面図 S=1:200

平均地盤高① 算定表

	タテ①	タテ②	ヨコ		面積
1 ～ 2	-0.100	-0.050	16.690	÷2	-1.252
2 ～ 3	-0.050	-0.050	2.030	÷2	-0.102
3 ～ 4	-0.050	-0.050	0.790	÷2	-0.040
4 ～ 5	-0.050	-0.050	1.020	÷2	-0.051
5 ～ 6	-0.050	-0.025	5.450	÷2	-0.204
6 ～ 7	-0.025	-0.025	1.020	÷2	-0.026
7 ～ 8	-0.025	-0.025	0.740	÷2	-0.019
8 ～ 9	-0.025	-0.025	1.020	÷2	-0.026
9 ～ 10	-0.025	0.000	5.500	÷2	-0.069
10 ～ 11	0.000	0.000	1.020	÷2	0.000
11 ～ 12	0.000	0.000	1.540	÷2	0.000
12 ～ 13	0.000	0.000	1.015	÷2	0.000
13 ～ 14	0.000	0.000	7.325	÷2	0.000
14 ～ 15	0.000	0.000	1.014	÷2	0.000
15 ～ 16	0.000	0.000	0.740	÷2	0.000
16 ～ 17	0.000	0.000	2.713	÷2	0.000
17 ～ 18	0.000	0.000	0.740	÷2	0.000
18 ～ 19	0.000	0.000	1.011	÷2	0.000
19 ～ 20	0.000	0.000	5.881	÷2	0.000
20 ～ 21	0.000	0.000	1.001	÷2	0.000
21 ～ 22	0.000	0.000	0.740	÷2	0.000
22 ～ 23	0.000	0.000	1.001	÷2	0.000
23 ～ 24	0.000	0.000	5.881	÷2	0.000
24 ～ 25	0.000	0.000	1.001	÷2	0.000
25 ～ 26	0.000	0.000	0.740	÷2	0.000
26 ～ 27	0.000	0.000	1.001	÷2	0.000
27 ～ 28	0.000	0.000	5.881	÷2	0.000
28 ～ 29	0.000	0.000	1.001	÷2	0.000
29 ～ 30	0.000	0.000	0.740	÷2	0.000
30 ～ 31	0.000	0.000	1.001	÷2	0.000
31 ～ 32	0.000	0.000	5.881	÷2	0.000
32 ～ 33	0.000	0.000	1.001	÷2	0.000
33 ～ 34	0.000	0.000	0.740	÷2	0.000
34 ～ 35	0.000	0.000	1.001	÷2	0.000
35 ～ 36	0.000	0.000	5.881	÷2	0.000
36 ～ 37	0.000	0.000	1.011	÷2	0.000
37 ～ 38	0.000	0.000	0.740	÷2	0.000
38 ～ 39	0.000	0.000	2.713	÷2	0.000
39 ～ 40	0.000	0.000	0.740	÷2	0.000
40 ～ 41	0.000	0.000	1.014	÷2	0.000
41 ～ 42	0.000	0.000	7.325	÷2	0.000
42 ～ 43	0.000	0.000	1.015	÷2	0.000
43 ～ 44	0.000	0.000	1.540	÷2	0.000
44 ～ 45	0.000	0.000	1.020	÷2	0.000
45 ～ 46	0.000	-0.025	5.500	÷2	-0.069
46 ～ 47	-0.025	-0.025	1.020	÷2	-0.026
47 ～ 48	-0.025	-0.025	0.740	÷2	-0.019
48 ～ 49	-0.025	-0.025	1.020	÷2	-0.026
49 ～ 50	-0.025	-0.050	5.450	÷2	-0.204
50 ～ 51	-0.050	-0.050	1.020	÷2	-0.051
51 ～ 52	-0.050	-0.050	0.790	÷2	-0.040
52 ～ 53	-0.050	-0.050	2.030	÷2	-0.102
53 ～ 54	-0.050	-0.100	16.690	÷2	-1.252
54 ～ 55	-0.100	-0.135	8.510	÷2	-1.000
55 ～ 56	-0.135	-0.135	30.190	÷2	-4.076
56 ～ 57	-0.135	-0.135	5.518	÷2	-0.745
57 ～ 58	-0.135	-0.135	2.247	÷2	-0.303
58 ～ 59	-0.135	-0.135	4.472	÷2	-0.604
59 ～ 60	-0.135	-0.135	4.467	÷2	-0.603
60 ～ 61	-0.135	-0.135	4.465	÷2	-0.603
61 ～ 62	-0.135	-0.135	4.467	÷2	-0.603
62 ～ 63	-0.135	-0.135	4.472	÷2	-0.604
63 ～ 64	-0.135	-0.135	2.247	÷2	-0.303
64 ～ 65	-0.135	-0.135	5.518	÷2	-0.745
65 ～ 66	-0.135	-0.135	30.190	÷2	-4.076
66 ～ 1	-0.100	-0.135	8.510	÷2	-1.000
合計					-18.843 ㎡

■延長算定

	長さ
1 ～ 2	16.690
2 ～ 3	2.030
3 ～ 4	0.790
4 ～ 5	1.020
5 ～ 6	5.450
6 ～ 7	1.020
7 ～ 8	0.740
8 ～ 9	1.020
9 ～ 10	5.500
10 ～ 11	1.020
11 ～ 12	1.540
12 ～ 13	1.015
13 ～ 14	7.325
14 ～ 15	1.014
15 ～ 16	0.740
16 ～ 17	2.713
17 ～ 18	0.740
18 ～ 19	1.011
19 ～ 20	5.881
20 ～ 21	1.001
21 ～ 22	0.740
22 ～ 23	1.001
23 ～ 24	5.881
24 ～ 25	1.001
25 ～ 26	0.740
26 ～ 27	1.001
27 ～ 28	5.881
28 ～ 29	1.001
29 ～ 30	0.740
30 ～ 31	1.001
31 ～ 32	5.881
32 ～ 33	1.001
33 ～ 34	0.740
34 ～ 35	1.001
35 ～ 36	5.881
36 ～ 37	1.011
37 ～ 38	0.740
38 ～ 39	2.713
39 ～ 40	0.740
40 ～ 41	1.014
41 ～ 42	7.325
42 ～ 43	1.015
43 ～ 44	1.540
44 ～ 45	1.020
45 ～ 46	5.500
46 ～ 47	1.020
47 ～ 48	0.740
48 ～ 49	1.020
49 ～ 50	5.450
50 ～ 51	1.020
51 ～ 52	0.790
52 ～ 53	2.030
53 ～ 54	16.690
54 ～ 55	8.510
55 ～ 56	30.190
56 ～ 57	5.518
57 ～ 58	2.247
58 ～ 59	4.472
59 ～ 60	4.467
60 ～ 61	4.465
61 ～ 62	4.467
62 ～ 63	4.472
63 ～ 64	2.247
64 ～ 65	5.518
65 ～ 66	30.190
66 ～ 1	8.510
合計	258.402 m



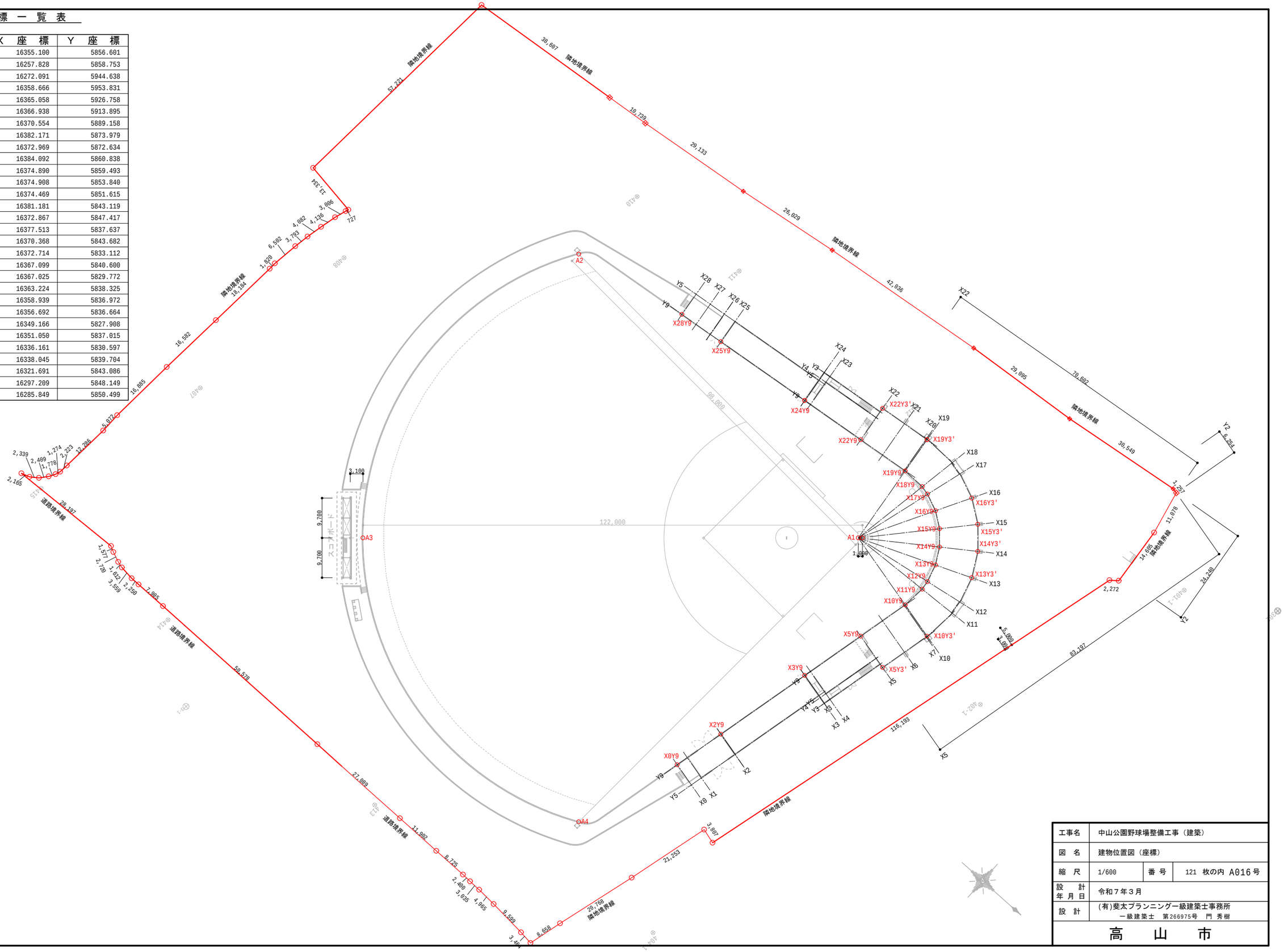
断面図 S=1:100

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	平均地盤高算定図		
縮 尺	1/100,1/200	番 号	121 枚の内 A015 号
設 計 年 月 日	令和７年３月		
設 計	(有)愛太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		

高 山 市

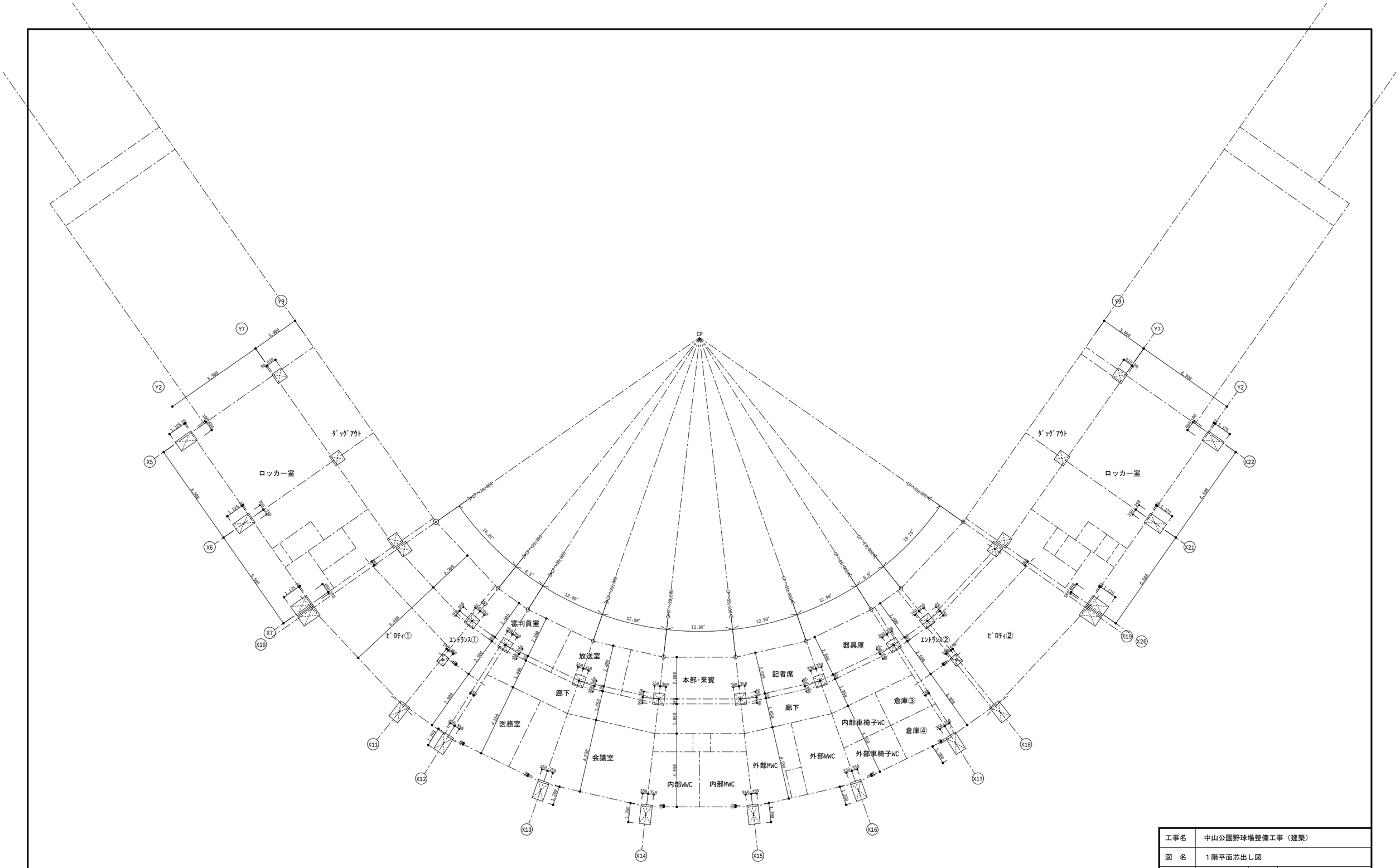
座 標 一 覧 表

測 点 名	X 座 標	Y 座 標
A1	16355.100	5856.601
A2	16257.828	5858.753
A3	16272.091	5944.638
A4	16358.666	5953.831
X0Y9	16365.058	5926.758
X2Y9	16366.938	5913.895
X3Y9	16370.554	5889.158
X5Y3'	16382.171	5873.979
X5Y9	16372.969	5872.634
X10Y3'	16384.092	5860.838
X10Y9	16374.890	5859.493
X11Y9	16374.908	5853.840
X12Y9	16374.469	5851.615
X13Y3'	16381.181	5843.119
X13Y9	16372.867	5847.417
X14Y3'	16377.513	5837.637
X14Y9	16370.368	5843.682
X15Y3'	16372.714	5833.112
X15Y9	16367.099	5840.600
X16Y3'	16367.025	5829.772
X16Y9	16363.224	5838.325
X17Y9	16358.939	5836.972
X18Y9	16356.692	5836.664
X19Y3'	16349.166	5827.908
X19Y9	16351.050	5837.015
X22Y3'	16336.161	5830.597
X22Y9	16338.045	5839.704
X24Y9	16321.691	5843.086
X25Y9	16297.209	5848.149
X28Y9	16285.849	5850.499



工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	建物位置図（座標）		
縮 尺	1/600	番 号	121 枚の内 A016 号
設 計 年 月 日	令和７年３月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		

高 山 市



工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	１階平面芯出し図		
縮　尺	1/150	番 号	121 枚の内 A017 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)愛太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

【　建物概要　】

工事名称	中山公園野球場整備工事（建築）
工事場所	岐阜県高山市山田町　地内
用途地域	都市計画公園
防火地域	無し
その他	下水処理区域
敷地面積	32,422.33 ㎡
建築面積	1,042.65 ㎡
延べ面積	1,783.79 ㎡
主要用途	野球場（屋外観覧席）
耐火建築物等	耐火建築物
◆主要構造	
【部位】	【仕様】
基礎	RC独立基礎、地盤改良柱
床	RC造
柱	RC造・鉄骨造
梁	RC造・鉄骨造
外壁	RC造
軒裏	軒天用ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ
屋根	鉄骨造、耐火野地板
階段	RC造
設備工事	電気設備　空調設備
	給排水設備　換気設備
	消防設備
備考	別途工事
	什器備品、電話機器、ﾈｯﾄ環境

【　断熱仕様　】

地域　３地域　高山市		
等級　ー		
計算モデル　事務所モデル		
【部位】	【材料】	【熱伝導率】(W/m・K)
屋根	現場発泡ｳﾚﾀﾝ吹付A種1H　t100	0.026以下
天井	-	-
外壁	現場発泡ｳﾚﾀﾝ吹付A種1H　t50	0.026以下
床(外気に接する)	-	
床(その他)	押出法ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾎﾞｰﾄﾞ3種b t50	0.028以下
外周部(外気に接する土間床)	-	
外周部(その他の土間床)	-	

開口部				備考
窓	● ｱﾙﾐｻｯｼ			
	ｱﾙﾐ樹脂複合ｻｯｼ			
	樹脂製ｻｯｼ			
ドア	ｱﾙﾐﾄﾞｱ			
	● ｽﾁｰﾙﾄﾞｱ			
	ｱﾙﾐ断熱ﾄﾞｱ			
	ｽﾁｰﾙ断熱ﾄﾞｱ			
	● 木製			
ガラス	【種類】	【中空層】	【日射】	
	ガス入りLow-E複層ガラス	12mm	取得型	
	ガス入りLow-E複層ガラス	12mm	遮蔽型	
	Low-E複層ガラス	12mm	取得型	
	● Low-E複層ガラス	12mm	遮蔽型	
	複層ｶﾞﾗｽ	12mm	ー	
	複層ｶﾞﾗｽ	12mm	ー	
	● 単板ｶﾞﾗｽ	ー	ー	
ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	建具表による			

【　耐火・防火仕様凡例　】　　●は本工事の適用を示す

床	● ＲＣ造、ＳＲＣ造		H12建告1399号
	合成ﾃﾞｯｷｽﾗﾌﾞt50+CON80	１時間耐火	FP060FL-9095、FP060FL-9101
	合成ﾃﾞｯｷｽﾗﾌﾞt50+CON90	２時間耐火	FP120FL-9107、FP120FL-9113
	ＡＬＣt100	１時間耐火	FP060FL-9119
	ＡＬＣt120	２時間耐火	FP120FL-9120
柱	● ＲＣ造、ＳＲＣ造		H12建告1399号
	鉄骨造　乾式ﾛｯｸｳｰﾙ吹付t25	１時間耐火	FP060CN-9460
	鉄骨造　乾式ﾛｯｸｳｰﾙ吹付t45	２時間耐火	FP120CN-9463
	鉄骨造　ALCt50巻き	１時間耐火	FP060CN-9405
	● 鉄骨造　耐火塗料塗り	１時間耐火	FP060CN-9472
梁	● ＲＣ造、ＳＲＣ造		H12建告1399号
	鉄骨造　乾式ﾛｯｸｳｰﾙ吹付t25	１時間耐火	FP060BM-9408
	鉄骨造　乾式ﾛｯｸｳｰﾙ吹付t45	２時間耐火	FP120BM-9411
	鉄骨造　ALCt50巻き	１時間耐火	FP060BM-9352
	● 鉄骨造　耐火塗料塗り	１時間耐火	FP060CN-9419
外壁	● ＲＣ造		H12建告1399号
	ＡＬＣt100	１時間耐火	H12建告1399号
	ＡＬＣt50	１時間耐火	FP060NE-9293
間仕切壁	木・鉄骨下地　両面GB-Rt15	45分準耐火	H12建告1358号
	木・鉄骨下地　両面GB-Rt12.5+GB-Rt9.5	45分準耐火	H12建告1358号
	木・鉄骨下地　両面GB-Ft12.5	45分準耐火	QF045BP-9071
屋根	● ＲＣ造、ＳＲＣ造		H12建告1399号
	● 硬質木片ｾﾒﾝﾄ板t18	30分耐火	FP030RF-9082
	木毛ｾﾒﾝﾄ板t25+亜鉛鉄板t0.4	30分耐火	FP030RF-9092
	ＡＬＣt100	30分耐火	H12建告1399号
	金属板折板ｔ0.6以上+ﾍﾞﾌ裏張り	30分耐火	FP030RF-9326
軒裏	硬質木片ｾﾒﾝﾄ板t18	１時間準耐火/準不燃	H12建告1358号、QM-0796
	繊維強化ｾﾒﾝﾄ板t16(ｹｲｶﾙ板t8+8)	１時間準耐火/不燃	H12建告1358号、NM-3522
	せっこうボードｔ12+金属板	45分準耐火	H12建告1358号
	ﾊﾟﾙﾌﾟ繊維混入ｾﾒﾝﾄ板t14(軒天ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ)	45分準耐火/不燃	QF045RS-9122、NM-3011
	ﾊﾟﾙﾌﾟ繊維混入ｾﾒﾝﾄ板t12(軒天ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ)	30分準耐火/不燃	QF030RS-0154、NM-3010
	繊維混入けい酸カルシウム板　t10,12	30分準耐火	QF030RS-0192

※大臣認定について認定書別添の仕様の通りに施工すること

【　外部仕上表　】

部位	下地	仕上げ	防耐火要求	告示・認定番号
屋根（鉄骨）	硬質木片ｾﾒﾝﾄ板t18、改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ	ｶﾗｰGL鋼板t0.4 立ﾊｾﾞ防水工法（遮熱鋼板）	耐火	FP030RF-9082
屋根（RC）	RCｽﾗﾌﾞ	観客席部分：超速硬質ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	耐火	H12建告1399号
		加硫ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水t1.5(立上りt1.2)　シルバー塗装	耐火	H12建告1399号
破風・鼻隠	鉄骨	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt2.0　ﾌｯ素樹脂焼付塗装		
軒天	LGS	軒天用ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt12木調塗装品、ｹｲｶﾙ板ｔ6+EP-G		
外壁（鉄骨）	ー			
外壁（RC）	RC打放し	複層塗材RE吹付、緩衝ﾏｯﾄ	耐火	H12建告1399号
巾木	RC打放し	撥水剤塗布		
ポーチ床	ー			

【　共通仕上げ記号　】

GB-Rt12.5～25	せっこうボードt12.5～25（不燃）	NM-8619
GB-NCt9.5	せっこうボードt9.5（不燃）	NM-0441
GB-Rt9.5	せっこうボードt9.5（準不燃）	QM-9828
GB-St9.5～12.5	シージングせっこうボードt9.5～12.5（準不燃）	QM-9826
GB-St12.5	シージングせっこうボードt12.5（不燃）	NM-9639
GB-Dt9.5（壁用）	化粧せっこうボードt9.5（準不燃）	QM-9824
GB-Dt12.5（壁用）	化粧せっこうボードt12.5（不燃）	NM-0128
GB-Dt9.5（和天井用）	化粧せっこうボードt9.5（準不燃）	QM-9824
GB-Dt12.5（和天井用）	化粧せっこうボードt12.5（不燃）	NM-0127
GB-Dt9.5（洋天井用）	化粧せっこうボードt9.5（準不燃）	QM-0524
GB-Dt9.5（洋天井用）	化粧せっこうボードt9.5（不燃）	NM-1864
GB-Dt9.5（吸音）	化粧せっこうボードt9.5（不燃）	NM-0879
GB-Lt7	せっこうラスボードt7（不燃）せっこうプラスター8mm以上	NM-8617
GB-Lt9.5	せっこうラスボードt9.5（不燃）せっこうプラスター3mm以上	NM-8618
GB-Ft12.5～25	強化せっこうボードt12.5～25（不燃）	NM-8615
DR ｔ9	岩綿吸音板t9（不燃）	MN-8599
ビニルクロス	準不燃	QM-9409
ビニルクロス	不燃	NM-0680
不燃構造用合板	ｔ12	MN-1596
不燃OSB	不燃配向性ストランドボードｔ6.3	NM-3851-2
ケイカル板t6	無石綿セメントケイ酸カルシウム板　t=6　SUSビス用	NM-8618
化粧ケイカルt5	不燃	NM-0393
折板	カラーガルバリウム鋼板t0.6、0.8　不燃	NM-8697
カラーガルバリウム鋼板	不燃	NM-8697
防火サイディングt15	窯業系サイディング　準不燃	QM-0629
防火サイディングt16	窯業系サイディング　不燃	NM-9744
練り付け合板	モアウッド（アイカ）不燃	NM-1739
メラミン化粧板	アイカセラール	NM-2183
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り(木部、鉄部B種亜鉛ﾒｯｷ面　各2面)	
EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	
EP-G	有光沢合成樹脂エマルジョンペイント塗り	
OS	油性ステイン(ステイン1回)	
UV	ウレタン樹脂　ワニス塗り(2回)	
CL	クリアラッカー塗り	
1-UC	1液型油変性ポリウレタン樹脂ワニス塗り	
2-UC	2液型ポリウレタン樹脂ワニス塗り	
DP	耐候性性塗料塗り	
WP	木材保護塗料塗り	

【　外部仕様　】

笠木	ｱﾙﾐ笠木、塗膜防水
雪止	L40x40　溶融亜鉛メッキ
軒樋	板金加工　内吊金物
竪樋	ｱﾙﾐ既製品φ100
犬走り	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ
機械基礎	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ
ﾌｪﾝｽ	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ
手摺	SUSφ30HL

【　参考仕様（同等品）　】※参考とし同等品を選定する

部位	仕様等	
EXP.J金物　外壁、屋根	ｱﾙﾐ耐火仕様	令第107条2号及又は3号
耐火塗料	SKﾀｲｶｺｰﾄ　柱1時間耐火	FP060CN-9472
超速硬質ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	ｶﾗｰﾄｯﾌﾟSR	
軒天ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt12	軒天12(ﾆﾁﾊ)　不燃	NM-3010
床ﾀｲﾙA	ﾊﾞｻｰﾃｨﾙ900x150(INAX)	
床ﾀｲﾙB	ﾋﾟｱｯﾂｧ200x200(INAX)	
多孔質ﾀｲﾙ	ｽﾄｰﾝⅡ　異形状ｾｯﾄ(INAX)	
SUS注意喚起点鋲	ｶﾞｲﾄﾞｽﾃｯﾌﾟ(ナカ工業)	
ｱﾙﾐﾙｰﾊﾞｰ　木調	ﾌﾞﾘﾝｶｰｽ150x20　ﾌｯ素焼付　木目調(ABC商会)	
天然木調ﾙｰﾊﾞｰ	ｸﾞﾗﾋﾞｵﾙｰﾊﾞｰUB(DAIKEN)	NM-1333

【　仕上特記事項　】

・特記なき内装木部塗装はWP(内部用)とする。
・特記なきDPは1級とする
・内部天井下地はLGS19型、外部天井下地はLGS25型とし、耐震グリップ付とする。

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	設計概要書・外部仕上げ表		
縮　尺	ー	番 号	121 枚の内 A018 号
設計年月日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

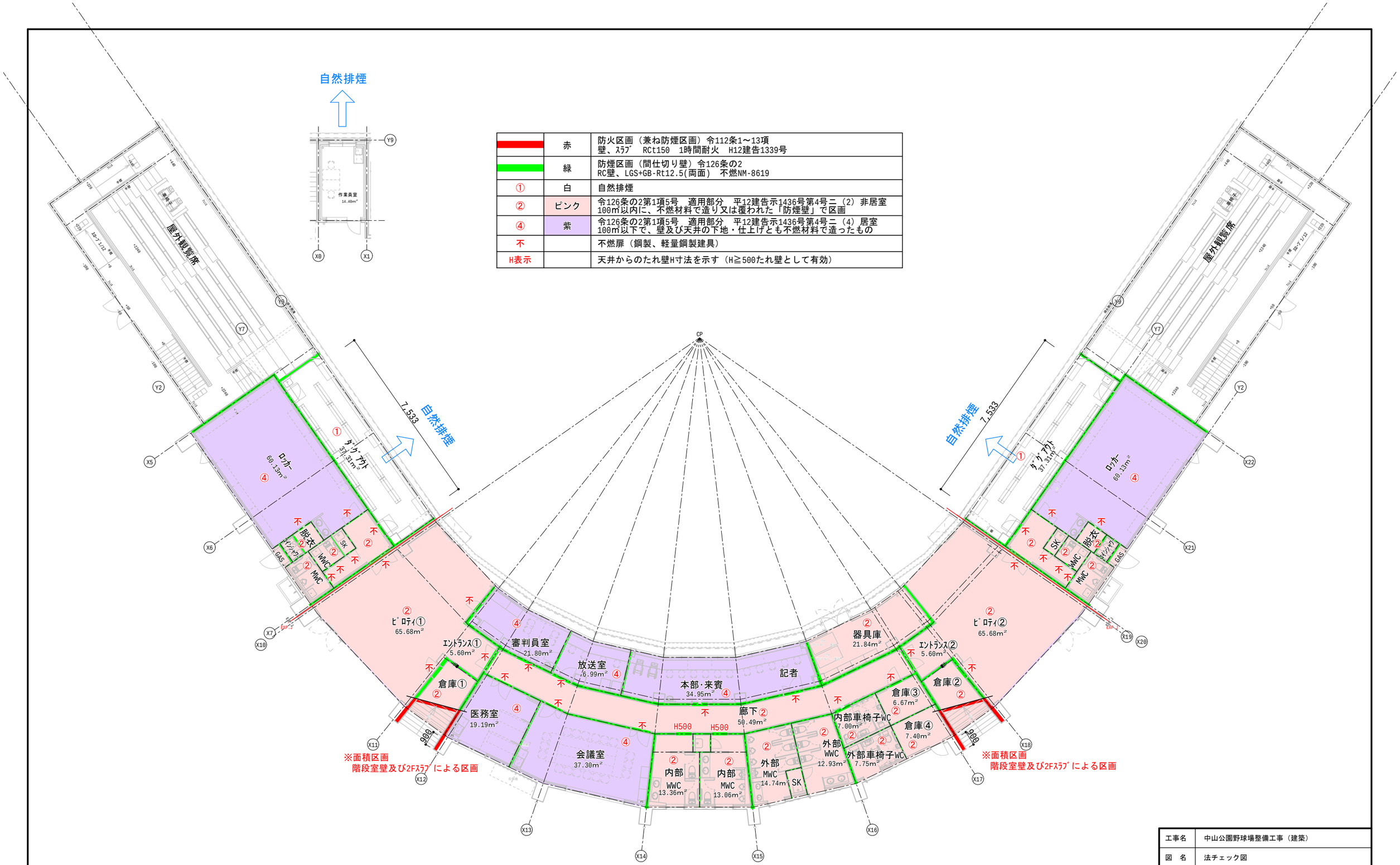
■内部仕上表

室名	床 下地	床 仕上げ	巾木	壁 下地	壁 仕上げ
本部・来賓、他	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	ｿﾌﾄ巾木 H60	GB-Rt12.5GL LGS+GB-Rt12.5 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	EP-G
審判員室	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	ｿﾌﾄ巾木 H60	GB-Rt12.5GL LGS+GB-Rt12.5 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	EP-G
放送室	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	ｿﾌﾄ巾木 H60	GB-Rt12.5GL LGS+GB-Rt12.5 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	EP-G
会議室	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	ｿﾌﾄ巾木 H60	GB-Rt12.5GL LGS+GB-Rt12.5 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	EP-G
医務室	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	ｿﾌﾄ巾木 H60	GB-Rt12.5GL LGS+GB-Rt12.5 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	EP-G
廊下	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	ｿﾌﾄ巾木 H60	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	EP-G
ｴﾝﾄﾗﾝｽ ①、②	ﾀｲﾙ下ﾓﾙﾀﾙ	床ﾀｲﾙ貼りA	ー	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	珪藻土塗り EP-G
ﾋﾟﾛﾃｨ ①、②	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	防塵塗床(防滑)	ー	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	EP-G
内部WWC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	ｿﾌﾄ巾木 H60	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 多孔質ﾀｲﾙ貼り
内部MWC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	ｿﾌﾄ巾木 H60	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 多孔質ﾀｲﾙ貼り
内部車椅子WC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	ｿﾌﾄ巾木 H60	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 多孔質ﾀｲﾙ貼り
内部SK	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	ｿﾌﾄ巾木 H60	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5	ﾒﾗﾐﾝ化粧板
外部WWC	ﾀｲﾙ下ﾓﾙﾀﾙ	床ﾀｲﾙ貼りB 200X200	ﾀｲﾙ立上げ H200	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 多孔質ﾀｲﾙ貼り
外部MWC	ﾀｲﾙ下ﾓﾙﾀﾙ	床ﾀｲﾙ貼りB 200X200	ﾀｲﾙ立上げ H200	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 多孔質ﾀｲﾙ貼り
外部車椅子WC	ﾀｲﾙ下ﾓﾙﾀﾙ	床ﾀｲﾙ貼りB 200X200	ﾀｲﾙ立上げ H200	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 多孔質ﾀｲﾙ貼り
外部SK	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	床ﾀｲﾙ貼りB 200X200	ﾀｲﾙ立上げ H200	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5	ﾒﾗﾐﾝ化粧板
ﾛｯｶｰ室	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	ｺﾞﾑﾀｲﾙt9	ｿﾌﾄ巾木 H60	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5	EP-G
ﾀﾞｸﾞｱｳﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	ｺﾞﾑﾀｲﾙt9	ー	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	EP-G
選手WC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	ｺﾞﾑﾀｲﾙt9	ｿﾌﾄ巾木 H60	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 珪藻土塗り
器具庫	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	防塵塗床(防滑)	ー	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	ー
観覧席 （一部屋外屋根）	PC段床 ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	ー 防塵塗床(防滑)	ー	ー	
倉庫①～④	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	防塵塗床(防滑)	ー	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 LGS+GB-Rt12.5	ー ー
作業員室	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	防塵塗床(防滑)	CB+ﾓﾙﾀﾙ 防塵塗床 H100	GB-Rt12.5GL	EP-G

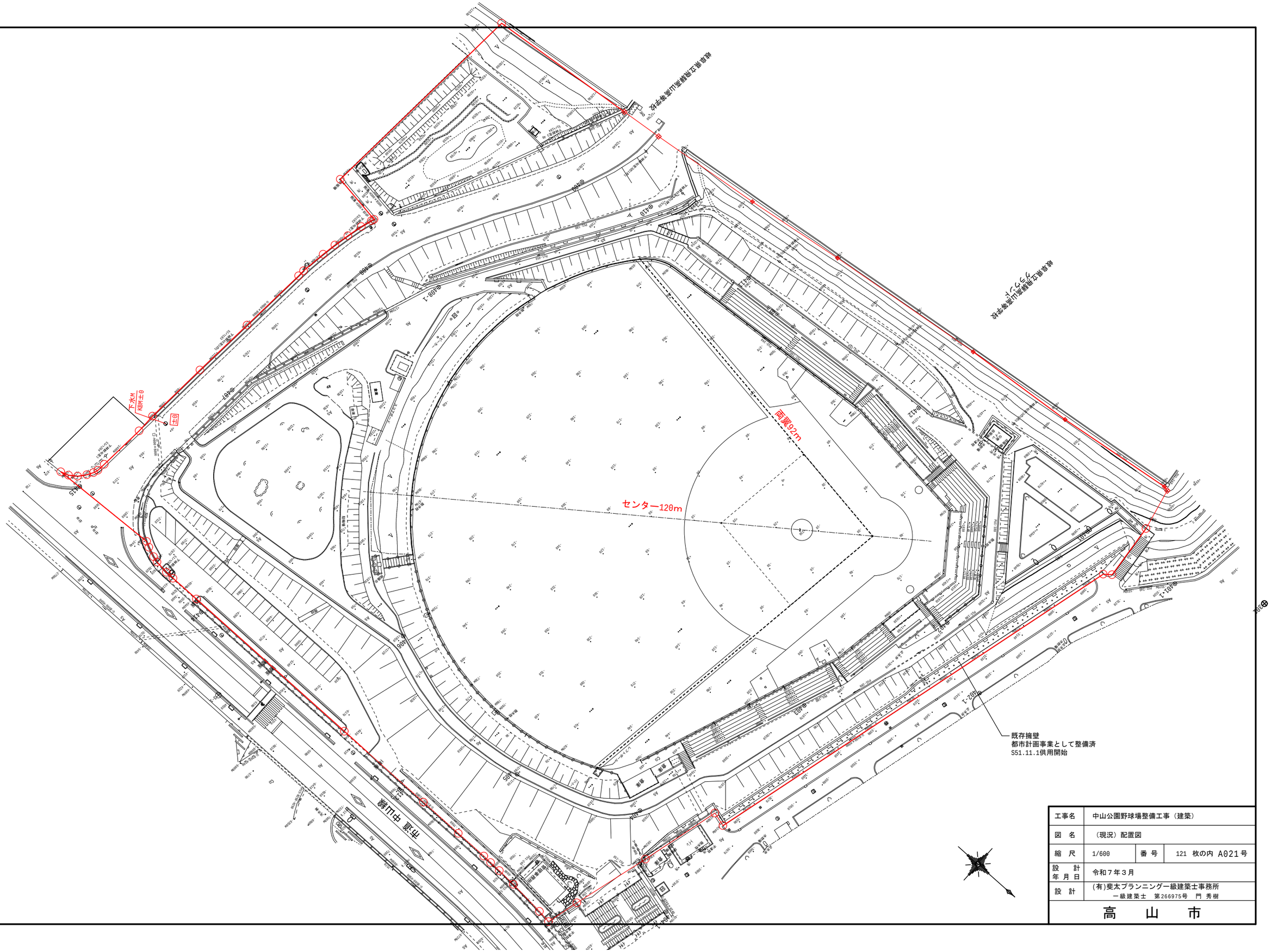
室名	廻り縁	天井 下地	天井 仕上げ	天井高	内装制限	備考
本部・来賓、他	塩ビ	GB-Rt12.5	岩綿吸音板t9	2,500	不燃	ｶｳﾝﾀｰﾃﾞｽｸ、手洗
審判員室	塩ビ	GB-Rt12.5	岩綿吸音板t9	2,500	不燃	ｶｳﾝﾀｰﾃﾞｽｸ、手洗、棚
放送室	塩ビ	GB-Rt12.5	岩綿吸音板t9	2,500	不燃	ｶｳﾝﾀｰﾃﾞｽｸ、放送卓等
会議室	塩ビ	ー	GB-Dt9.5	2,500	不燃	流し台、吊戸棚
医務室	塩ビ	ー	GB-Dt9.5	2,500	不燃	流し台、仕切りｶｰﾃﾝ 総合盤
廊下	ｱﾙﾐ 塩ビ	GB-Rt12.5+12.5	EP-G	2,500	準不燃	消火器ﾎﾞｯｸｽ(埋込式)
ｴﾝﾄﾗﾝｽ ①、②	塩ビ	ｹｲｶﾙ板t6 (一部)ｹｲｶﾙ板t6	ｽｷﾞ板張りt9 木材保護塗装 EP-G	2,600	たれ壁H500 不燃	正方枠格子 消火器ﾎﾞｯｸｽ(屋外式)
ﾋﾟﾛﾃｨ ①、②	塩ビ	LGS	ｽｷﾞ板張りt20 木材保護塗装	2,700		足拭きﾏｯﾄ
内部WWC	塩ビ	GB-Rt9.5	EP-G ｽｷﾞ板張りt9 木材保護塗装	2,500	たれ壁H500 不燃	面台、ﾄｲﾚﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ 男女間LGS間仕切りGW24K t50充填
内部MWC	塩ビ	GB-Rt9.5	EP-G ｽｷﾞ板張りt9 木材保護塗装	2,500	たれ壁H500 不燃	面台、ﾄｲﾚﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ 男女間LGS間仕切りGW24K t50充填
内部ﾏﾙﾁWC	塩ビ	GB-Rt9.5	EP-G ｽｷﾞ板張りt9 木材保護塗装	2,500	たれ壁H500 不燃	面台 男女間LGS間仕切りGW24K t50充填
内部SK	塩ビ	ー	GB-Dt9.5	2,500	たれ壁H500 不燃	面台
外部WWC	塩ビ	GB-Rt9.5	EP-G ｽｷﾞ板張りt9 木材保護塗装	2,500	たれ壁H500 不燃	面台、ﾄｲﾚﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ 男女間LGS間仕切りGW24K t50充填
外部MWC	塩ビ	GB-Rt9.5	EP-G ｽｷﾞ板張りt9 木材保護塗装	2,500	たれ壁H500 不燃	面台、ﾄｲﾚﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ 男女間LGS間仕切りGW24K t50充填
外部ﾏﾙﾁWC	塩ビ	GB-Rt9.5	EP-G ｽｷﾞ板張りt9 木材保護塗装	2,500	たれ壁H500 不燃	面台 男女間LGS間仕切りGW24K t50充填
外部SK	塩ビ	ー	GB-Dt9.5	2,500	たれ壁H500 不燃	面台
ﾛｯｶｰ室	塩ビ	GB-Rt12.5	EP-G 不燃木調ﾙｰﾊﾞｰ	2,500	不燃	選手用ﾍﾞﾝﾁ、手洗
ﾀﾞｸﾞｱｳﾄ	ー	ｹｲｶﾙ板t6	EP-G	2,700	難燃	ﾍﾞﾝﾁ、収納棚、上部棚、ﾌｯｸ 足拭きﾏｯﾄ
選手WC	塩ビ	ー	GB-Dt9.5	2,500	たれ壁H500 不燃	面台、ﾄｲﾚﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ
器具庫	ー	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	ー	現し	たれ壁H500 不燃	鋼製棚
観覧席 （一部屋外屋根）	ー	LGS	軒天ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt12	4,000 ～		消火器ﾎﾞｯｸｽ(屋外式)
倉庫①～④	ー	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	ー	現し	たれ壁H500 不燃	
作業員室	塩ビ	ー	GB-Dt9.5	2,500	不燃	流し台

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	内部仕上げ表		
縮　尺	ー	番　号	121 枚の内 A019 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

	赤	防火区画（兼ね防煙区画）令112条1～13項 壁、ｽﾗﾌﾞ　RCt150　1時間耐火　H12建告1339号
	緑	防煙区画（間仕切り壁）令126条の2 RC壁、LGS+GB-Rt12.5(両面)　不燃NM-8619
①	白	自然排煙
②	ピンク	令126条の2第1項5号　適用部分　平12建告示1436号第4号ニ（2）非居室 100㎡以内に、不燃材料で造り又は覆われた「防煙壁」で区画
④	紫	令126条の2第1項5号　適用部分　平12建告示1436号第4号ニ（4）居室 100㎡以下で、壁及び天井の下地・仕上げとも不燃材料で造ったもの
不		不燃扉（鋼製、軽量鋼製建具）
H表示		天井からのたれ壁H寸法を示す（H≧500たれ壁として有効）

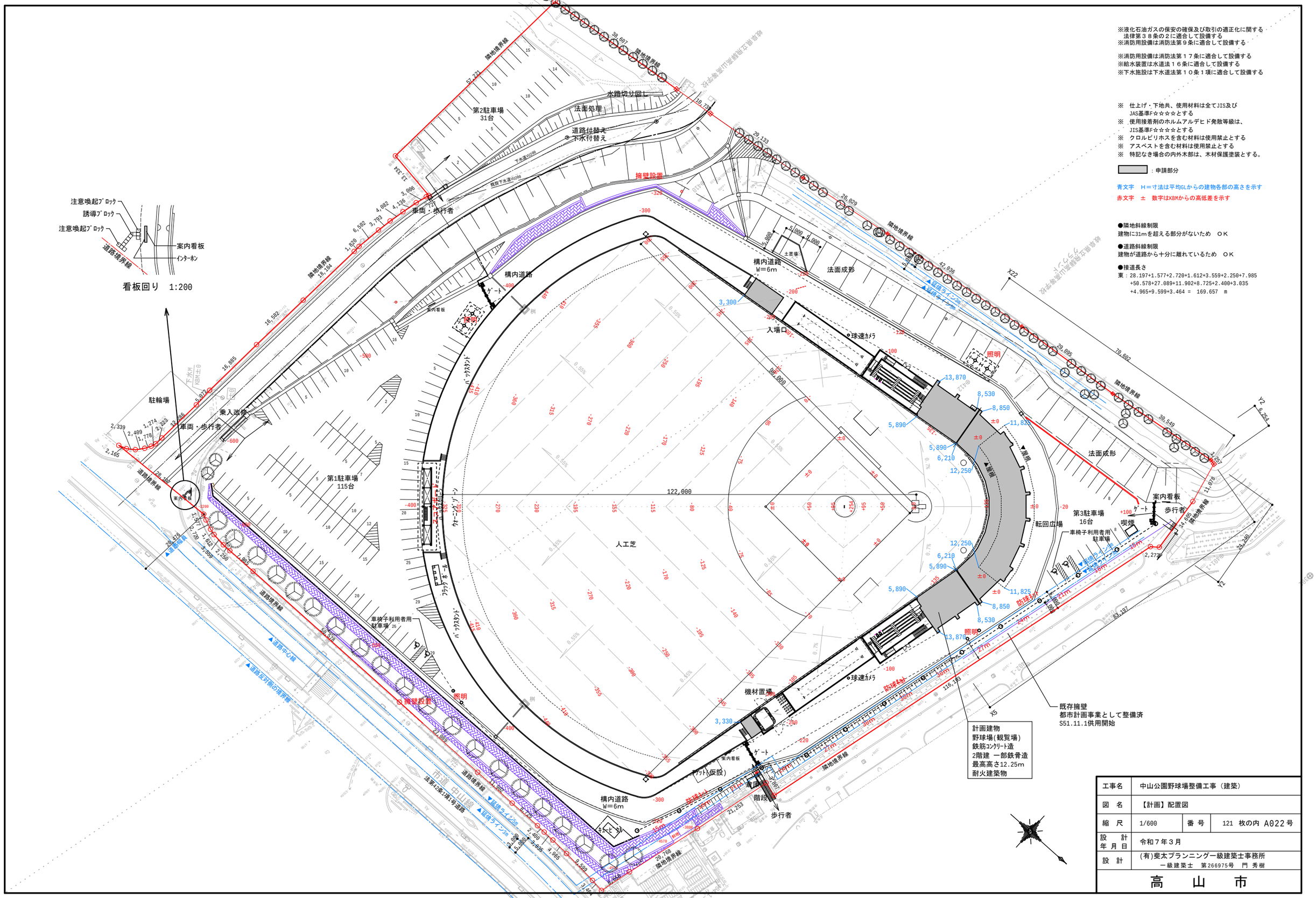


工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	法チェック図		
縮　尺	1/150	番　号	121 枚の内 A020号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	（現況）配置図		
縮　尺	1/600	番　号	121 枚の内 A021号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

高　山　市



※液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第３８条の２に適合して設備する
※消防用設備は消防法第９条に適合して設備する

※消防用設備は消防法第１７条に適合して設備する
※給水装置は水道法１６条に適合して設備する
※下水施設は下水道法第１０条１項に適合して設備する

※ 仕上げ・下地共、使用材料は全てJIS及びJAS基準F☆☆☆☆とする
※ 使用接着剤のホルムアルデヒド発散等級は、JIS基準F☆☆☆☆とする
※ クロルピリホスを含む材料は使用禁止とする
※ アスベストを含む材料は使用禁止とする
※ 特記なき場合の内外木部は、木材保護塗装とする。

：申請部分

青文字 H＝寸法は平均GLからの建物各部の高さを示す
赤文字 ± 数字はKBMからの高低差を示す

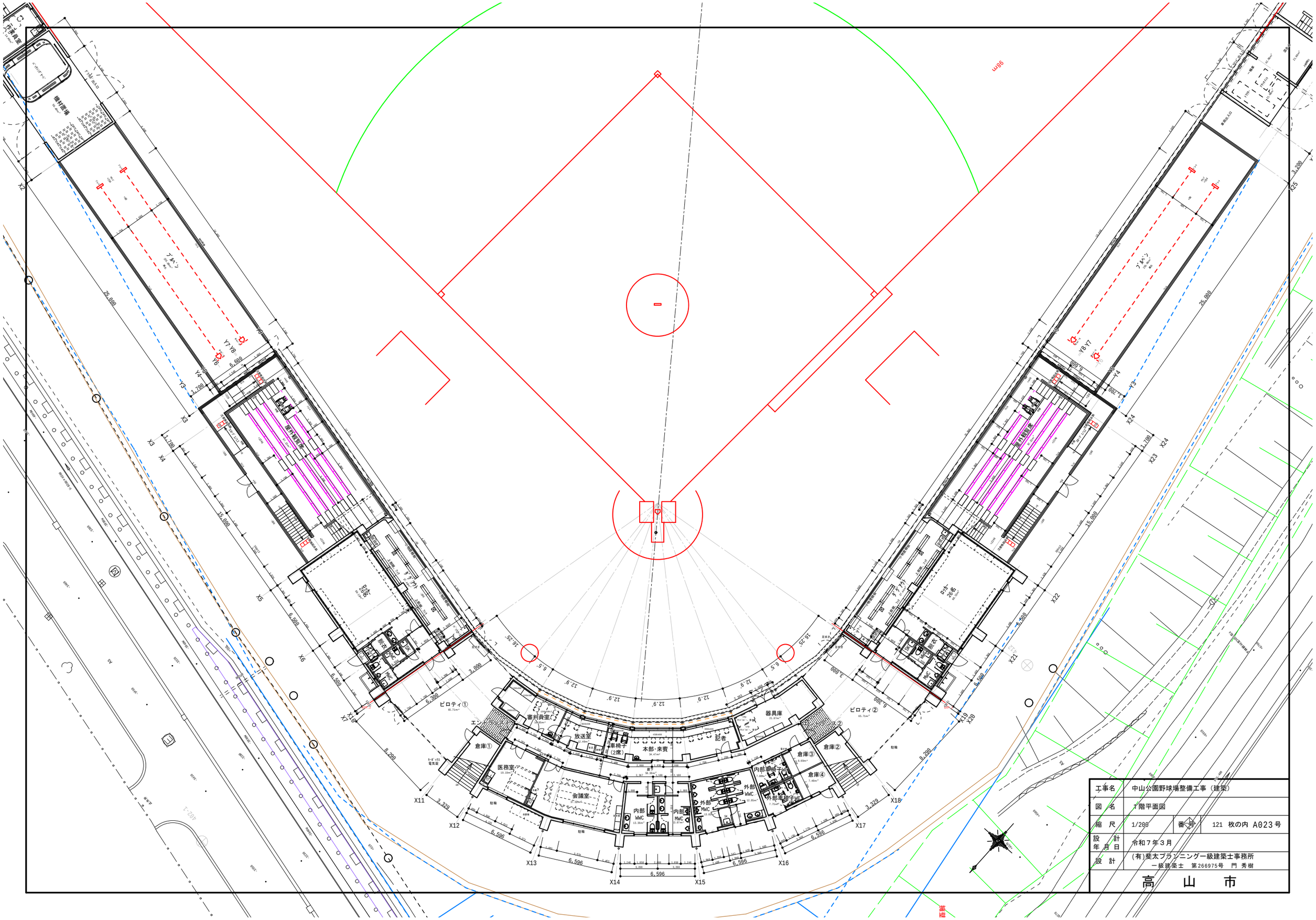
●隣地斜線制限
建物に31mを超える部分がないため ＯＫ

●道路斜線制限
建物が道路から十分に離れているため ＯＫ

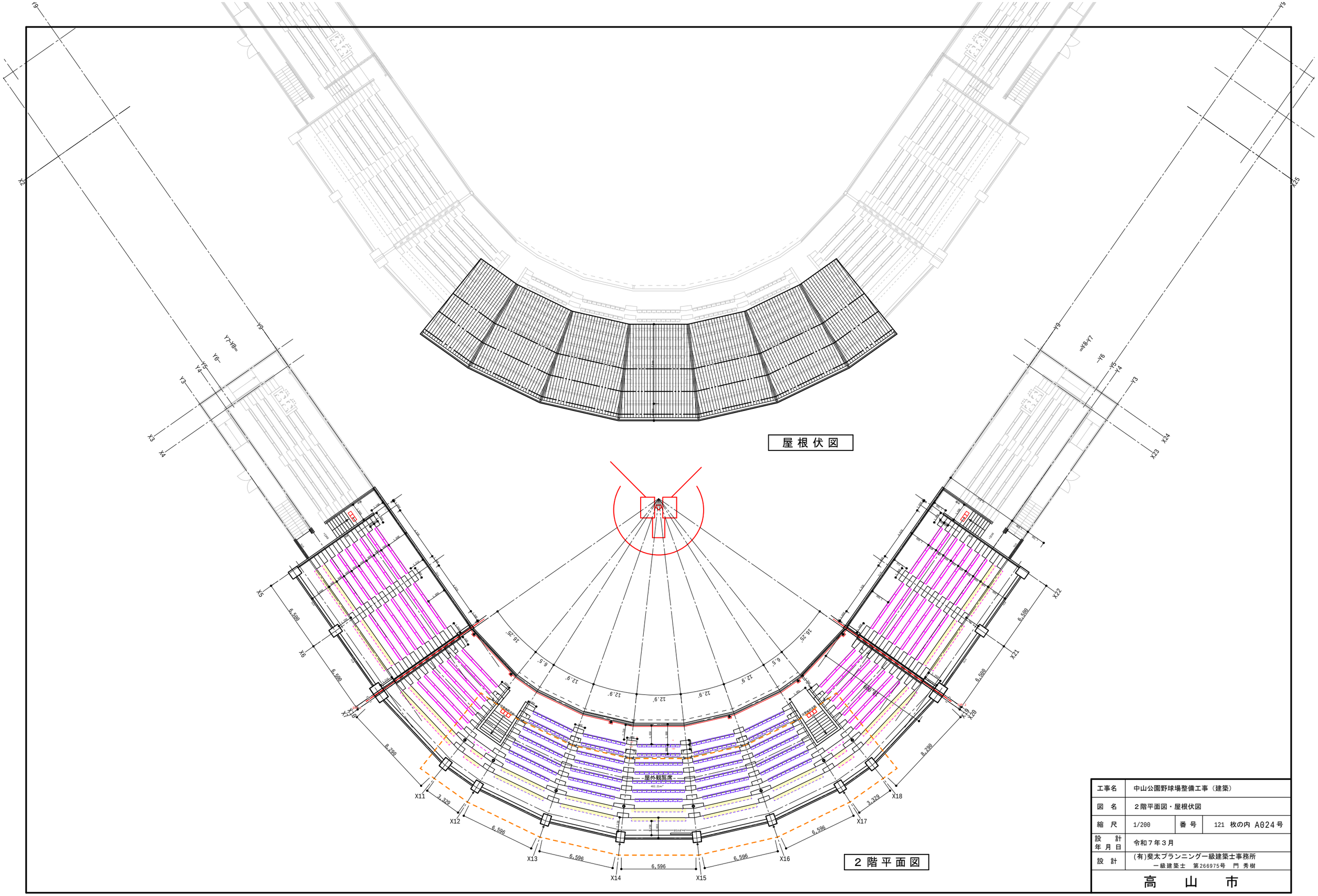
●接道長さ
東：28.197+1.577+2.720+1.612+3.559+2.250+7.985
+50.578+27.089+11.902+8.725+2.400+3.035
+4.965+9.599+3.464 = 169.657 m

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	【計画】配置図		
縮 尺	1/600	番 号	121 枚の内 A022号
設 計 年 月 日	令和７年３月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		

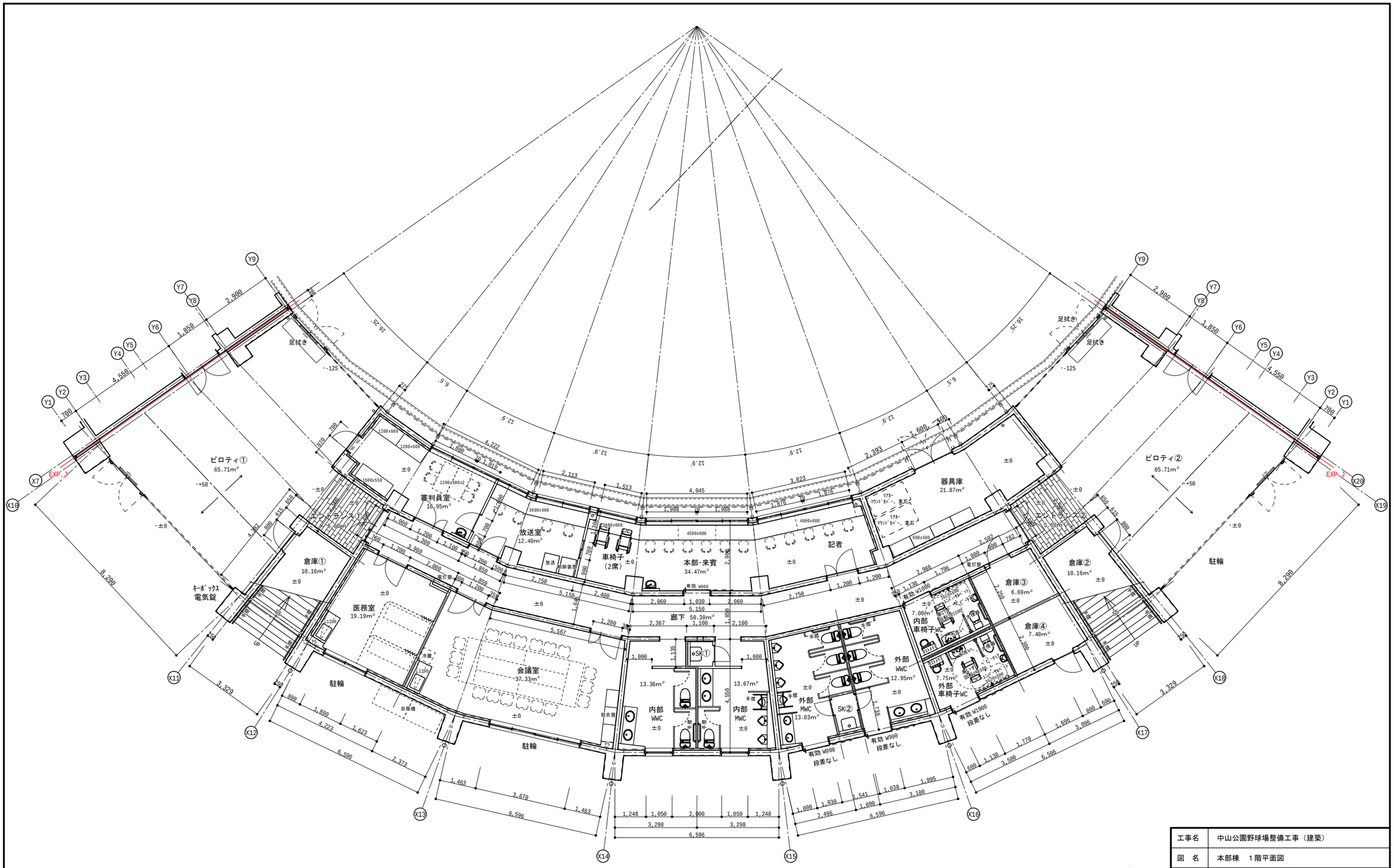
高 山 市



工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	1階平面図		
縮　尺	1/200	番号	121 枚の内 A023号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

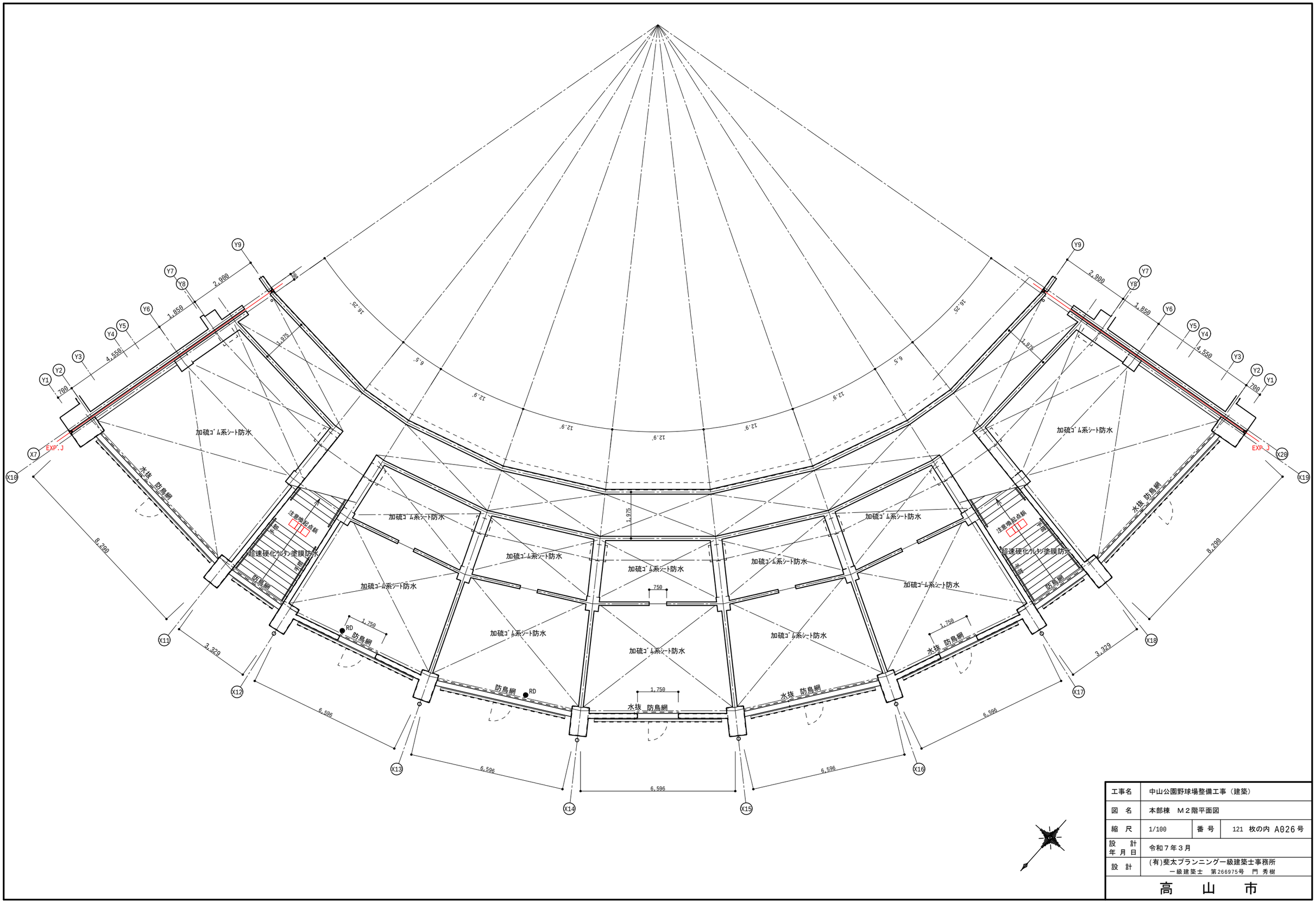


工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	２階平面図・屋根伏図		
縮　尺	1/200	番　号	121 枚の内 A024 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

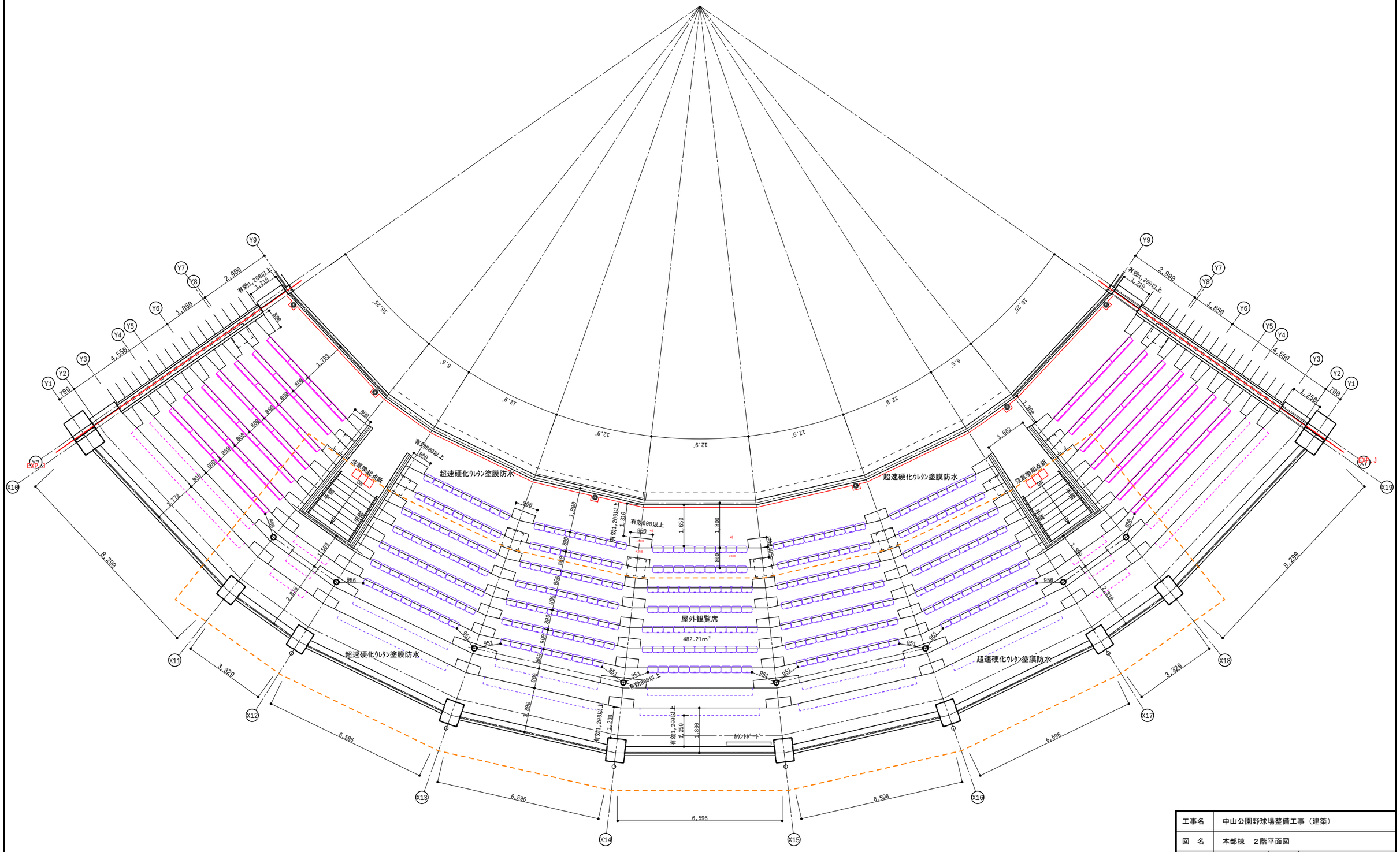


工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	本部棟　１階平面図		
縮　尺	1/100	番　号	103 枚の内 A025号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

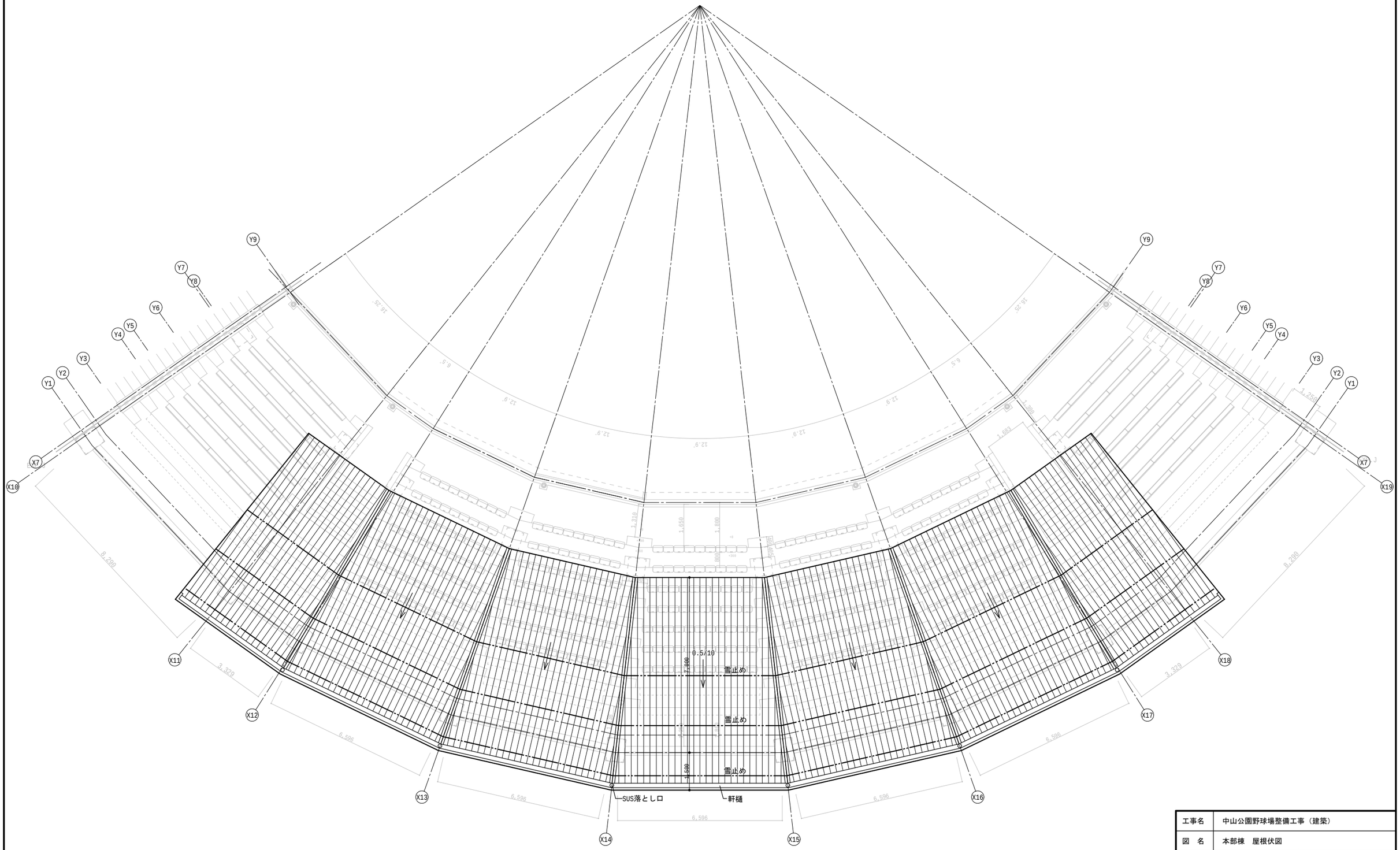
高　山　市



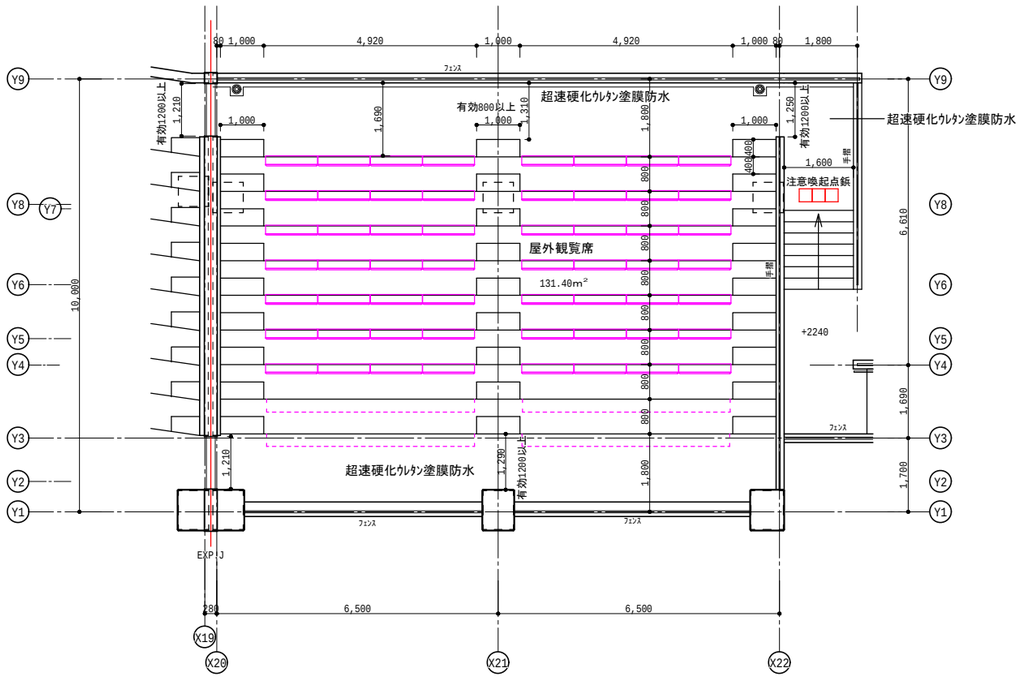
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	本部棟　Ｍ２階平面図		
縮　尺	1/100	番 号	121 枚の内 A026号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



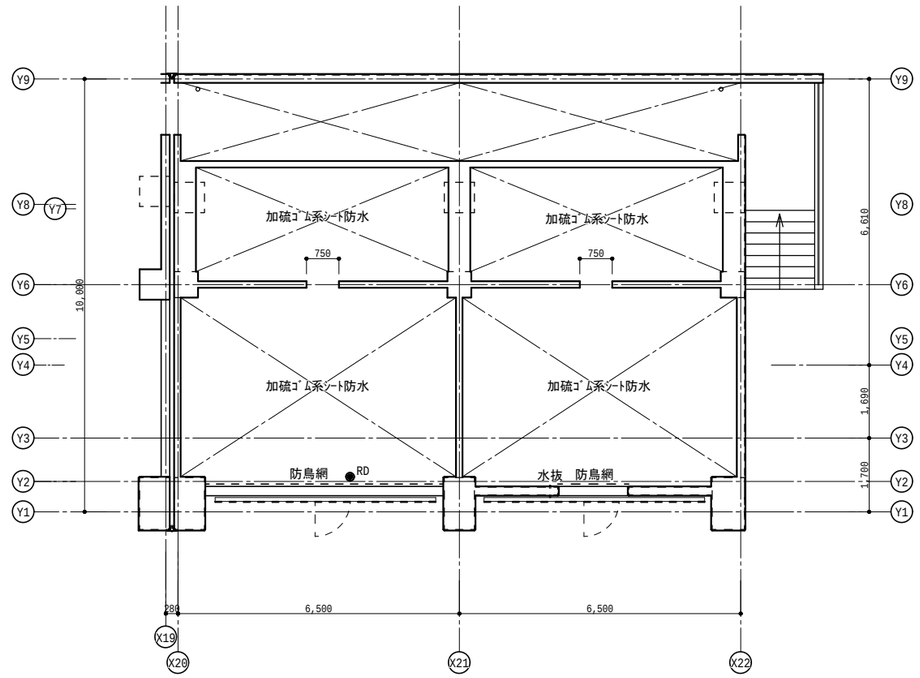
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	本部棟　２階平面図		
縮　尺	1/100	番 号	121 枚の内 A027 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



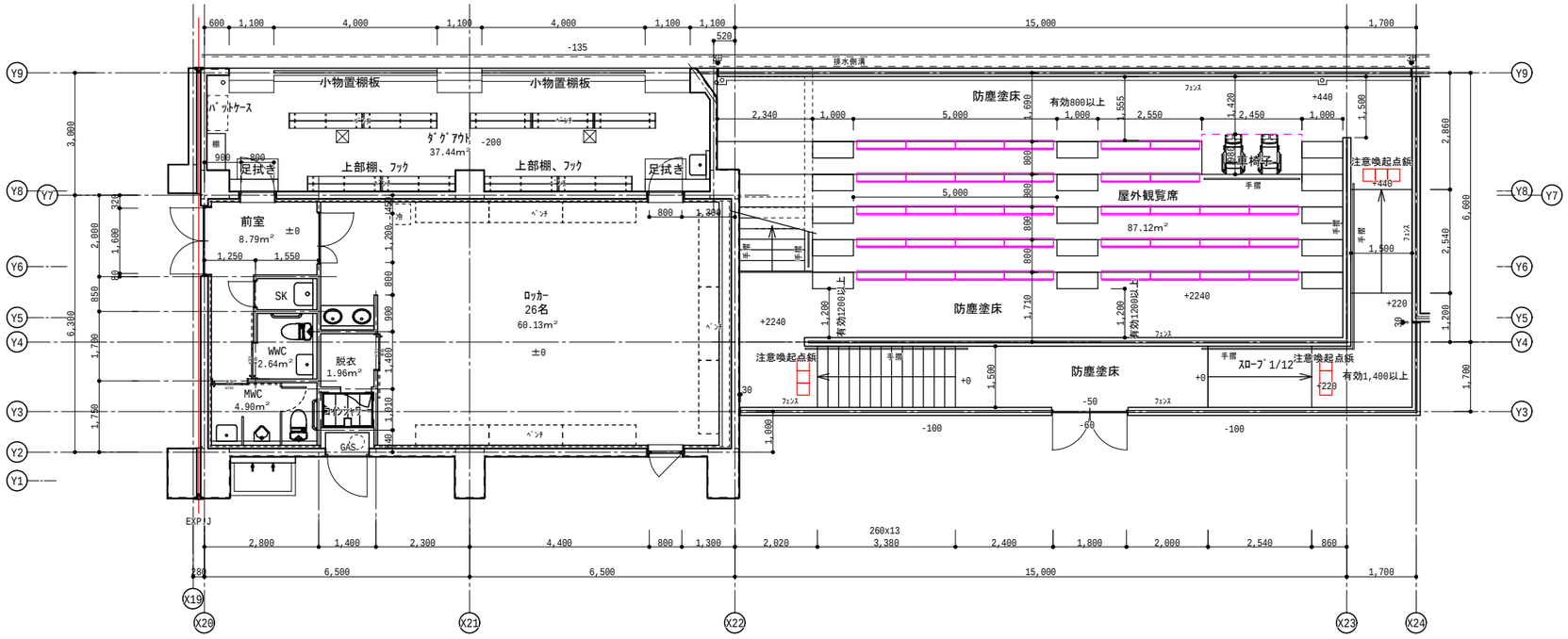
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	本部棟　屋根伏図		
縮　尺	1/100	番 号	121 枚の内 A028 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



２階平面図

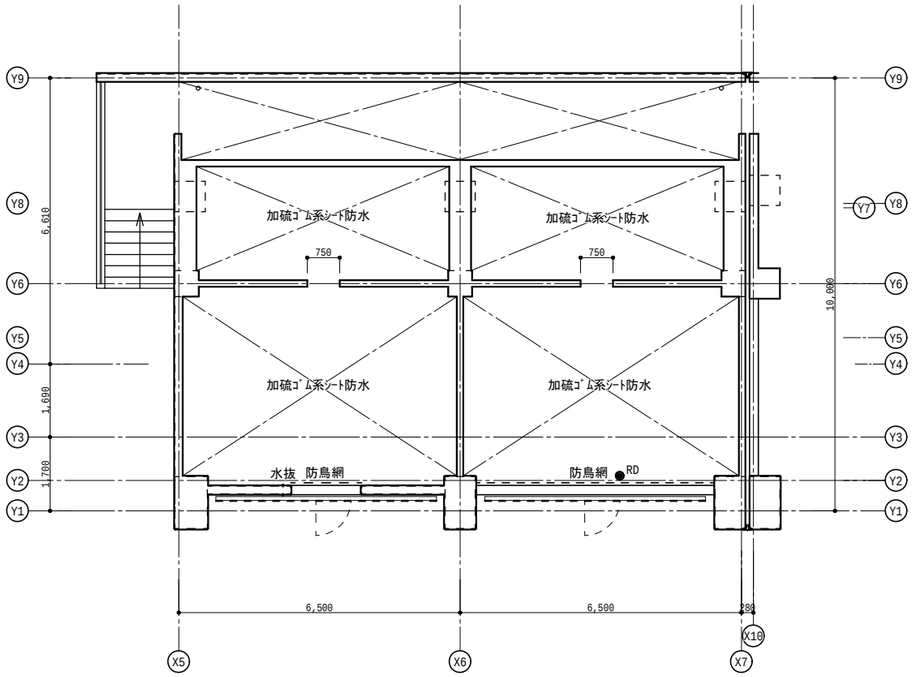


Ｍ２階平面図

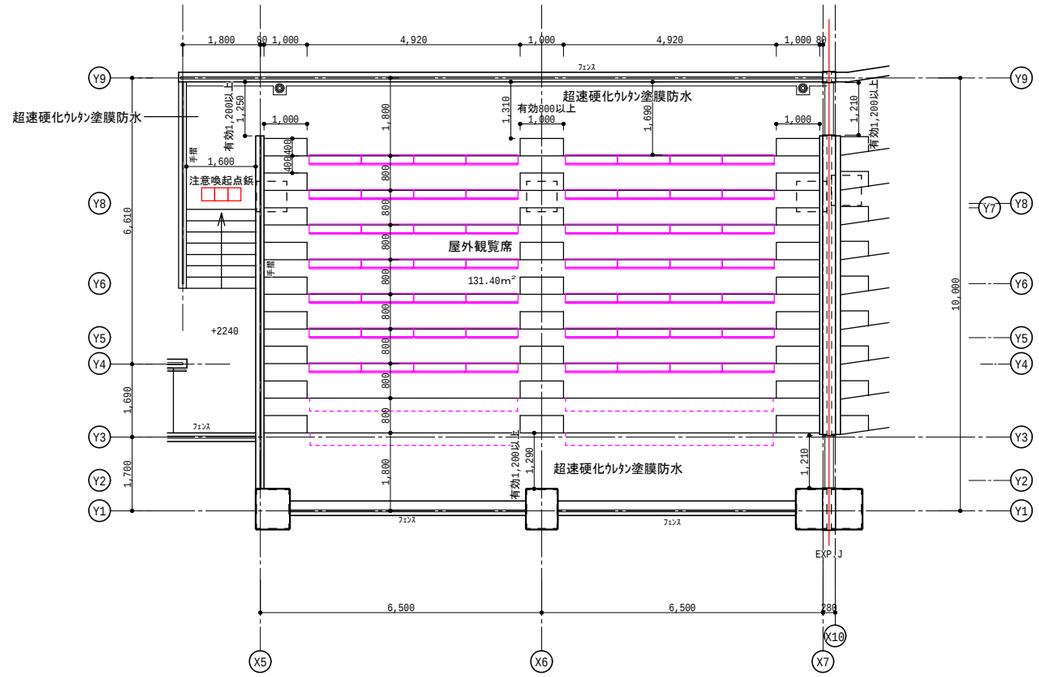


１階平面図

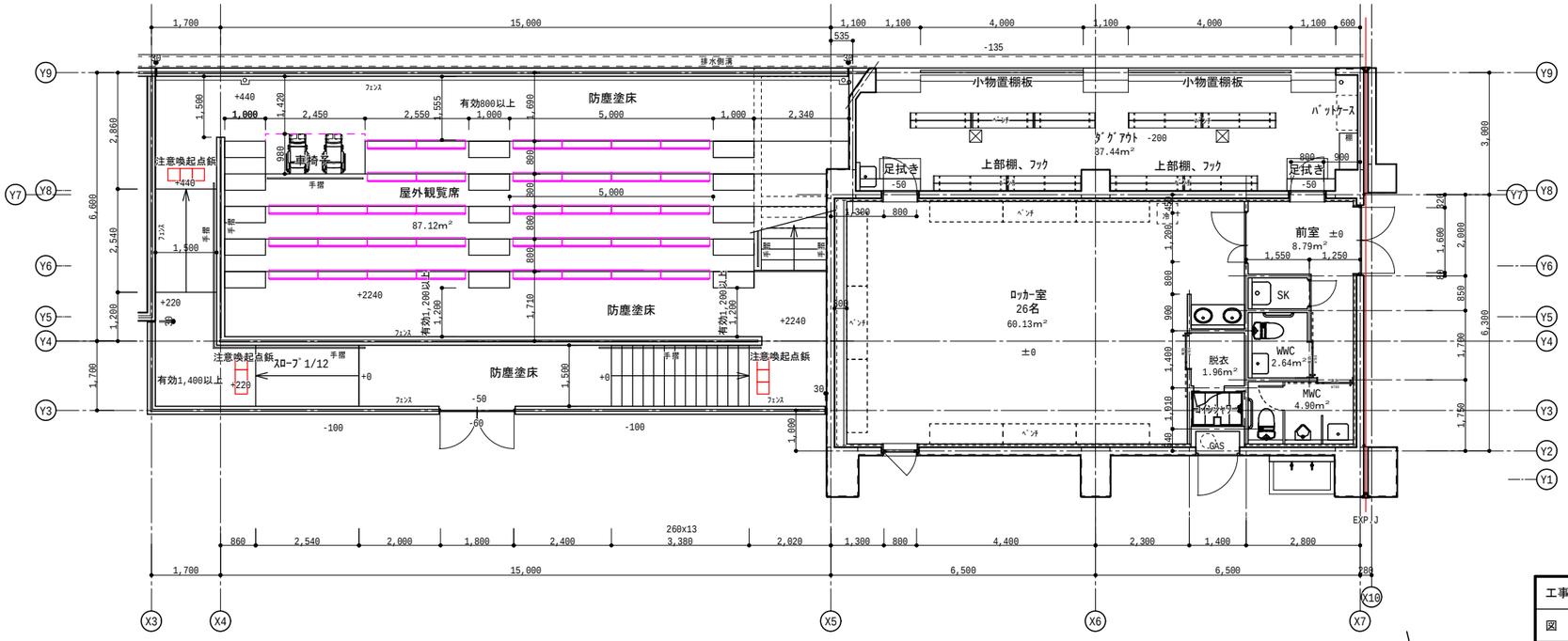
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	一塁側　１階・Ｍ２階・２階平面図		
縮　尺	1/100	番　号	121 枚の内 A029 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



M２階平面図

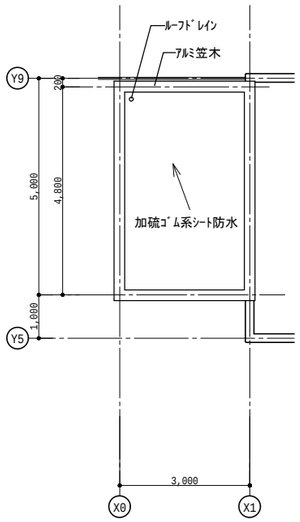


２階平面図

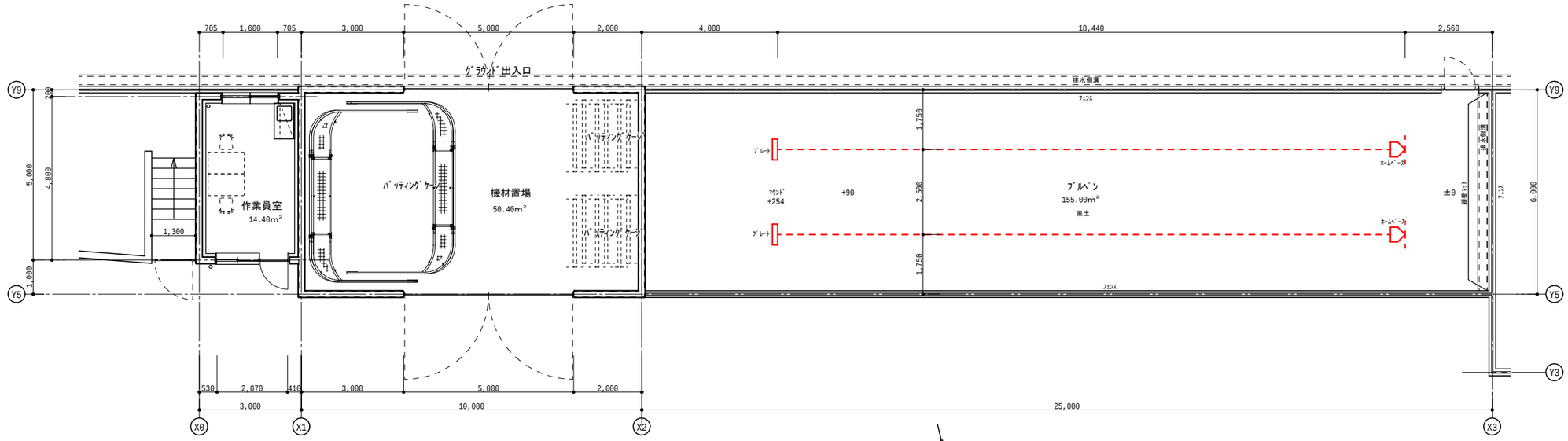


１階平面図

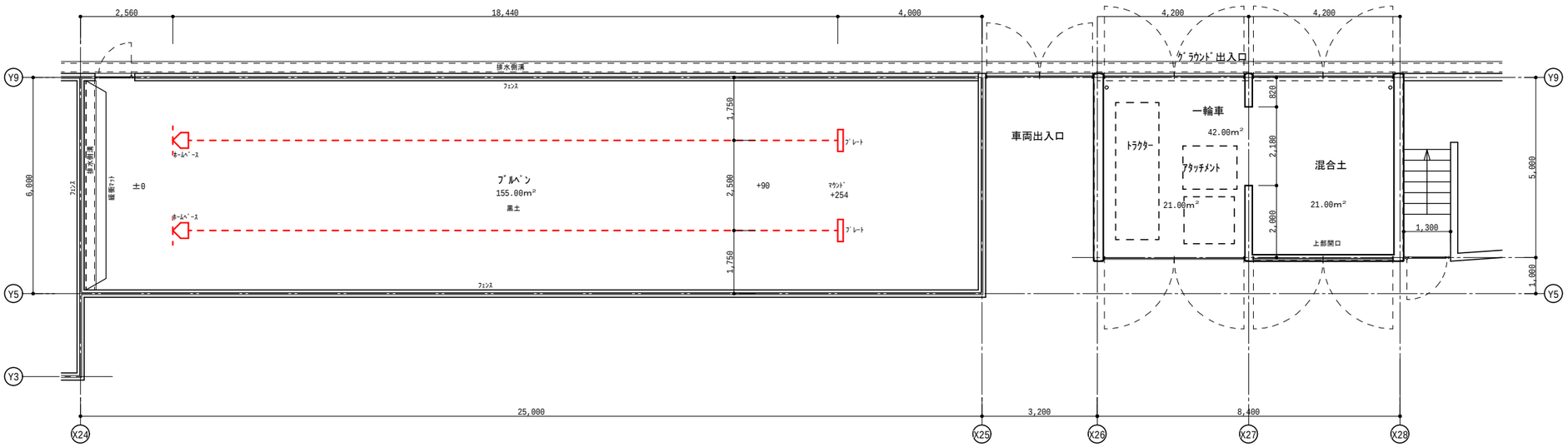
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	三塁側　１階・Ｍ２階・２階平面図		
縮　尺	1/100	番　号	121 枚の内 A030号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



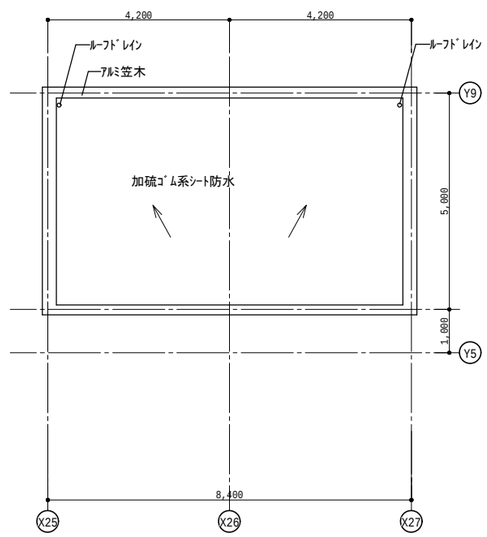
三塁側　屋根伏図



三塁側　平面図



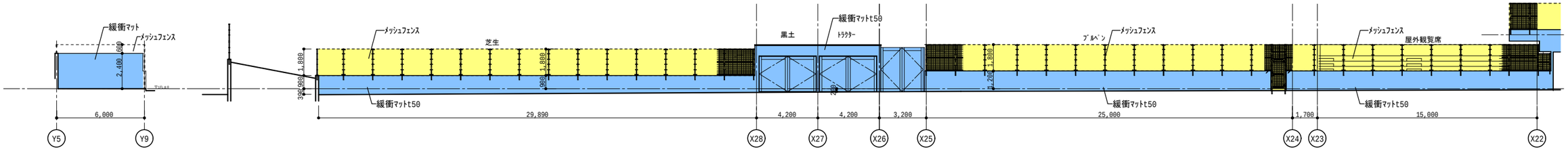
一塁側　平面図



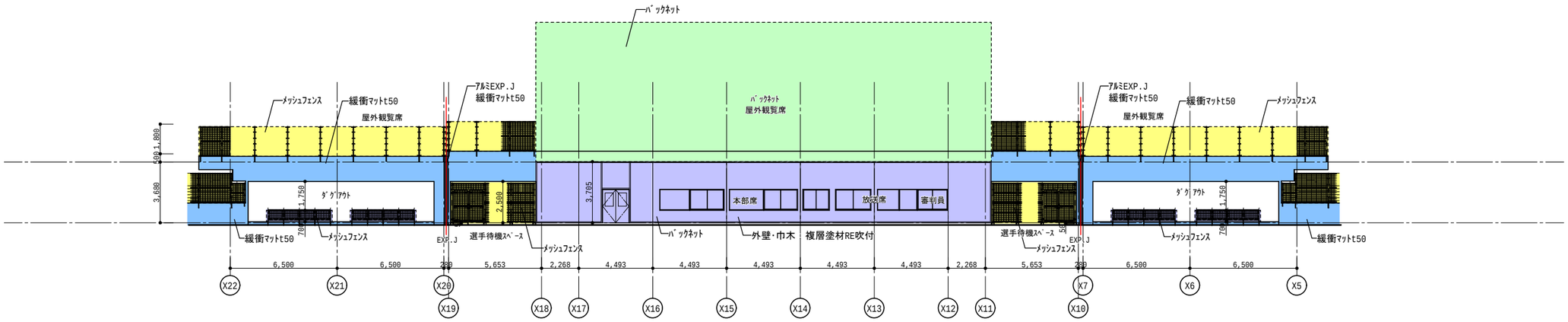
一塁側　屋根伏図

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	ブルペン　平面図・屋根伏図		
縮　尺	1/100	番　号	121 枚の内 A031 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

高　　山　　市

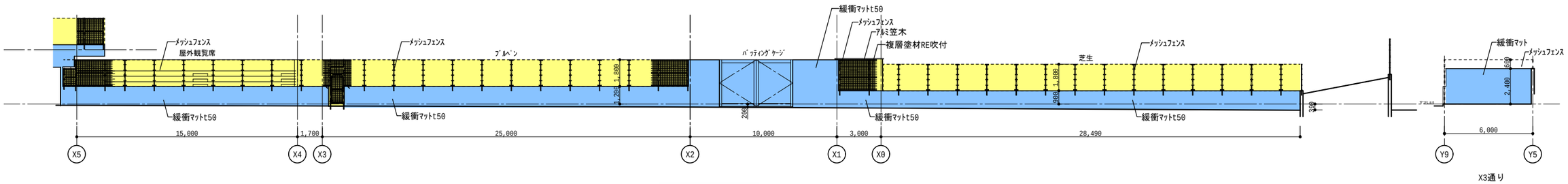


立面展開図－１

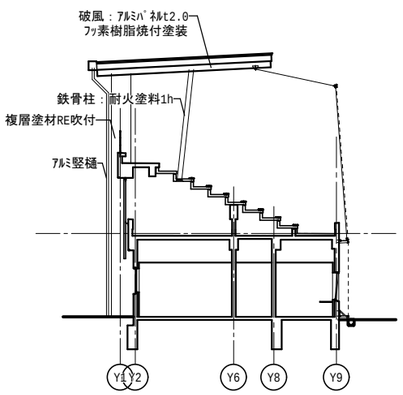


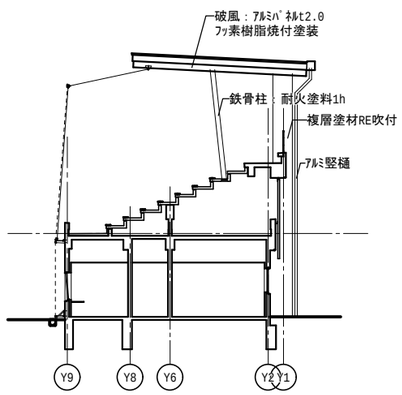
立面展開図－２

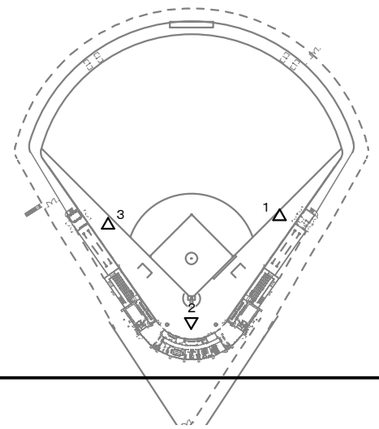
※1Fのメッシュフェンス、バックネットの支柱は緩衝マット巻付けとする
緩衝マット巻付けはPEロープ留めとする



立面展開図－３







- フェンス①
- バックネット①
- バックネット②
- 緩衝マット

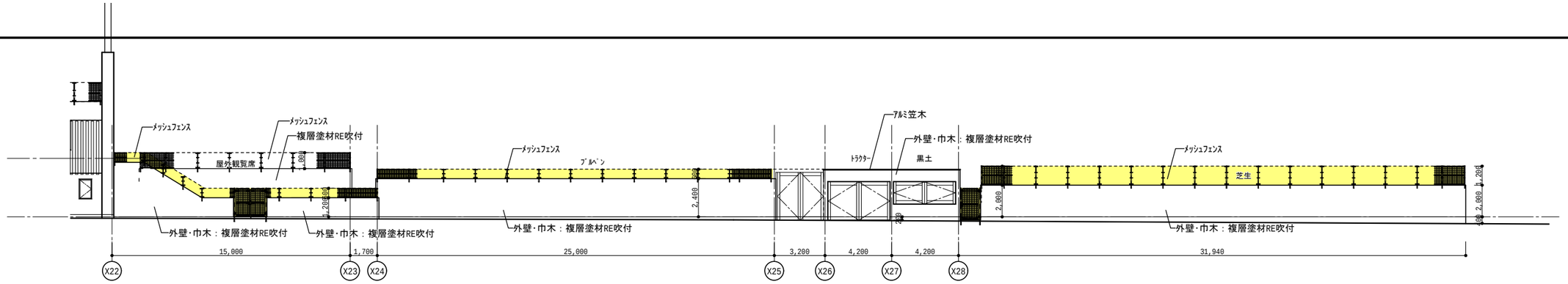
●隣地斜線制限
建物に31mを超える部分がないため　ＯＫ

●道路斜線制限
建物が道路から十分に離れているため　ＯＫ

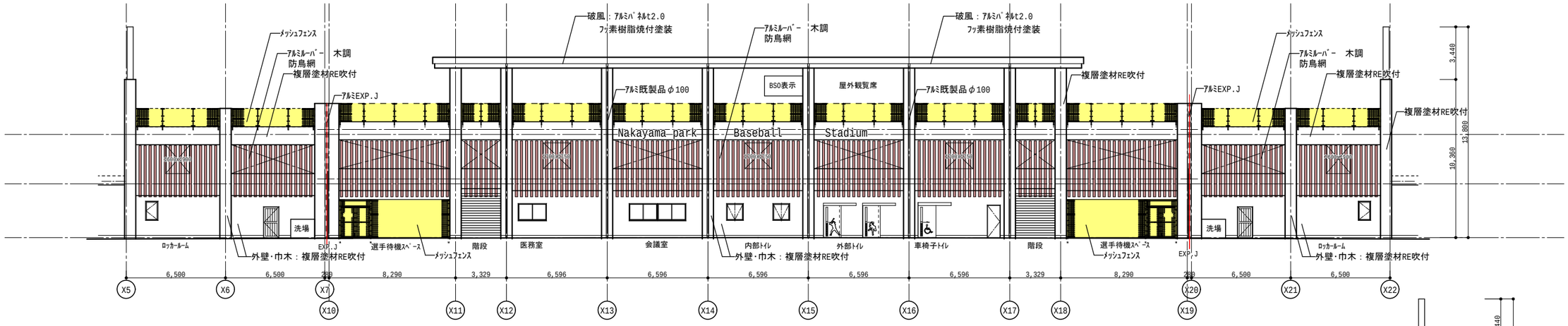
●延焼の恐れのある部分
延焼ラインが建物に掛からないため、該当部分なし

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	立面展開図－１(グラウンド側)		
縮　尺	1/200	番　号	121　枚の内 A032 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門　秀樹		

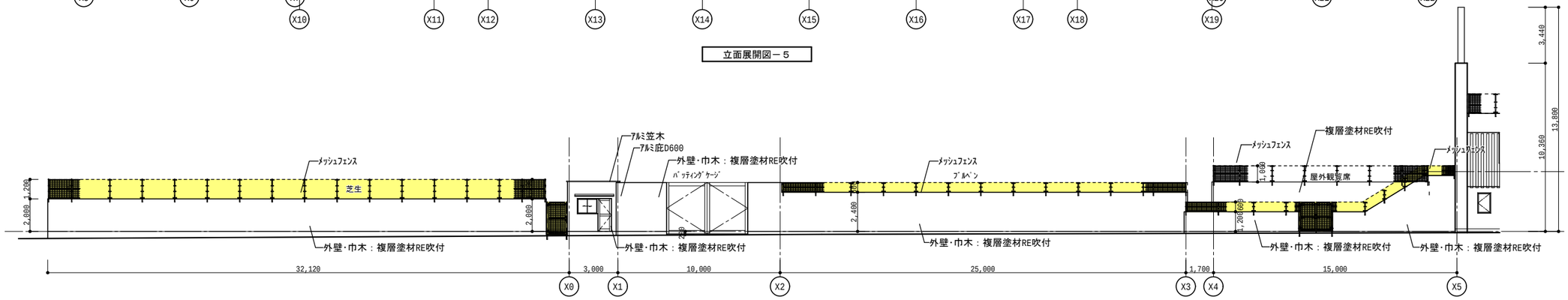
高　　山　　市



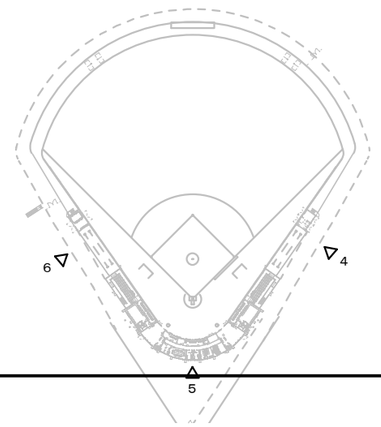
立面展開図－４



立面展開図－５



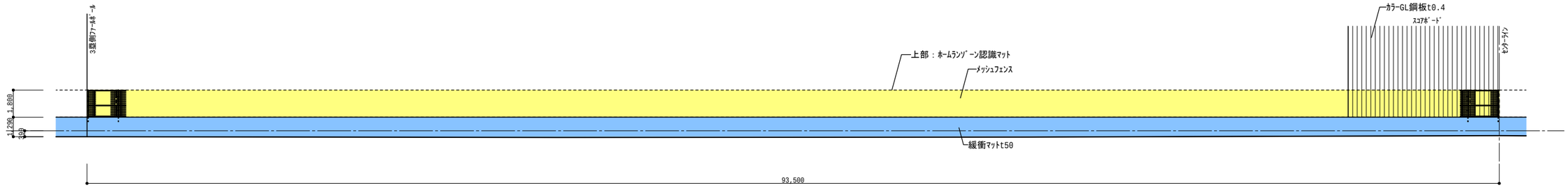
立面展開図－６



フェンス①

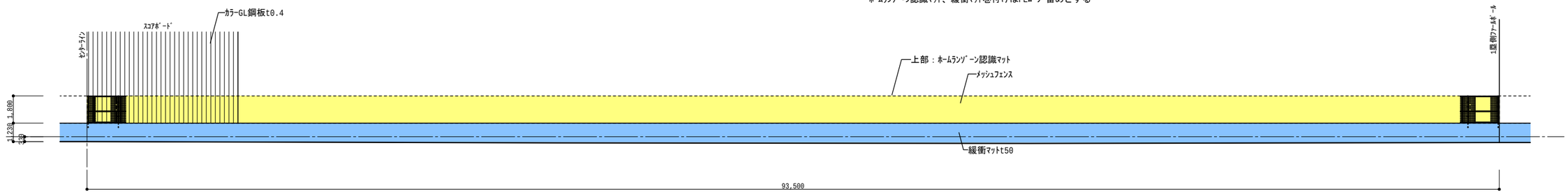
アルミルーバー

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	立面展開図－２(外周部)		
縮　尺	1/200	番　号	121 枚の内 A033 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)愛太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



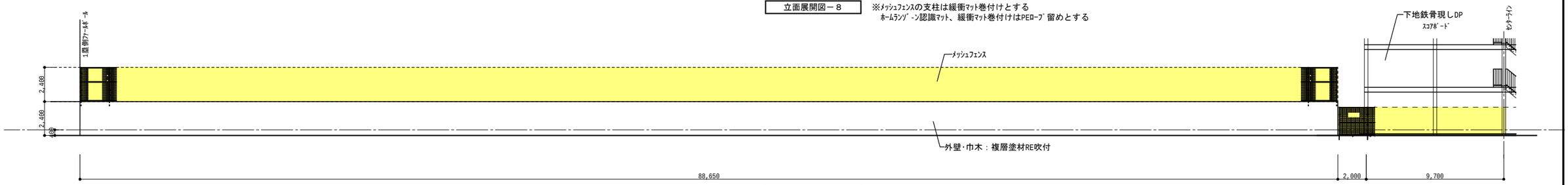
立面展開図－７

※メッシュフェンスの支柱は緩衝マット巻付けとする
ホームランゾーン認識マット、緩衝マット巻付けはPEロープ留めとする

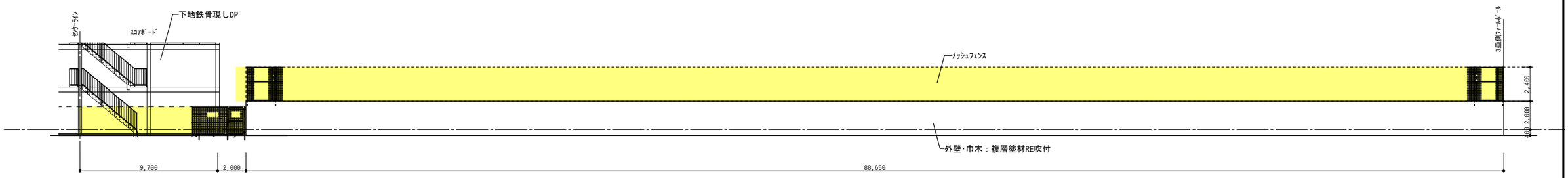


立面展開図－８

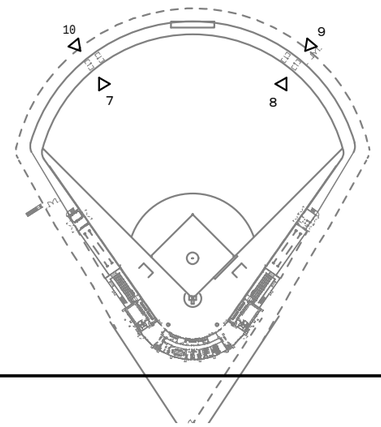
※メッシュフェンスの支柱は緩衝マット巻付けとする
ホームランゾーン認識マット、緩衝マット巻付けはPEロープ留めとする



立面展開図－９



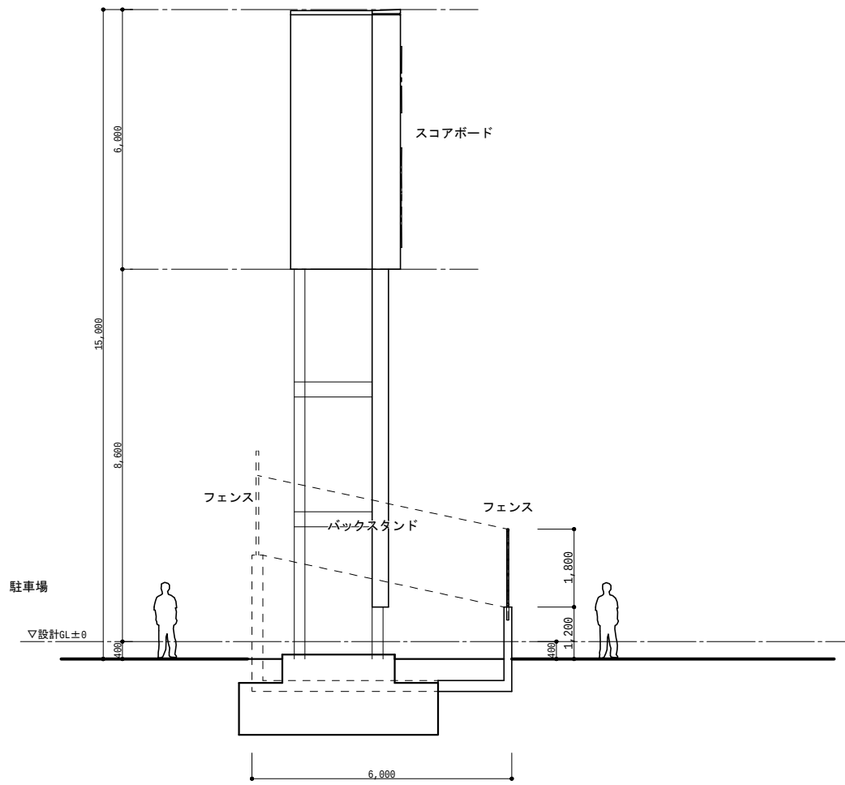
立面展開図－10

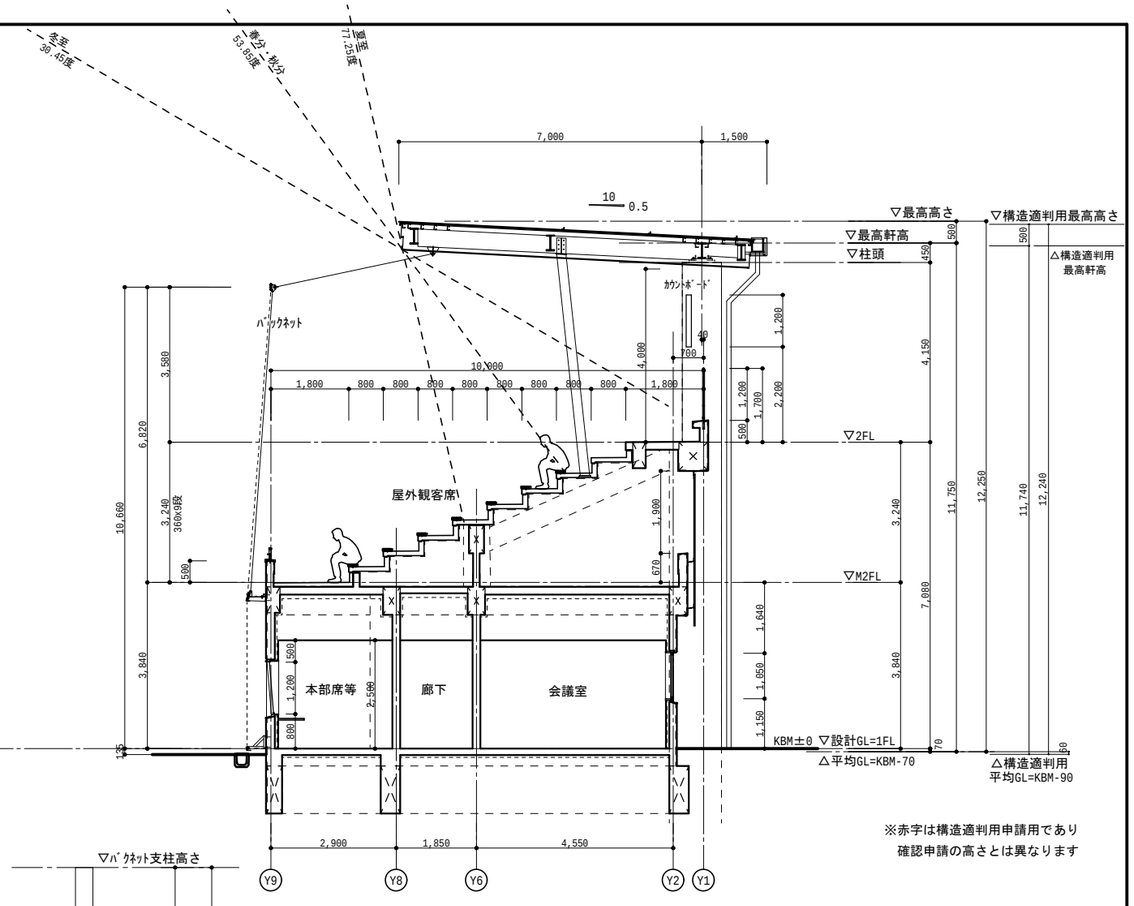


フェンス①

緩衝マット

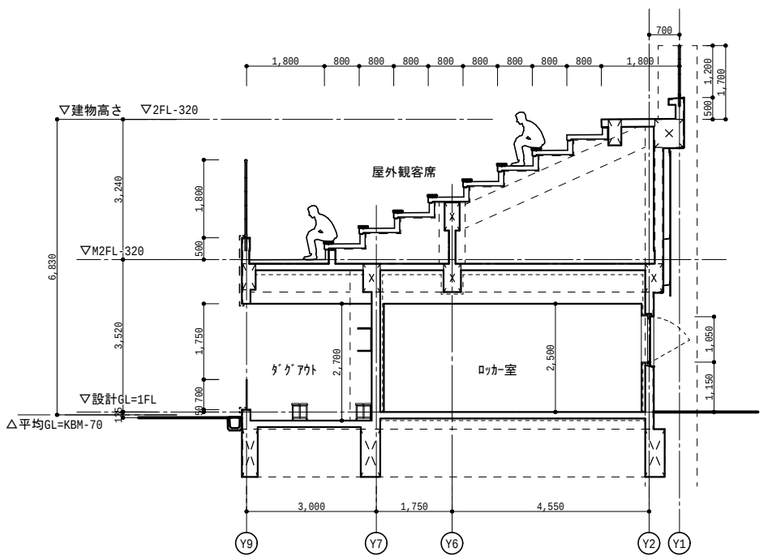
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	立面展開図－３(バックスタンド側)		
縮　尺	1/200	番　号	121　枚の内 A034 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



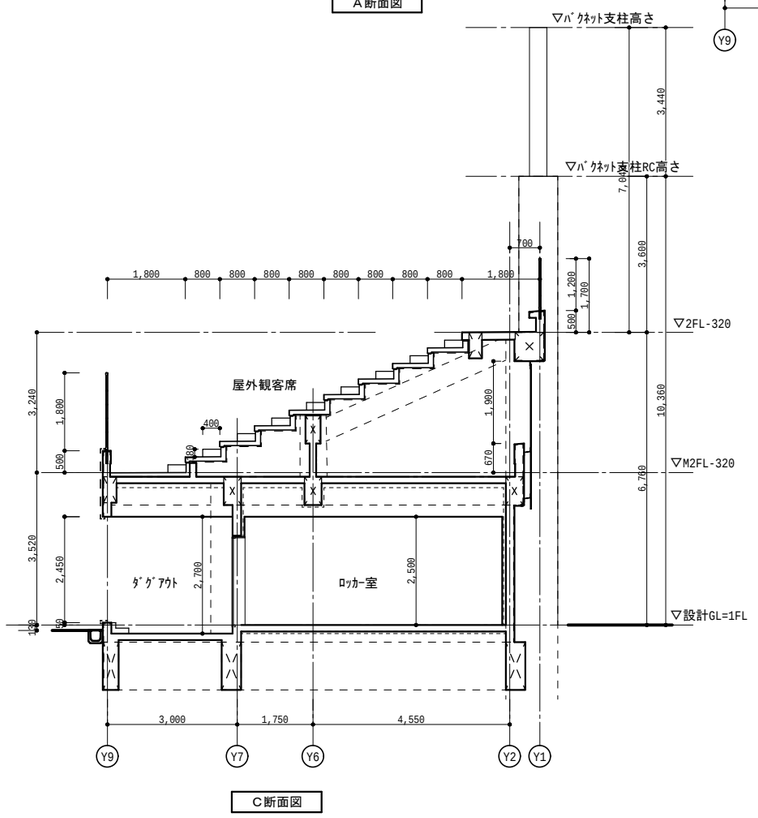


※赤字は構造適判用申請用であり
確認申請の高さとは異なります

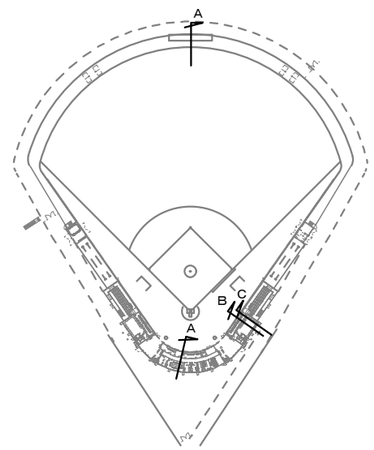
A断面図



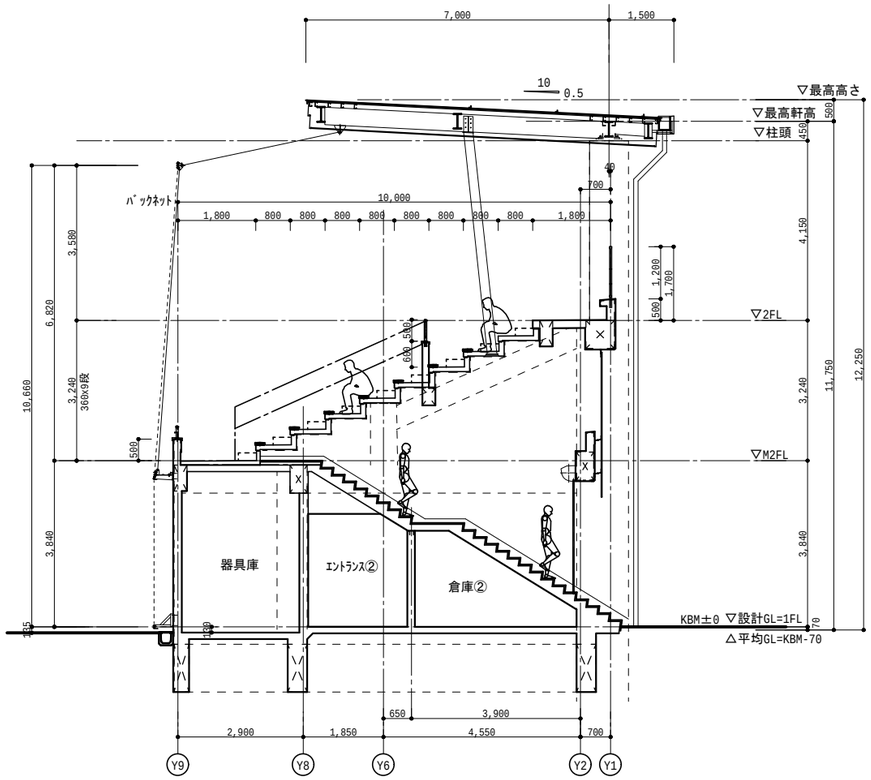
B断面図



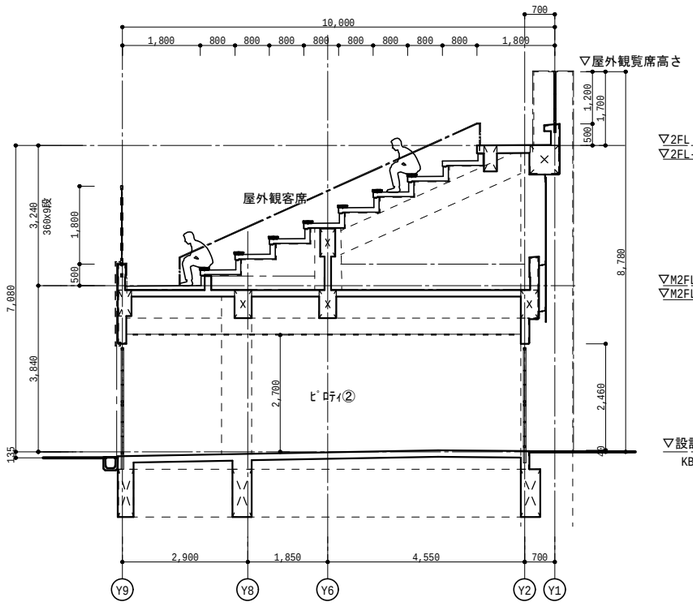
C断面図



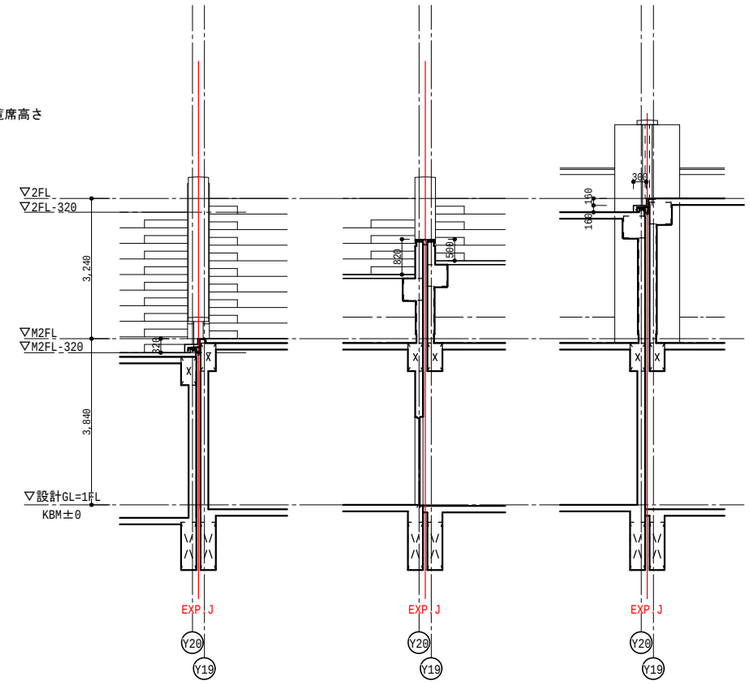
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	断面図－１		
縮　尺	1/100	番　号	121 枚の内 A035 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



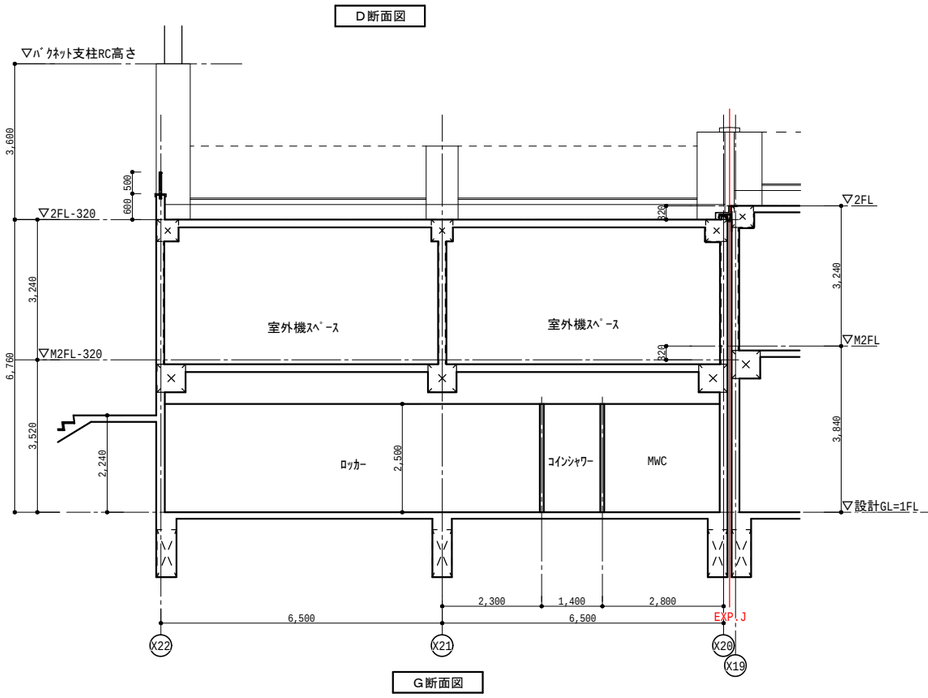
D断面図



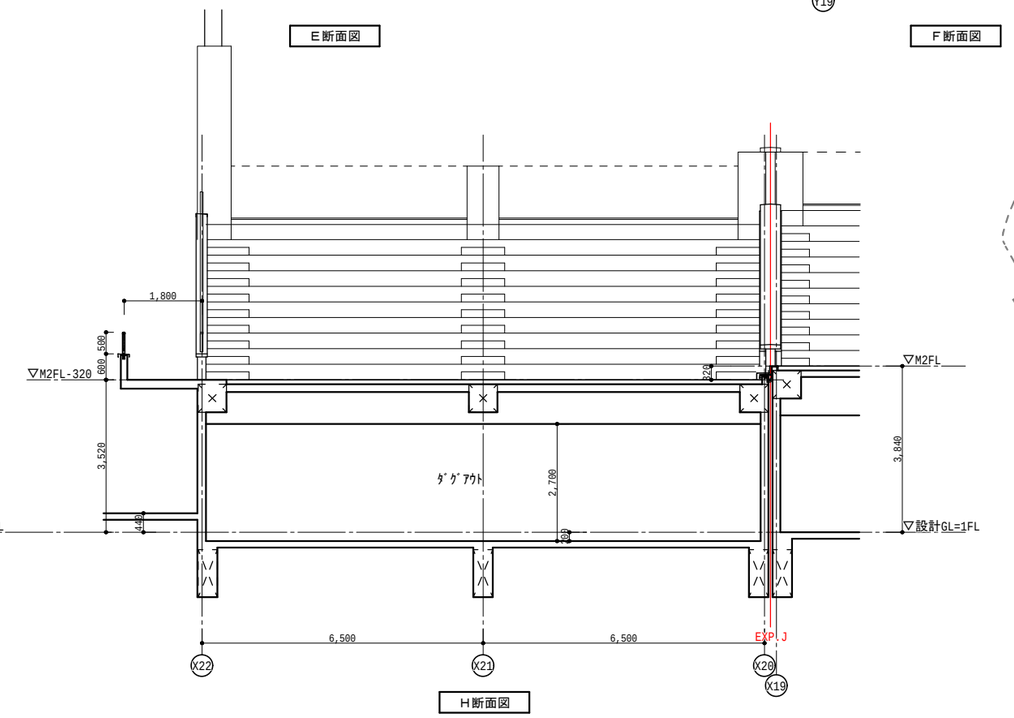
E断面図



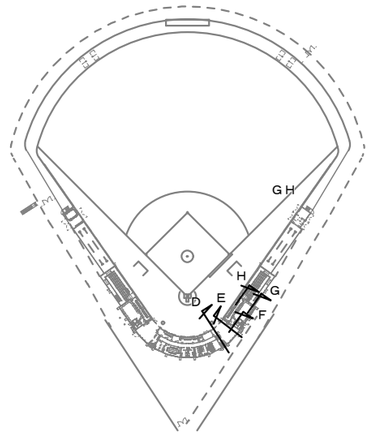
F断面図



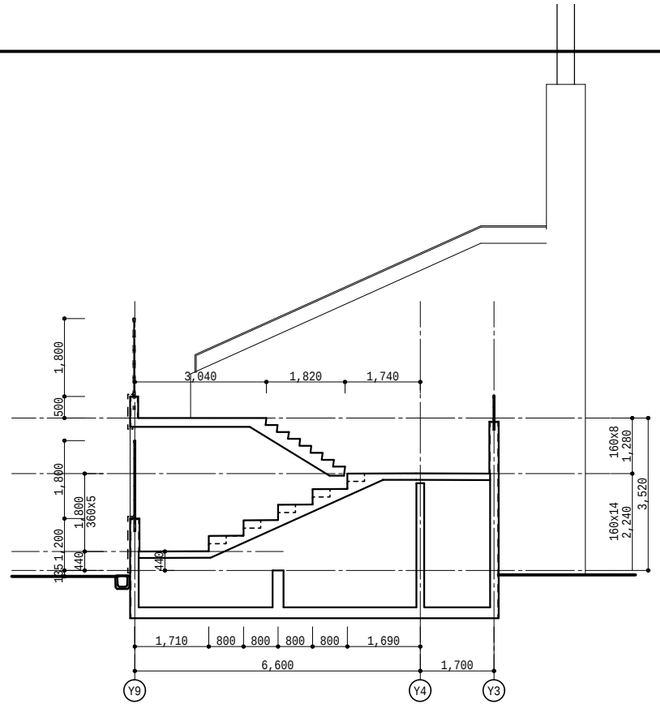
G断面図



H断面図

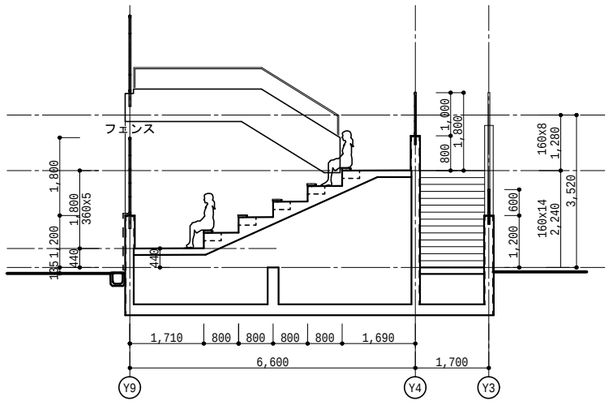


工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	断面図－２		
縮　尺	1/100	番　号	121 枚の内 A036 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



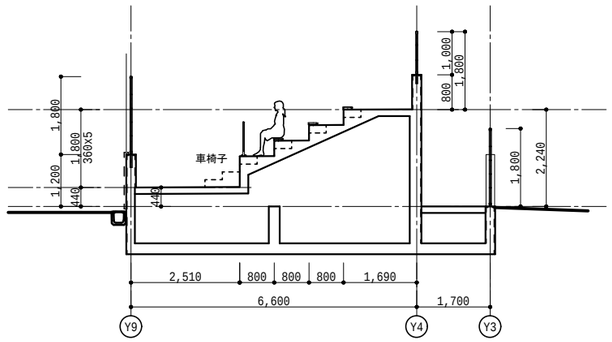
I断面図

屋外観覧席

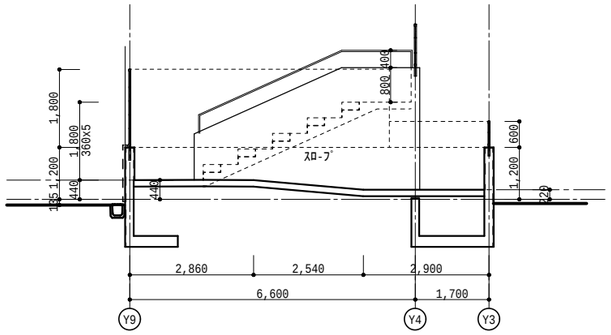


J断面図

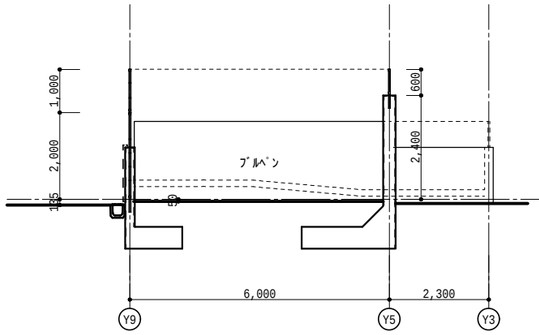
屋外観覧席



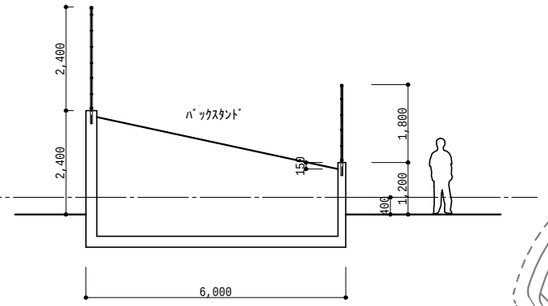
K断面図



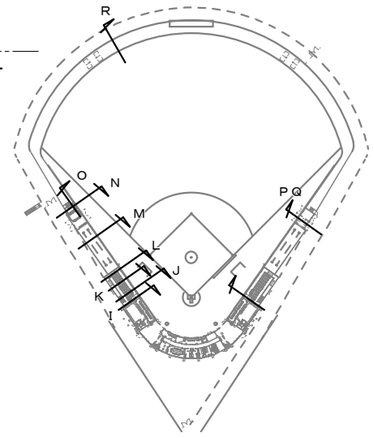
L断面図

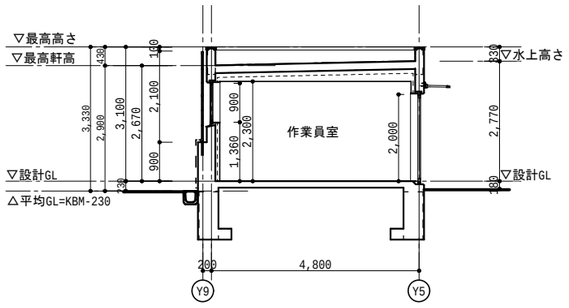


M断面図



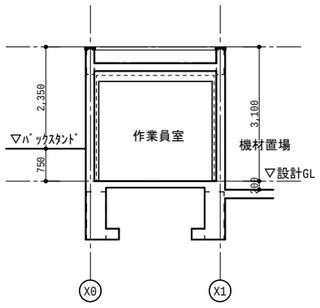
R断面図



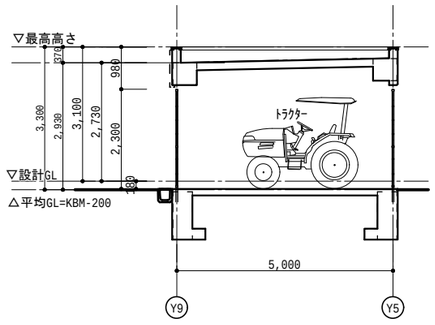


N断面図

作業員室

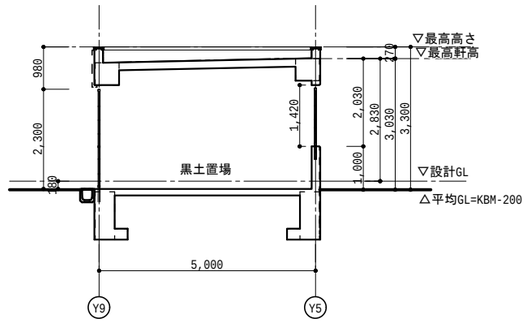


O断面図



P断面図

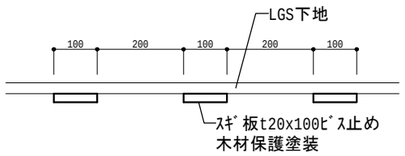
トラクター置場



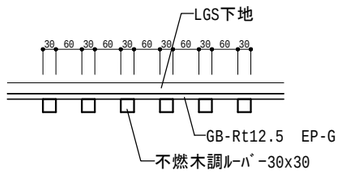
Q断面図

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	断面図－３		
縮　尺	1/100	番　号	121 枚の内 A037 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

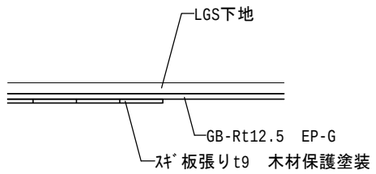
高　山　市



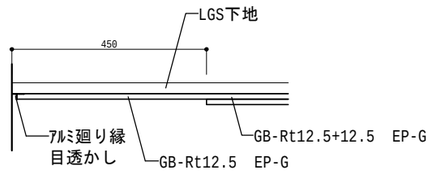
Ａ詳細図　S=1:10



Ｂ詳細図　S=1:10



Ｃ詳細図　S=1:10



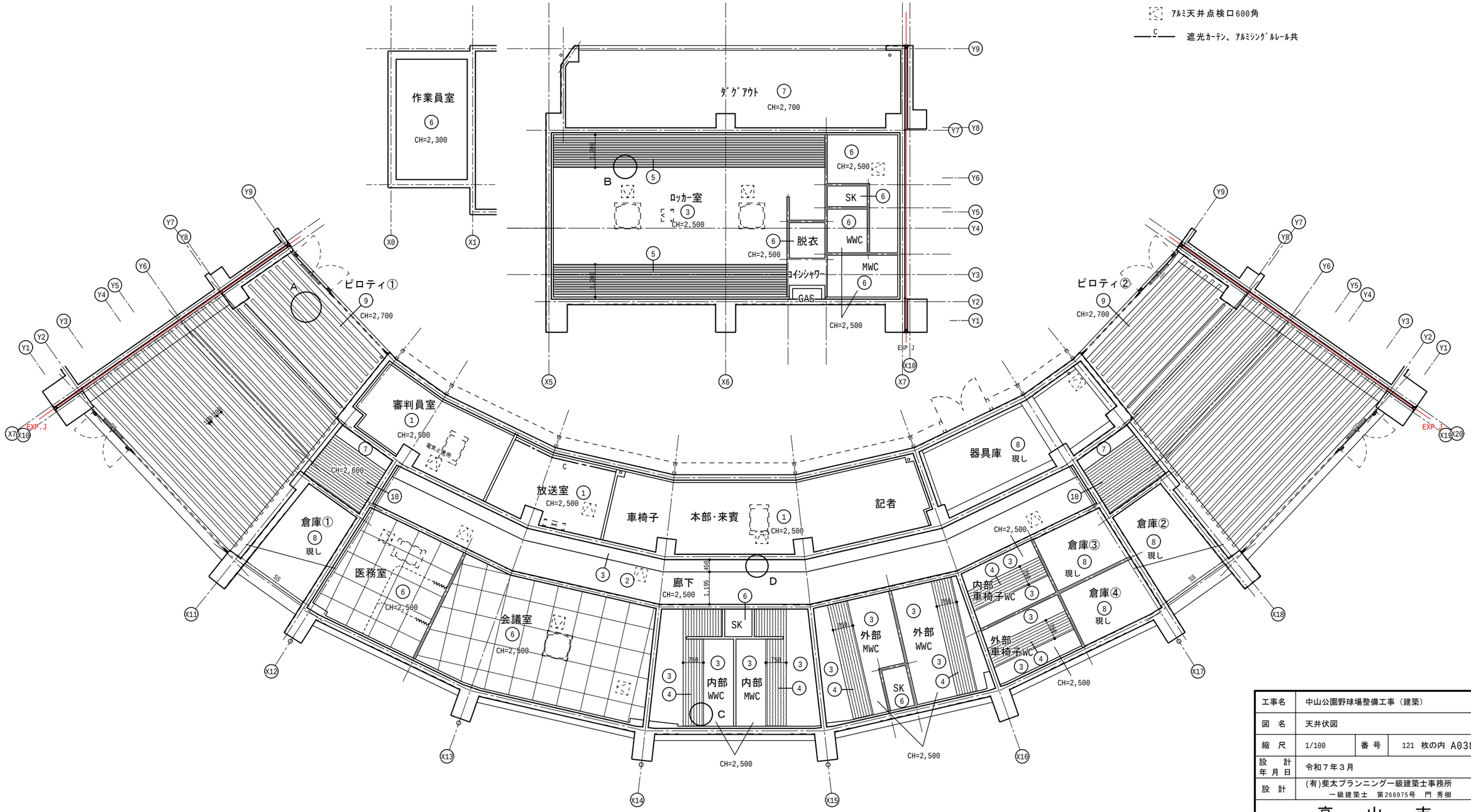
Ｄ詳細図　S=1:10

天井仕上げ

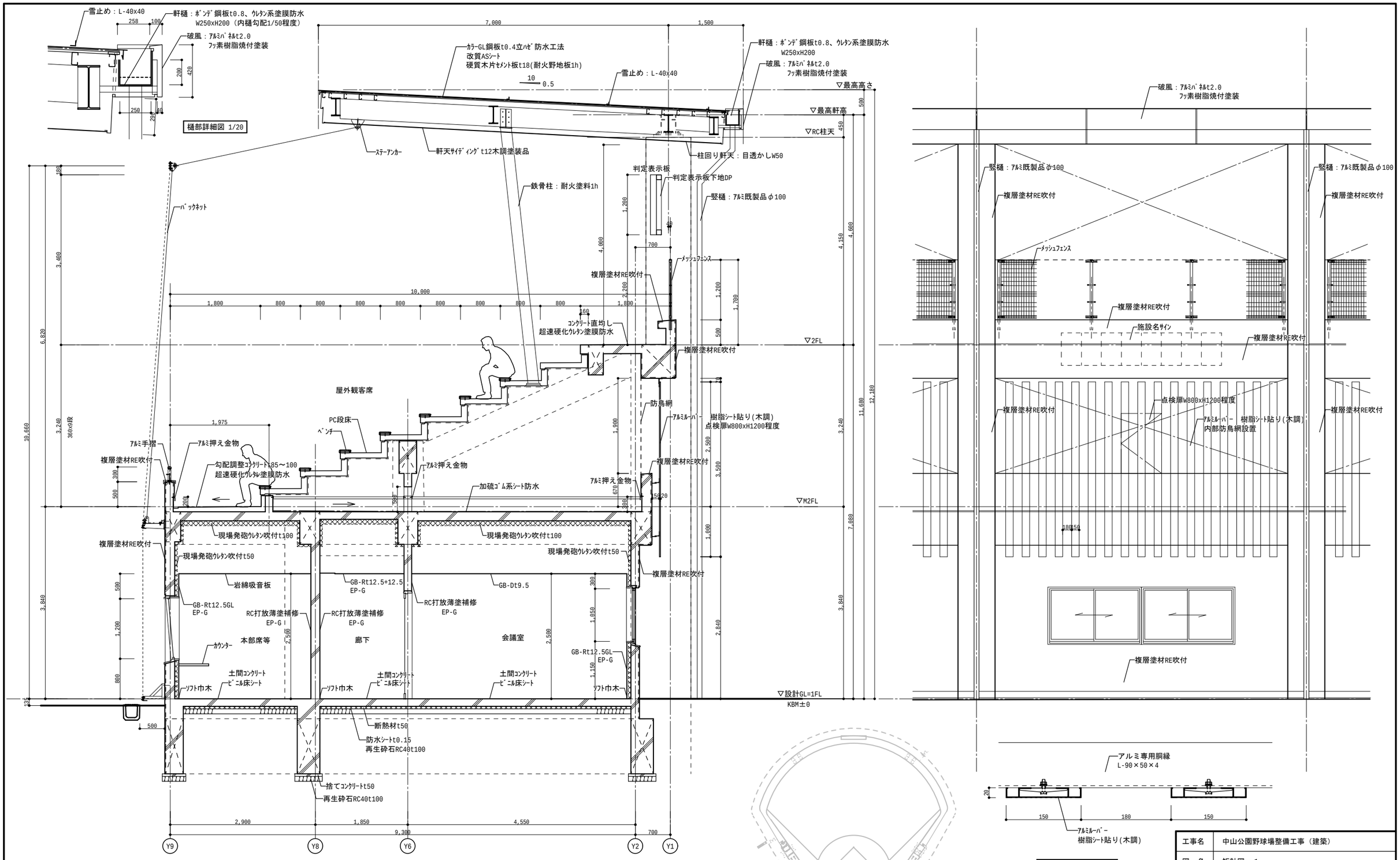
①	GB-Rt12.5　岩綿吸音板t9	不燃
②	GB-Rt12.5+12.5　EP-G	不燃
③	GB-Rt12.5　EP-G	不燃
④	GB-Rt12.5　ｽｷﾞ板張りt9　木材保護塗装	―
⑤	GB-Rt12.5　EP-G、不燃木調ﾙｰﾊﾞｰ30x30	不燃
⑥	GB-Dt9.5	不燃
⑦	ｹｲｶﾙ板t6　EP-G	不燃
⑧	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	不燃
⑨	ｽｷﾞ板張りt20　木材保護塗装	―
⑩	ｹｲｶﾙ板t6　ｽｷﾞ板張りt9　木材保護塗装	―

ｱﾙﾐ天井点検口600角

C　遮光ｶｰﾃﾝ、ｱﾙﾐｼﾝｸﾞﾙﾚｰﾙ共

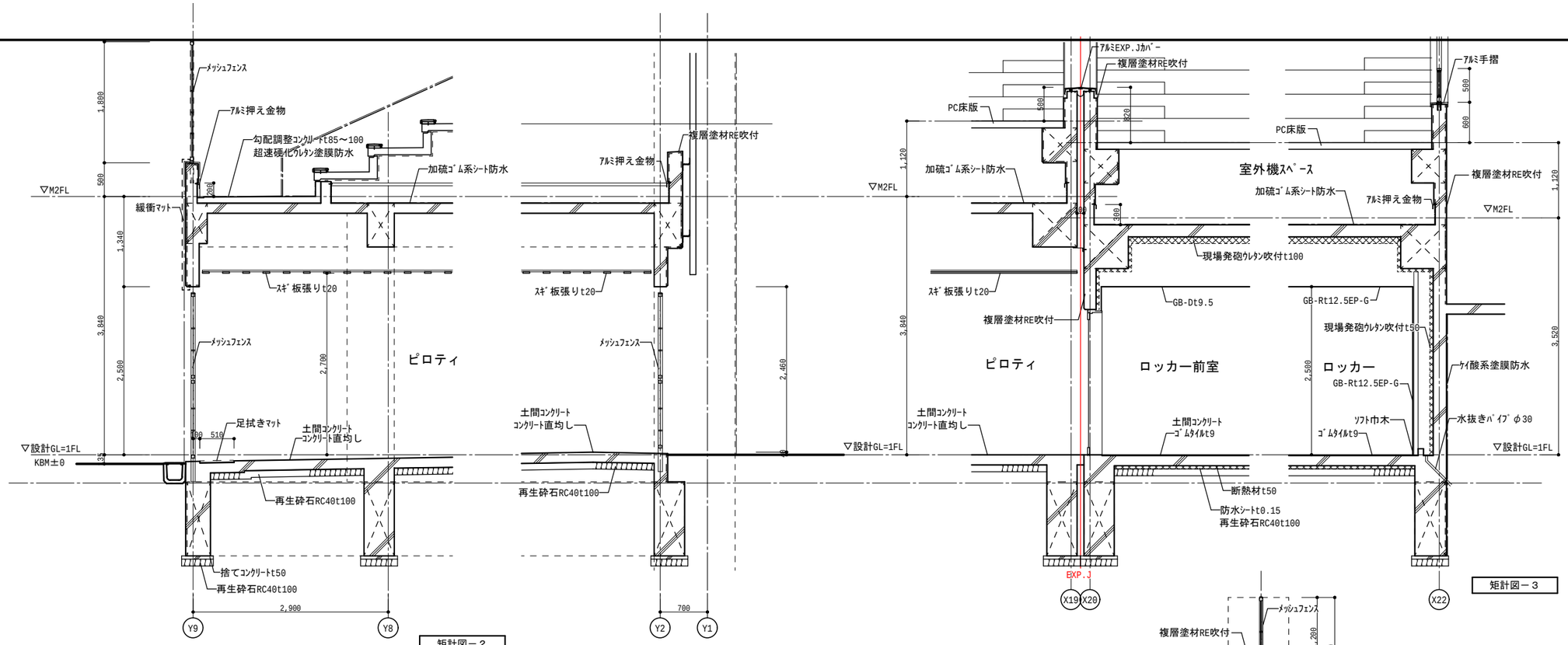


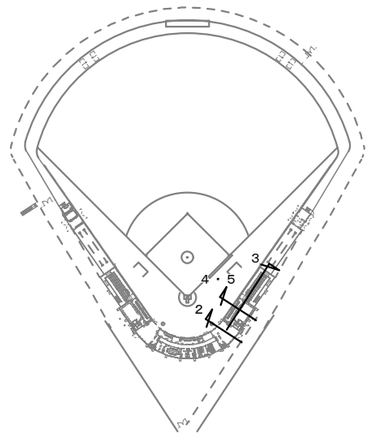
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	天井伏図		
縮　尺	1/100	番　号	121　枚の内 A038 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	矩計図－１		
縮　尺	1/50 1/20 1/5	番　号	121 枚の内 A039 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)愛太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

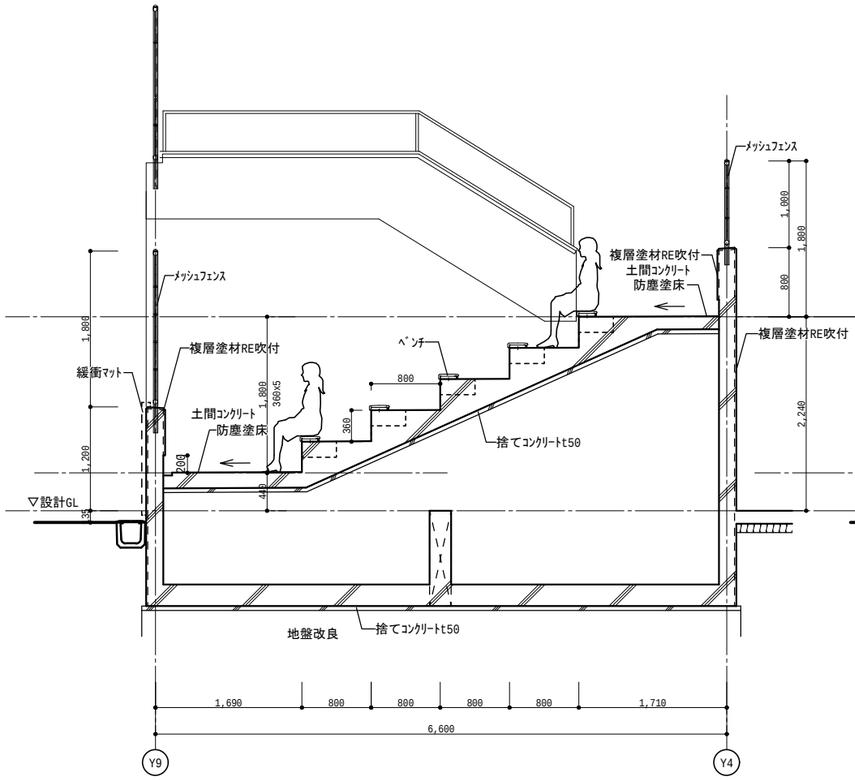
高　山　市



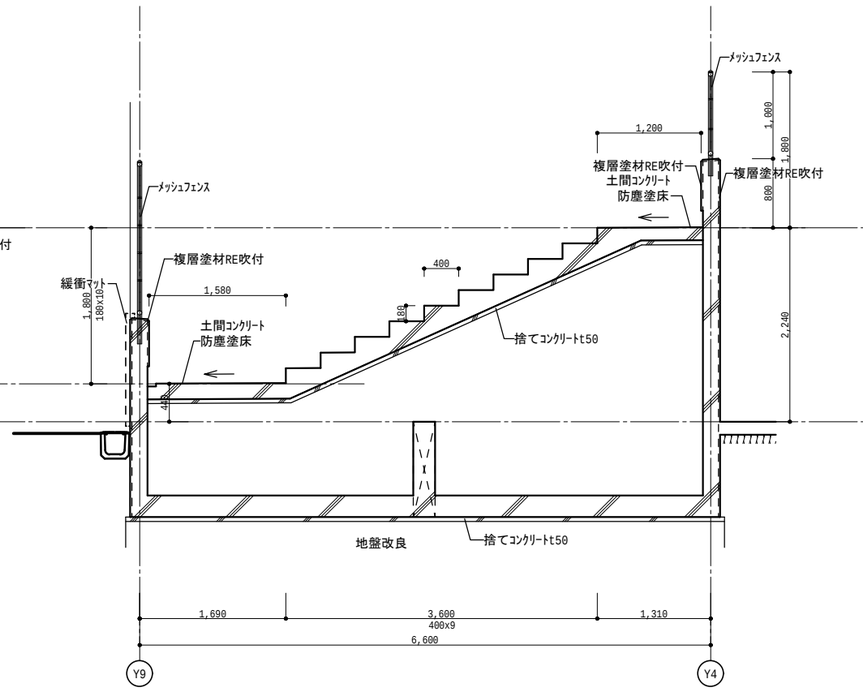


工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	矩計図－２		
縮　尺	1/50	番　号	121 枚の内 A040号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)愛太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

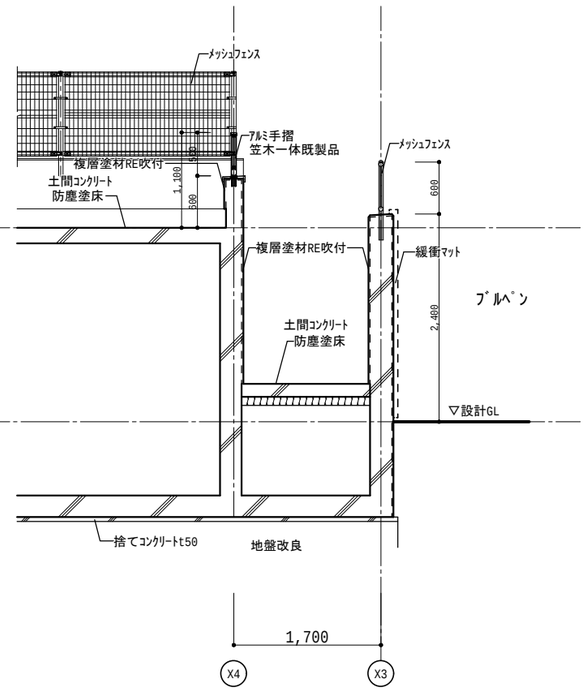
高　山　市



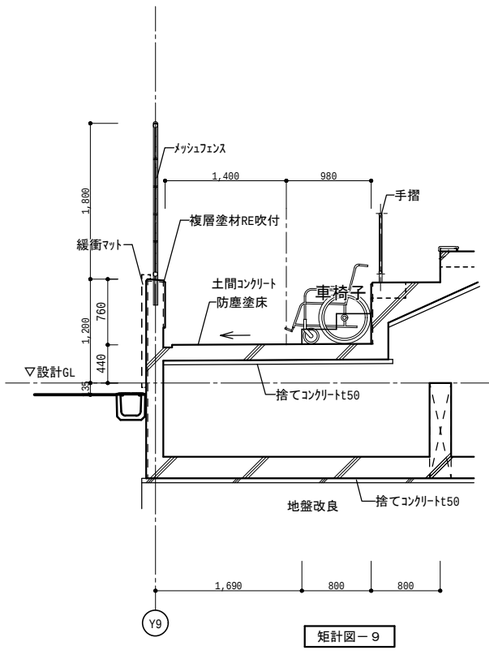
矩計図－６



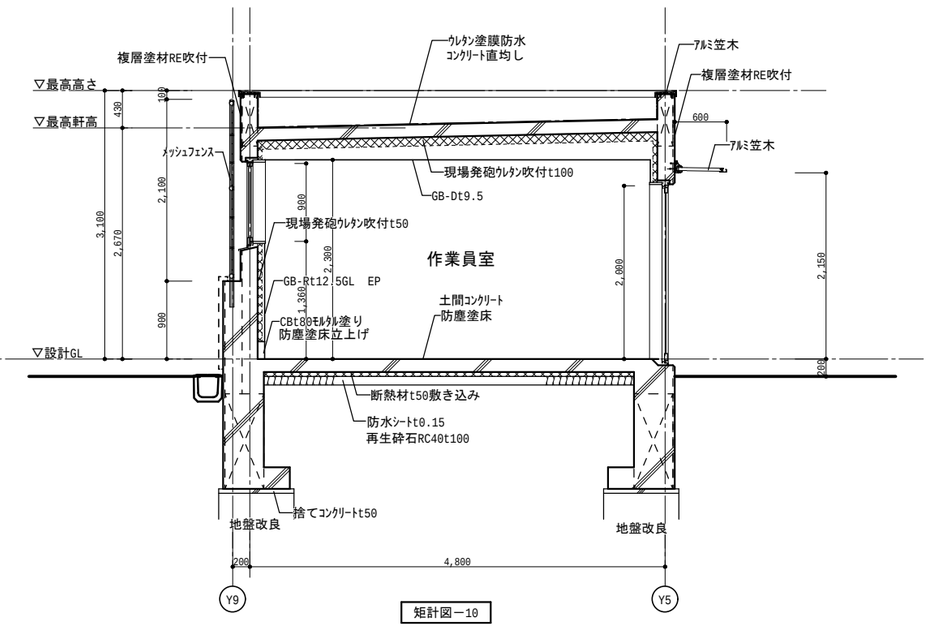
矩計図－７



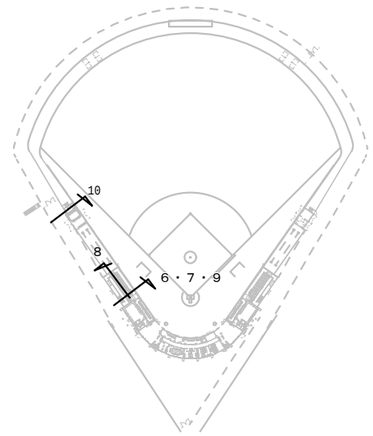
矩計図－８



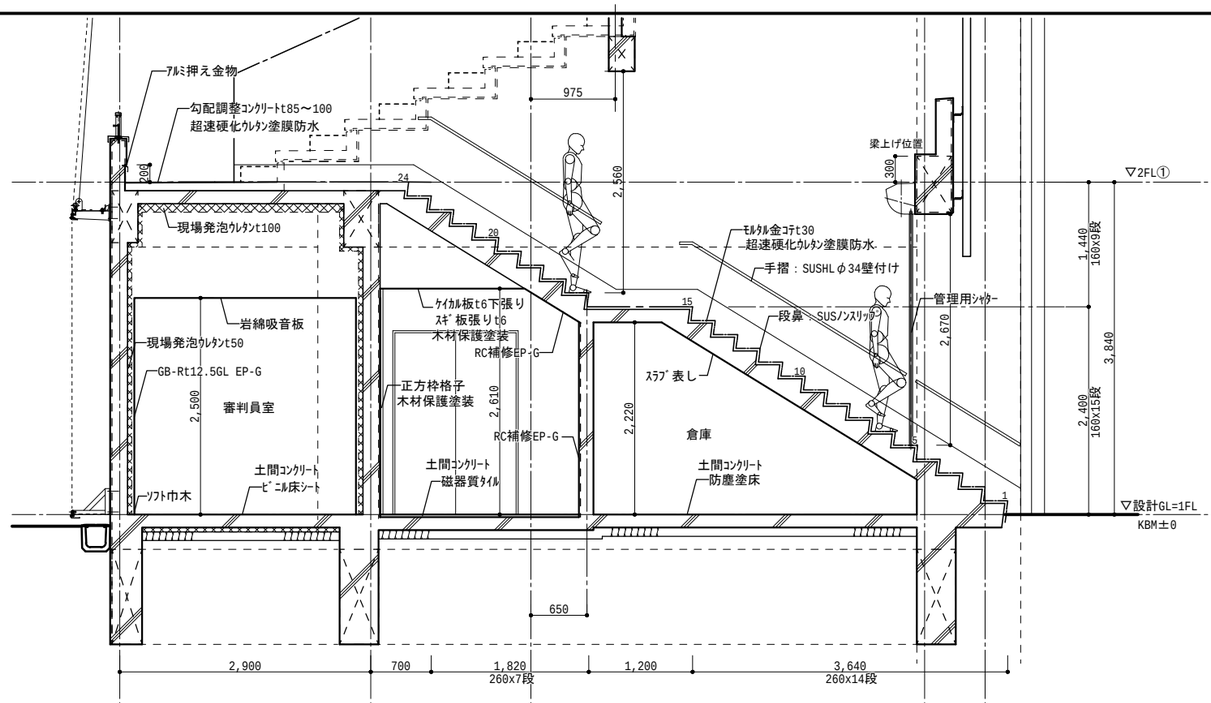
矩計図－９

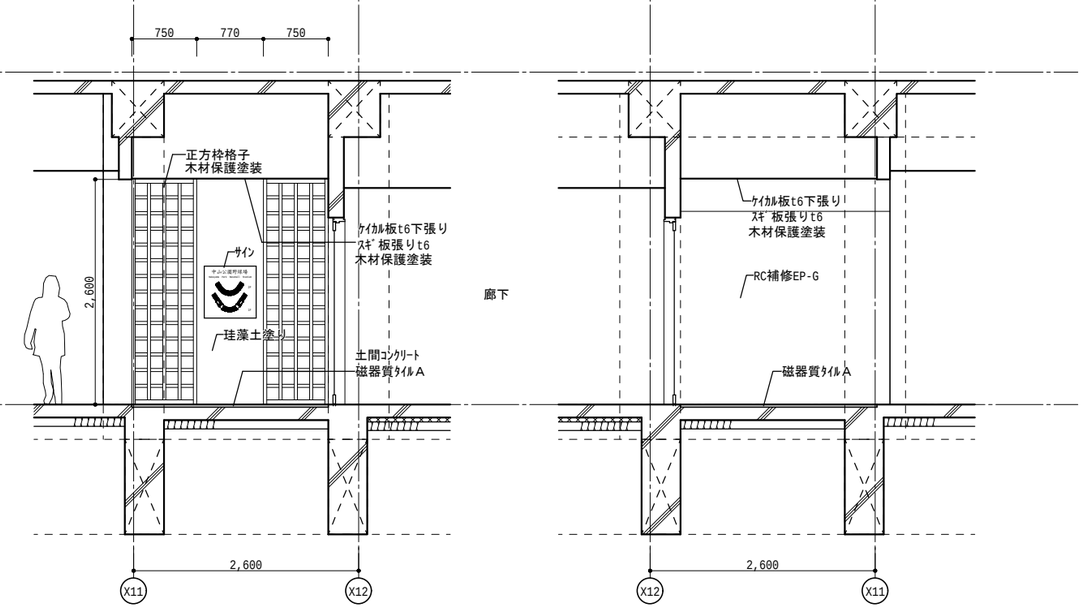


矩計図－10



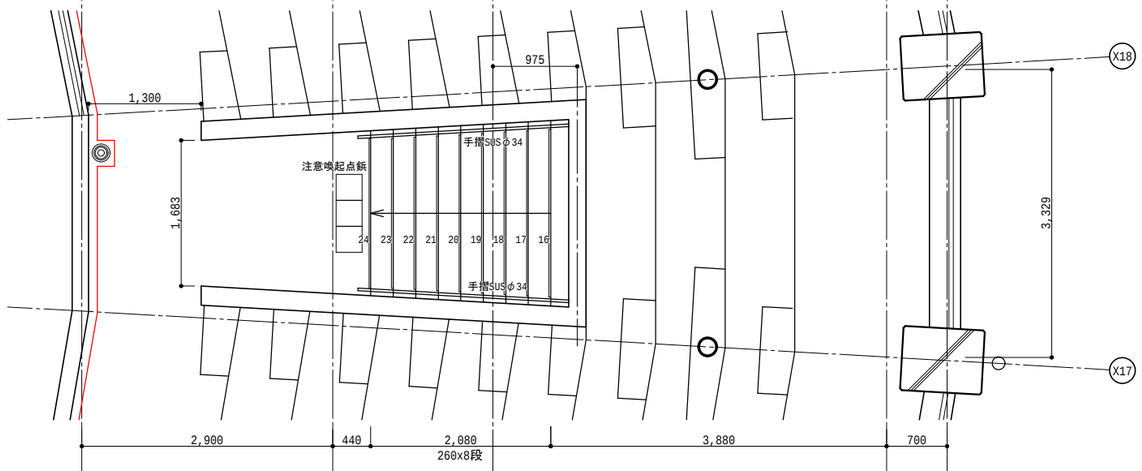
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	矩計図－３		
縮　尺	1/50	番　号	121 枚の内 A041 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)愛太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

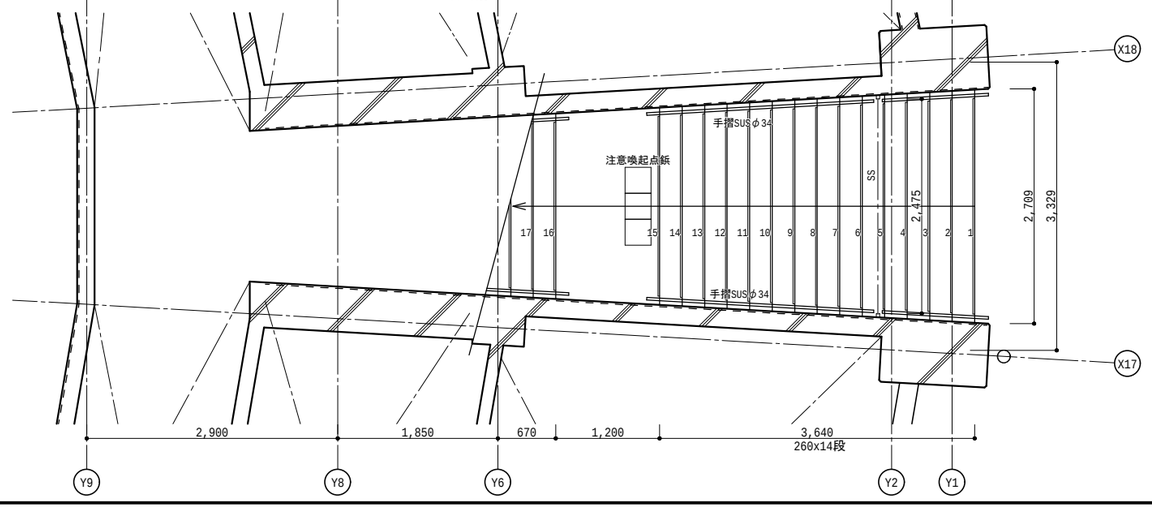


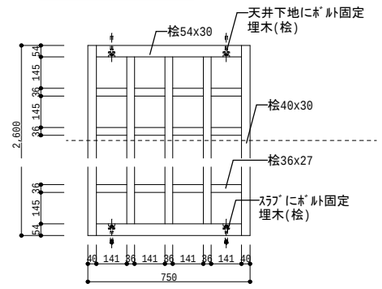


８通り展開図

６通り側展開図

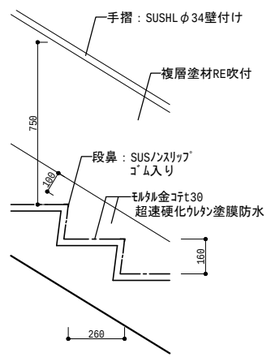




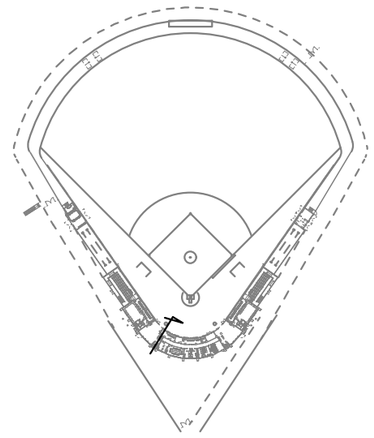


格子詳細図　S=1:20

仕上は飛騨春慶塗とする
桧材は上小とする

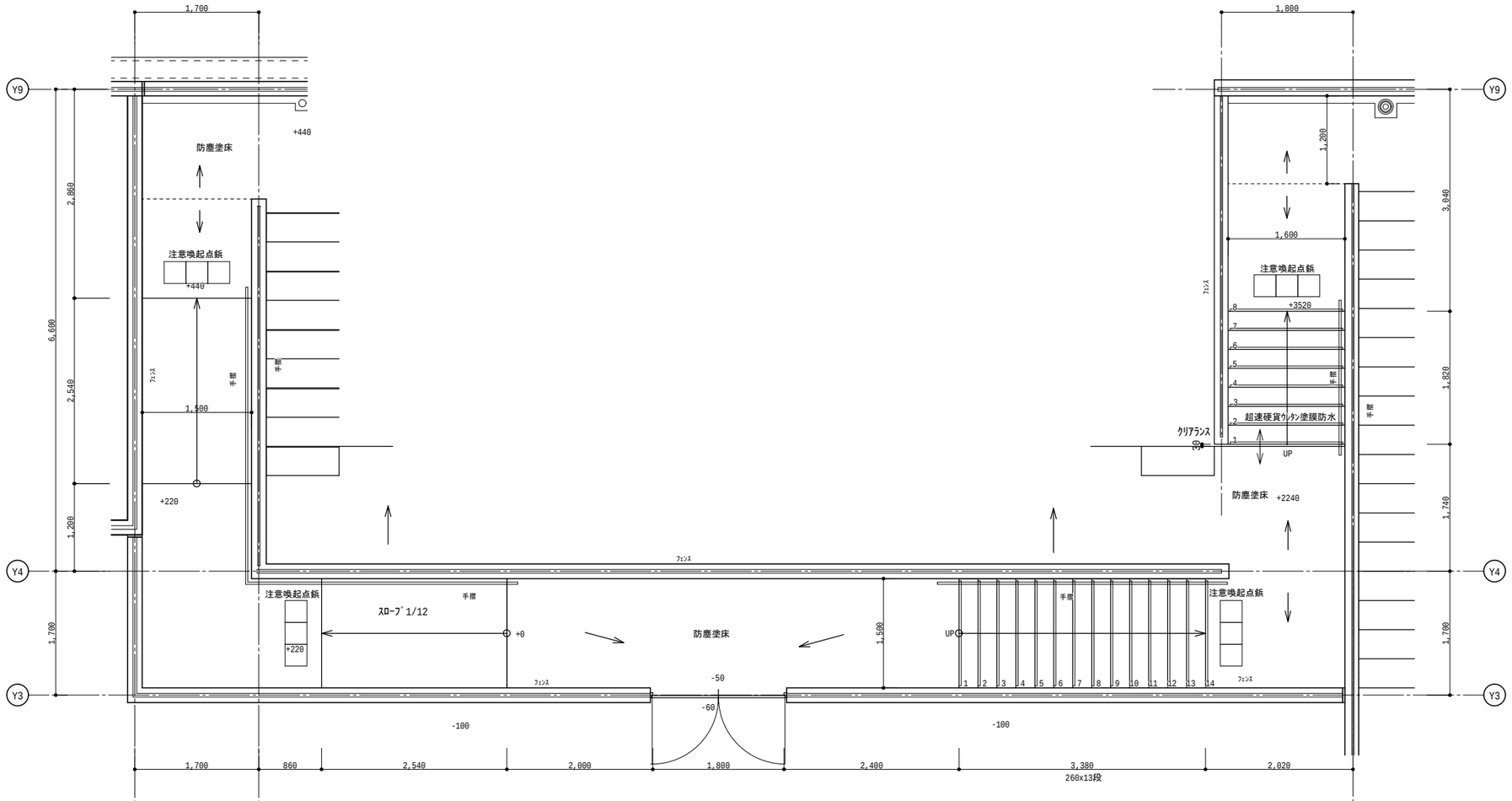


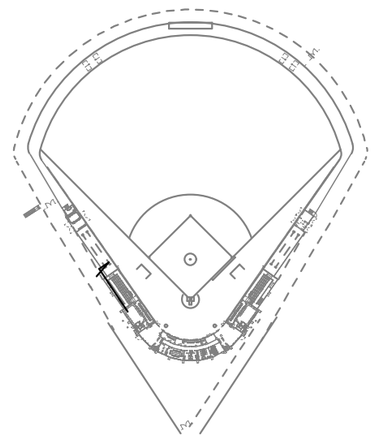
段部詳細図　S=1:20



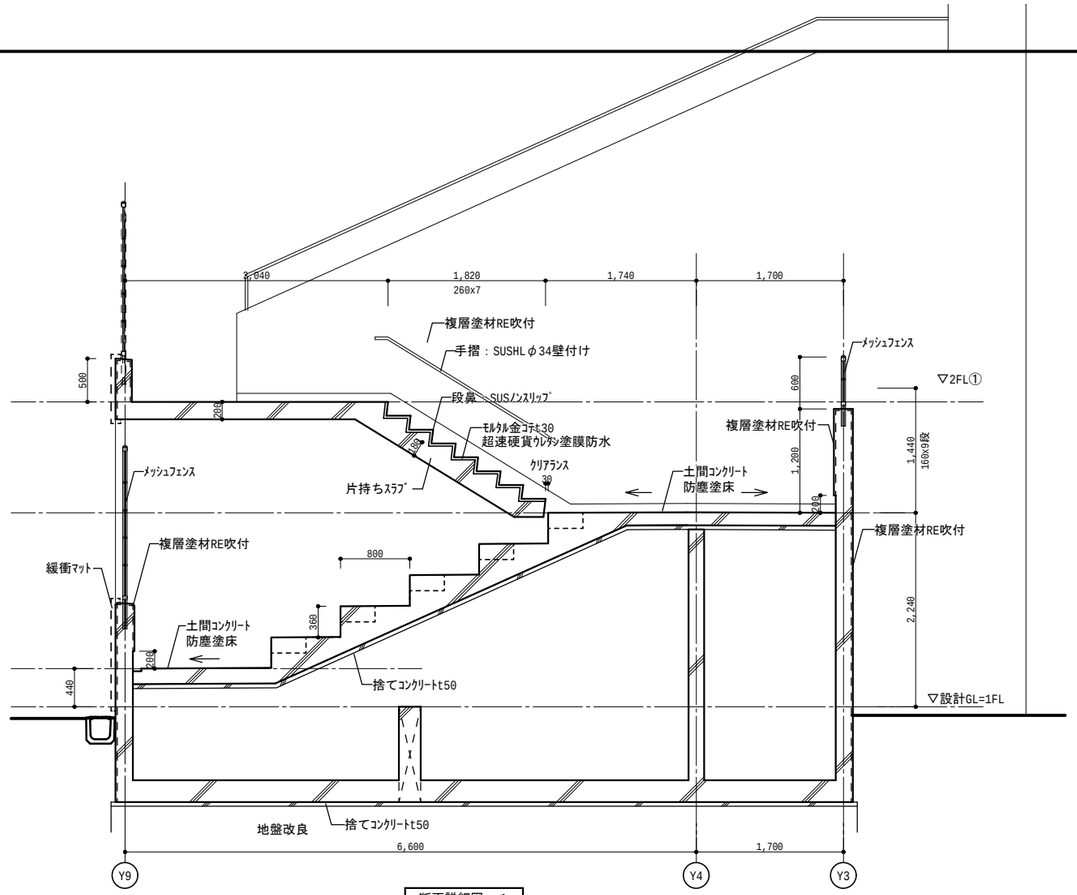
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	階段詳細図－１		
縮　尺	1/20,1/50	番　号	121 枚の内 A042号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

高　山　市

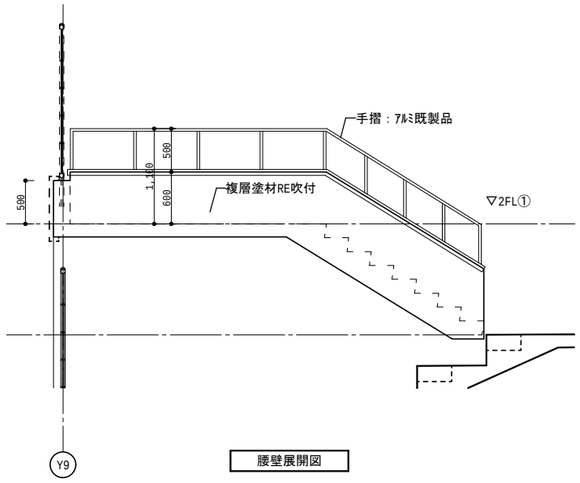




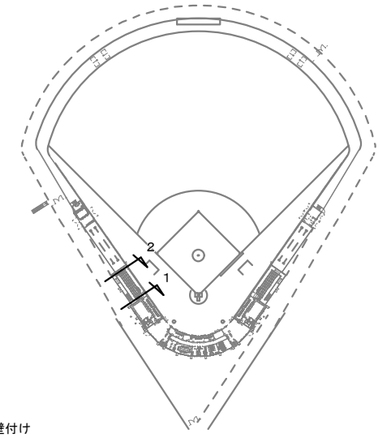
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	階段詳細図－２		
縮　尺	1/50	番　号	121 枚の内 A043号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

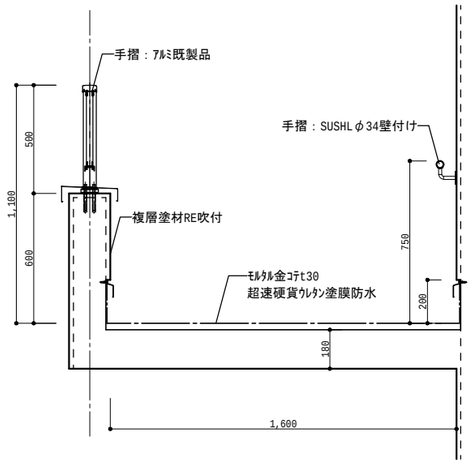


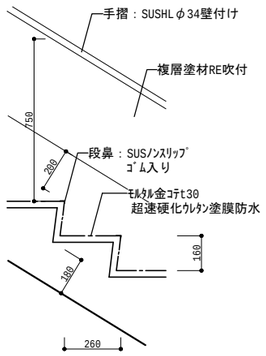
断面詳細図－１



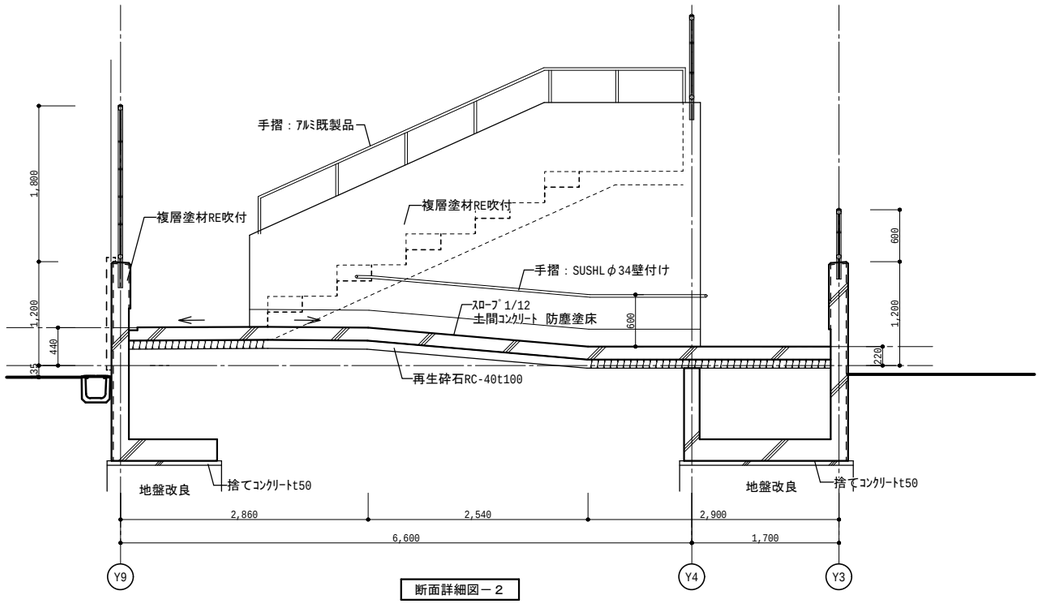
腰壁展開図





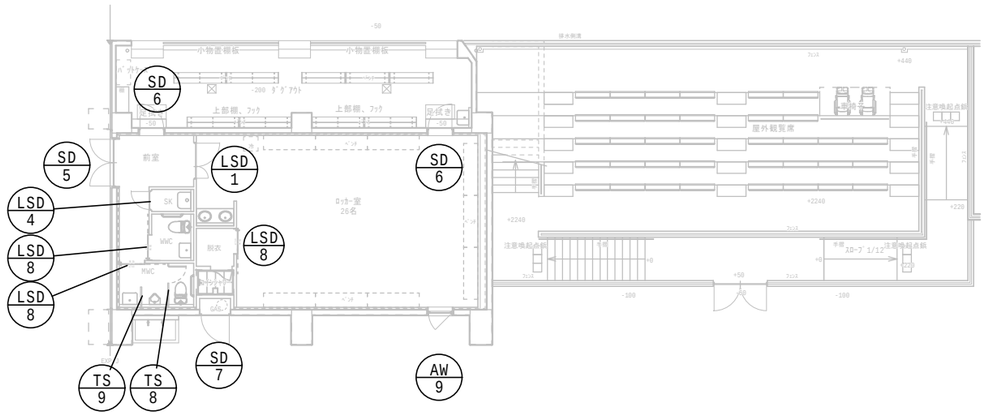


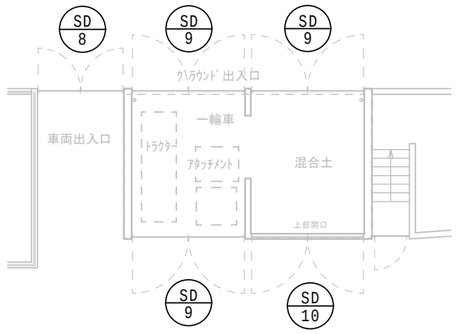
段部詳細図　S=1:20

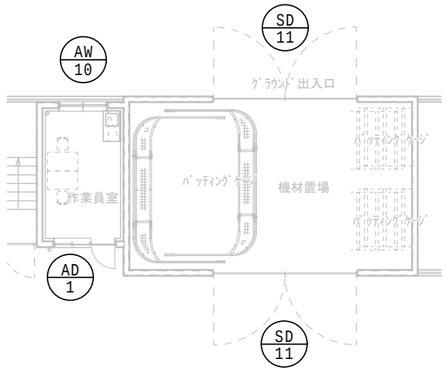


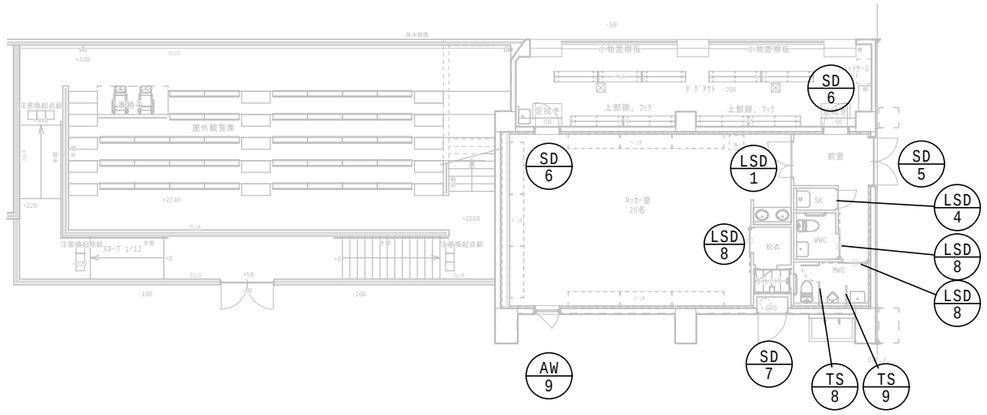
断面詳細図－２

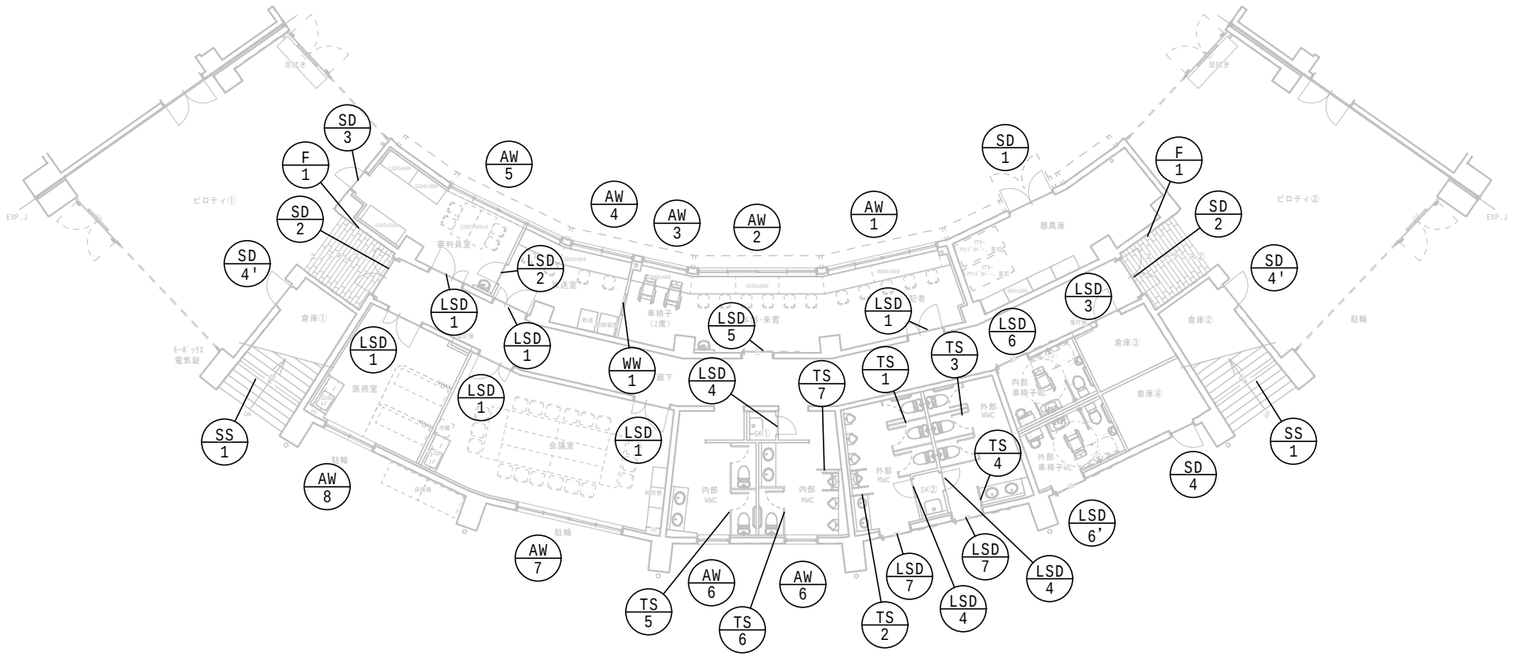
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	階段詳細図－３		
縮　尺	1/20,1/50	番　号	121 枚の内 A044 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



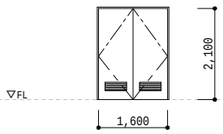
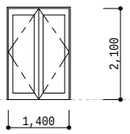
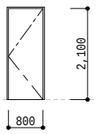
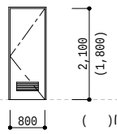
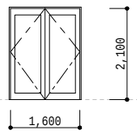
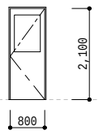
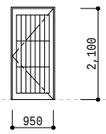
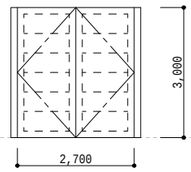


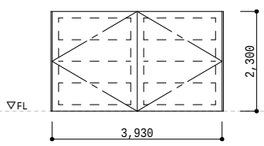
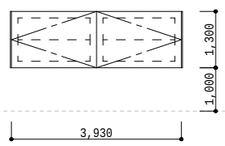
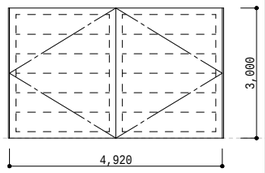
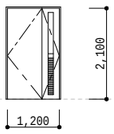
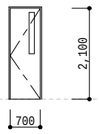
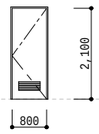
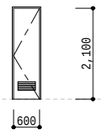


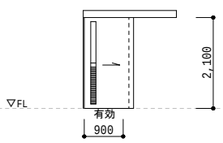
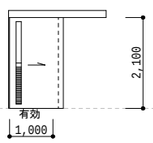
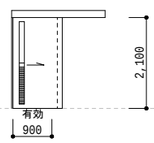
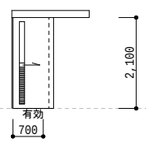
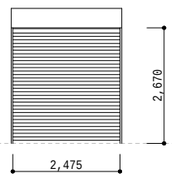




工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	建具配置図		
縮　尺	1/150	番　号	121 枚の内 A045 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

符号・名称	SD-1　鋼製両開き戸	SD-2　鋼製両開きかまち戸	SD-3　鋼製片開き戸	SD-4 SD-4'　鋼製片開き戸	SD-5　鋼製両開きかまち戸	SD-6　鋼製片開き戸	SD-7　鋼製片開き格子戸	SD-8　鋼製両開きかまち戸
防火仕様	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：
室名・数量	器具庫　1　ヶ所	廊下　2　ヶ所	審判員室　1　ヶ所	倉庫 ④　SD-4　1　ヶ所 倉庫 ①、②　SD-4'　2　ヶ所	前室　2　ヶ所	ダッグアウト　4　ヶ所	LPG庫　2　ヶ所	車両出入口　1　ヶ所
姿　図								
仕上・見込	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板 DP　/　扉36：枠100	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板 DP　/　扉36：枠100	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板 DP　/　扉36：枠100	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板 DP　/　扉36：枠100	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板 DP　/　扉36：枠100	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板 DP　/　扉36：枠100	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板 DP　/　扉36：枠100	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板 DP　/　扉36
ガラス	ー	TL4			TL4	F4		ｶﾗｰ鉄板t0.4、下地補強ｱﾝｸﾙ
金　物	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUS沓摺 ﾌﾗﾝｽ落し、丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUS沓摺 ﾌﾗﾝｽ落し、丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUS沓摺 丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUS沓摺 丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ	レバーハンドルシリンダー錠、SUS沓摺 ﾌﾗﾝｽ落し、丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUS沓摺 丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUS沓摺 丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ	ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙｼﾘﾝﾀﾞｰ錠 重量対応丁番、取付用鉄骨
備　考	ｽﾁｰﾙ製ｶﾞﾗﾘ(500X200)			ｽﾁｰﾙ製ｶﾞﾗﾘ(500X200)			ｽﾁｰﾙ製ｶﾞﾗﾘ(650X200)	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ側緩衝ﾏｯﾄ貼り

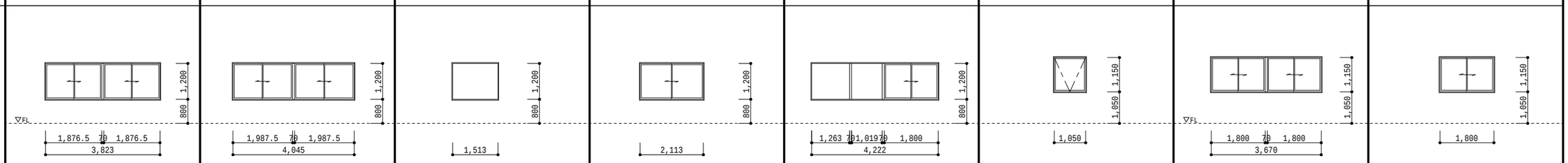
符号・名称	SD-9　鋼製両開きかまち戸	SD-10　鋼製両開きかまち戸	SD-11　鋼製両開きかまち戸		LSD-1　鋼製軽量　親子開き扉	LSD-2　鋼製軽量　片開き扉	LSD-3　鋼製軽量　片開き扉	LSD-4　鋼製軽量　片開き扉
防火仕様	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	ー　番号：
室名・数量	ﾄﾗｸﾀｰ、混合土置場　3　ヶ所	混合土置場　1　ヶ所	機材置場　2　ヶ所	ヶ所	審判員室、医務室、会議室 記者室、放送室、ロッカー　8　ヶ所	放送室　1　ヶ所	倉庫　1　ヶ所	ＳＫ　5　ヶ所
姿　図								
仕上・見込	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板 DP　/　扉36：枠100	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板 DP　/　扉36：枠100	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板 DP　/　扉36：枠100		扉：ﾊﾆｶﾑｺｱ下地化粧鋼板 ｱｸﾘﾙ焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 100	扉：ﾊﾆｶﾑｺｱ下地化粧鋼板 ｱｸﾘﾙ焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 110	扉：ﾊﾆｶﾑｺｱ下地化粧鋼板 ｱｸﾘﾙ焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 100	扉：ﾊﾆｶﾑｺｱ下地化粧鋼板 ｱｸﾘﾙ焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 110
ガラス	ｶﾗｰ鉄板t0.4、下地補強ｱﾝｸﾙ	ｶﾗｰ鉄板t0.4、下地補強ｱﾝｸﾙ	ｶﾗｰ鉄板t0.4、下地補強ｱﾝｸﾙ		F4(120X850)	F4(120X850)		
金　物	ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙｼﾘﾝﾀﾞｰ錠 重量対応丁番、RC躯体取付	ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙｼﾘﾝﾀﾞｰ錠 重量対応丁番、RC躯体取付	ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙｼﾘﾝﾀﾞｰ錠 重量対応丁番、RC躯体取付		ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUS沓摺 ﾌﾗﾝｽ落し、丁番、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUS沓摺 丁番、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUS沓摺 丁番、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUS沓摺 丁番、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ
備　考	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ側緩衝ﾏｯﾄ貼り　2ヶ所		ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ側緩衝ﾏｯﾄ貼り　1ヶ所		ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（120X850）		ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（500X200）	ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（400X200）

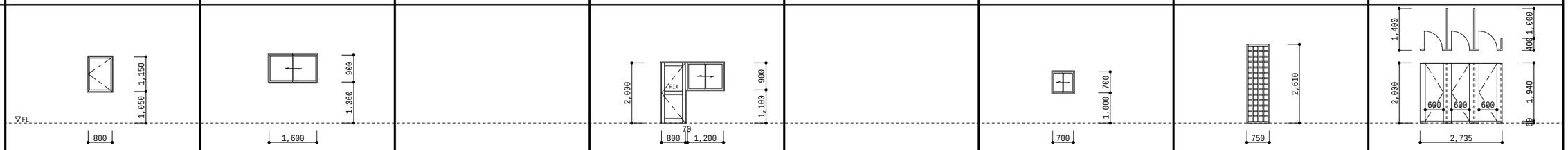
符号・名称	LSD-5　鋼製軽量　片引き扉	LSD-6　LSD-6'　鋼製軽量片引き扉	LSD-7　鋼製軽量　片引き扉	LSD-8　鋼製軽量　片引き扉		SS-1　軽量電動シャッター		
防火仕様	番号：		番号：		番号：	番号：	番号：	番号：
室名・数量	本部･来賓　1　ヶ所	内部車椅子WC　LSD-6　1　ヶ所 外部車椅子WC　LSD-6'　1　ヶ所	外部MWC･MMC　2　ヶ所	選手用脱衣・WWC・MWC　6　ヶ所	ヶ所	階段　2　ヶ所	ヶ所	ヶ所
姿　図		※外部建具をLSD-6' とする 						
仕上・見込	扉：ﾊﾆｶﾑｺｱ下地化粧鋼板 ｱｸﾘﾙ焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 100	扉：ﾊﾆｶﾑｺｱ下地化粧鋼板 ｱｸﾘﾙ焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 100	扉：ﾊﾆｶﾑｺｱ下地化粧鋼板 ｱｸﾘﾙ焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 100	扉：ﾊﾆｶﾑｺｱ下地化粧鋼板 ｱｸﾘﾙ焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 100		指定色焼付塗装		
ガラス	F4(120X850)	F4(120X850)	F4(120X850)	F4(120X850)				
金　物	ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ﾊﾝｶﾞｰ、半自動自閉装置、ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰ ｼﾘﾝﾀﾞｰ引戸錠、ｽﾃﾝﾚｽ製取手	ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ﾊﾝｶﾞｰ、半自動自閉装置、ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰ ｼﾘﾝﾀﾞｰ引戸錠（大型表示付）、ｽﾃﾝﾚｽ製取手	ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ﾊﾝｶﾞｰ、半自動自閉装置、ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰ ｼﾘﾝﾀﾞｰ引戸錠（大型表示付）、ｽﾃﾝﾚｽ製取手	ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ﾊﾝｶﾞｰ、半自動自閉装置、ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰ ｼﾘﾝﾀﾞｰ引戸錠（大型表示付）、ｽﾃﾝﾚｽ製取手		屋ｹﾞﾄﾎﾞｯｸｽ、SUSｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ		
備　考	ｱｳﾄｾｯﾄ型 ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（120X850）	ｱｳﾄｾｯﾄ型 ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（120X850）	ｱｳﾄｾｯﾄ型 ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（120X850）	ｱｳﾄｾｯﾄ型 ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（120X850）				

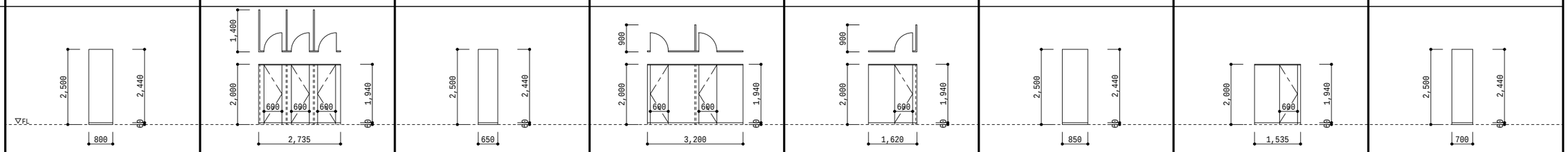
【凡例】
- FL　：ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ
- A12：空気層12mm
- TL　：強化ｶﾞﾗｽ
- TF　：型板強化ｶﾞﾗｽ
- F　：型板ｶﾞﾗｽ
- PW　：網入り磨き板ｶﾞﾗｽ
- FW　：網入り型板ｶﾞﾗｽ
- LE　：LOWEｶﾞﾗｽ
- FTP：耐熱強化ｶﾞﾗｽ

【特記事項】
- 樹脂網戸：外れ防止装置付
- 木製建具枠：特記なきは檢無垢板、WP塗装
- 特記なきｱﾙﾐ製建具は住宅用ｻｯｼとする。

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	建具表－１		
縮　尺	1/100	番　号	121 枚の内 A046号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

符号・名称	AW-1　アルミ製　引違い連窓	AW-2　アルミ製　引違い連窓	AW-3　アルミ製　FIX窓	AW-4　アルミ製　引違い窓	AW-5　アルミ製　引違い+FIX連窓	AW-6　アルミ製　内倒し窓	AW-7　アルミ製　引違い連窓	AW-8　アルミ製　引違い窓
防火仕様	番号：		番号：		番号：	番号：	番号：	番号：
室名・数量	記者　1　ヶ所	本部・来賓　1　ヶ所	車椅子席　1　ヶ所	放送室　1　ヶ所	放送室、審判員室　1　ヶ所	内部MWC･MMC　2　ヶ所	会議室　1　ヶ所	医務室　1　ヶ所
姿　図								
仕上・見込	ｱﾙﾐﾌﾞﾗｯｸ　/　70	ｱﾙﾐﾌﾞﾗｯｸ　/　70	ｱﾙﾐﾌﾞﾗｯｸ　/　70	ｱﾙﾐﾌﾞﾗｯｸ　/　70	ｱﾙﾐﾌﾞﾗｯｸ　/　70	ｱﾙﾐﾌﾞﾗｯｸ　/　70	ｱﾙﾐﾌﾞﾗｯｸ　/　70	ｱﾙﾐﾌﾞﾗｯｸ　/　70
ガラス	Low-E3+A6+FL3（遮熱）	Low-E3+A6+FL3（遮熱）	Low-E3+A6+FL3（遮熱）	Low-E3+A6+FL3（遮熱）	Low-E3+A6+FL3（遮熱）	Low-E3+A6+F4（遮熱） 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り	Low-E3+A6+FL3（遮熱） 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り	Low-E3+A6+FL3（遮熱） 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り
金　物	ｱﾙﾐ額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式	ｱﾙﾐ額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式	ｱﾙﾐ額縁、水切り 付属金物一式	ｱﾙﾐ額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式	ｱﾙﾐ額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式	ｱﾙﾐ額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式	ｱﾙﾐ額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式	ｱﾙﾐ額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式
備　考	取付傾斜4～5°	取付傾斜4～5°	取付傾斜4～5°	取付傾斜4～5°	取付傾斜4～5°		網戸	

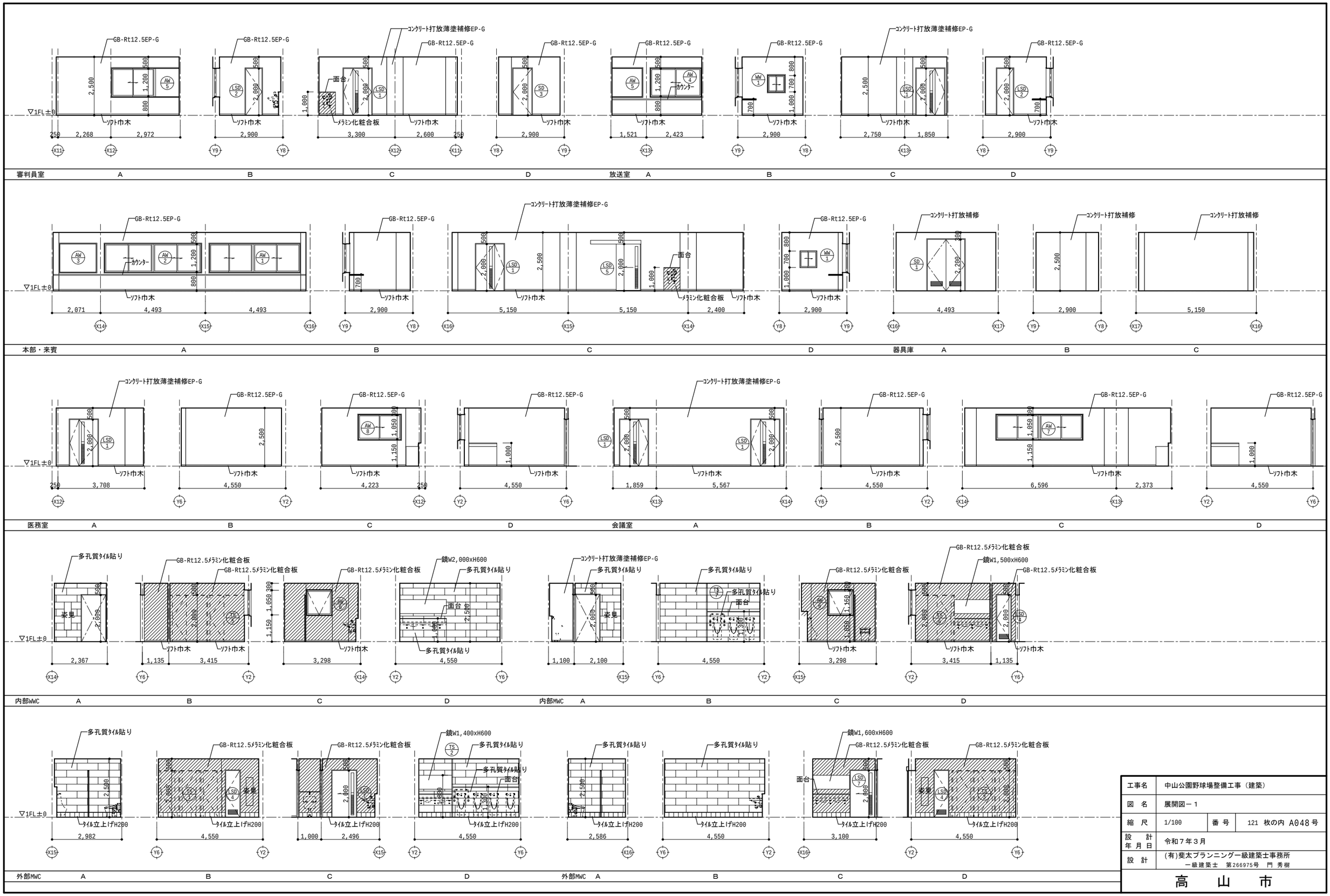
符号・名称	AW-9　アルミ製　タテ滑り出し窓	AW-10　アルミ製　引違い窓		AD-1　アルミ製　片開き戸+引違い窓		WW-1　木製　引違いきかまち窓	F-1　木製　正方格子	TS-1　トイレブース
防火仕様	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：
室名・数量	ロッカー　2　ヶ所	作業員室　1　ヶ所	ヶ所	作業員室　1　ヶ所	ヶ所	放送室　1　ヶ所	ｴﾝﾄﾗﾝｽ①、②　4　ヶ所	外部MWC　1　ヶ所
姿　図								
仕上・見込	ｱﾙﾐﾌﾞﾗｯｸ　/　70	ｱﾙﾐﾌﾞﾗｯｸ　/　70		ｱﾙﾐﾌﾞﾗｯｸ　/　70		ｽﾌﾟﾙｽOSCL　/　30	桧　上小　春慶塗　/　30	ﾒﾗﾐﾝ化粧版
ガラス	Low-E3+A6+F4（遮熱） 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り	Low-E3+A6+FL3（遮熱）		Low-E3+A6+F4（遮熱）、下部ﾊﾟﾈﾙ 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り		FL3		
金　物	ｵﾍﾟﾚｰﾀｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｱﾙﾐ額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式	ｱﾙﾐ額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式		ｱﾙﾐ額縁、水切り、樹脂網戸、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ 丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、付属金物一式		ﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ、戸車、引手 付属金物一式		ｽﾃﾝﾚｽ巾木、ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ、支持金物、表示錠、 ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、ｽﾄﾗｲｸ、戸当り帽子掛け
備　考							壁面取付	扉は常時開とする

符号・名称	TS-2　トイレブース	TS-3　トイレブース	TS-4　トイレブース	TS-5　トイレブース	TS-6　トイレブース	TS-7　トイレブース	TS-8　トイレブース	TS-9　トイレブース
防火仕様	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：
室名・数量	外部MWC　1　ヶ所	外部WWC　1　ヶ所	外部WWC　1　ヶ所	内部WWC　1　ヶ所	内部MWC　1　ヶ所	内部MWC　1　ヶ所	選手用MWC　2　ヶ所	選手用MWC　2　ヶ所
姿　図								
仕上・見込	ﾒﾗﾐﾝ化粧版	メラミン化粧板	ﾒﾗﾐﾝ化粧版	メラミン化粧板	メラミン化粧板	ﾒﾗﾐﾝ化粧版	メラミン化粧板	ﾒﾗﾐﾝ化粧版
ガラス								
金　物	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、支持金物	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ、支持金物、表示錠、 ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、ｽﾄﾗｲｸ、戸当り帽子掛け	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、支持金物	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ、支持金物、表示錠、 ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、ｽﾄﾗｲｸ、戸当り帽子掛け	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ、支持金物、表示錠、 ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、ｽﾄﾗｲｸ、戸当り帽子掛け	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、支持金物	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ、支持金物、表示錠、 ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、ｽﾄﾗｲｸ、戸当り帽子掛け	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、支持金物
備　考		扉は常時開とする		扉は常時開とする	扉は常時開とする		扉は常時開とする	

【凡例】
- FL ：ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ
- A12：空気層12mm
- TL ：強化ｶﾞﾗｽ
- TF ：型板強化ｶﾞﾗｽ
- F ：型板ｶﾞﾗｽ
- PW ：網入り磨き板ｶﾞﾗｽ
- FW ：網入り型板ｶﾞﾗｽ
- LE ：LOWEｶﾞﾗｽ
- FTP：耐熱強化ｶﾞﾗｽ

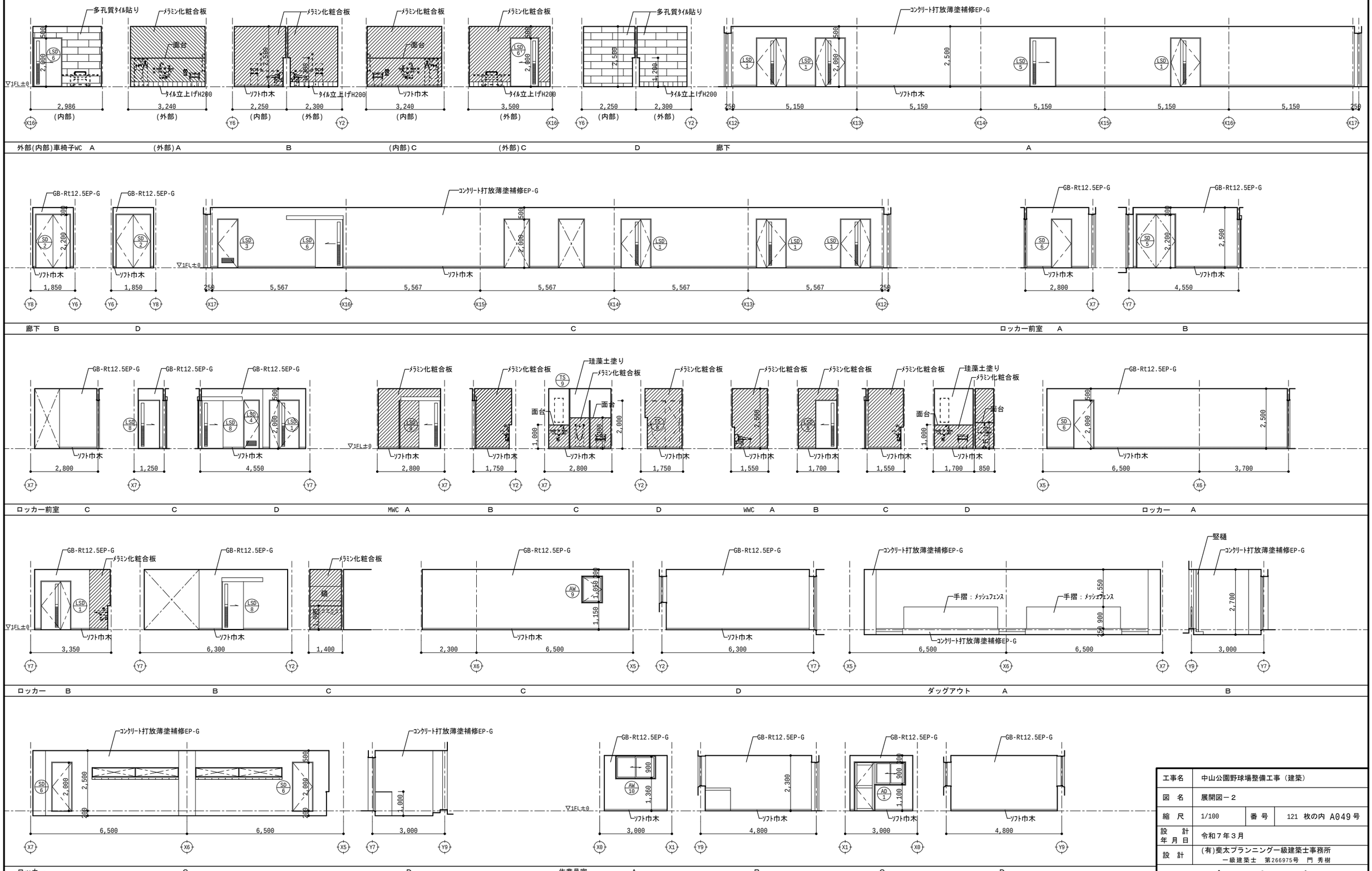
【特記事項】
- 樹脂網戸：外れ防止装置付
- 木製建具枠：特記なきは桧無垢板、WP塗装
- 特記なきｱﾙﾐ製建具は住宅用ｻｯｼとする。

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	建具表－２		
縮　尺	1/100	番　号	121 枚の内 A047号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



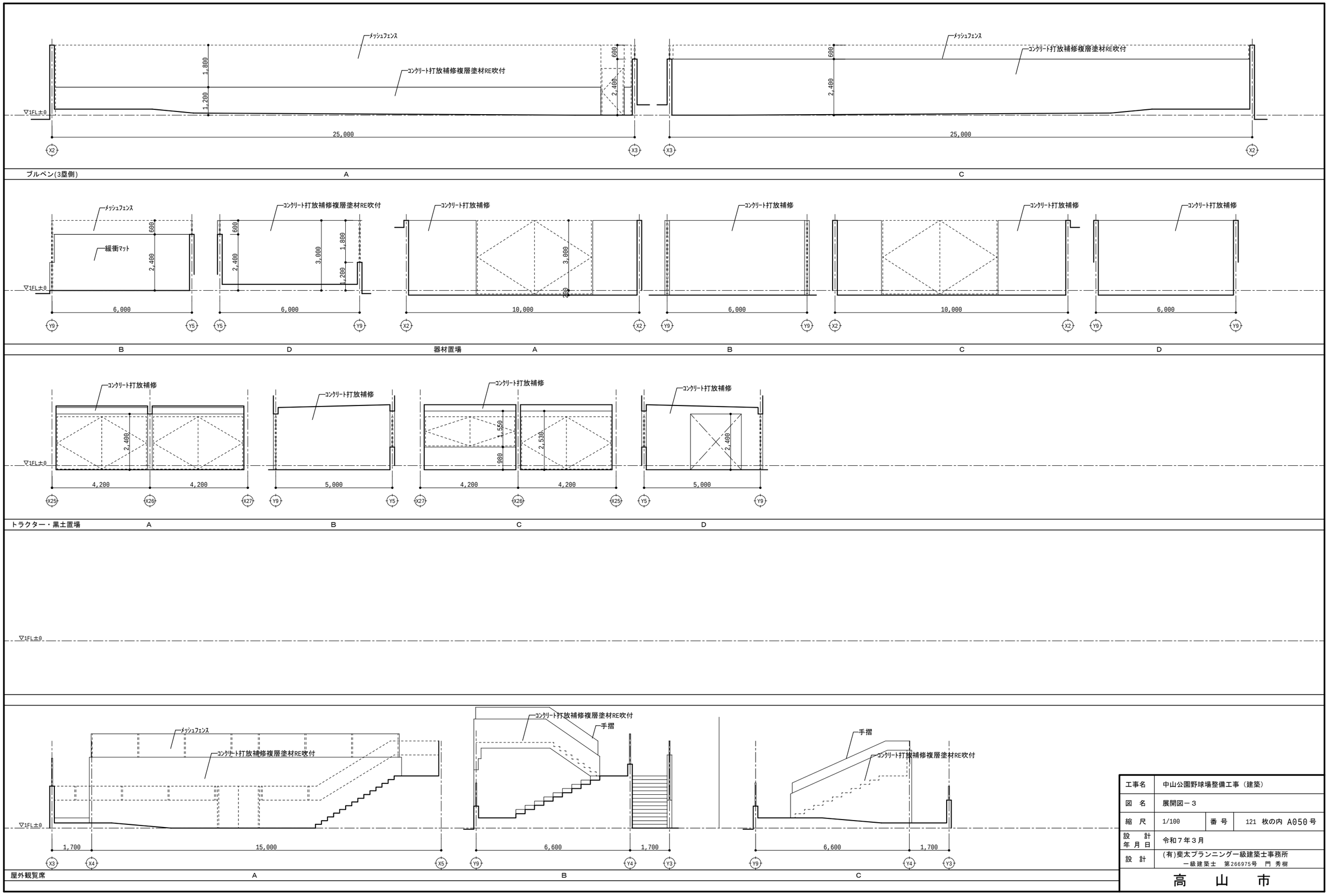
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	展開図－１		
縮　尺	1/100	番　号	121 枚の内 A048 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

高　山　市



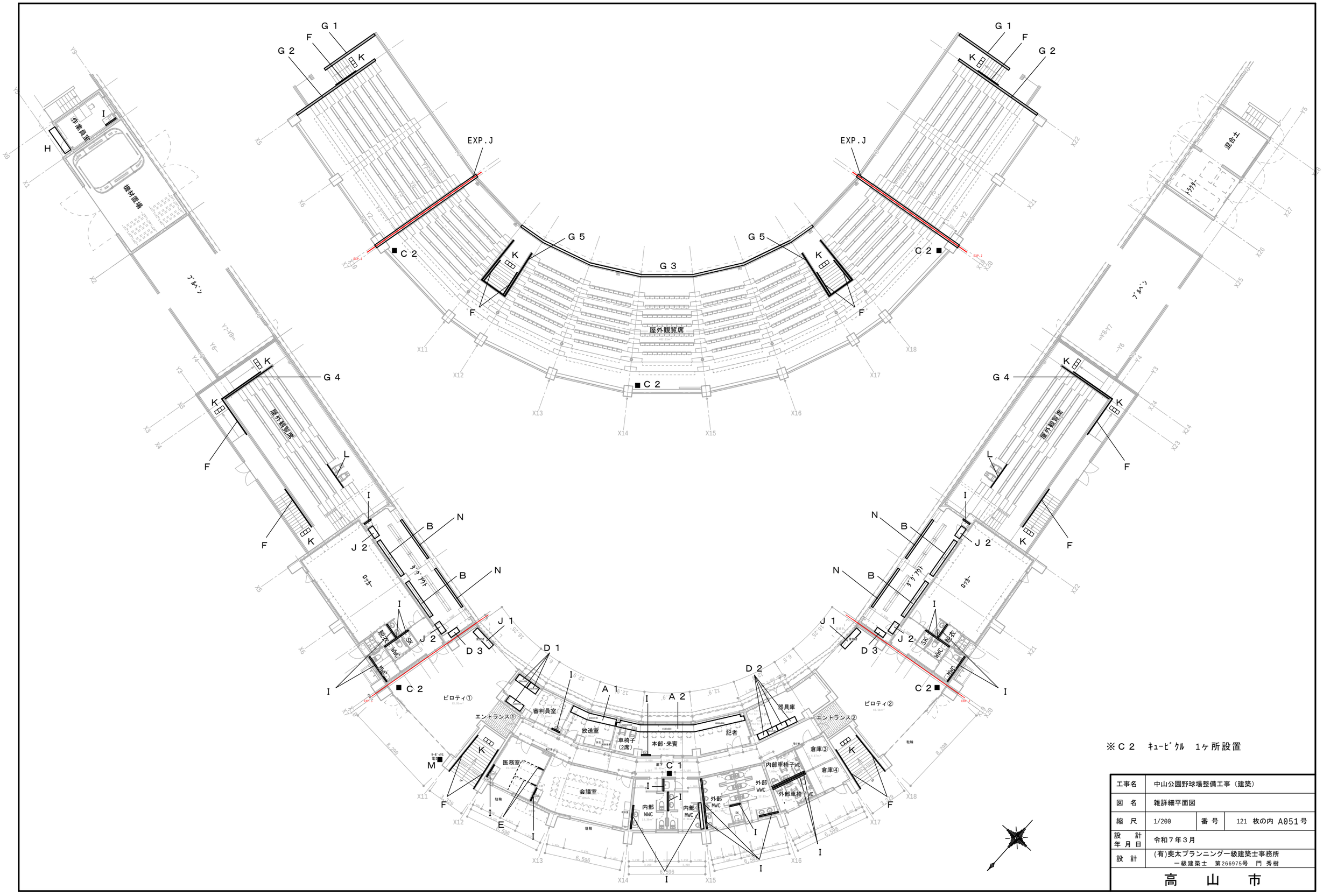
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	展開図－２		
縮 尺	1/100	番 号	121 枚の内 A049 号
設 計 年 月 日	令和７年３月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		

高 山 市



工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	展開図－３		
縮　尺	1/100	番　号	121 枚の内 A050 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

高　山　市

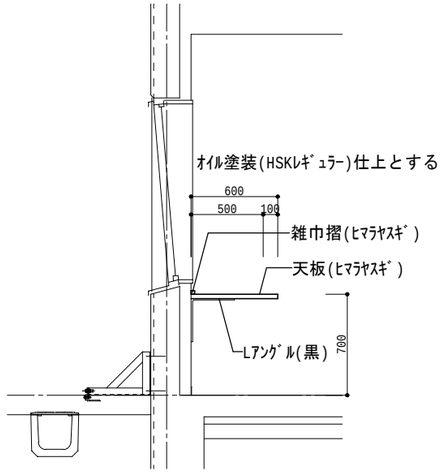


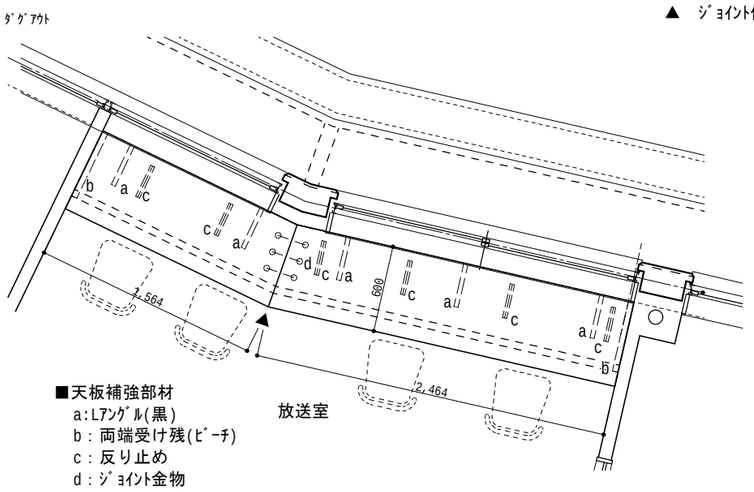
※Ｃ２　ｷｭｰﾋﾞｸﾙ　１ヶ所設置

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	雑詳細平面図		
縮　尺	1/200	番　号	121 枚の内 A051号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

A１　カウンター　S=1:30

ｶｳﾝﾀｰ主材は既存伐採のﾋﾏﾗﾔｽｷﾞを加工とする

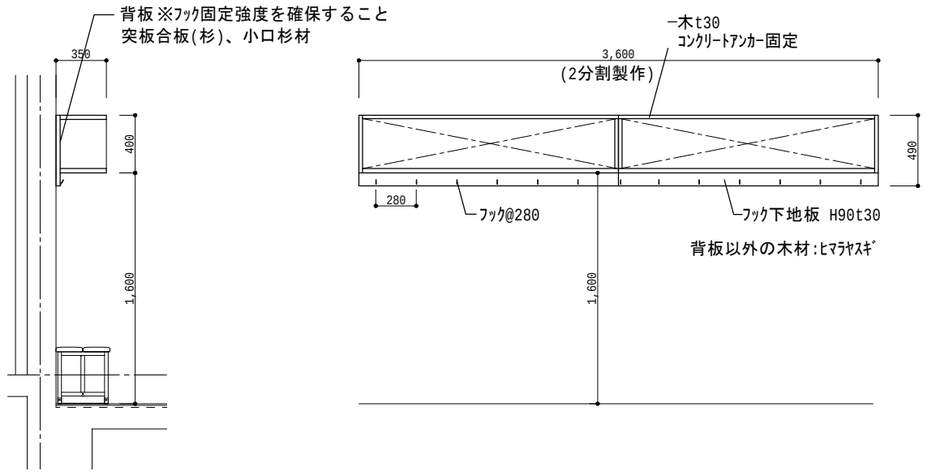




B　ダグアウト上部棚　S=1:30

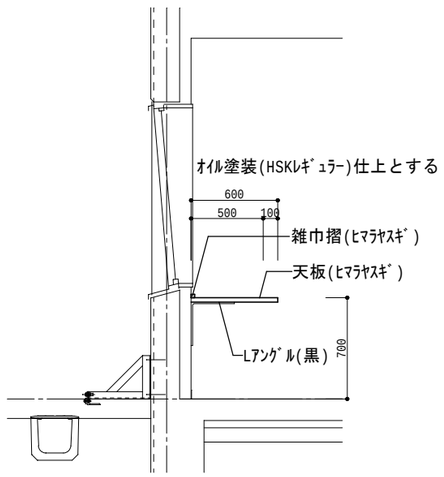
4ヶ所

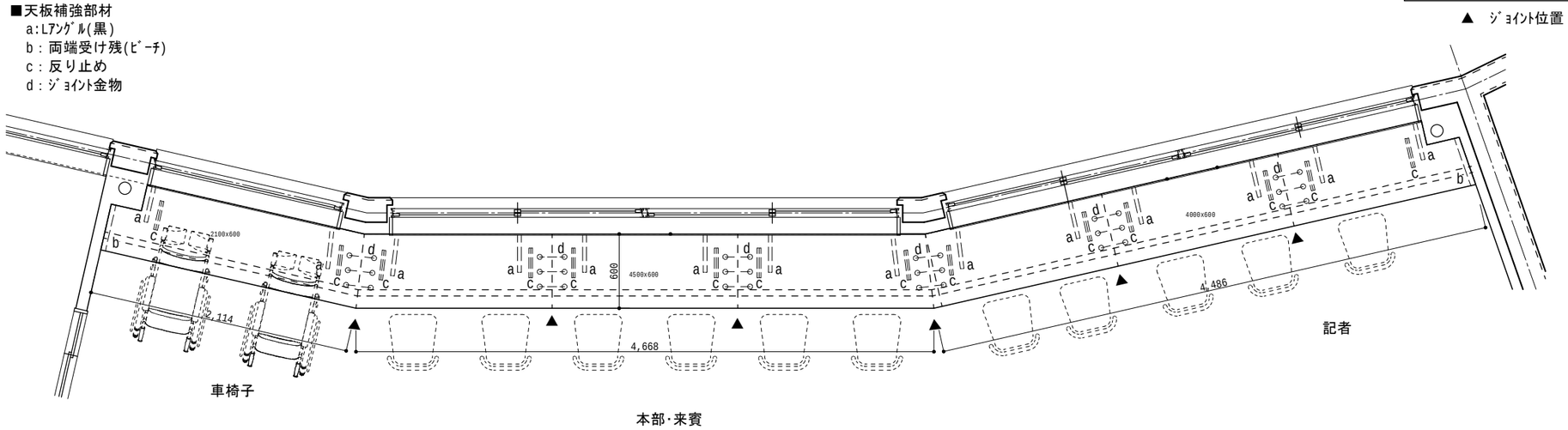
ｶｳﾝﾀｰ主材は既存伐採のﾋﾏﾗﾔｽｷﾞを加工とする　ｵｲﾙ塗装(HSKﾚｷﾞｭﾗｰ)仕上とする



A２　カウンター　S=1:30

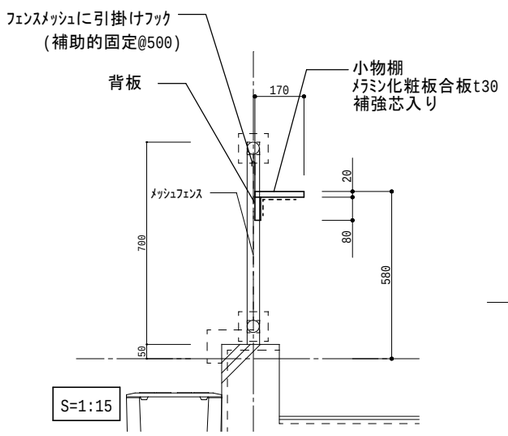
ｶｳﾝﾀｰ主材は既存伐採のﾋﾏﾗﾔｽｷﾞを加工とする

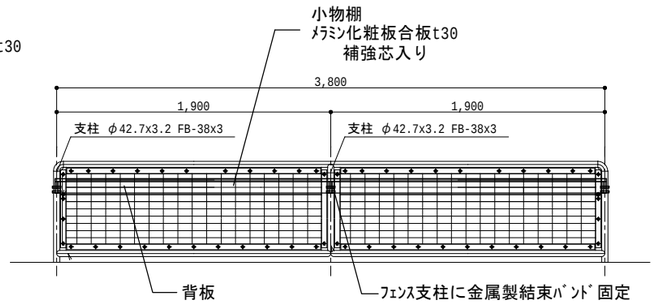




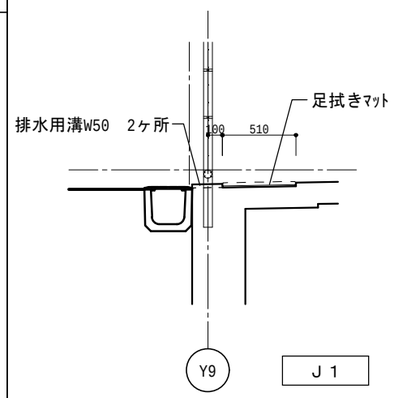
N　ダグアウト小物棚　S=1:30

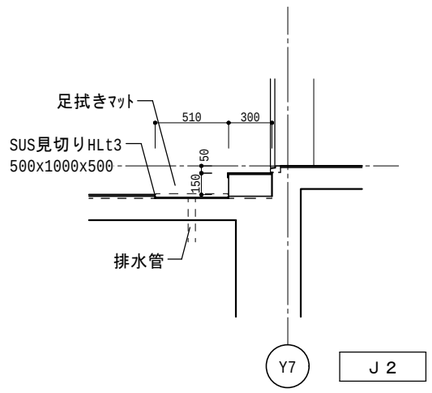
4ヶ所





J　足拭きマット　S=1:30





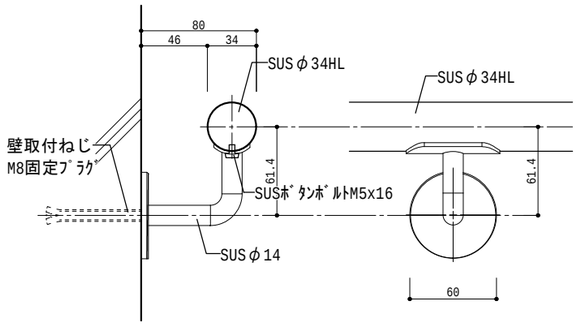
J１	ﾋﾟﾛﾃｨ(選手待機ｽﾍﾟｰｽ)	L2,000	2	ヶ所
J２	ﾀﾞｸﾞｱｳﾄ	L1,000	4	ヶ所

PVC製ﾌﾞﾗｼﾀｲﾌﾟ t 32　D500

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	雑詳細図－１		
縮　尺	1/30	番　号	121 枚の内 A052 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

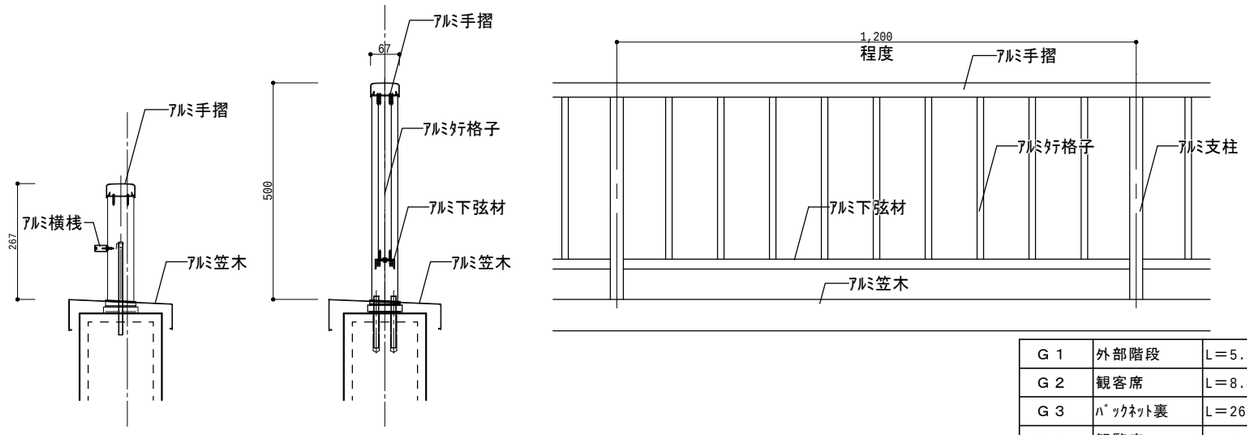
高　山　市

F　壁付け手摺　S=1:3



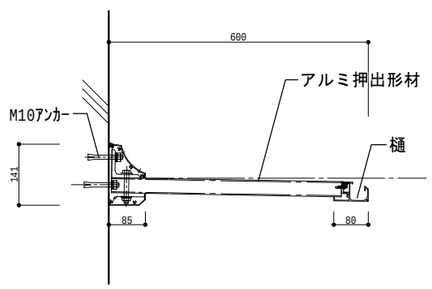
F１	外部ｽﾛｰﾌﾟ	L＝7.8m	2	ヶ所
F２	外部階段	L＝4.3m	2	ヶ所
F３	外部階段	L＝2.8m	2	ヶ所
F４	階段	L＝1.4+3.05m	4	ヶ所
F５	階段	L＝2.5m	4	ヶ所

G　アルミ手摺　S=1:10



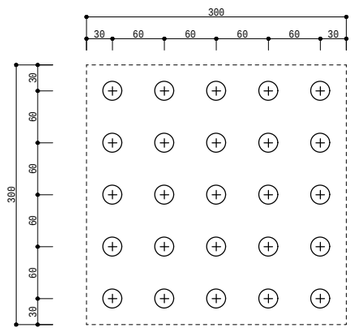
G１	外部階段	L＝5.5m	2	ヶ所
G２	観客席	L＝8.8m	2	ヶ所
G３	ﾊﾞｯｸﾈｯﾄ裏	L＝26.9m	1	ヶ所
G４	観覧席	L＝4.9m	2	ヶ所
G５	階段上部	L＝11.0m	2	ヶ所

H　アルミ庇　S=1:10



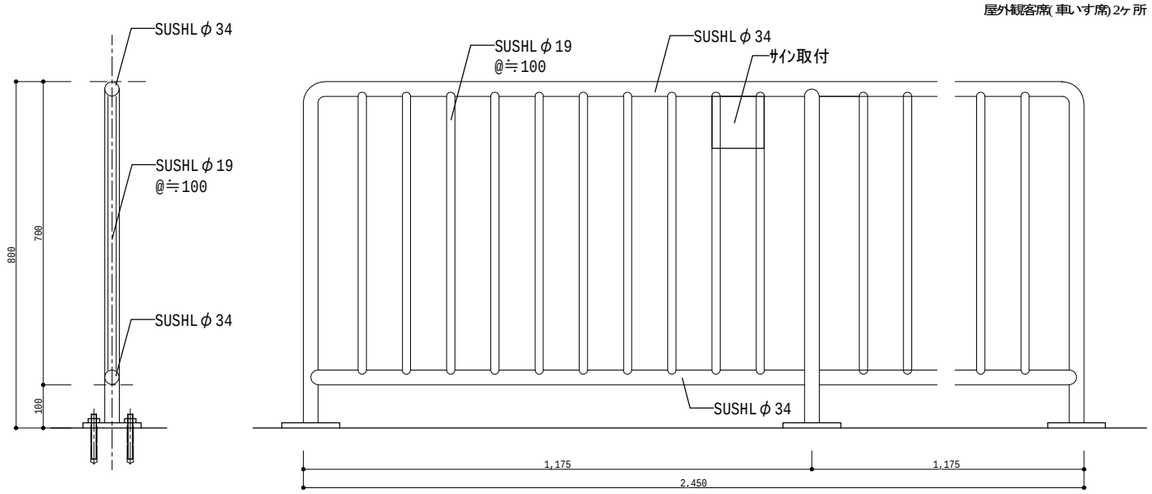
K　ＳＵＳ点鋲　S=1:5

ステンレス鋳鋼+梯掛指
点鋲: 5×5　25個/枚
3枚/ヶ所　全12ヶ所



L　ＳＵＳ手摺　S=1:10

屋外観客席(車いす席)2ヶ所



既製家具等リスト

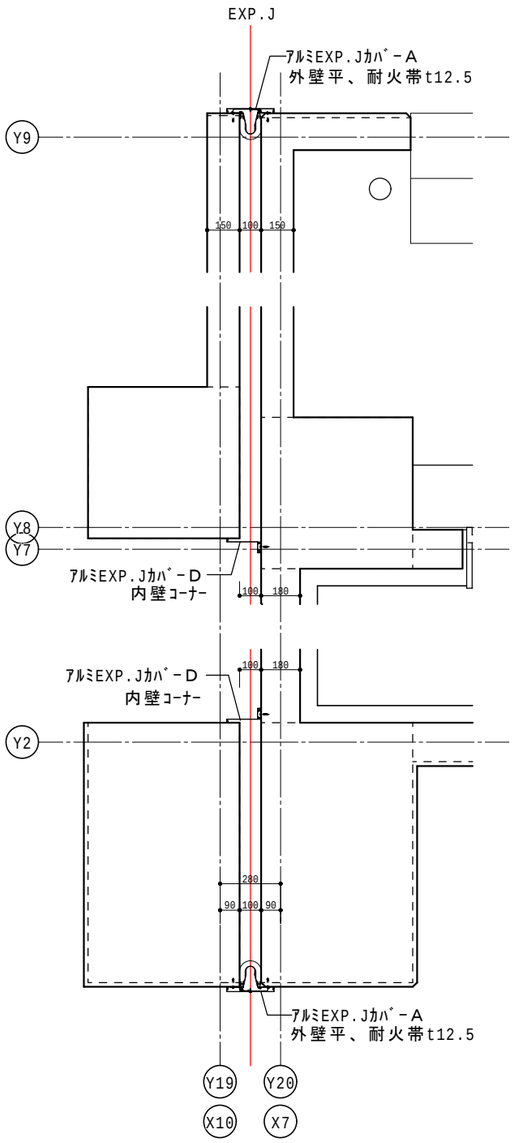
※メーカーは参考とし同等品とする

	室名	種類	数量	単位	幅	高さ	奥行き	参考ﾒｰｶｰ	備考
C１	廊下	消火器ボックス	1	ヶ所				ナカ工業　埋込式　NHED-FTM-105	ｽﾁｰﾙ製
C２	ﾋﾟﾛﾃｨ、屋外	消火器ボックス	6	ヶ所				ナカ工業　屋外式　NHD-3000N	ｽﾃﾝﾚｽ製　ｷｭｰﾋﾞｸﾙ共
D１	審判員室	鋼製棚	1	台	900	2,100	450	ITOKI　中量ﾎﾞﾙﾄﾚｽ	開放型300kg、5段
D１	審判員室	鋼製棚	1	台	1,200	2,100	450	ITOKI　中量ﾎﾞﾙﾄﾚｽ	開放型300kg、5段
D１	審判員室	鋼製棚	1	台	1,500	2,100	450	ITOKI　中量ﾎﾞﾙﾄﾚｽ	開放型300kg、5段
D２	器具庫	鋼製棚（4連）	1	台	3,600	2,100	450	ITOKI　中量ﾎﾞﾙﾄﾚｽ連結	開放型300kg、5段
D３	ﾀﾞｸﾞｱｳﾄ	鋼製棚	2	台	900	2,100	450	ITOKI　中量ﾎﾞﾙﾄﾚｽ	開放型300kg、5段
E	医務室	医療用ｶｰﾃﾝ	2	ヶ所	3,300	2,500	―	上部ﾒｯｼｭ一体型	天井付けｶｰﾃﾝﾚｰﾙ共
H	作業員室	ｱﾙﾐ既製品	1	ヶ所	2,400	―	600	共和　ｱﾙﾌｨﾝ庇	
I	ﾀﾞｸﾞｱｳﾄ	面台	2	ヶ所	700	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	ﾛｯｶｰ室洗面	面台	2	ヶ所	1,310	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	ﾛｯｶｰ室MWC	面台	2	ヶ所	2,585	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	ﾛｯｶｰ室WWC	面台	2	ヶ所	1,610	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	ﾛｯｶｰ室SK	面台	2	ヶ所	760	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	内部WWC	面台	1	ヶ所	2,020	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	内部MWC	面台	1	ヶ所	2,200	25	250		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	内部MWC	面台	1	ヶ所	1,600	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	内部SK	面台	1	ヶ所	1,010	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	外部MWC	面台	1	ヶ所	2,830	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	外部MWC	面台	1	ヶ所	1,420	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	外部WWC	面台	1	ヶ所	1,660	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	外部SK	面台	1	ヶ所	910	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	ﾏﾙﾁWC	面台	2	ヶ所	3,100	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	本部	面台	1	ヶ所	700	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	審判員室	面台	1	ヶ所	700	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	医務室	面台	1	ヶ所	1,200	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	会議室	面台	1	ヶ所	1,200	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	作業員室	面台	1	ヶ所	1,200	25	100		ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
M	ﾋﾟﾛﾃｨ①	ｷｰﾎﾞｯｸｽ	1	ヶ所	173	250	122	共立ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰｻｰﾋﾞｽ	ﾘﾓｰﾄﾛｯｸ5i特性ｷｰﾎﾞｯｸｽ

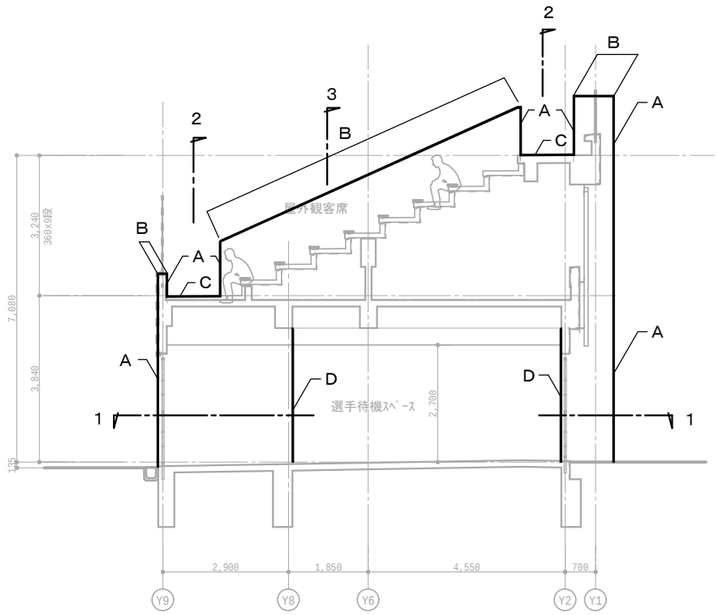
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	雑詳細図－２		
縮　尺	―	番　号	121 枚の内 A053 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)愛太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

各2ヶ所設置

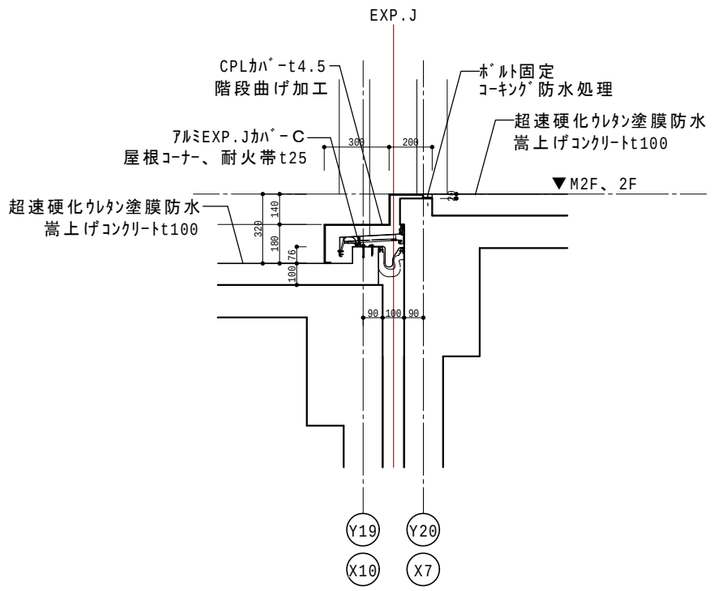
A	外部平、耐火帯t12.5	17.19	m
B	屋根平、耐火帯t25	8.81	m
C	屋根ｺｰﾅｰ、耐火帯t25	2.42	m
D	壁ｺｰﾅｰ	6.12	m



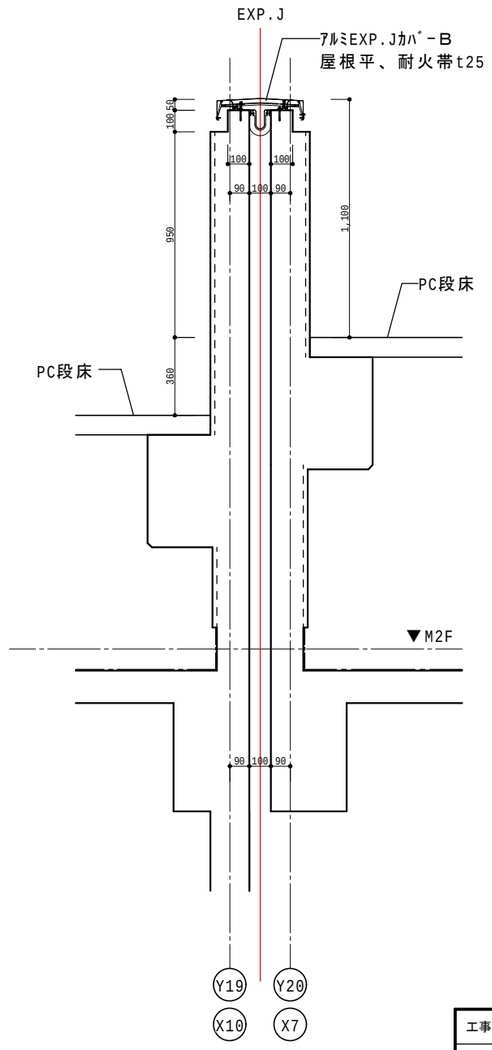
詳細図－１　S=1:20



断面図　S=1:100



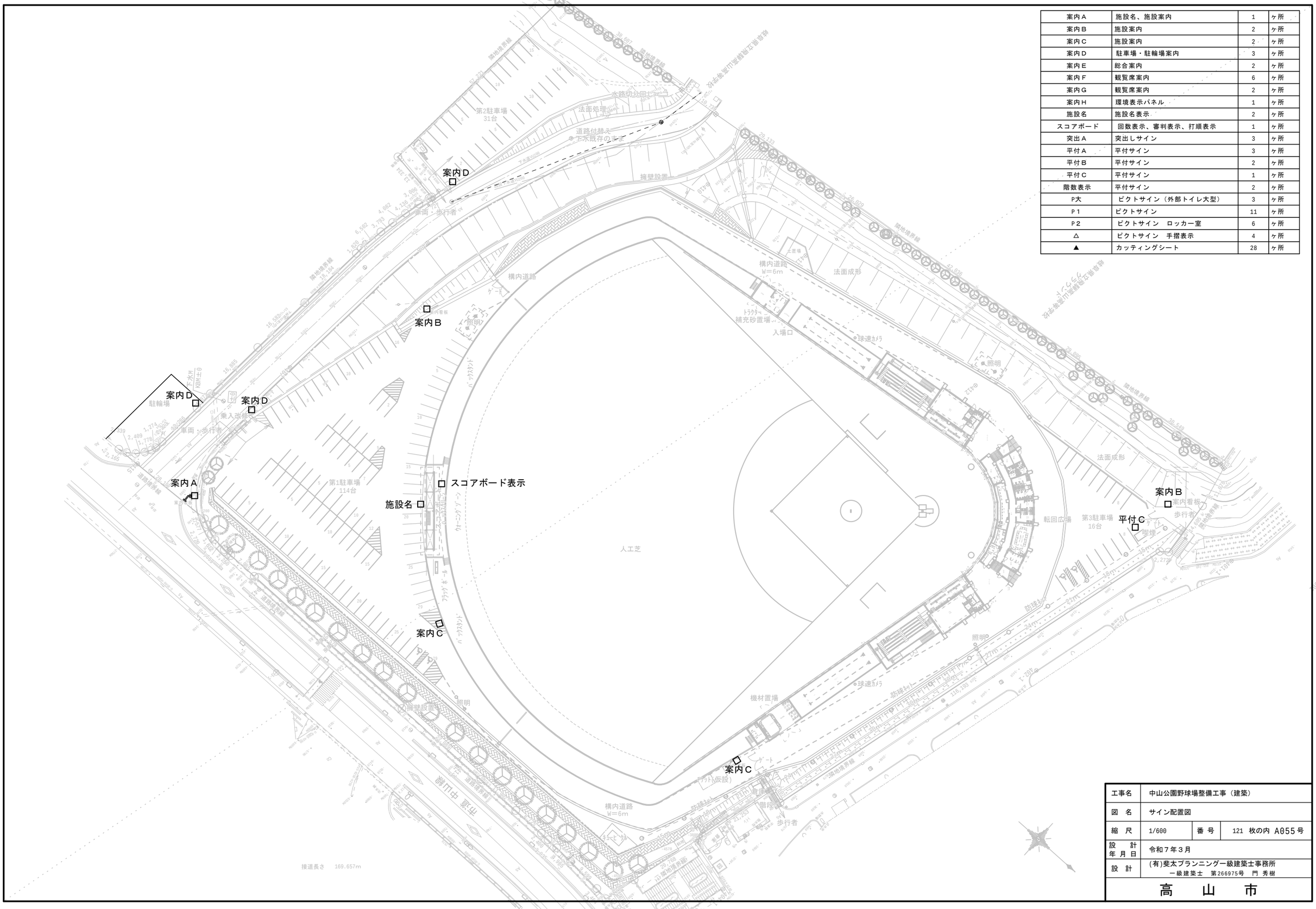
詳細図－２　S=1:20



詳細図－３　S=1:20

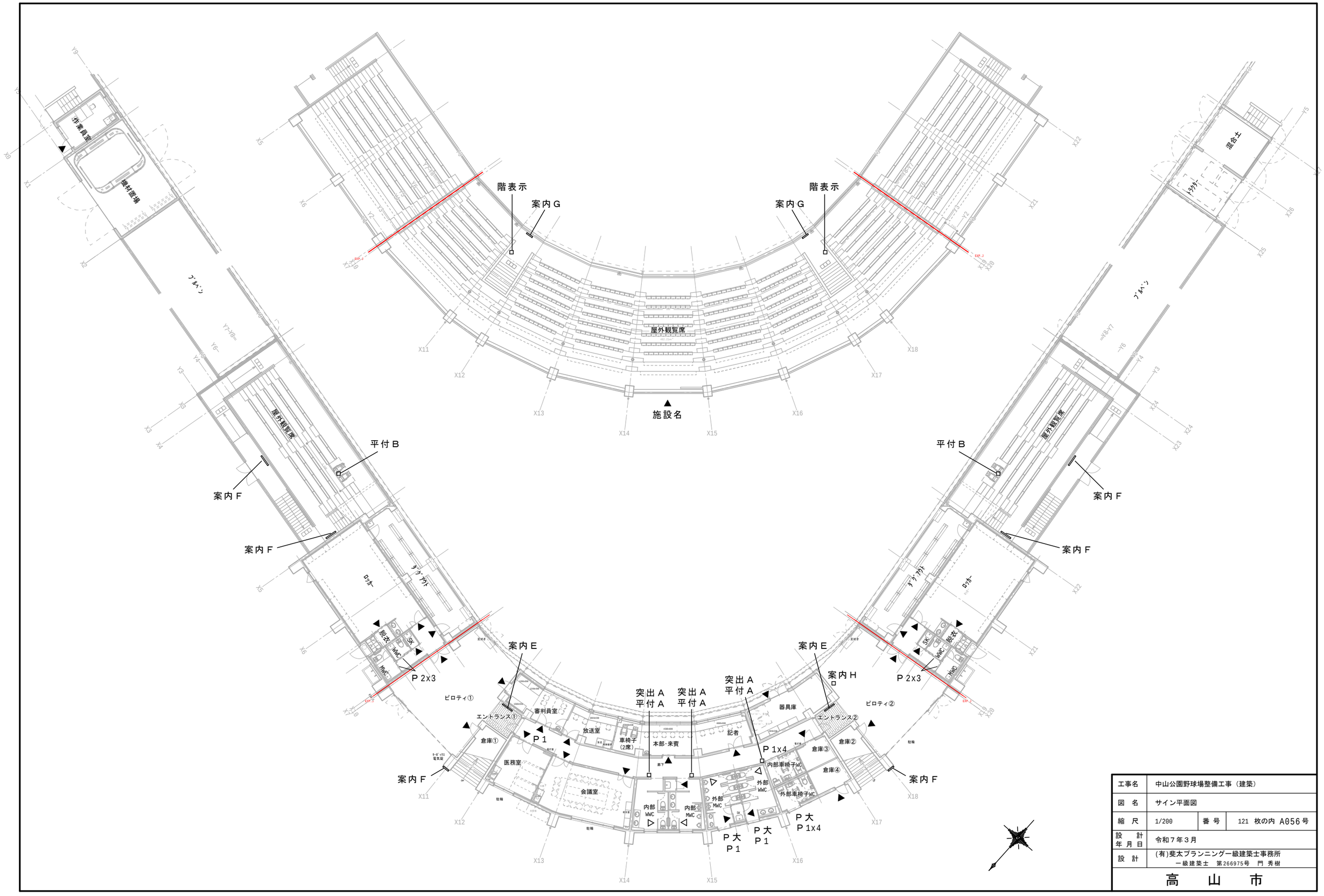
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	雑詳細図－３		
縮　尺	1/20,1/100	番　号	121 枚の内 A054 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)愛太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

高　山　市



案内Ａ	施設名、施設案内	1	ヶ所
案内Ｂ	施設案内	2	ヶ所
案内Ｃ	施設案内	2	ヶ所
案内Ｄ	駐車場・駐輪場案内	3	ヶ所
案内Ｅ	総合案内	2	ヶ所
案内Ｆ	観覧席案内	6	ヶ所
案内Ｇ	観覧席案内	2	ヶ所
案内Ｈ	環境表示パネル	1	ヶ所
施設名	施設名表示	2	ヶ所
スコアボード	回数表示、審判表示、打順表示	1	ヶ所
突出Ａ	突出しサイン	3	ヶ所
平付Ａ	平付サイン	3	ヶ所
平付Ｂ	平付サイン	2	ヶ所
平付Ｃ	平付サイン	1	ヶ所
階数表示	平付サイン	2	ヶ所
Ｐ大	ピクトサイン（外部トイレ大型）	3	ヶ所
Ｐ１	ピクトサイン	11	ヶ所
Ｐ２	ピクトサイン　ロッカー室	6	ヶ所
△	ピクトサイン　手摺表示	4	ヶ所
▲	カッティングシート	28	ヶ所

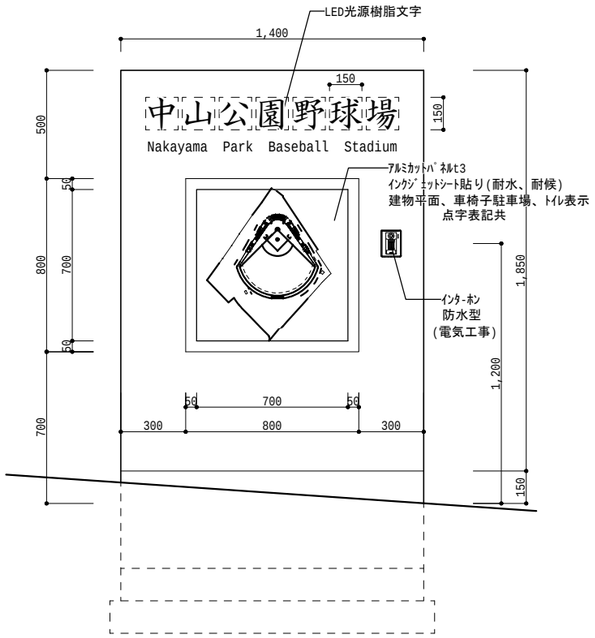
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	サイン配置図		
縮　尺	1/600	番　号	121 枚の内 A055 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)愛太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



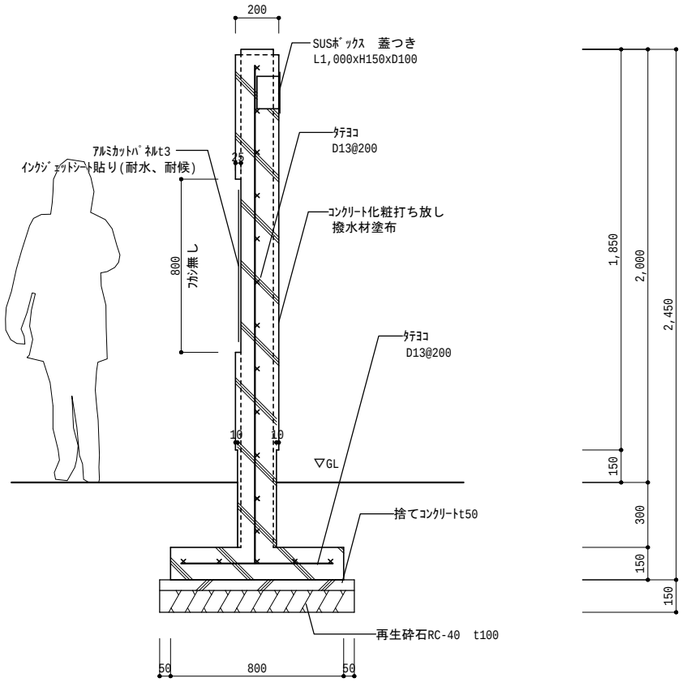
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	サイン平面図		
縮　尺	1/200	番　号	121　枚の内　A056号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

高　山　市

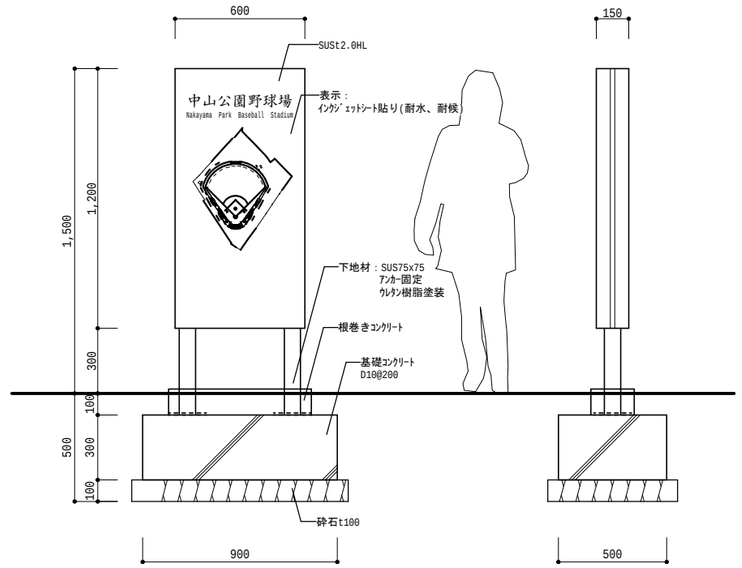
案内Ａ　S=1:20



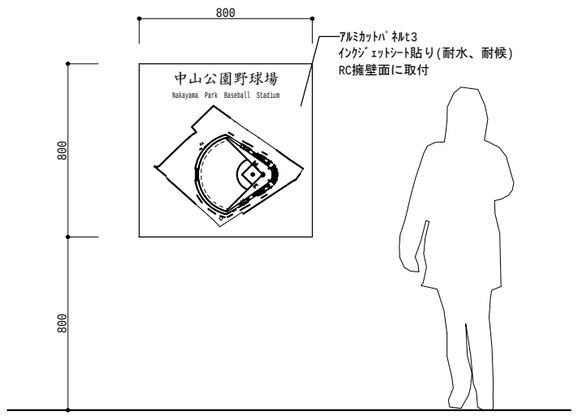
※庭園灯（電気設備工事）によるライトアップを行う



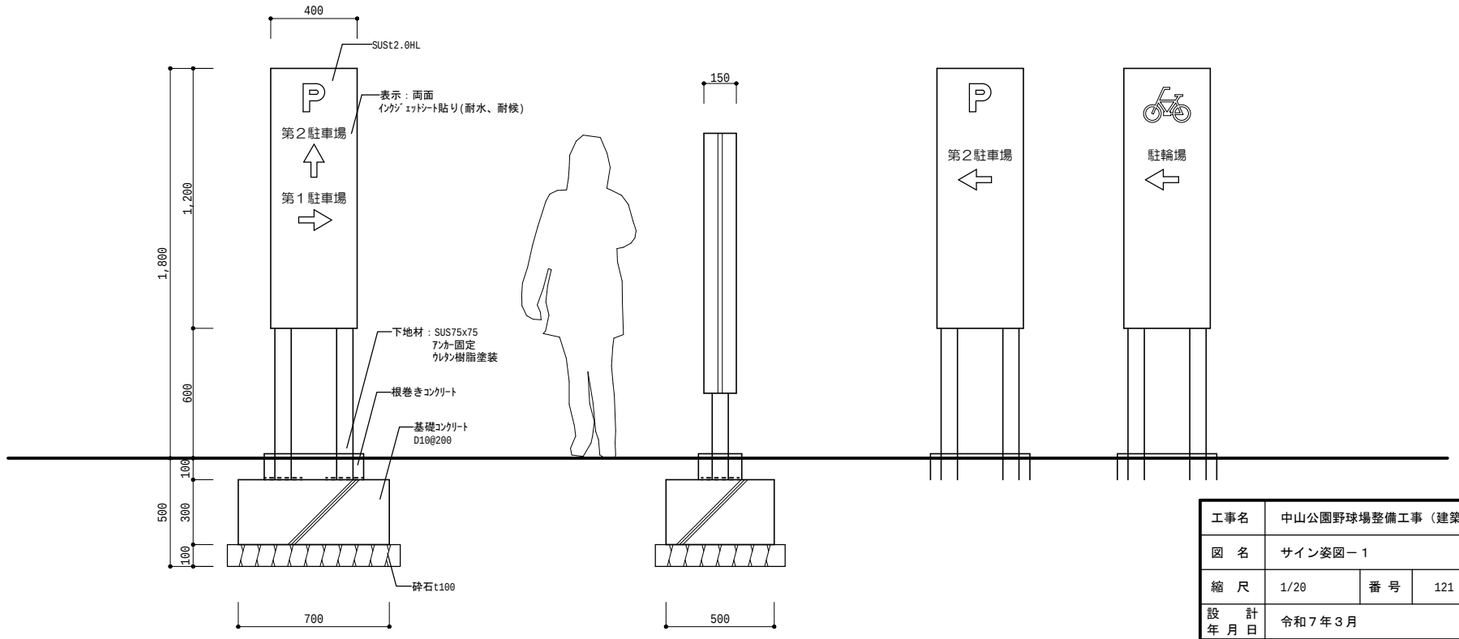
案内Ｂ　S=1:20



案内Ｃ　S=1:20



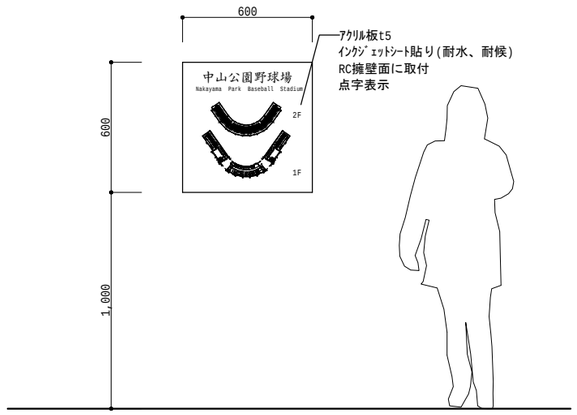
案内Ｄ　S=1:20



工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	サイン姿図－１		
縮　尺	1/20	番　号	121 枚の内 A057 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

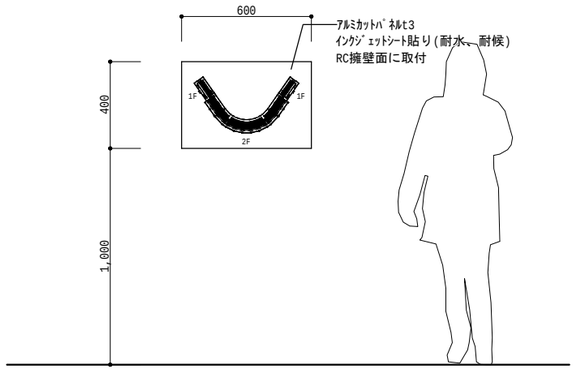
案内Ｅ　S=1:20

総合案内



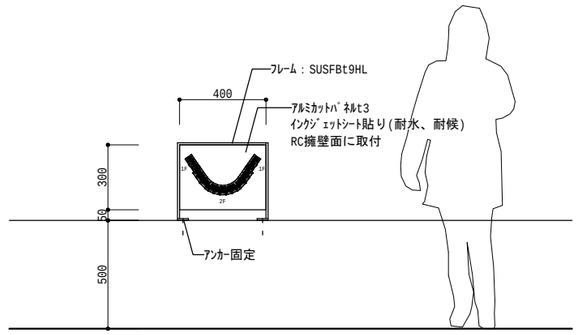
案内Ｆ　S=1:20

観客席案内



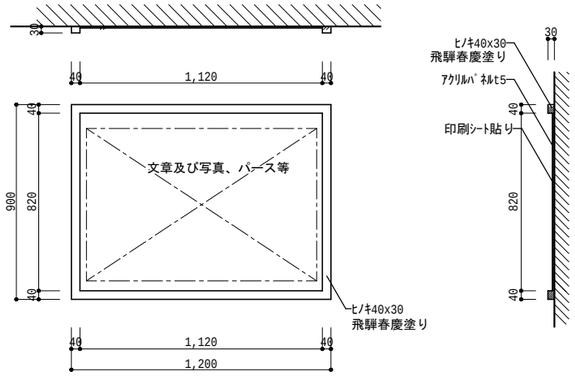
案内Ｇ　S=1:20

観客席案内



案内Ｈ　S=1:20

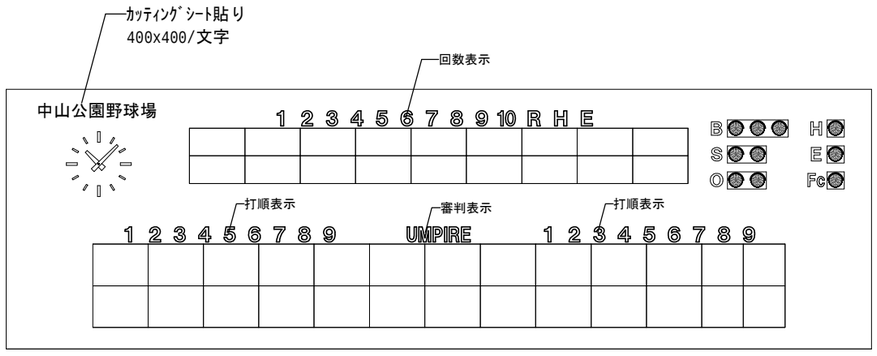
環境表示パネル

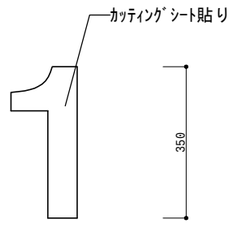


【表示内容】
・県産材使用
・Low-Eガラス
・強化ガラス、飛散防止フィルム
・バリアフリー
・ＬＥＤ照明
・節水型衛生器具（自動水栓、便器、手洗器他）
・その他設計意図及びＰＲ事項

※表示内容のデザイン、色は協議による（各サイン共通）

スコアボード表示　S=1:100

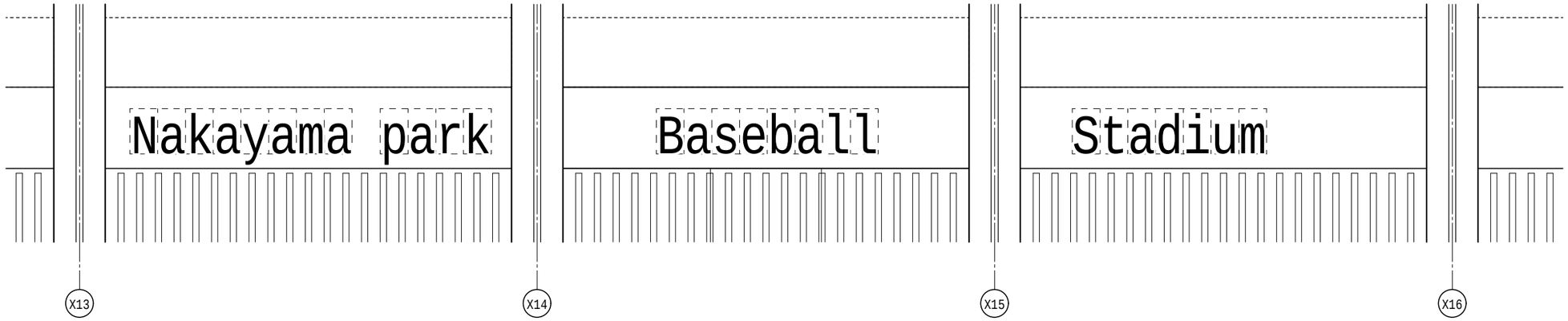


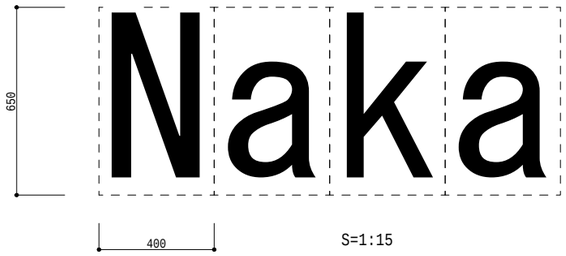


S=1:10

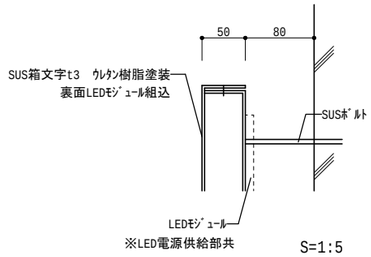
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	サイン姿図－２		
縮　尺	1/20	番　号	121 枚の内 A058 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)愛太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

施設名①　S=1:50





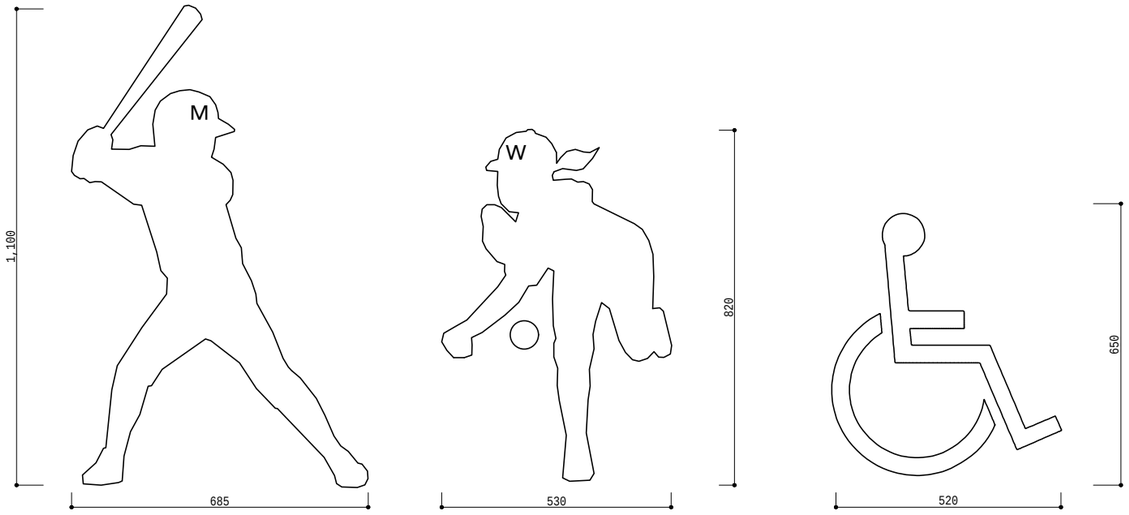
S=1:15



S=1:5

Ｐ大　ピクトサイン(大型)　S=1:10

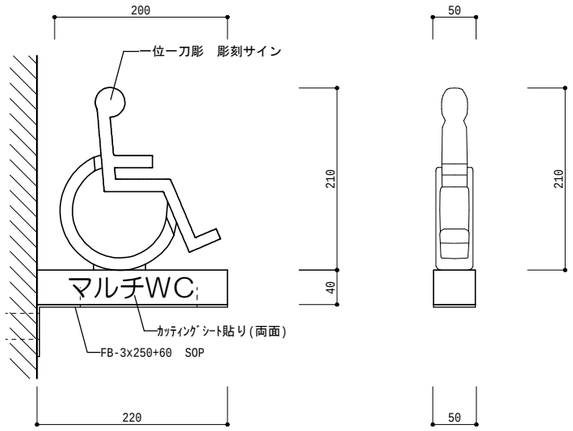
外部トイレ扉　各1ヶ所
表示方法：カッティングシート
（外部用）



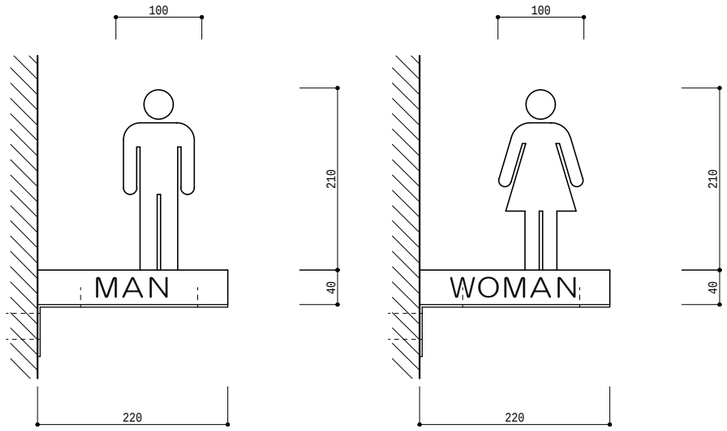
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	サイン姿図－３		
縮　尺	1/10,1/50	番 号	121 枚の内 A059 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

彫刻サイン　一位一刀彫　彫刻の形状は協議により決定する

突出Ａ　S=1:5



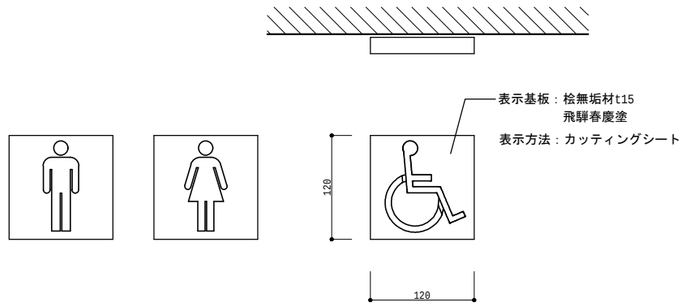
正面　＜マルチＷＣ＞　側面



＜ＭＷＣ＞　＜ＷＷＣ＞

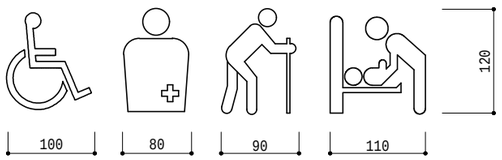
平付Ａ　S=1:5

飛騨春慶塗

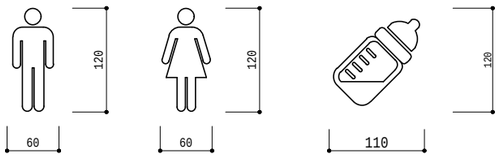


Ｐ１　ピクト　S=1:5

表示方法：カッティングシート
※ピクトデザインは日本工業規格に適合すること
※外気に面するサインは外部用シートを使用する



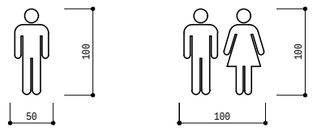
＜内部・外部マルチＷＣ＞　4枚ｘ2



＜外部ＭＷＣ＞　＜外部ＷＷＣ＞　＜授乳室(医務室)＞

Ｐ２　ピクト　S=1:5

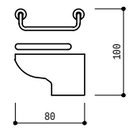
表示方法：カッティングシート
※ピクトデザインは日本工業規格に適合すること
※外気に面するサインは外部用シートを使用する



＜ロッカー室ＭＷＣ＞　＜ロッカー室ＷＷＣ＞

△　ピクト　S=1:5

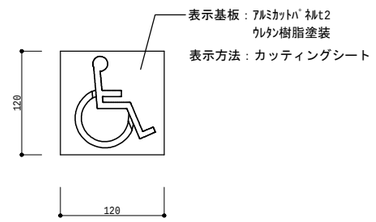
表示方法：カッティングシート
※トイレブース扉横に設置のこと



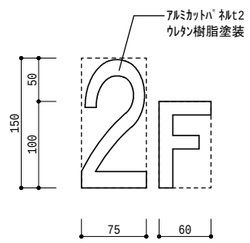
＜手すり付洋便器ブース＞

平付Ｂ　S=1:5

屋外観覧席
※ピクトデザインは日本工業規格に適合すること

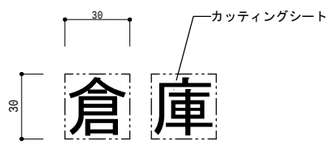


階表示　S=1:5



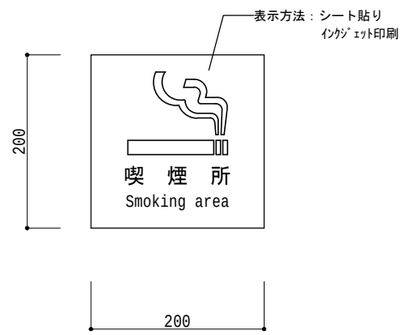
▲　カッティングシート　S=1:2

※表示内容・文字数・総W寸法は打ち合わせにより決定とする
※外気に面するサインは外部用シートを使用する



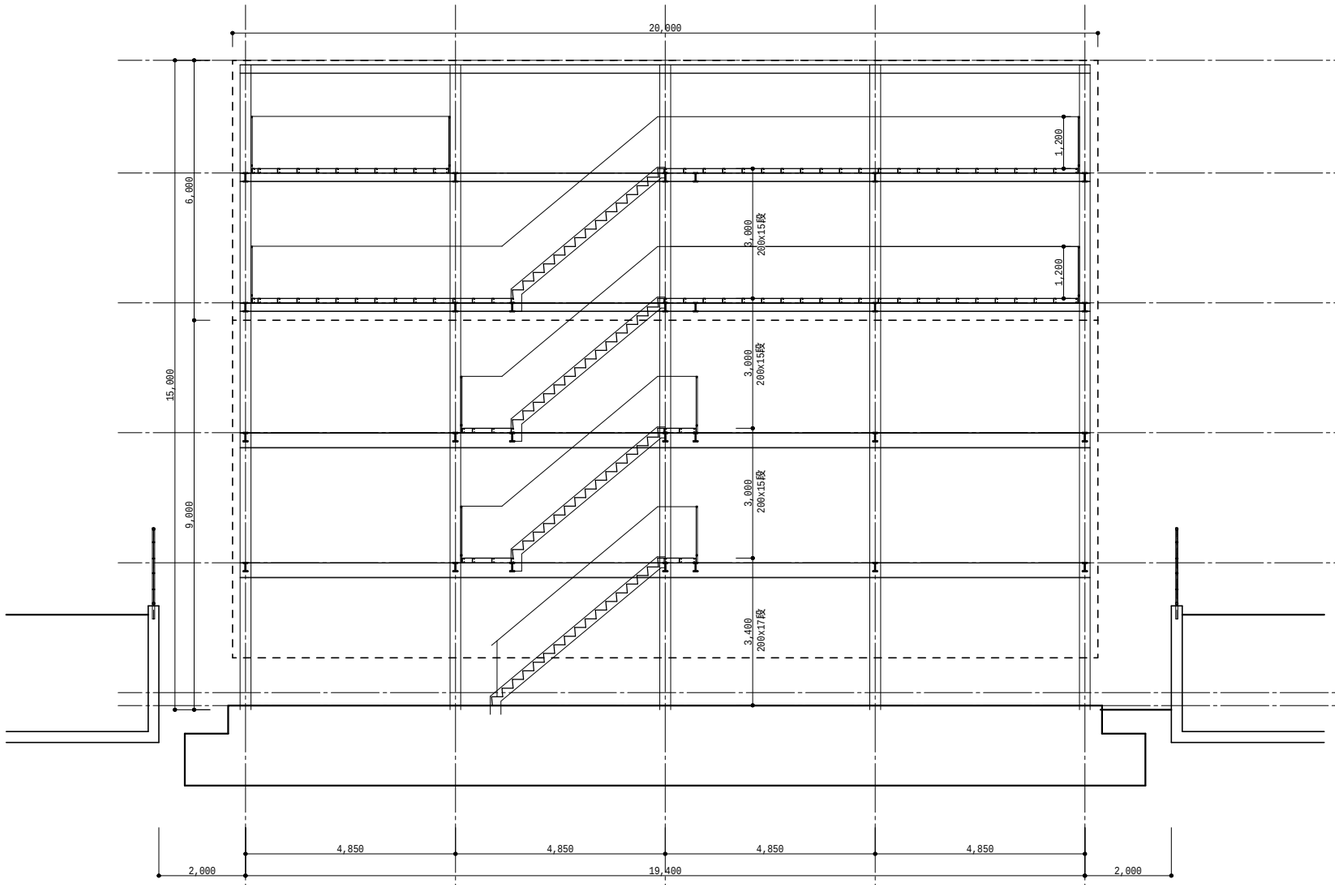
平付Ｃ　S=1:5

喫煙所

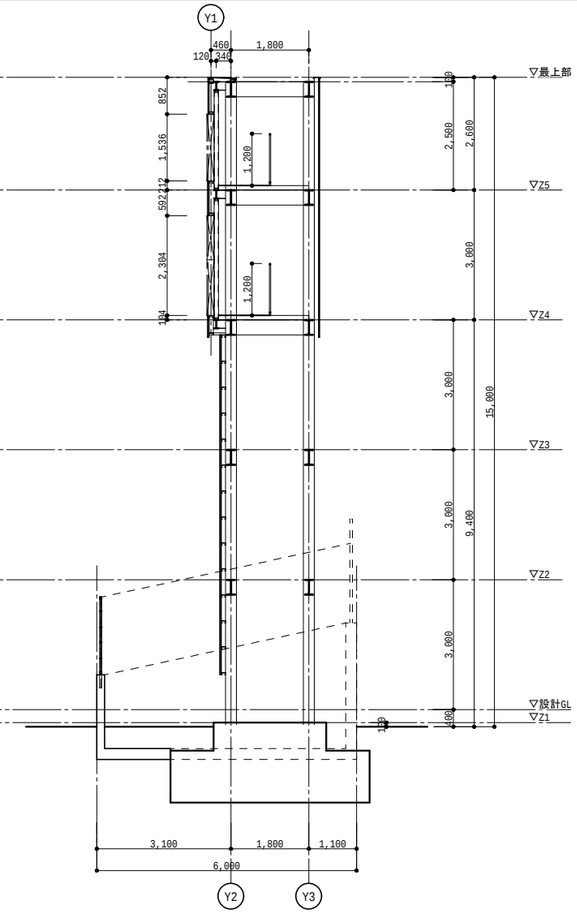


工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	サイン姿図－４		
縮　尺	－	番　号	121 枚の内 A060号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

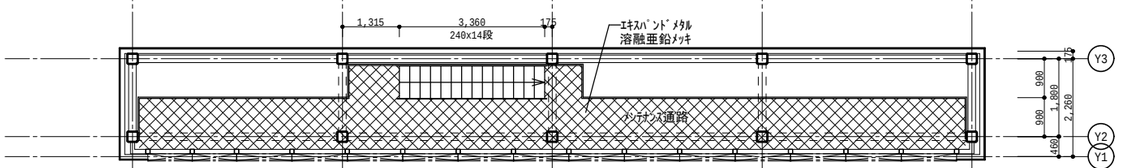
高　山　市



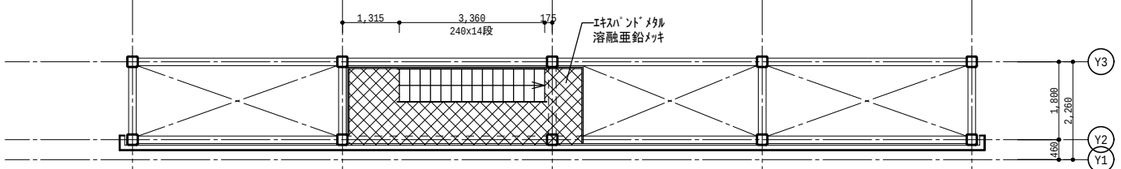
断面図－１



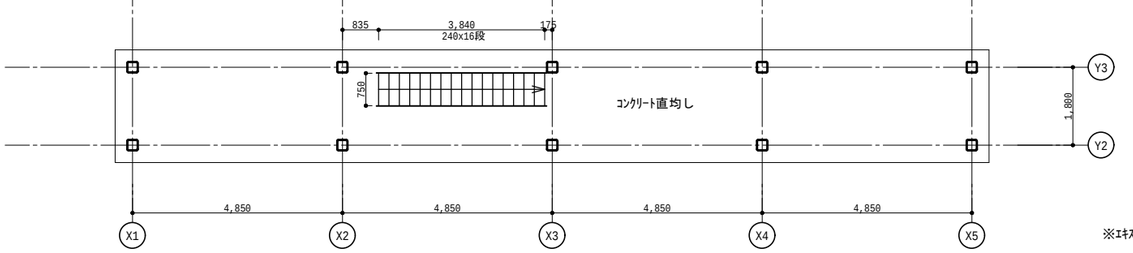
断面図－２



Z4、Z5平面図

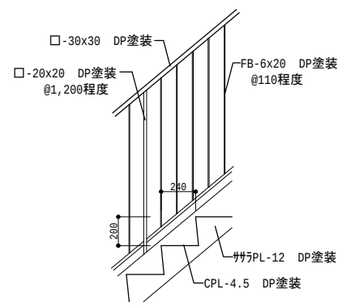


Z2、Z3平面図



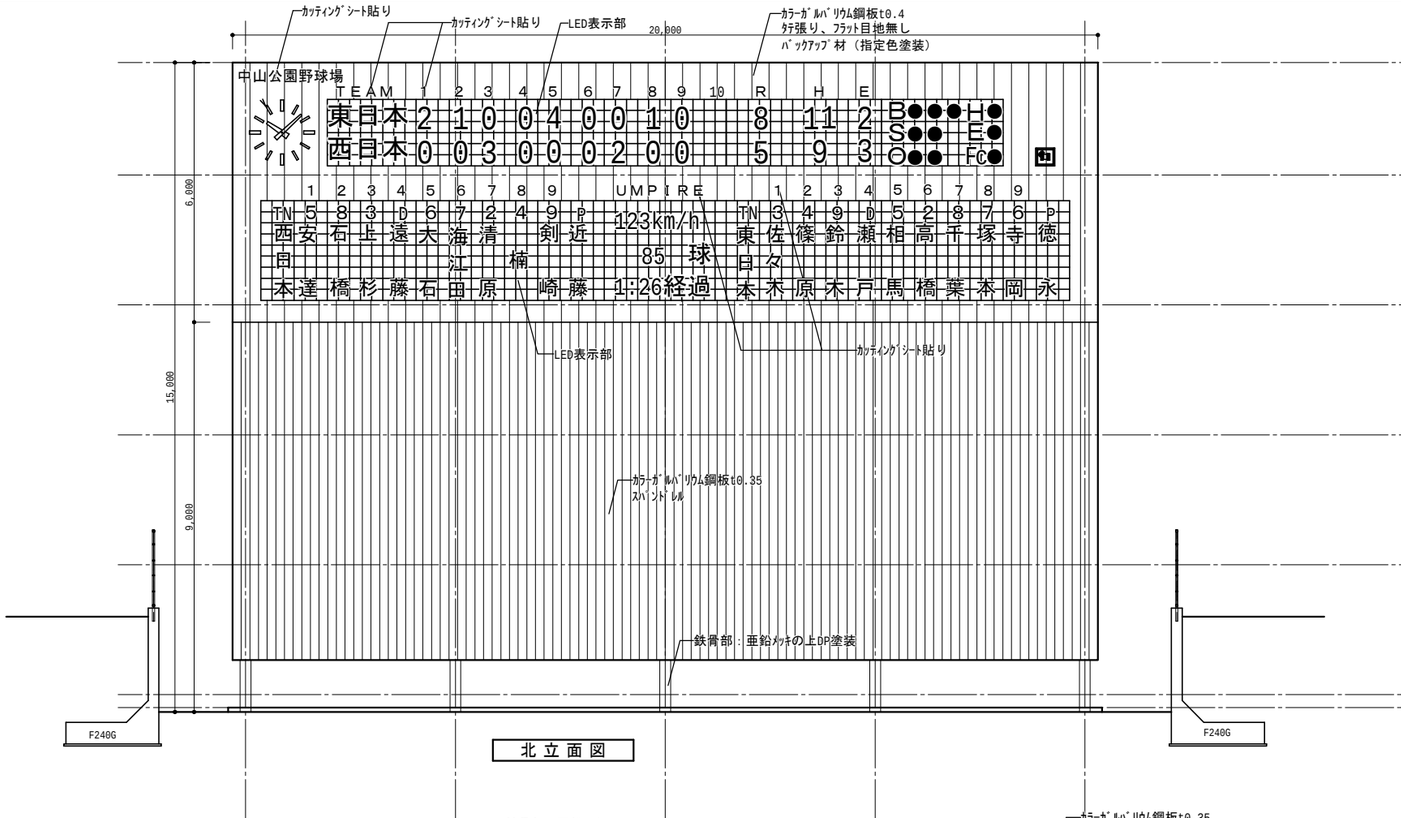
Z1平面図

※ｴｷｽﾊﾟﾝﾄﾞﾒﾀﾙ　XG23　開口率50%程度

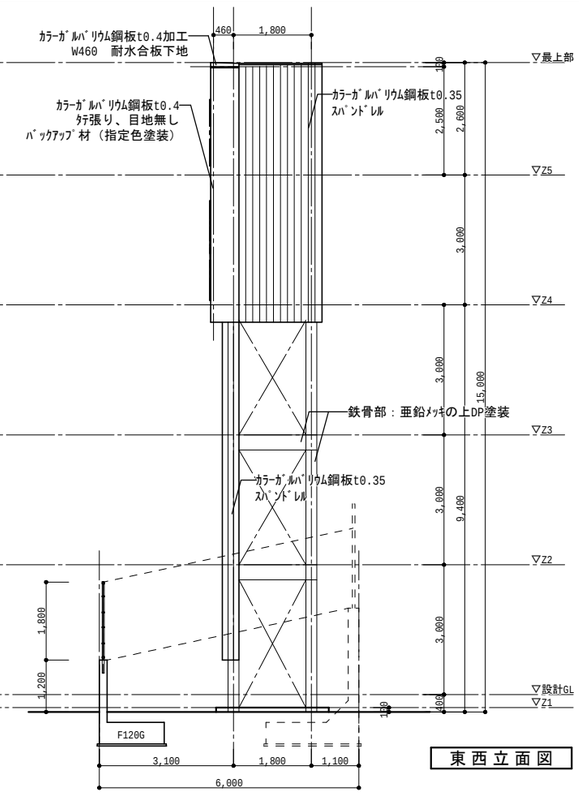


段部詳細　S=1:30

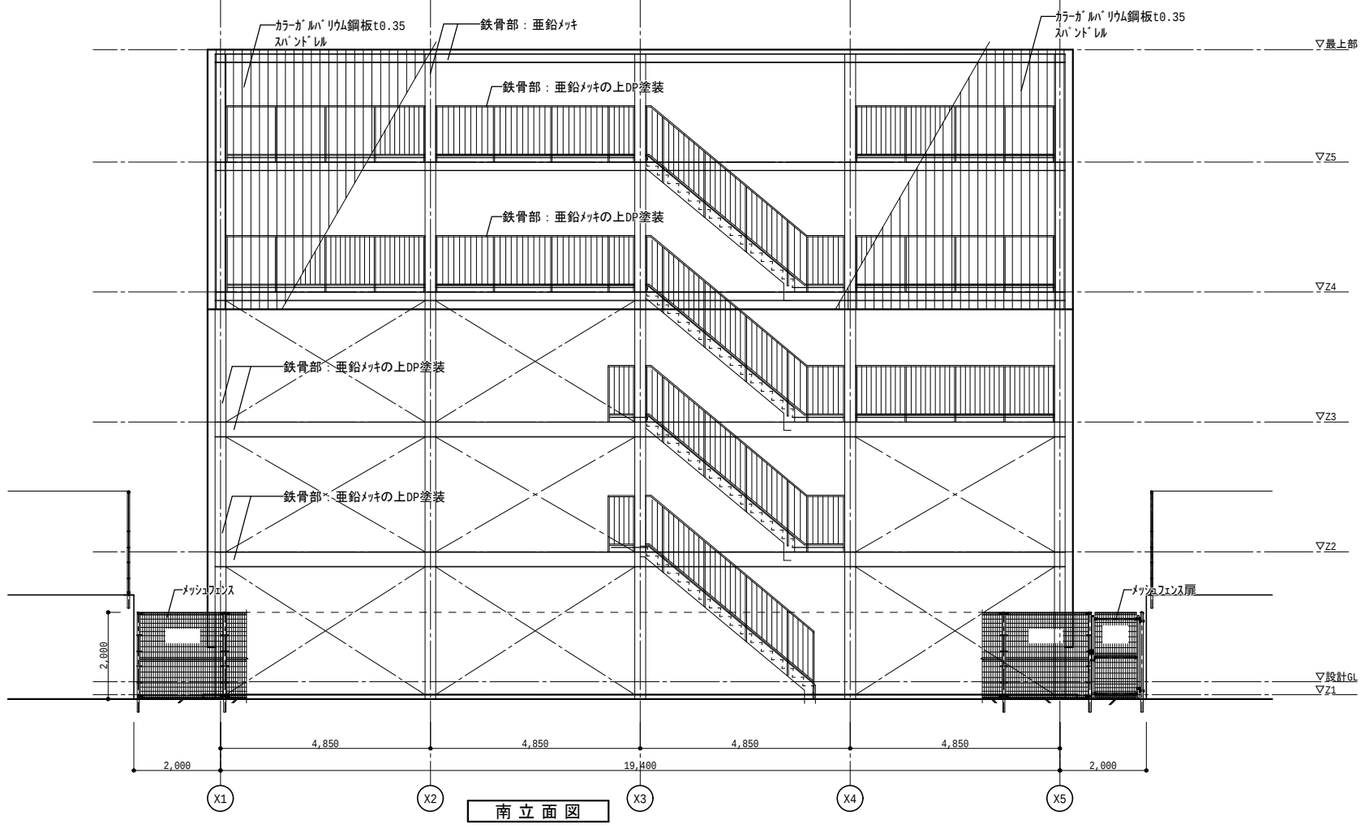
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	スコアボード　平面図・断面図		
縮　尺	1/30,1/100	番　号	121　枚の内 A061号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



北立面図

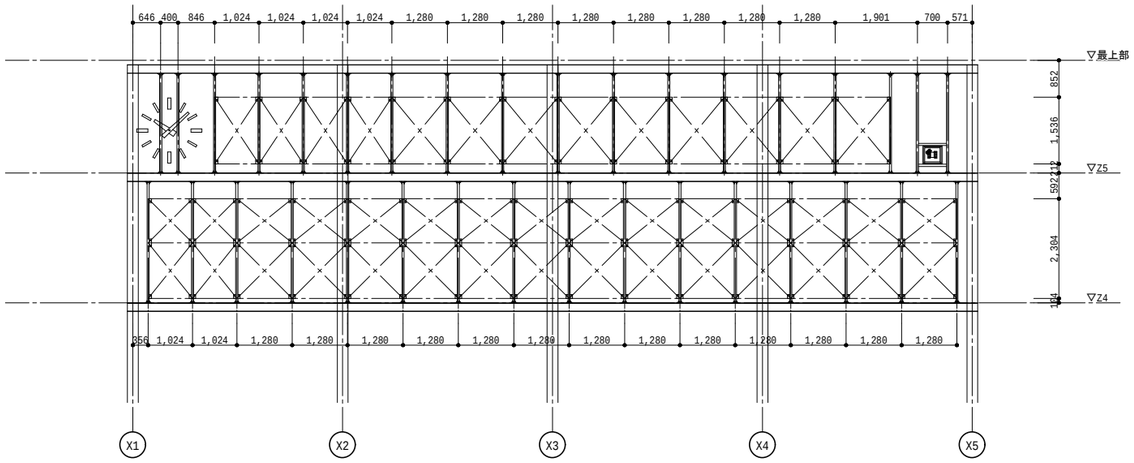


東西立面図

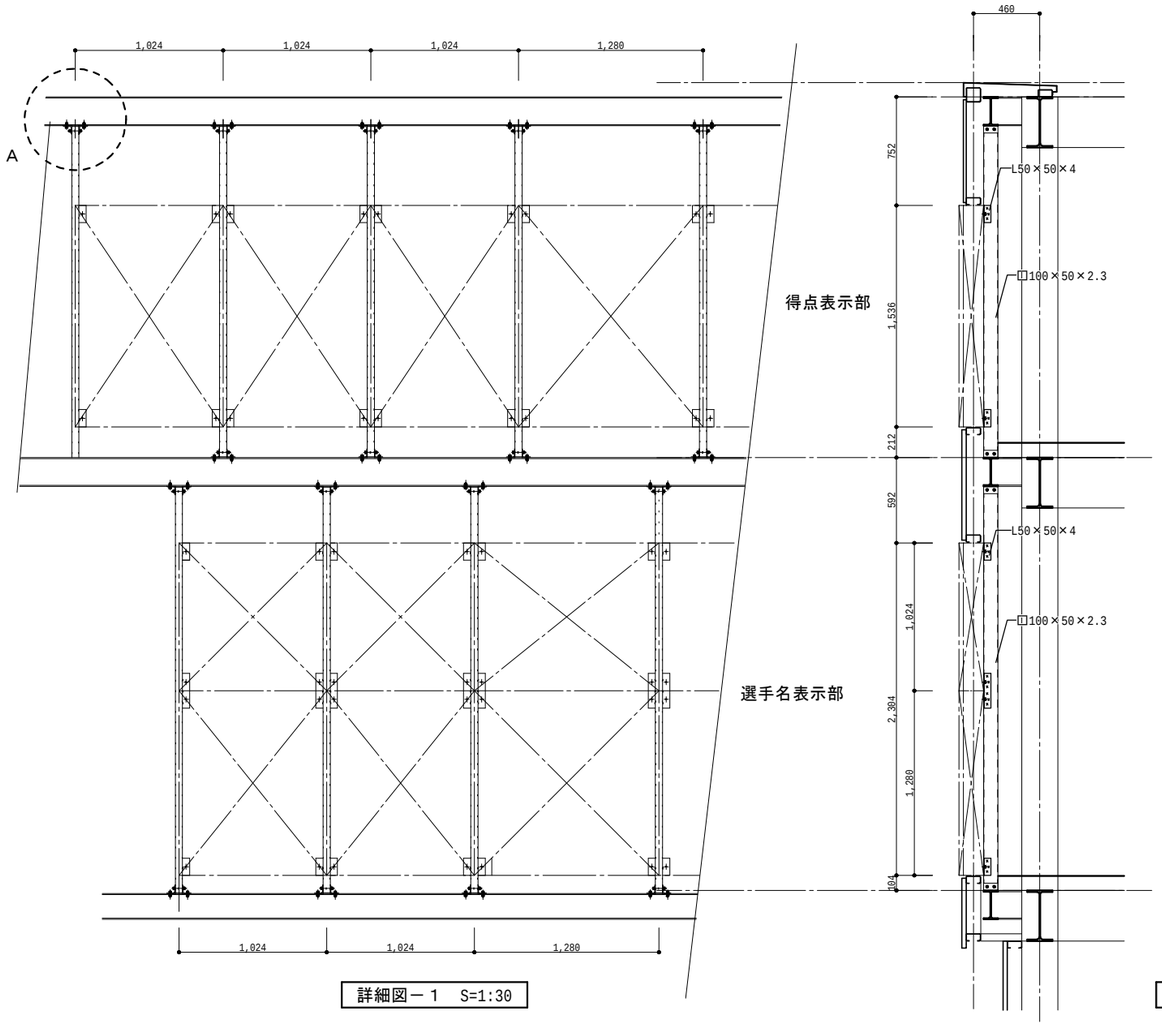


南立面図

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	スコアボード　立面図		
縮　尺	1/100	番　号	121 枚の内 A062 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

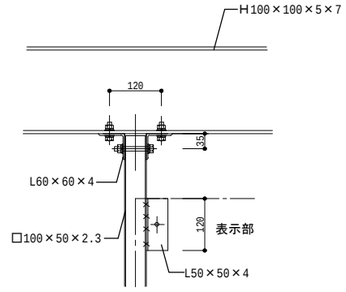


スコアボード下地割付図　S=1:100



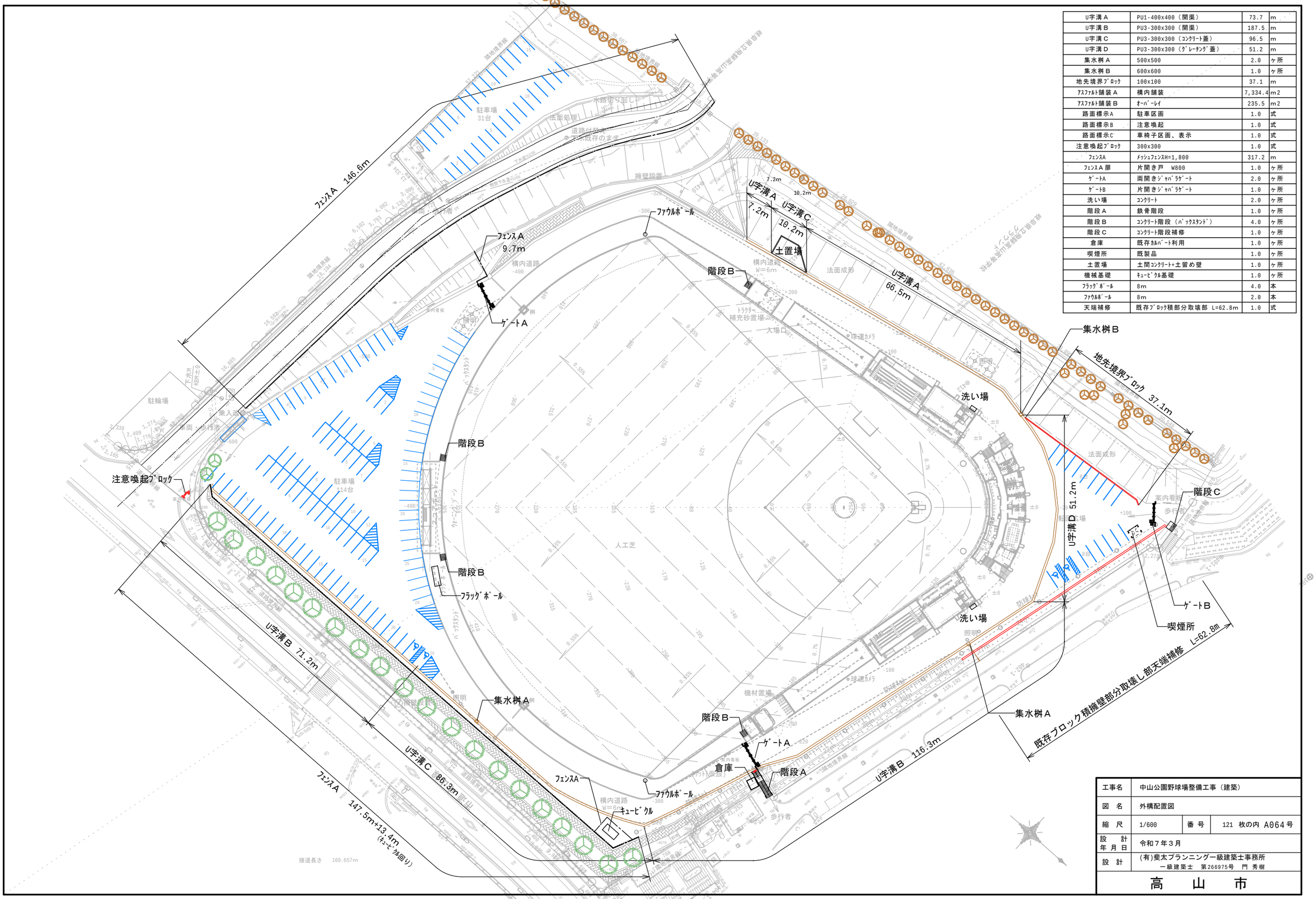
詳細図－１　S=1:30

詳細図－２　S=1:30



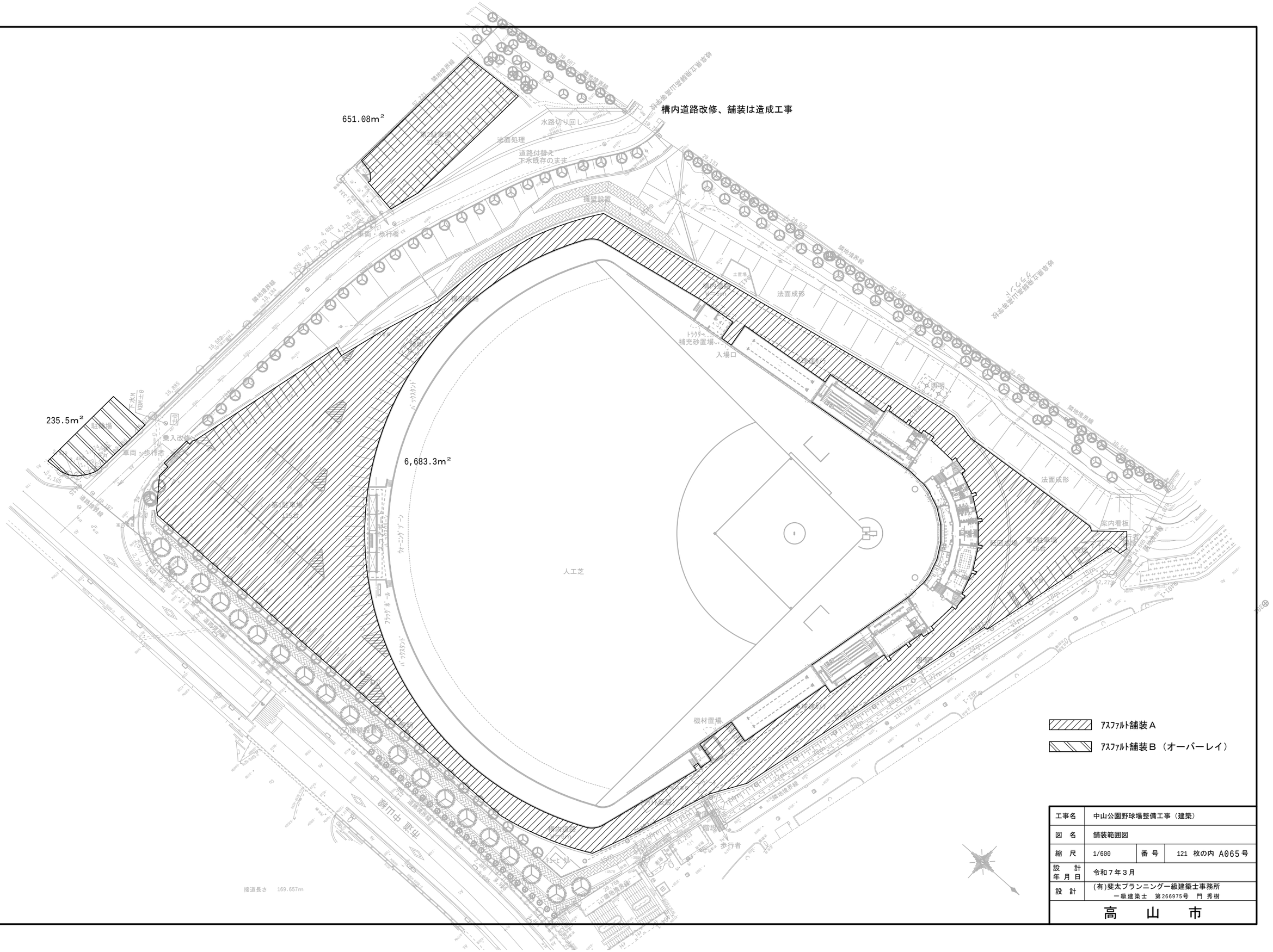
Ａ部詳細図　S=1:10

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	スコアボード　雑詳細図		
縮　尺	ー	番 号	121 枚の内 A063 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			

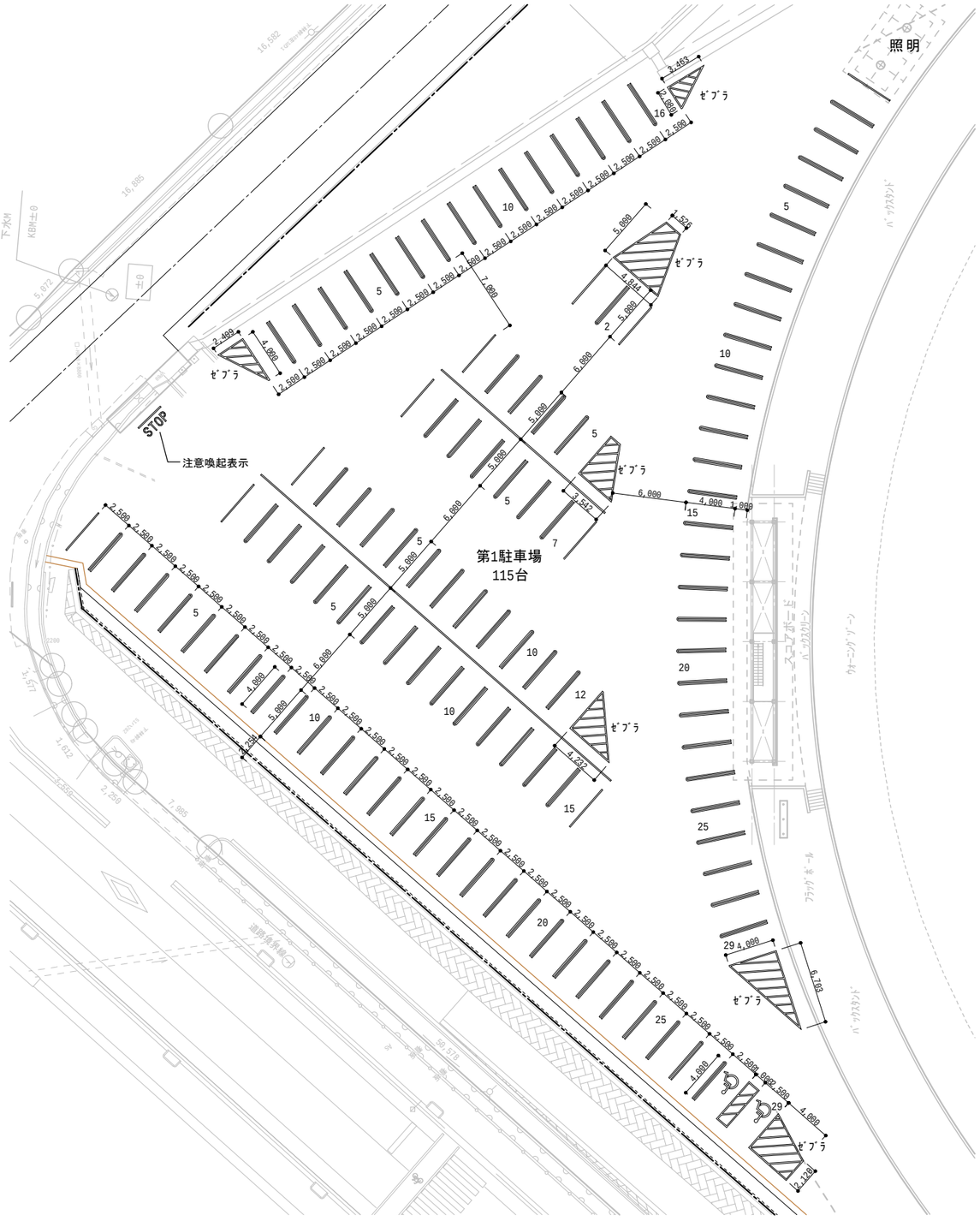


U字溝A	PU1-400x400（開渠）	73.7	m
U字溝B	PU3-300x300（開渠）	187.5	m
U字溝C	PU3-300x300（ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋）	96.5	m
U字溝D	PU3-300x300（ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋）	51.2	m
集水桝A	500x500	2.0	ヶ所
集水桝B	600x600	1.0	ヶ所
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	100x100	37.1	m
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装A	構内舗装	7,334.4	m2
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装B	ｵｰﾊﾞｰﾚｲ	235.5	m2
路面標示A	駐車区画	1.0	式
路面標示B	注意喚起	1.0	式
路面標示C	車椅子区画、表示	1.0	式
注意喚起ﾌﾞﾛｯｸ	300x300	1.0	式
ﾌｪﾝｽA	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽH=1,800	317.2	m
ﾌｪﾝｽA扉	片開き戸 W800	1.0	ヶ所
ｹﾞｰﾄA	両開きｼﾞｬﾊﾞﾗｹﾞｰﾄ	2.0	ヶ所
ｹﾞｰﾄB	片開きｼﾞｬﾊﾞﾗｹﾞｰﾄ	1.0	ヶ所
洗い場	ｺﾝｸﾘｰﾄ	2.0	ヶ所
階段A	鉄骨階段	1.0	ヶ所
階段B	ｺﾝｸﾘｰﾄ階段（ﾊﾞｯｸｽﾀﾝﾄﾞ）	4.0	ヶ所
階段C	ｺﾝｸﾘｰﾄ階段補修	1.0	ヶ所
倉庫	既存ｶﾙﾊﾞｰﾄ利用	1.0	ヶ所
喫煙所	既製品	1.0	ヶ所
土置場	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ+土留め壁	1.0	ヶ所
機械基礎	ｷｭｰﾋﾞｸﾙ基礎	1.0	ヶ所
ﾌﾗｯｸﾞﾎﾟｰﾙ	8m	4.0	本
ﾌｧｳﾙﾎﾟｰﾙ	8m	2.0	本
天端補修	既存ﾌﾞﾛｯｸ積部分取壊部 L=62.8m	1.0	式

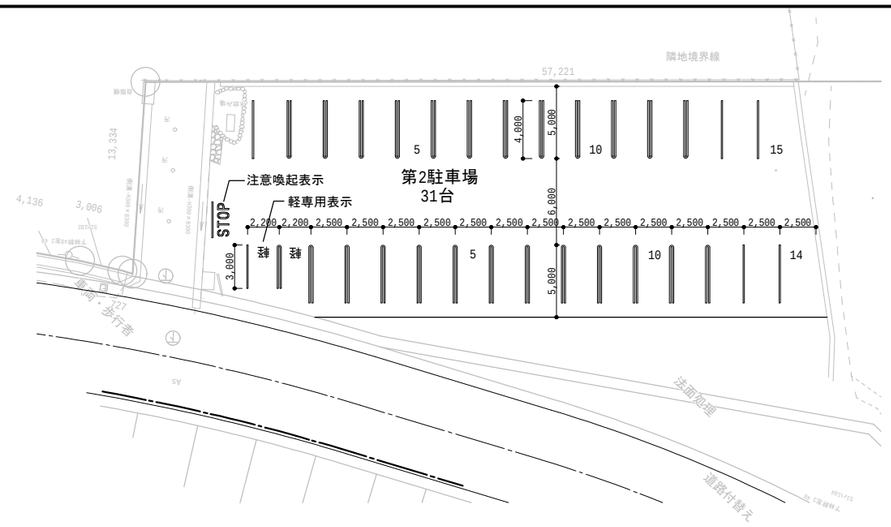
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	外構配置図		
縮　尺	1/600	番　号	121 枚の内 A064 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



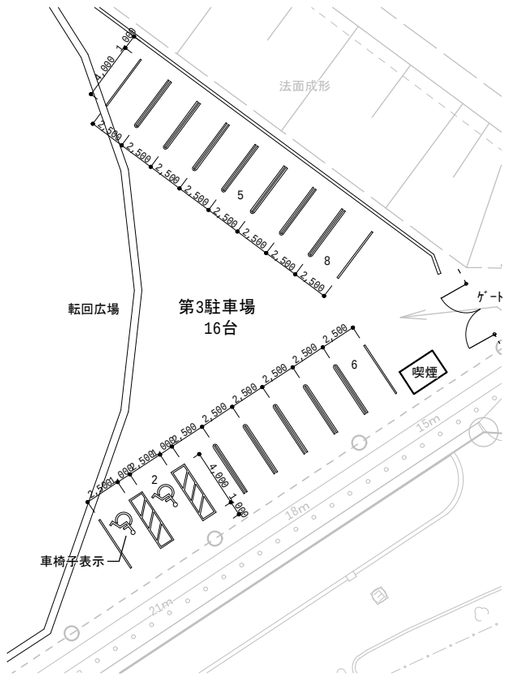
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	舗装範囲図		
縮　尺	1/600	番　号	121 枚の内 A065 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)愛太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			



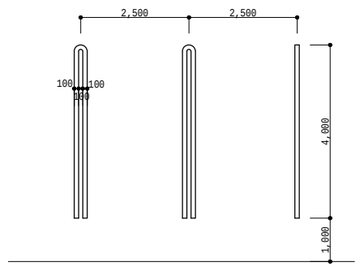
第1駐車場平面図



第2駐車場平面図



第3駐車場平面図



駐車区画図　S=1:100

駐車区画表示	第1駐車場	115.0	台
駐車区画表示	第2駐車場	31.0	台
駐車区画表示	第3駐車場	14.0	台
駐車区画表示	車椅子ｾﾞﾌﾞﾗ表示、車椅子ﾏｰｸ	2.0	台
ｾﾞﾌﾞﾗｿﾞｰﾝ表示	第1駐車場	7.0	ヶ所
注意喚起表示	STOP文字、ﾗｲﾝ	2.0	ヶ所

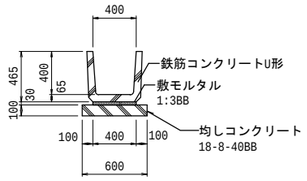
※区画線は溶融式とする。

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	駐車区画図		
縮　尺	1/300	番　号	121 枚の内 A066号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		

高　山　市

Ｕ字溝Ａ　S=1:40

Ｕ形側溝(PU1-B400-H400)

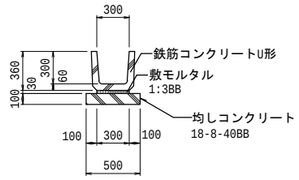


Ｕ形側溝(PU1-B400-H400)　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
Ｕ形側溝	PU1-B400-H400	本	10	L=1,000mm
敷ﾓﾙﾀﾙ	1:3BB	m3	0.12	
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40BB	m3	0.60	
均しｺﾝ型枠	小構造物	m2	2.0	

Ｕ字溝Ｂ　S=1:40

Ｕ形側溝(PU1-B300-H300)

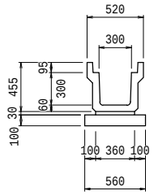


Ｕ形側溝(PU1-B300-H300)　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
Ｕ形側溝	PU1-B300-H300	本	10	L=1,000mm
敷ﾓﾙﾀﾙ	1:3BB	m3	0.09	
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40BB	m3	0.50	
均しｺﾝ型枠	小構造物	m2	2.0	

Ｕ字溝Ｃ　S=1:40

Ｕ形側溝(PU3-B300-H300)

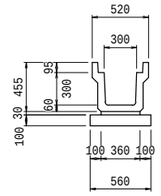


Ｕ形側溝(PU3-B300-H300)　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
Ｕ形側溝	PU3-B300-H300	本	5	L=2,000mm
敷ﾓﾙﾀﾙ	1:3BB	m3	0.11	
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40BB	m3	0.56	
均しｺﾝ型枠	小構造物	m2	2.0	

Ｕ字溝Ｄ　S=1:40

Ｕ形側溝(PU3-B300-H300)

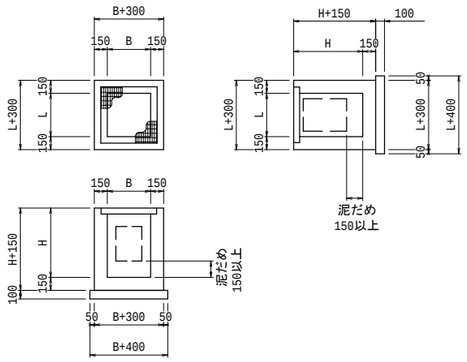


Ｕ形側溝(PU3-B300-H300)　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
Ｕ形側溝	PU3-B300-H300	本	5	L=2,000mm
敷ﾓﾙﾀﾙ	1:3BB	m3	0.11	
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40BB	m3	0.56	
均しｺﾝ型枠	小構造物	m2	2.0	

集水桝Ａ・Ｂ　S=1:40

桝　工（標準図）



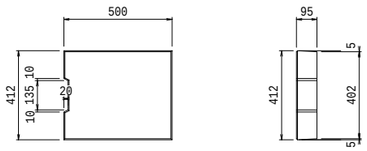
桝工寸法一覧

	B	L	H	備　考
桝工(A)	500	500	550	
桝工(B)	600	600	550	

桝 工 数 量 表　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量 桝工(A)	数　量 桝工(B)	摘　要
ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25BB	m3	0.31	0.37	
型　枠		m2	3.6	2.7	
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40BB	m3	0.08	0.10	
均しｺﾝ型枠		m2	0.4	0.4	
鋼製蓋	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	枚	1	1	T-14 受枠共

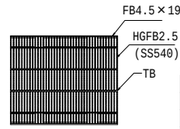
平面図　　断面図　　側溝蓋(PC4-B300)
S=1:20



側溝蓋(PC4-B300)　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	PC4-B400	枚	20	参考重量 V=46kg

ハイテン鋼製グレーチング T-14 細目
KJH25-30B
S=1:20



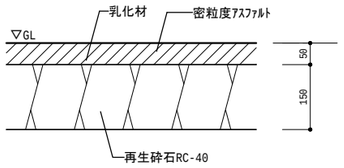
材料表

主部材	ﾊｲﾃﾝ鋼	SS540	HGFB2.5×25

側溝蓋(KJH25-30B)　10m当り

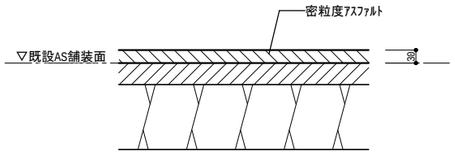
名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	KJH25-30B	枚	20	

アスファルト舗装Ａ　S=1:10

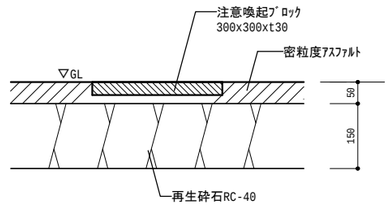


アスファルト舗装Ｂ　S=1:10

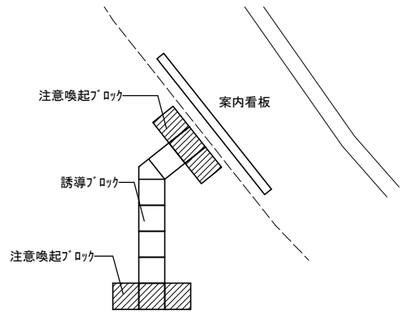
※オーバーレイ舗装



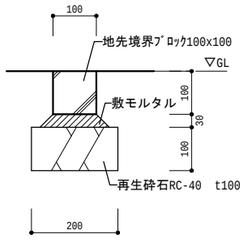
注意喚起ブロック　S=1:10



平面図　S=1:50

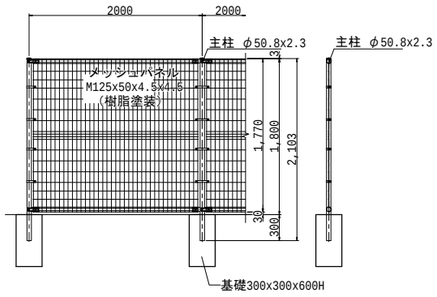


地先境界ブロック　S=1:10



メッシュフェンスＡ　S=1:50

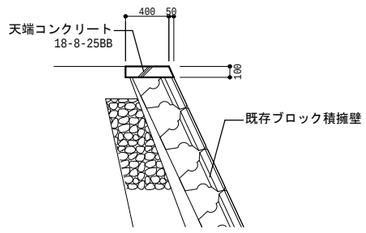
※耐雪型仕様とする



正　面　図　　側　面　図

既存ﾌﾞﾛｯｸ積部分取壊部天端補修　S=1:40

L=62.8m



工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図　名	外構詳細図－１		
縮　尺	－	番　号	121 枚の内 A067 号
設　計 年 月 日	令和７年３月		
設　計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士　第266975号　門 秀樹		
高　山　市			